初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究

― 学力の基礎をなす言語能力の形成を中心として ―

課題番号 18330196

平成18年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(B))

研究成果報告書

資料編Ⅱ 各国の国語教科書

アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・フィンランド

平成２０(2008)年３月

研究代表者　　藤　村　和　男

財団法人教科書研究センター研究部長

初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究

― 学力の基礎をなす言語能力の形成を中心として ―

課題番号 18330196

平成18年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(B))

研究成果報告書

資料編Ⅱ　各国の国語教科書

アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・フィンランド

はしがき

この資料編Ⅱ（CD-ROM）は，平成 18 年度～平成 19 年度科学研究費補助金で行った「初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究―学力の基礎をなす言語能力の形成を中心にして―」の研究成果報告書（印刷物）とは別に作成したものである。このほかに「資料編Ⅰ　日本の国語教科書」（CD-ROM）がある。本論が記述されている研究成果報告書（本編）と合わせてご利用賜りたい。

本資料編Ⅱは，二宮皓・外国部会主査を中心に，外国部会の研究分担者５名，研究協力者１名が調査努力を重ねて，各国のカリキュラム（学習指導要領）の翻訳資料，読み物教材の題目の調査を行った結果をはじめ,小学校第２学年相当の学年の国語教科書にみる「特色ある単元」をまとめたものである。

平成 20 年 3 月 31 日

研究代表者　　藤　村　和　男

初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究
平成 18～19 年度科学研究費補助金（基盤研究（Ｂ））

外国部会　研究分担者・研究協力者名簿

研究分担者

二　宮　　皓	広島大学副学長・大学院教育学研究科教授 （外国部会主査）（総括・アメリカ）
川野辺　　敏	星槎大学副学長（外国部会副主査）（総括）
新　井　浅　浩	西武文理大学サービス経営学部教授（イギリス）
澤　野　由紀子	聖心女子大学文学部准教授（ロシア）
長　島　啓　記	早稲田大学教育・総合科学学術院教授（ドイツ）
藤　井　穂　高	東京学芸大学教育学部准教授（フランス）

研究協力者

中　嶋　　博	早稲田大学名誉教授（フィンランド）

＊（　）内は担当した調査対象国

目　　次

はしがき …… 3
外国部会 研究分担者・研究協力者名簿 …… 4

1　各国の国語科カリキュラム・ガイドライン（訳出）

1．1　アメリカ …… 9
（1）ナショナル・ガイドライン（英語） …… 9
（2）カリフォルニア州のカリキュラム・ガイドライン（英語） …… 9
州教育委員会および州教育長によるメッセージ …… 9
序文 …… 11
第一学年 …… 13
第二学年 …… 17
第三学年 …… 21
第四学年 …… 25
第五学年 …… 30
第六学年 …… 35
1．2　イギリス …… 41
（1）ナショナル・カリキュラム（英語）「到達目標」 …… 41
（2）ナショナル・カリキュラム（英語）「キーステージ1・学習プログラム」 … 43
（3）ナショナル・カリキュラム（英語）「キーステージ2・学習プログラム」 … 49
（4）全国リテラシー戦略（第3学年） …… 56
3学年 1学期 …… 56
3学年 2学期 …… 60
3学年 3学期 …… 64
1．3　フランス …… 68
学習指導要領（フランス語） …… 68
Ⅰ．序文 …… 68
Ⅲ．基礎学習期―第2期 …… 73
Ⅳ．深化学習期―第3期 …… 92
1．4　ドイツ …… 96
バーデン・ヴュルテンベルク州の学習指導要領（基礎学校）（ドイツ語） … 96
序 …… 96
教育計画 2004 への導入 …… 98
ドイツ語 …… 113
1．5　ロシア …… 127
（1）「ロシア語」の教育課程基準（初等普通教育；第1～4学年） …… 127
ロシア語（母語）により教授する学校におけるロシア語の初等普通教育スタンダード

（２）「文学的読み方」の教育課程基準（初等普通教育；第１～４学年） 129
ロシア語（母語）を教授言語とする学校用文学的読み方 初等教育スタンダード …… 129
模範プログラム「ロシア語を教授言語とする学校用文学的読み方」 132
１．６ フィンランド …… 137
基礎学校学習指導要領（フィンランド語） …… 137
『フィンランド基礎学校学習指導要領 2004 年版』国語科第１～２学年規定 ７．３ 母語と文献

２ 各国の「読み物教材」
２．１ 小学校国語科教科書の「読み物教材」の題目一覧表 …… 147
２．１．１ アメリカ …… 147
２．１．２ イギリス …… 155
２．１．３ フランス …… 162
２．１．４ ドイツ …… 166
２．１．５ ロシア …… 173
２．２ 対象学年（第２学年）国語科教科書の「読み物教材」 …… 192
２．２．１ アメリカ …… 192
２．２．２ イギリス …… 194
２．２．３ フランス …… 200
２．２．４ ドイツ …… 202
２．２．５ ロシア …… 202
２．２．６ フィンランド …… 213
２．３ 対象学年（第２学年）国語科教科書にみる「特色ある単元」 …… 215
２．３．１ アメリカ …… 215
（人間関係の読み物教材）兄弟と姉妹 …… 215
（アメリカ的な才能を考える教材）美術の授業 …… 218
２．３．２ イギリス …… 223
（人間関係にかかわる読み物教材）フェアじゃないわ…私が小さいのは …… 223
（バランスのとれた議論の仕方）村の生活―あなたは賛成？ …… 224
２．３．３ フランス …… 226
（人間関係）バカにするのはよくない …… 226
（多文化社会の反映）明日，アフリカ人になる …… 227
２．３．４ ドイツ …… 230
（人間関係）わたし―きみ―わたしたち／フランツの愛のものがたり／けんかの後で／パンク／隣―大さわぎ／食器をかわかす ／小さな弟，大さわぎ／きみが必要とする人／助言
２．３．５ ロシア …… 236
（人間関係）まほうの言葉 …… 236

（人間関係）お近づきになりましょう！ …… 238
２．３．６　フィンランド …… 241
①入学当初 …… 241
②１学期末のクリスマス …… 243
③学年末の自然探査（総合学習） …… 245

３　国語教科書の語彙と文章の性質の分析
３．１　語彙分析：語彙数等の比較表 …… 249
３．２　文章分析：文章の種類と数 …… 250
〈資料１〉国別語彙一覧 …… 251
１．アメリカ …… 251
２．イギリス …… 261
３．フランス …… 274
４．ドイツ …… 281
５．ロシア …… 304
６．フィンランド …… 312
〈資料２〉国別抽象語彙一覧 …… 320

翻訳・分析に使用した国語教科書リスト …… 323

研究組織 …… 327

１　各国の国語科カリキュラム・ガイドライン（訳出）

１．１　アメリカ

（１）ナショナル・ガイドライン（英語）

これについては，国立教育政策研究所の報告書『国語科系教科のカリキュラムの改善に関する研究―歴史的変遷・諸外国の動向―』（研究代表者・下野洋，平成 14 年 3 月）に翻訳紹介されているのでそれを参照されたい。

（２）カリフォルニア州のカリキュラム・ガイドライン（英語）

カリフォルニア州国語科スタンダード
幼稚園～第六学年

州教育委員会および州教育長によるメッセージ……1
序文……2
第一学年……5
第二学年……9
第三学年……13
第四学年……17
第五学年……22
第六学年……27

カリフォルニア教育委員会
国語科内容基準（English-Language Arts Content Standards）

州教育委員会および州教育長によるメッセージ

カリフォルニアは，1997 年における国語科内容基準の採用により，初めて同教科の領域において児童生徒が何を知り，また出来るようになるのかという一律にして明確なビジョンを示した。教育専門家間の確固たる共通理解を反映しつつ，これらの基準は全ての児童生徒に対して高い期待値を設定する。それらは，全児童生徒が教育において成功し，高等教育へと続行し，挑戦的でやりがいのある職業を見つけ，知識のある市民として我々の民主制に参加し，我々の文化に対して価値を認めながら貢献し，生涯を通じて彼ら自身の目標と利益を追い求めるために，有効な言語使用者になってほしいという我々の総意を具体化したものである。

基準は，総合的な国語科学習計画の見通しを与える。

内容基準が設けられる以前は，学校改革の努力は学習成果の内容に関する合意のないまま，児童生徒の学習成果改善への望みに導かれていた。これらの基準は，各学年において児童生徒が獲得すべき内容を示したものである。全ての学年において，基準は読むこと，書くこと，口語および文語の使用，聞くこと，話すことを範囲に入れる。学年ごとに，基準は均衡が取れ，総合的な国語科教育計画の考え方を創出する。

知識の獲得は，読み書き能力の発達の一部である。

読むこと，書くこと，聞くこと，そして話すことは豊かなコアカリキュラムの中で培われるべき相関的なプロセスである。読み書きのコンピテンシーは，教科横断的な知識への道である。前の知識は，テキストについて推論する児童生徒の能力のもっとも強力な預言者であり，内容について書くことは，生徒の知識の獲得を助ける。従って，読み書きの能力と知識の獲得は分かちがたく結びついている。生徒がすべての分野において成功へと到達することを助けるために，読むことと書くことから，歴史，社会，算数，科学，そして視覚および実演芸術の他のコアカリキュラムへと関連づけるすべての好機を，教育専門家は捕らえなくてはならない。

基準は読み書き能力の改革の基幹である。

基準はカリフォルニアにおける国語科改革の主眼となるために存続する。それは，リーディング･国語科の基本および読み書きのハンドブックといった文書の開発のための焦点，教科書選定のために使う基準，州のアセスメントにおけるテストの国語科の部分，および職能開発の活動体系を与えるために継続する。基準が非常に多くの州全体にわたる先駆的実践の率いるとき，基準はまた，教師と行政官が地域的な教育計画を強化し，全児童生徒のニーズに応えるような全校の読み書き能力の育成計画を創出しようとするとき，カリフォルニアの隅々に及んで使用されることになる。

基準は，どのようにしてではなく，何を教えるかを述べる。

基準に基づいた教育は，学校の地域による管理というカリフォルニアの伝統を維持するものである。生徒の学習が高水準に到達するように援助するため，地域の学校公務員，読み書きと読書の指導者，そして教師は，家族と地域のパートナーと協力しながら，最良で最強の実践を評価し実行するために基準を用い続けることが推奨される。これらの基準は，教授と学習のための根本的な改善，創造性，そして熟考のための十分な余地を与える。

基準は，すべての人に公平とアクセスを保証する。

カリフォルニアの児童生徒の多様性は指導に好機と難題の双方を与える。言語と読み書き能力の発達は，子どもが学校に入学する前から，伝達することを学び，物語を聞き，本を眺め，他の子どもと遊ぶことによって始っているものである。児童生徒は，英語や他の言語の熟達度がさまざまであるのみならず,幅広い能力と興味を持って学校にやって来る。これらの基準を導く考え方は，全ての児童生徒は，熟達のために必要な機会，リソース，時間，そして支援を得なければならないというものである。読み書きは，児童生徒に可能性の世界を開く入口となる技能である。我々の目標は,高等学校を卒業する全ての生徒に，

中等教育後の教育および職業に首尾よく移行できるための準備ができていることを保証するものである。

序文

国語科内容基準

『12 学年までのカリフォルニア公立学校および幼稚園第国語科内容基準』は，カリフォルニアの公立学校制度の 13 年間において，全ての生徒が，特定の学年の国語科で習得しうるべき技能，知識，および能力に関しての強力な共通理解を示すものである。それぞれの基準は児童生徒が各学年（幼稚園から第 8 学年），または一連の学年（第 9 学年および 10 学年, 第 11 学年および 12 学年）の最後までに習得する必要のある内容を述べる。Education code section 60603 に従い，さらに Assembly Bill 265（Chapter 975, Statutes of 1995）Leroy Greene カリフォルニア学力達成度評価 Act に付言されて，「各学年における多様なレベルのコンピテンシー…（そして）ある児童生徒が内容基準を身につける程度の標準を定義する。」生徒のこれらの基準への熟達度の評価は，2001 年までには予定される。

（近々発行される）『リーディング・国語科，および第２言語としての英語科の基本事項（Framework）』は，カリキュラムおよび指導計画を『国語科内容基準』に合うように調整する。基本事項は，全ての児童生徒を熟達に導きながら，いつ知識を伝えるのか，どのように技能の訓練を支援するのかに関しての，教職員，経営者，両親および他の支援職員に対する解説となる。それは，また，児童生徒の発達を注視し，評価するための方法も提供する。すなわち，体系的な支援とインターベンションプログラムの構築，および両親に対する教育参加の奨励である。加えて，基本事項は，指導と児童生徒のためのリソースを明らかにする。すなわち，職能開発を推進し，学校，家庭，そして地域間のコミュニケーションを改善するための方策を助言する。最終的に，基本事項は，特別なニーズを持つ児童生徒，特に英語学習者，障害を持つ児童生徒，落第のリスクのある
学習者に対して，内容の豊かなカリキュラムを届けることに努力を傾注するものである。

本質的教科領域

効果的に伝達する能力，すなわち読み，書き，聞き，そして話すことは，人間としての経験の核となるものである。言語の技能は，将来的な学習と職能の開発のために基盤となるために必要であるだけではなく，人間の精神を豊かにし，信頼できるシティズンシップを育成し，国民の集合的な記憶を保つ手段となるため，不可欠な道具である。

よく読む児童生徒は，彼らの発達の早くに言葉のテンポと構造を学ぶ。彼らは語彙，表現における変化，ある考えを支える証拠を整理する技能を習得する。国立保健研究所は，第３学年において読みの遅れている児童は，追いつく可能性が 12～20％しかないことを示した。

よどみない読み手と技能を身につけた書き手

児童生徒は，読むという行為において熟達するために，またその行為から喜びを引き出すために，多様な質の高い文章を読まなければならない。児童生徒は，また，詩から技術的なものにいたるまで，幅広い書くことの応用の経験を持たなくてはならない。

音楽家は，時の試練に耐える偉大な作曲家の音楽を読み演奏するだけではなく，まず音階を引くことを学び，それらを練習することなしに演奏会を構成する（または，他者が構成したものを演奏する）ことはできない。若い読み手と書き手，そして彼らに先んずる偉大な書き手達にも同じことが言える。

読むことと書くことの実用的な材料は，批判的に生きる技能でもある。様式に書き込むこと，毎日の新聞を読むことは，基礎のしっかりした読み書きのコンピテンシーを必要とする。同様に，大半の職務はよく読み，書くための能力を要求する。また，大学レベルのおよび専門的な課程は一般的に双方の高度な熟練を必要とする。さらに，緊急事態においては，早く正確に読むことと書くことは，文字通り生死を分ける。

読むことおよび書くことは，時と空間を超えて，告げ知らせ，啓発する力を提供する。例えば，文学的な文章の読解と創造は児童生徒に，彼ら以前に生きていた人々を理解し，共通の文学の継承者の一員となり，貢献することを援助する。文学を通して，さらに児童生徒は，合衆国の独自の歴史，および，この国の国境内または外の双方に存在する，多くの文化との出会いを経験する。読むこと，書くことを通して児童生徒は，永続する疑問に関しての見解を分かち合い，不可欠な情報伝達する方法を理解するとともに学習し，あるいは人類のモチベーションを垣間見ることもありうる。読むことと書くことは，葛藤，知恵，理解，そして美を分かちあう無比の経験を提供する。

（児童生徒が自身の読むことと書くことの経験を選択するように）読むことを必要とする文学および情報伝達の文章双方の選択および，書くことの課題を与えることにおいて，地方当局，学校，そして教師は，読むことおよび書くことを，歴史，社会，算数・数学，理科といった他のコアカリキュラムへと関連付ける全ての機会を利用できるべきである。読み書きと専門的な文章力を会得し，創造的に獲得することにより，児童生徒は彼ら自信の存在と他所のそれとの関係を探る。

児童生徒は，特に彼らの学歴の早期に，頻繁に読み，書く必要がある。日々，学校内外において，全ての教科領域の著述や専門的な何かを読むことと書くことが，これらの基準の目標である。

自信に満ちた話し手と，考え深い聞き手

話すことと，聞くことの技能はかつてないほど重要になっている。大半のアメリカ人は，少なくてもその時々を過ごすために，人を納得させるように考えを表現し，根拠が確かで誠実な主張を行うための能力は，話すことにも書くことに重要である。著述に関して弁明可能な考えを表現する能力を研ぎ澄ますことは，内包された意味を理解し我がものとする

ことを確実にする。聞くことと話すことがカリキュラムの基幹となっていたのは遠い昔のことではなく，この伝統を維持している学校も僅かにある。それを再考するときが来たのである。

英語学習者

カリフォルニアの子どもの 25%近くが，英語以外を第 1 言語として多様な年齢で学校に入学する。この文書における基準は，全ての児童生徒の最高の達成を奨励するために作成された。それらに達することの出来ない児童生徒は独りもいない。基準は英語学習者のために，改められてはならない。なぜなら，そうすることは，それらの児童生徒の到達の機会を否定することになるからである。むしろ，地方教育当局は，基準に合わせて英語学習のための特化された教育プログラムを調整するこのチャンスを捉えて，カリフォルニアの子どもたちが同じ目標に向かって勉強できるようにするべきであろう。英語学習者が基準を満たせるような適切な支援を与えるために，経営者もまた，精力的に働かなくてはならない。

包括的な協働

読むこと，書くこと，聞くこと，そして話すことは，現実と乖離したスキルではない。それぞれは，他との連携や関連のもとに存在する。これらの技能は，一つひとつ個別に教授されてはならない。むしろ，これらの基準自体を達成することに向けてのみではなく，他のカリキュラム領域における成功を達成するために国語科スキルを利用することに向けて，運用されるような豊かで，本質的なコアカリキュラムにおいて発達させることが必要である。読むこと，書くこと，聞くこと，そして話すことは，必ず学習と練習によって改善する技能であるというのは良い便りである。これらの基準への熟達は，カリフォルニアにおいて児童生徒を，教養があり自信をもったコミュニケーターになるために必要な道具を身に付けさせ，高等教育の世界，および職場に入ることを確実にする。

この文書の編成

この文書は，幼稚園から始まって学年ごとに編成されている。巻末の用語解説は使用された専門用語の定義を提供する。出版物の全ての情報は“Selected References”に掲載されている。

第一学年

読むこと

1.0　言葉の分析，流暢さ，および体系的な語彙の発展

児童はリーディングの基本的事項を理解する。彼らは文字の配列の型を選び，それを，音と文節法，単語の部分によって，どのように話し言葉に言い換えるかを知る。彼らのこの知識を流暢な音読，また黙読の熟達に応用する。

印刷物に関する概念

1.1　印刷された単語に合う話し言葉を見つける。
1.2　読み物の題目と作者が分かる。
1.3　文字，単語，および文を見分ける。

音素の意識
1.4　単音節語のはじめ，中，終わりの音を識別する。
1.5　口頭で述べる単音節語の長母音，短母音を識別する（例，bit/bite）。
1.6　子音の混成を含む一連の隠語を作り，述べる。
1.7　単語を変化させるために，対象となる音を加え，削除し，あるいは変化させる（例，cow から how，pan から an への変化）。
1.8　2～4 の音素を混合して知っている単語にする（例，/c/a/t/=cat, /f/l/a/t/=flat）。
1.9　単音節語を構成要素に分ける（例，/c/a/t/=cat, /s/p/la/t/=splat, /r/i/ch/=rich）。

解読および言葉の認識
1.10　子音の混合および短，長母音の類別を含む文字と，文字の配列の型から音を作り（表音文字），それらの音を知っている単語に混合する。
1.11　一般的で不規則な常用語（例，the，have，said，come，give，of）を読む。
1.12　単語を読むために，二重母音，および r に導かれる文字と音の結合を用いる。
1.13　複合語と短縮形を読む。
1.14　語尾変化のある語形（例，-s, -ed, -ing），および根語（look, looked, looking）を読む。
1.15　共通の性質を持つ単語群（例，-ite，-ate）を読む。
1.16　普段話すような音になるように，はっきりと，流暢に読む。

語彙と概念の発達
1.17　学年に適した区分に単語を分類する（例，動物，食物，おもちゃの具体的な収集）。

2.0　読解

児童は，学年に適した教材を読み，理解する。彼らは，必要とされる様々な包括的計略（本質的な疑問を生じさせ，答え，利用する。児童は，彼らが読み，聞き，または見るもの中で基本的な事実と考えを見分ける。彼らは，理解のための方策を用いる（疑問を生じさせ，応答し，予測し，いくつかの情報源からの情報を比較する）。『推奨作品，幼稚園から第 12 学年まで』（カリフォルニア教育省，2002）における読み物は，児童用読み物教材が備えるべき質と複雑さを明示する。

加えて，学校における規則的な読書において，4 年生までに児童は，学年に適したよい物語文，および説明文の代表的なもの（古典，および現代文学，雑誌，新聞，オンラインの情報）を含んで，年間 50 万語を読む。第一学年において，児童はこの目標に向かっての進歩を始める。

伝達文書の構造上の特徴
2.1　時制の一致，または他の論理上の規則を用いた文章を見分ける。

学年段階に適した文章の読解と分析

2.2　読むことの目的を述べる（得ようとする情報を述べる）。

2.3　情報を伝える文章を理解するために著者の意図を知るようにする。

2.4　ために本文中の基本的な説明の要素に関して明らかにするような疑問を提示する（例，なぜ，もし～なら，どのように）。

2.5　文章の中でキーワードを見分けることにより，次に何が起こるかの予測を確かなものとする。

2.6　既に持っている知識を文章化された情報に関連させる。

2.7　簡単な説明文または物語の一節の要点を述べる。

3.0　文学的な感応および分析

児童は，幅広く多様性に富む児童書の重要な作品を読み感想を持つ。彼らは，文章の構造的な組み立てと，文学的な区切り，または構成要素（例，題材，筋書き，背景，登場人物）を区別する。『推奨図書，幼稚園から第 12 学年まで』における選書は，児童用読み物の特質と複雑さを例証する。

学年段階に適した作品の内容分析

3.1　物語における，始め，中，終わり，および筋書き，背景，そして登場人物を見分け，述べる。

3.2　作者と挿画家の印刷物における役割分担を述べる。

3.3　一年間に読む本に関して，思い出し，話し，書く。

書くこと

1.0　書くための工夫

児童は，主題を発展させた明確で一貫性のある文と段落を書く。彼らは書くことにおいて，読み手と目的を意識する。児童は必要に応じて各段階（例，構想，下書き，見直し，清書）を踏んで書き進める。

組み立てと焦点

1.1　書くときには話題の中心を選ぶ。

1.2　書くときには描写する言葉を使う。

書法

1.3　読みやすく，文字，単語，文の感覚を適切に開けて印字する。

2.0　書くことの応用（様式とそれらの特徴）

児童は，慣れ親しんだ物，出来事，および経験を描写し説明するような作文を書く。児童は書くことにおいて，米標準語を使いこなし，また，基準 1.0 において略述された，案を作ること，調べること，および構成の工夫をする。

基準 1.0 において略述された第一学年の書くことに関する工夫を用いる。
2.1　経験を描写した（例，創作の，自伝の）短い物語を書く。
2.2　感覚的な詳述を用いて，実在の物，人物，または出来事の簡単な説明を書く。

英語の文語体および口語体

文語体と口語体の基準は，書くこと，および聞くことと話すことの間に位置づけられる。なぜなら，両文体はこれらの一連のスキルに不可欠なものだからである。

1.0　英語の文語体および口語体

児童は，本学年段階に適した英語の標準語を使って書き，話す。

文の組み立て
1.1　話すときに完成し，一貫した文を認識して使う。

文法
1.2　単数形，複数形の名詞を見分け正しく使う。
1.3　書くこと話すことにおいて，短縮形（例，isn’t, aren’t, can’t, won’t）および単数形人称代名詞所有格（例，my/my, his/ her, hers, your/s）を見分け，正しく使う。

句読法
1.4　平叙文，感嘆文，疑問文を識別する。
1.5　文章の終わりに終止符，感嘆符，疑問符を用いる。
1.6　書くときに句読法と大文字化の基本的な規則の知識を用いる。

大文字化
1.7　文の最初の短語，人物の名前，人称代名詞 I を大文字化する。

つづり
1.8　３および４文字の短母音の短語，および学年段階に適した常用語を正しくつづる。

聞くこと，および話すこと

1.0　聞くことと話すことの工夫

児童は，口頭でのコミュニケーションにおいて聞き，答える。彼らは，明らかで一貫した文で話す。

理解
1.1　注意深く聞く。
1.2　明らかにし，理解するために質問をする。
1.3　単純な２段階の指示を述べ，言い換え，従う。

口頭における伝達の構成と話し方

1.4　話すときに主題からそれない。

1.5　人物，場所，物，出来事に関して話すときに，性質や状態を表す語を用いる。

2.0　話すことへの応用

児童は，一貫した論点を中心に組み立てられた馴染み深い経験や興味に関して簡単な朗読と口頭での発表を行う。また，児童は話す際に，標準的な米語を使いこなし，聞くことと話すことの基準 1.0 において略述された構成と話し方の工夫を示す。

聞くことと話すことの基準 1.0 において略述された第一学年の話し方の工夫を用いながら児童は，

2.1　経験や現在の物語を詳しく述べる。

2.2　基本的な物語の文法を用い，「誰が」，「何を」，「いつ」，「どこで」，「なぜ」，および「どのように」に答えることにより物語の出来事の連続を話しながら，物語を語り直す。

2.3　簡単な文章で生活の中の出来事や自らの経験を話す。

2.4　感覚的に詳細な点に注意を払いながら描写する。

第二学年

読むこと

1.0　言葉の分析，流暢さ，および体系的な語彙の発展

児童はリーディングの基本的事項を理解する。彼らは文字の配列の型を選び，それを，音と文節法，単語の部分によって，どのように話し言葉に言い換えるかを知る。彼らのこの知識を流暢な音読，また黙読の熟達に応用する。

解読および言葉の認識

1.1　読むときに，つづりのパターン（例，二重母音，特殊母音のつづり）を認識してその知識を用いる。

1.2　読むときに基礎的な文節法の知識を応用する（例，母音－子音－母音＝su/ per, 母音－子音・子音－母音＝sup/ per）。

1.3　無意味な二音節の単語，および常用の多音節の単語を読む。

1.4　一般的な省略形（例，Jan., Sun., Mr., St.）を認識する。

1.5　一般的な複数形（例，-s, -es, ies）および不規則な複数形（例，fly/flies, wife/wives）を識別し正しく使う。

1.6　適切なイントネーションと音調で，流暢に，および正確に音読する。

語彙，および概念の発展

1.7　一般的な反義語，および同義語を理解し，説明する。

1.8　意味を予測するために，未知の複合語における個別の単語の意味を用いる。
1.9　簡単な接頭語および接尾語（例，over-, un-, -ing, -ly）の意味を知る
1.10　簡単な多義語が分かる。
1.11　子音の混合および短，長母音の類別を含む文字と，文字の配列の型から音を作り（表音文字），それらの音を知っている単語に混合する。
1.12　一般的で不規則な常用語（例，the，have，said，come，give，of）を読む。
1.13　単語を読むために，二重母音，および r に導かれる文字と音の結合を用いる。
1.14　複合語と短縮形を読む。
1.15　語尾変化のある語形（例，-s, -ed, -ing），および根語（look, looked, looking）を読む。
1.16　共通の性質を持つ単語群（例，-ite，-ate）を読む。
1.17　普段話すような音になるように，はっきりと，流暢に読む。

2.0　読解

児童は，学年に適した教材を読み，理解する。彼らは，必要とされる多様で広範な工夫を見につける（疑問を生じさせ，応答し，予測し，いくつかの情報源からの情報を比較する）。『推奨作品，幼稚園から第 12 学年まで』（カリフォルニア教育省，2002）における読み物は，児童用読み物教材が備えるべき質と複雑さを明示する。加えて，学校における規則的な読書において，４年生までに児童は，学年に適したよい物語文，および説明文の代表的なもの（古典，および現代文学，雑誌，新聞，オンラインの情報）を含んで，年間 50 万語を読む。第二学年において，児童はこの目標に向かって継続的な進歩を遂げる。

伝達文書の構造上の特徴

2.1　説明的な文章における情報の位置を見つけるために，題目，目次，章の見出しを用いる。

学年段階に適した文章の読解と分析

2.2　読むことの目的を述べる（得ようとする情報を述べる）。
2.3　情報を伝える文章を理解するために著者の意図を知るようにする。
2.4　本文中の基本的な説明のための要素に関して明らかにするような疑問を提示する（例，なぜ，もし～なら，どのように）。
2.5　要点を明らかにし整理するために文章中の要素および細部を言い換える。
2.6　文章中の因果関係を認識する。
2.7　図，表，およびグラフから情報を解釈する。
2.8　２段階表記の指示に従う。

3.0　文学的な感応および分析

児童は，幅広く多様性に富む児童書の重要な作品を読み感想を持つ。彼らは，文章の構造的な組み立てと，文学的な区切り，または構成要素（例，題，筋書き，背景，登場人物）を区別する。『推奨読み物，幼稚園から第 12 学年まで』における選書は，児童用読み物の特質と複雑さを例証する。

学年段階に適した作品の内容分析

3.1　異なる作者による物語の，筋書き，背景，そして登場人物を比較し対照させる。

3.2　筋書きに対する他の結末を作り，その理由，および効果が分かる。

3.3　異なる文化を反映した，同じ物語の異なる表し方を比較し，対照させる。

書くこと

1.0　書くための工夫

児童は，主題を発展させた明確で一貫性のある文と段落を書く。彼らは書くことにおいて，読み手と目的を意識する。児童は各段階（例，構想，下書き，見直し，清書）を追って書き進める。

組み立てと焦点

1.1　関連した概念をグループ化し，首尾一貫した焦点を維持する。

書法

1.2　読みやすく，文字，単語，文の感覚を適切に開けて印字する。

調査

1.3　多様な参考文献（例，辞書，シソーラス，図表集）の目的を理解する

評価，および校正

1.4　筋を改善し，より叙述の細部を提供するために下書きを修正する。

2.0　書くことの応用（様式とそれらの特徴）

児童は，慣れ親しんだ物，出来事，および経験を描写し説明するような作文を書く。児童は書くことにおいて，米標準語を使いこなし，また，基準 1.0 において略述された，案を作ること，調べること，および構成の工夫をする。

基準 1.0 において略述された第二学年の書くことに関する工夫を用いる。

2.1　彼らの経験に基づく短い物語を書く。

ａ．出来事の論理的な筋道を通る。

ｂ．背景，登場人物，そして出来事を詳細に述べる。

2.2　日付，挨拶文句，本文，結び，および署名を備えた，親しい間柄における手紙を書く。

英語の文語体および口語体

文語体と口語体の基準は，書くこと，および聞くことと話すことの間に位置づけられる。なぜなら，両文体はこれらの一連のスキルに不可欠なものだからである。

1.0　英語の文語体および口語体

児童は本学年段階に適した英語の標準語を使って書き，話す。

文の組み立て

1.1　完全な文と不完全な文を見分ける。

1.2　記述される文における正しい単語の配列が分かり，その配列を用いる。

文法

1.3　書くこと,および話すことにおいて,名詞および動詞を含む多様な話し言葉分かり，正しく使う。

句読法

1.4　手紙における挨拶と結び，および日付，項目の列挙において句読点を用いる。

1.5　引用符を正しく使う。

大文字化

1.6　全ての固有名詞，分の最初の単語，挨拶，月および曜日，題目と，人の頭文字を大文字化する。

つづり

1.7　頻出の不規則な単語（例，was, were, says, said, who, what, why）を正しくつづる。

1.8　基礎的な短母音，長母音，r 音，重子音の文字の並び方がかける。

聞くこと，および話すこと

1.0　聞くことと話すことの工夫

児童は，口頭でのコミュニケーションにおいて，批判的に聞き，適切に答える。彼らは，適当な，語法，音の高低，抑揚を用いることにより，聞き手が要点を理解できるような方法で話す。

理解

1.1　目的，または聞くことの目的を定義する（例，情報を得るため，問題を解決するため，楽しむため)。

1.2　物語や意図を明らかにし説明しようとする。

1.3　他者から口頭で伝えられた情報をわかりやすく言い換える。

1.4　３および４段階の口頭における指示を出し，従う。

口頭における伝達の構成と論述

1.5　明らかな焦点を維持するために発表を整理する。

1.6　明確に，および伝達の種類によって適切な速度で話す。

1.7　論理的な筋道にのっとり経験を詳しく述べる。

1.8　登場人物，背景，筋書きを含む物語を語り直す。
1.9　介在する事実や細部を沿えてある話題について報告する。

2.0　話すことへの応用（形式とそれらの特徴）

児童は，一貫した論点を中心に組み立てられた馴染み深い経験や興味に関して簡単な朗読と口頭での発表を行う。また，児童は話す際に，標準的な米語を使いこなし，聞くことと話すことの基準 1.0 において略述された構成と論述の工夫を見せる。

聞くことと話すことの基準 1.0 において略述された第二学年の話し方の工夫を用いながら児童は，

2.1　経験または現在の物語を詳しく述べる。
　　a．出来事の論理的な筋道を通る。
　　b．物語の構成要素（登場人物，筋書き，背景）を述べる。
2.2　幾つかの情報源から得た話題について事実や細部を用いながら述べる。

第三学年

読むこと

1.0　言葉の分析，流暢さ，および体系的な語彙の発展

児童はリーディングの基本的事項を理解する。彼らは文字の配列の型を選び，それを，音と文節法，単語の部分によって，どのように話し言葉に言い換えるかを知る。彼らのこの知識を流暢な音読，また黙読の熟達に応用する。

解読および言葉の認識

1.1　馴染みのない単語を解読（例，-ight）するとき，複数の単語のグループを知り利用する。
1.2　規則的な多音節語を解読する。
1.3　適切な速さ，イントネーション，語法を用いて物語および説明文を音読する。

語彙，および概念の発展

1.4　語意を明らかにするために，反義語，同義語，同音異義語，同綴異義語を用いる。
1.5　学年に割り当てられた単語の中で固有性質を持つ単位の知識を提示し，それらの関連の重要性を説明する（例，犬・哺乳類・動物・生物）。
1.6　未知の言葉の意味を知るために文と単語の前後関係を用いる。
1.7　未知の単語の意味および他の特徴を学ぶために辞書を用いる。
1.8　単語の意味を確定するために接頭語（例，un-, re-, pre-, bi-, mis-, dis-）および接尾語（例，-er, -est, -ful）の知識を用いる。

2.0　読解

児童は，学年に適した教材を読み，理解する。彼らは，必要とされる多様で広範な読解

法を見につける（疑問を生じさせ，応答し，予測し，いくつかの情報源からの情報を比較する)。『推奨作品，幼稚園から第 12 学年まで』（カリフォルニア教育省，2002）における読み物は，児童用読み物教材が備えるべき質と複雑さ明示する。加えて，学校における規則的な読書において，４年生までに児童は，学年に適したよい物語文，および説明文の代表的なもの（古典，および現代文学，雑誌，新聞，オンラインの情報）を含んで，年間 50 万語を読む。第二学年において，児童はこの目標に向かって実質的な進歩を遂げる。

伝達文書の構造上の特徴

2.1　文章における情報の位置を見つけるために，題目，目次，章の見出しを用いる。

学年段階に適した文章の読解と分析

2.2　先立つ知識を，文中にある，および文章から推論する文字情報に結び付けて考えることにより，疑問を発し，答えを根拠付ける。

2.3　文章中の答えを見分けることにより，全体的な理解が出来ていることを示す。

2.4　文章中の主な要点を思い出し，次の情報に関する予測を行い，および修正する。

2.5　説明文の主題とそれを根拠付ける細部を見分ける。

2.6　問題と解決を含む適切な，また重要な情報を抜き出す。

2.7　簡単な多段階表記の指示に従う。

3.0　文学的な感応および分析

児童は，幅広く多様性に富む児童書の重要な作品を読み感想を持つ。彼らは，文章の構造的な組み立てと，文学的な区切り，または構成要素（例，題，筋書き，背景，登場人物）を区別する。『推奨読み物，幼稚園から第 12 学年まで』における選書は，児童用読み物の特質と複雑さを例証する。

読み物作品の構造

作品の一般的な形式が分かる（例，詩，戯曲，創作物語，ノンフィクション物語)。

学年段階に適した作品の内容分析

3.1　世界中の典型的なおとぎ話，神話，民話，伝説，及び寓話の基礎的な筋を理解する。

3.2　登場人物が言うことやすること，または，作者が彼らをどのように描写しているかから，どのような登場人物かが分かる。

3.3　創作，及びノンフィクション物語における根元的な主題，または作者が伝えようとしたことが分かる。

3.4　読み物における複数の単語の中の似た音，および韻律を識別する（例，頭韻法，擬音語)。

3.5　読み物における話し手，または語り手が分かる。

書くこと

1.0　書くための工夫

児童は，主題を発展させた明確で一貫性のある文と段落を書く。彼らは書くことにおいて，読み手と目的を意識する。児童は各段階（例，構想，下書き，見直し，清書）を追って書き進める。

組み立てと焦点

1.1　一つの段落をつくる。

ａ．主題文を発展させる。

ｂ．補佐する簡単な事実や事柄の詳細を含む。

書法

1.2　余白を見込み，正しい字間および単語と単語の間隔を設けながら筆記体，または続け字のイタリック体で読みやすく書く。

調査

1.3　多様な参考文献（例，辞書，シソーラス，図表集）の目的を理解する

評価，および校正

1.4　筋を改善し，より叙述の細部を提供するために下書きを修正する。

2.0　書くことの応用（様式とそれらの特徴）

児童は，慣れ親しんだ物，出来事，および経験を描写し説明するような作文を書く。児童は書くことにおいて，米標準語を使いこなし，また，基準 1.0 において略述された，案を作ること，調べること，および構成の工夫をする。

基準 1.0 において略述された第二学年の書くことに関する工夫を用いる。

2.1　彼らの経験に基づく短い物語を書く。

ａ．出来事の論理的な筋道を通る。

ｂ．背景，登場人物，そして出来事を詳細に述べる。

ｃ．選択した事柄がなぜ忘れられないのかについて見抜く。

2.2　人々，場所，事物，経験についての印象を述べ，統一するため，感覚的な細部を具体的に述べるような描写を書く。

2.3　私的，または感謝状，招待状といった正式な手紙を書く。

ａ．読み手の知識や興味への配慮を示し，目的と文脈を確立する。

ｂ．日付，適切なあいさつ文，本文，結び文，サインを含む。

英語の文語体および口語体

文語体と口語体の基準は，書くこと，および聞くことと話すことの間に位置づけられる。なぜなら，両文体はこれらの一連のスキルに不可欠なものだからである。

1.0　英語の文語体および口語体

児童は本学年段階に適した英語の標準語を使って書き，話す。

文の組み立て

1.1　書くこと，話すことにおいて完成され，正確な平叙文，疑問文，命令文，感嘆文を理解し使用する。

文法

1.2　一致する主語と動詞が分かるとともに,書くこと,話すことにおいて正確に前置詞，形容詞，複合語，冠詞が分かり，使用する。

1.3　書くこと話すことにおいて，過去，現在，および未来形の動詞変化が分かり使用する。

1.4　話すおよび書く文において，主語と述語が正確にわかり使用する。

句読法

1.5　日付，都市，および州，また本の題名を正確に強調する。

1.6　日付，場所，所在地において，および項目の列記のためにカンマを使う。

大文字化

1.7　地名，祝日，時代区分，特別な出来事を正確に大文字化する。

つづり

1.8　混成，短縮，複合，つづりの定型（例，qu，子音の重複，複数形にするとき y から ies に変化する単語）を含む一音節の語,および一般的な同音異義語（例, hair と hare）を正しくつづる。

1.9　語をアルファベット順に配置する。

聞くこと，および話すこと

1.0　聞くことと話すことの工夫

児童は，口頭でのコミュニケーションにおいて，批判的に聞き，適切に答える。彼らは，適当な，語法，音の高低，抑揚を用いることにより，聞き手が要点を理解できるような方法で話す。

理解

1.1　話し手により何が話されたかを，再話し，分かりやすく言い換え，説明する。

1.2　先行経験，見識，そして考えを話し手のものと結びつけ，関連させる。

1.3　適切な詳述により質問に答える。

1.4　文字言語における音楽的要素（リズム，繰り返しの音，擬音・擬声の例）が分かる。

口頭における伝達の構成と論述

1.5　論を時系列的に，または情報の主要な点を中心として構成する。

1.6　論旨を発展させる，具体的な細部を含んだはじめ，中，終わりを設定する。
1.7　論を伝え，雰囲気を作り出すために分かりやすく，意味の明確な語彙を用いる。
1.8　適切な小道具（具体物，写真，図表）を用いることによって口頭による発表を明快にし，質の高いものにする。
1.9　読まれる文章の重要な部分を強調するために適切なイントネーションと声の調子を用いながら，流暢に，リズムおよびテンポよく散文および詩を朗読する

口頭によるまたは媒体を用いた伝達の分析と評価
1.10　放送および印刷媒体において明示された論や視点を比較する。
1.11　話し手の意見と証明可能な事実を区別する。

2.0　話すことへの応用（形式とそれらの特徴）

児童は，一貫した論点を中心に組み立てられた馴染み深い経験や興味に関して簡単な朗読と口頭での発表を行う。また，児童は話す際に，標準的な米語を使いこなし，聞くことと話すことの基準 1.0 において略述された構成と論述の工夫を見せる。

聞くことおよび話すことの基準 1.0 において概略が述べられた第三学年における話すための工夫を使い，生徒は，
2.1　簡単な物語風の発表を行う。
　　a．発表の主題である出来事における物事の関係性を明確にする。
　　b．なぜその出来事が，忘れられないものであるのかが分かる。
　　c．登場人物，設定，および筋立てを発展させるために，よく選ばれた細部を含める。
2.2　経験，物語，詩，または戯曲の劇的な演出を計画し，発表する。
2.3　人々，場所，物事，または経験の印象を統一しようとし，そのために具体的で感覚的な細部を用いて説明的な発表を行う。

聞くことと話すことの基準 1.0 において略述された第一学年の話し方の工夫を用いながら児童は，
2.1　経験または現在の物語を詳しく述べる。
　　a．出来事の論理的な筋道を通る。
　　b．物語の構成要素（登場人物，筋書き，背景）を述べる。
2.2　幾つかの情報源から得た話題について事実や詳細を用いながら述べる。
2.3　人々，場所，事物，経験についての印象を述べ，統一するため，感覚的な細部を具体的に述べるような記述的表現を行う。

第四学年

読むこと

1.0　言葉の分析，流暢さ，および体系的な語彙の発展

児童はリーディングの基本的事項を理解する。彼らは文字の配列の型を選び，それを，音と文節法，単語の部分によって，どのように話し言葉に言い換えるかを知る。彼らは，この知識を，流暢な音読，および黙読の熟達のために用いる。

語の認識

1.1　学年に相応しい流暢さと正確さ，また，適切な速さ，抑揚，および音調で物語および解説文を音読する。

語彙，および概念の発展

1.2　語と熟語の意味を分析するために，語源，語の派生，同義語，反義語，慣用語の知識を用いる。

1.3　文章の一節に含まれる未知の語の意味を判断するために，語根の知識を用いる。

1.4　ギリシャ語およびラテン語由来の共通の語根と接頭辞を知り，複合語（例，international）の意味を分析するためにその知識を用いる。

1.5　関連する語および概念を確定するためにシソーラスを用いる。

1.6　複数の意味をもつ語を見分け解釈する。

2.0　読解

児童は，学年に適した教材を読み，理解する。彼らは，必要とされる多様で広範な読解法を見につける（疑問を生じさせ，応答し，予測し，いくつかの情報源からの情報を比較する)。『推奨作品，幼稚園から第 12 学年まで』（カリフォルニア教育省，2002）における読み物は，児童用読み物教材が備えるべき質と複雑さを明示する。加えて，学校における規則的な読書において，児童は学年に適したよい物語文，および説明文の代表的なもの（古典，および現代文学，雑誌，新聞，オンラインの情報）を含んで，年間 50 万語を読む。

情報素材の構造上の特徴

2.1　理解を深めるために，情報文章において見られる構造形式（例，比較と対照，原因と結果，逐次と時系列，提案と支持）を知る。

学年に適した文章の理解と分析

2.2　異なる目的（全面的な理解，情報の位置，個人的な楽しみ）のために読むときに適切な工夫を行う。

2.3　先行する知識および，挿画，表題，主題文，重要な語，伏線を含む文章自体の中で提示される概念を用いることによって文章に関して予測を行い，確かなものとする。

2.4　新たな情報および仮説を，既知の情報と概念に照らし合わせて検討し評価する。

2.5　文章の一節や記事の何本かを読んだ後で同一の話題に関する情報を比較し対照する。

2.6　解説文における原因と結果，および事実と意見を見分ける。

2.7　基本的な実用書（例，コンピュータのコマンド，あるいはビデオゲームの使い方）における複合的な段階を踏む指示に従う。

3.0　文学的な感応および分析

児童は，幅広く多様性に富む児童書の重要な作品を読み感想を持つ。彼らは，文章の構造的な組み立てと，文学的な区切り，または構成要素（例，題，筋書き，背景，登場人物）を区別する。『推奨読み物，幼稚園から第 12 学年まで』における選書は，児童用読み物の特質と複雑さを例証する。

読み物作品の構造

3.1　作品の一般的な形式が分かる（例，詩，戯曲，創作物語，ノンフィクション物語)。

学年段階に適した作品の内容分析

3.2　筋立てにおける主要な出来事，その原因および，それらの出来事の将来的な影響がわかる。

3.3　登場人物の行動の誘因を判断するために状況や設定，および登場人物の特徴および動機の知識を用いる。

3.4　ある登場人物の活用をなぞることによって,異なる文化における物語を比較対照し，異なる文化における類似の物語を説明する論理を発展させる。

3.5　比喩的な言い回し（例，直喩，暗喩，誇張，擬人化）

書くこと

1.0　書くための工夫

児童は，主題を発展させた明確で一貫性のある文と段落を書く。彼らは書くことにおいて，読み手と目的を意識する。児童は各段階（例，構想，下書き，見直し，清書）を追って書き進める。

組み立てと焦点

1.1　および目的，読者，長さ，および要求される様式に基づいて中心となる論点，構造，視点，を定める。

1.2　複数一つの段落からなる作文を作成する。

- a．導入の段落を作る。
- b．出だしまたは第一段落において，主題文により，中心になる論点を確立し擁護する。
- c．単純な事実，細部，および説明のある擁護の段落を含む。
- d．要約の段落によって締めくくる。
- e．正しいインデンションを使う。

1.3　情報を伝達するために伝統的な構成を用いる（例，時系列，原因と結果，類似と差異,）質問と解答)。

書法

1.4　滑らかで読みやすいように筆記体,または続け字のイタリック体で読みやすく書く。

調査と技術

1.5　適切な引用部分を用いながら，情報の引用または言い換えを行う。

1.6　構成の部位（例，序文，付録）を用いながら資料の中に情報を配置する。

1.7　書くことを助けるものとして，多様な参考文献（例，辞書，シソーラス，カードカタログ，百科事典，オンラインの情報）

1.8　年鑑，新聞，および季刊誌の構造，およびこれらの印刷物の使い方を理解する。

1.9　キーボードを使用する技能，およびコンピュータの専門用語（例，カーソル，ソフトウェア，メモリー，ディスクドライブ，ハードドライブ）への親しみを示す。

評価，および校正

1.10　統一性と経過を改善するために抜粋した下書きを，加筆，削除，整理，および文の再配列によって，編集および校正する。

2.0　書くことの応用（様式とそれらの特徴）

児童は，慣れ親しんだ物，出来事，および経験を描写し説明するような作文を書く。児童は書くことにおいて，米標準語を使いこなし，また，基準 1.0 において略述された，案を作ること，調べること，および構成の工夫をする。

基準 1.0 において略述された第四学年の書くことに関する工夫を用いる。

2.1　物語風の文章を書く。

ａ．出来事，または経験について，意見，観察，または回顧を関連づける。

ｂ．出来事，または経験の世界を読者が想像できるように前後関係を示す。

ｃ．具体的で感覚的な細部を用いる。

ｄ．選ばれた出来事や経験がなぜ忘れられないものかが分かる。

2.2　文学作品の感想を書く

ａ．文学作品に対する理解を示す。

ｂ．文章と先行する知識双方を参照して判断を支持する。

2.3　報告書を書く

ａ．ある論点または状況に関して，主要な問題を提起する。

ｂ．中心となる事実および細部を含む。

ｃ．１つ以上の情報源（例，話し手，書籍，新聞，他の媒体）から情報を得る。

2.4　読み物の趣旨ともっとも重要な細部を含んだ要約を書く。

英語の文語体および口語体

文語体と口語体の基準は，書くこと，および聞くことと話すことの間に位置づけられる。なぜなら，両文体はこれらの一連のスキルに不可欠なものだからである。

1.0　英語の文語体および口語体

児童は本学年段階に適した英語の標準語を使って書き，話す。

文の組み立て

1.1　書くこと，話すことにおいて単文，複文を用いる。

1.2　短く，関連付けられた文を，同格関係，分詞句，形容詞，副詞，前置詞を含む成句によって複合する。

文法

1.3　書くこと，話すことにおいて，規則，および不規則動詞，副詞，前置詞，等位接続詞が分かる。

句読法

1.4　直接引用における括弧，コンマ，名詞の所有を表す場合，および短縮形におけるアポストロフィーを用いる。

1.5　文書の題目を区別するために下線，引用符，またはイタリック体を用いる。

大文字化

1.6　雑誌，新聞，芸術作品，楽曲，組織の名称，および適切であるときに引用の最初の語を大文字化する。

つづり

1.7　語根，活用・語尾変化，接尾辞，および接頭辞，および音節の組み立てを正確につづる。

聞くこと，および話すこと

1.0　聞くことと話すことの工夫

児童は，口頭でのコミュニケーションにおいて，批判的に聞き，適切に答える。彼らは，適当な，語法，音の高低，抑揚を用いることにより，聞き手が要点を理解できるような方法で話す。

理解

1.1　吟味した質問を発し，口頭により適切な詳述を用いて適切な質問に答える。

1.2　話されたメッセージおよび正式な発表において示された主要な論および補助的な証拠を要約する。

1.3　どのように言語の慣用法が（例，ことわざ，いいまわし）地方や文化を反映しているかが分かる。

1.4　特定の指示や指図を行う。

口頭における伝達の構成と論述

1.5　聞き手に主要な論点および論証にかんして知らせ，手引きするような効果的な導入と結論を示す。

1.6　情報を整理する伝統的な構造（原因と結果，類似と差異，質問と解答）を用いる。
1.7　聞き手や見る側が主要な論点と概念を捉えることを助けるような方法で要点を強調する。
1.8　情報を説明または明確化するために細部，例，逸話，または経験を用いる。
1.9　意味を強めるために，音量，音調，区切り，速さ，抑揚のつけ方，および動作を適切に用いる。

口頭によるまたは媒体を用いた伝達の分析と評価
1.10　出来事に対する注意の集中する点，および問題に対する意見の形成におけるメディアの役割を評価する。

2.0　話すことへの応用（形式とそれらの特徴）

児童は，一貫した論点を中心に組み立てられた馴染み深い経験や興味に関して簡単な朗読と口頭での発表を行う。また，児童は話す際に，標準的な米語を使いこなし，聞くことと話すことの基準 1.0 において略述された構成と論述の工夫を見せる。

聞くことおよび話すことの基準 1.0 において概略が述べられた第四学年における話すための工夫をもちいながら生徒は，
2.1　物語風の発表を行う。
　ａ．出来事や経験に関して意見，観察，または回顧を関連付ける。
　ｂ．出来事や経験の情況の想像を聞き手に可能にするために前後関係を示す。
　ｃ．選ばれた出来事や経験がなぜ忘れられないものであるのかが分かる。
2.2　情報伝達の発表を行う
　ａ．中心となる問題を提示する。
　ｂ．聞き手が論点に集中することを助けるような事実と細部を含む。
　ｃ．１つ以上の情報源（例，話し手，本，新聞，新聞，テレビ，またはラジオレポート）を組み込む。
2.3　記事や本を，出来事や記事の重要な論点を含んで口頭で要約する。
2.4　明快ないいまわし，緩急，音量，語法を用いて，簡単な（２または３連の）詩，独白，または劇中の台詞を暗誦する。

第五学年

読むこと

1.0　言葉の分析，流暢さ，および体系的な語彙の発展

児童は，特定の語彙の意味を判断し，学年段階において適切な語の明確な意味を理解するために，歴史的および文学的な文脈の手がかりとともに語源および語の関連の知識を用いる。

語の認識

1.1　流暢，および正確に，また，適切な速さ，抑揚，および音調で物語および解説文を音読する。

語彙，および概念の発展

1.2　語と熟語の意味を分析するために，語源を用いる。

1.3　頻繁に使用される同義語，反義語，および同綴異義語を理解し，説明する。

1.4　ギリシャ語およびラテン語に由来する語根および接辞の概要を知り，この知識を複雑な語（例，controversial）の意味を分析するために用いる。

1.5　文脈における比喩的または暗喩的な語の使い方を理解し説明する。

2.0　読解

児童は，学年に適した教材を読み，理解する。彼らは，文章の構造，組成，および目的に関する知識を使うことによって，文章における基本的な考え方，主張，および物事の見方を述べ，関連付ける。『推奨作品，幼稚園から第 12 学年まで』（カリフォルニア教育省，2002）における読み物は，児童用読み物教材が備えるべき質と複雑さを明示する。加えて，第 8 学年までに児童は，学年に適した物語または解説文の優れた代表作品（例，古典または現代文学，雑誌，新聞，オンラインの情報）を含んで年間 100 万語を独力で読む。第五学年において，児童はこの目標に向けて進歩する。

情報素材の構造上の特徴

2.1　文章の部位（例，体裁，図画，文章の連続，ダイアグラム，挿画，図表，地図）がどのように情報を得やすく，また利用しやすいようにしているかを理解する。

2.2　逐次的または時系列的に構成された文章を分析する。

学年に適した文章の理解と分析

2.3　文章において示される中心となる論および概念を識別し，その論を支える証拠を見つけ吟味する。

2.4　文章に関して推論，結論，または一般化を導き出し，それらを文中の証拠および先行する知識によって支持する。

解説的批評

2.5　文章における事実，支持される推論，および意見を見分ける。

3.0　文学的な感応および分析

児童は，歴史的，または文化的に重要な文学作品を読んで，応答する。彼らは，論点を明らかにし，文学作品間を関連付けることを始める。『推奨読み物，幼稚園から第 12 学年まで』における読み物は，児童用読み物の特質と複雑さを例証する

文学作品の構造

3.1　詩，戯曲，実話，および創作物語の特性を見分け分析するとともに，特定の目的の

ために著者によって選ばれた作品形式の適切性を説明する。

学年段階に適した作品の内容分析

3.2　筋立てにおける主な問題，または対立を見つけ出し，それが以下に解決されるかを説明する。

3.3　創作作品における行為，動機（例，忠誠心，利己心，自覚）および登場人物の様子を対照し，筋立てまたは主題に対しての対照の重要性を議論する。

3.4　主題が，読み物の意味や道徳性に関連していることを理解し，作品において（暗示されている，または直接的に述べられている）主題を認識する。

3.5　一般的な文学における装置（例，比喩的表現，暗喩，象徴主義）の機能と効果を述べる。

文学的な批評

3.6　異なる地域および文化における文学を用いることにより，神話に見られる原型や象徴，また伝統の持つ意味合いを評価する。

3.7　読み手の考え方に影響を与えるための，著者の多様な技術（例，絵本における登場人物の魅力，筋立ておよび設定の条理と真実性，比喩的な言葉の使用）の使用を評価する。

書くこと

1.0　書くための工夫

児童は，明確で一貫性があり論の中心が定まった小論を書く。彼らは書くことにおいて，読み手と目的を意識する。児童は必要に応じて各段階を追って書き進める。

組み立てと焦点

1.1　複数の段落からなる物語風の作文を作成する。

- a．場面や筋書きを確立し発展させる。
- b．設定を描写する。
- c．結末を示す。

1.2　複数の段落からなる説明的な作文を作成する。

- a．主要な話題，主要な論，または出来事を，逐次的または時系列的に確立する。
- b．細部，および明確な思考の手順に沿って一つの段落を他の段落へと連結する接続の表現を用いる。
- c．主要な論と細部を要約した結びの段落を配置する。

調査と技術

1.3　印刷物の構成部位（例，引用，巻末注，引用文献）を用いる

1.4　電子メディアにより，構成部位（例，パスワード，エントリーおよびプルダウンメニュー，検索，シソーラス，スペル）を使用しながら簡単な文書を作成する。

1.5　代替的な語の選択と意味が判断するためにシソーラスを用いる。

評価，および校正

1.6　意味と焦点化を改善するために，加筆，削除，整理，および文と語の再配列によって，原稿を編集，構成する。

2.0　書くことの応用（様式とそれらの特徴）

児童は，物語，解説，主張，および描写の各形式において，少なくとも 500～700 語の文章を書く。児童は書くことにおいて，米標準語を使いこなし，また，基準 1.0 において略述された，案を作ること，調べること，および構成の工夫をする。

基準 1.0 において略述された第五学年の書くことに関する工夫を用いる。

2.1　物語風の文章を書く。

ａ．筋立て，視点，設定，および対立関係を確立する。

ｂ．物語の各出来事を語ろうとするよりも，むしろ見せる。

2.2　文学作品の感想文を書く。

ａ．文学作品を理解していることを示す。

ｂ．文章に基づき，または先行する知識によって見解を支える。

ｃ．注意深い読みと理解を示すような解釈を発展させる。

2.3　次の指針を用いて，重要な論，問題，出来事に関する調査報告書を書く

ａ．調査を導く問題設定を行う。

ｂ．統制された論とまたは話題を確立する。

ｃ．純然たる事実，細部，例，および説明によって話題を発展させる。

2.4　主張のための書簡または作文を書く。

ａ．ある提案を支持する明確な立場を明言する。

ｂ．適切な証拠によって立場を支える。

ｃ．簡単な構成の定型に沿う。

ｄ．読者の関心に注意する。

英語の文語体および口語体

文語体と口語体の基準は，書くこと，および聞くことと話すことの間に位置づけられる。なぜなら，両文体はこれらの一連のスキルに不可欠なものだからである。

1.0　英語の文語体および口語体

児童は本学年段階に適した英語の標準語を使って書き，話す。

文の組み立て

1.1　前置詞句，同格節，独立説および従属節を見分け，正確に用いるとともに，論を接続するために接続詞を用いる。

文法

1.2　誤用されやすい動詞（例，lie/ lay, sit/set, rise/raise）修飾成句，代名詞を見分け，正確に使う。

句読法

1.3　時間と分の分割，一覧の挿入においてコロンを用いるとともに，話し手の言葉，および詩，歌，短編などの題目などにおいて引用符を用いる。

大文字化

1.4　大文字を正確に使用する。

つづり

1.5　語根，活用・語尾変化，接尾辞，および接頭辞，および音節の組み立てを正確につづる。

聞くこと，および話すこと

1.0　聞くことと話すことの工夫

児童は，考えを明確に伝え聴衆の背景や関心に関連するような発表を，話題を焦点化し一貫性をもって行う。彼らは，口頭における伝達の内容を評価する。

理解

1.1　常には議論されない情報を得るために質問する。

1.2　話し手が言葉に表した，または言葉に表さないメッセージ，目的，および見解を解説する。

1.3　口頭による報告に基づいて，推論し結論を導き出す。

口頭における伝達の構成と論述

1.4　口頭による発表のために中心となる話題，構成，視点を選択する。

1.5　証拠および例により述べられる論を支援する。

1.6　適切な言葉の合図，表情，および仕草により聴衆をひきつける。

口頭によるまたは媒体を用いた伝達の分析と評価

1.7　主張の技術（約束，断言，甘言，見掛け倒しの一般化）を見分け，分析し，批判する。また，口頭での発表およびメディアのメッセージにおける論理的な誤謬を識別する。

1.8　情報，余興，説得，出来事の解説，および文化の伝達の発信源としてのメディアを分析する。

2.0　話すことへの応用（形式とそれらの特徴）

児童は，伝統的な修辞的工夫（叙述，説明，主張，描写）を用いてよく構成された正式な発表を行う。また，児童は話す際に，標準的な米語を使いこなし，聞くことと話すこと

の基準 1.0 において略述された構成と論述の工夫を見せる。

聞くことおよび話すことの基準 1.0 において概略が述べられた第五学年における話すための工夫をもちいながら生徒は，

2.1　物語風の発表を行う。

ａ．記述的な語および成句を用いて，場面，筋書き，視点および設定を確立する。

ｂ．何が起こったかについて語るのではなく，むしろ見せる。

2.2　重要な論，問題，及び出来事について次の手段を用いて，情報伝達の発表を行う。

ａ．調査を導く問題を設定する。

ｂ．統制された論または話題を確立する。

ｃ．簡潔な事実，細部，例および説明により話題を発展させる。

2.3　文学作品に対して口頭で感想を述べる。

ａ．重要な出来事および細部を要約する。

ｂ．文学作品によって伝えられた幾つかの考え方や心象の理解を明確に表現する。

ｃ．結論を支えるために作品の文中の根拠や例を用いる。

第六学年

読むこと

1.0　言葉の分析，流暢さ，および体系的な語彙の発展

児童は，特定の語彙の意味を判断し，学年段階において適切な語の明確な意味を理解するために，歴史的および文学的な文脈の手がかりとともに語源および語の関連の知識を用いる。

語の認識

1.1　流暢，および正確に，また，適切な速さ，抑揚，および音調で物語および解説文を音読する。

語彙，および概念の発展

1.2　比喩的な言い回しおよび，複数の意味をもつ語を見分け解説する。

1.3　英語において頻繁に使用される外国語の出自と意味を認識し，話すことと書くことにおいて正確に使用する。

1.4　語，文，段落の手がかりを用いることによって，未知の語，または風変わりな使われ方の語の意味を判断するために解説的な文章を注意深く見る。

1.5　関連語（例，softly, quietly）における「意味の濃淡」を理解し説明する。

2.0　読解（情報文書を中心に）

児童は，学年に適した教材を読み，理解する。彼らは，文章の構造，組成，および目的

に関する知識を使うことによって，文章における基本的な考え方，主張，および物事の見方を述べ，関連付ける。『推奨図書，幼稚園から第 12 学年まで』（カリフォルニア教育省，2002）の読み物は，児童生徒に読まれる教材の特質と複雑さを示す。加えて，第 8 学年までに児童は，学年に適した物語または解説文の優れた代表作品（例，古典または現代文学，雑誌，新聞，オンラインの情報）を含んで年間 100 万語を独力で読む。第五学年において，児童はこの目標に向けて進歩を継続する。

情報素材の構造上の特徴

2.1　大衆メディアの構造上の特徴（例，新聞，雑誌，オンラインの情報）を識別し，情報を得るために用いる。

2.2　比較および対照の構成を用いた文章を分析する。

学年に適した文章の理解と分析

2.3　他の情報源および関連する話題との関係を知ることによって，主要な各論を連結させ明らかにする。

2.4　概略，論理ノート，要約，または報告書を作成することによって，文章を明快にし，理解する。

2.5　申し込み（例，公立図書館の利用カード，銀行預金，スポーツクラブ，団体参加申し込み）のための，複数段階の指示書に従う。

解説的批評

2.6　著者の結論のために充分で適切な根拠であるかを判断する。

2.7　的確な根拠付けの引用に沿って，文書に関する妥当な主張を行う。

2.8　文章中の裏づけのない推論，誤った証明，主張および扇動の例に気づく。

3.0　文学的な感応および分析

児童は，歴史や社会科の学習を反映し向上させるような歴史的，または文化的に重要な文学作品を読んで，応答する。彼らは，それらの論点を明らかにし，他の文学作品に関連付ける。『推奨作品，幼稚園から第 12 学年まで』における読み物は，児童用読み物教材が備えるべき質と複雑さを明示する。

文学作品の構造的特徴

3.1　創作の形式を識別し，各表現形式の主な特徴を述べる。

学年段階に適した作品の内容分析

3.2　筋立ておよび対立関係の解決における登場人物の性質（勇敢または臆病，野心家または怠け者）の効果を分析する。

3.3　問題とその解決において状況設定の影響を分析する。

3.4　詩において，言葉の選択，比喩的な言い回し，文の構成，一文の長さ，句読法，リズム，反復，および押韻により，いかに意味や雰囲気が伝えられているかを判断す

る。

3.5　話し手を識別し，一人称，三人称の語り（例，伝記と自伝の比較）の間の差異を認識する

3.6　登場人物，行動，および表象によって伝えられる主題を識別し分析する。

3.7　多様な創作または実話作品における，一般的な文学作品の仕掛け（例，符号性，比喩的表現，暗喩表現）の効果を説明する。

文学的な批評

3.8　性格の描写の真実味および構想が作為的か現実的か（例，歴史物語における事実と創作の利用の比較）を批評する。

書くこと

1.0　書くための工夫

児童は，明確で一貫性があり論の中心が定まった小論を書く。彼らは書くことにおいて，読み手と目的を意識する。小論文は正式な導入，論拠，結論を含む。児童は必要に応じて各段階を追って書き進める。

組み立てと焦点

1.1　設定した目的に応じて書く形式（例，私信，編集者への通信文，論評，詩，報告，物語）を選択する

1.2　複数の段落からなる説明的な作文を作成する。

ａ．読者の興味を引きつけ，明確な目的を述べる。

ｂ．読者の心の中に明確な表象が描き出されるように，細部，および明確な動詞，名詞，および形容詞によって話題を発展させる。

ｃ．作文の目的に連結した詳細な概要によって締めくくる。

1.3　比較と対照，類型ごとの構成，空間的配列，重要度による配列，漸層法を含む，効果的で一貫した多様な構成型を用いる。

調査と技術

1.4　情報を探し当てるために電子文書の構成の特徴（例，掲示板，データベース，キーワード検索，ｅメールアドレス）を用いる。

1.5　文書処理の技能，および配置の原則（例，余白，ラベル，行間，コラム，ページの表記）を用いることにより，適切な様式で文書を作成する。

評価，および校正

1.6　段落間における論の構成と整合性を改善するために校正を行う。

2.0　書くことの応用（様式とそれらの特徴）

児童は，物語，解説，主張，および描写の各形式において，少なくとも 500～700 語の文章を書く。児童は書くことにおいて，米標準語を使いこなし，また，基準 1.0 において

略述された，案を作ること，調べること，および構成の工夫をする。

基準 1.0 において略述された第六学年の書くことに関する工夫を用いる。

2.1　物語を書く。

ａ．物語に適合した筋立て，設定，視点を確立し発展させる。

ｂ．筋立ておよび登場人物の特徴を発展させるために，感覚的な細部および具体的な言い回しを含む

ｃ．物語のための幅広い仕掛けを用いる。

2.2　解説的な作文（叙述，説明，比較対照，問題解決）を書く

ａ．論の主題と目的を明言する。

ｂ．状況を説明する。

ｃ．作文の種類に応じて適切な構成の様式に従う。

ｄ．必要に応じて主張や結論を有効にする論拠を示す。

2.3　調査報告書を書く

ａ．充分に扱えるように狭い範囲に限定した問題設定を行う。

ｂ．主要な論，または各論を典拠（例，話し手，季刊誌，オンラインの情報源）の確かな事実，細部，例，説明によって裏付ける。

ｃ．参考文献を含む。

2.4　文学作品の感想文を書く。

ａ．注意深い読みと理解を示すような解釈を発展させる。

ｂ．明確な論，前提，または表象を中心として解釈を行う。

ｃ．例と文中の根拠を用いながら解釈を発展させ，正当化する。

2.5　主張のための作文を書く。

ａ．ある提案や命題に関して明確な立場を述べる。

ｂ．適切で体系化された根拠によって立場を支える。

ｃ．簡単な構成の定型に沿う。

ｄ．読者の関心を予期し注意を払う。

英語の文語体および口語体

文語体と口語体の基準は，書くこと，および聞くことと話すことの間に位置づけられる。なぜなら，両文体はこれらの一連のスキルに不可欠なものだからである。

1.0　英語の文語体および口語体

児童は本学年段階に適した英語の標準語を使って書き，話す。

文の組み立て

1.1　思考の全体を表現するために，短文，重文，複文を用いるとともに，等位接続と従属関係を用いる。

文法

1.2　不定代名詞，および動詞の現在完了，過去完了，未来完了の時制変化を識別し，適切に使う。また，複合的な主語に一致する動詞であることを確実にする。

句読法

1.3　業務書簡におけるあいさつ文にコロンを用い，独立節を接続する際にセミコロンを用い，重文における接続詞によって２つの節を連結する際にコンマを使う。

大文字化

1.4　大文字を正確に使用する。

つづり

1.5　つづりを誤りやすい語を正確につづる（例，their, they’re, there）

聞くこと，および話すこと

1.0　聞くことと話すことの工夫

児童は，考えを明確に伝え聴衆の背景や関心に関連するような発表を，話題を焦点化し一貫性をもって行う。彼らは，口頭における伝達の内容を評価する。

理解

1.1　話し手の言葉による伝達（例，語の選択，調子，感じ，語気）と言葉にしないメッセージ（例，態度，動作）を関連付ける。

1.2　口頭の伝達における語気，雰囲気，感情を聞き分ける。

1.3　複数段階の口頭における指示を再び述べて実行する。

口頭における伝達の構成と論述

1.4　口頭による発表のために，目的，メッセージ，場，音声の調節を聴衆に合わせながら，中心となる話題，構成，視点を選択する。

1.5　主要な論および概念に沿いながら,聴衆を補助するための突出した論点を強調する。

1.6　詳細な証拠，および適切な技術を用いる視覚的またはメディアディスプレイにより意見を裏付ける。

1.7　聴衆の興味と注意を維持するために，効果的な速さ，音量，緩急，および語気を用い，言葉に表れない要素を調節する。

口頭によるまたは媒体を用いた伝達の分析と評価

1.8　修辞的な装置（例，韻律，反復形態，擬音語・擬態語の使用）の使用を意図と効果に対して分析する。

1.9　テレビにおいて用いられる主張と扇動の技術を識別し，誤ったあるいは誤解を招く情報を識別する。

2.0　話すことへの応用（形式とそれらの特徴）

児童は，伝統的な修辞的工夫（叙述，説明，主張，描写）を用いてよく構成された正式な発表を行う。また，児童は話す際に，標準的な米語を使いこなし，聞くことと話すことの基準 1.0 において略述された構成と論述の工夫を見せる。

聞くことおよび話すことの基準 1.0 において概略が述べられた第六学年における話すための工夫をもちいながら生徒は，

2.1　物語風の発表を行う。
- a．文脈，筋立て，および視点を確立する。
- b．筋立ておよび登場人物の発展させるために感覚的な細部の記述と具体的な言い回しを含める。
- c．幅広い語りの装置（例，会話，緊張関係，またはサスペンス）を用いる。

2.2　情報伝達の発表を行う
- a．完全で綿密に回答されるような範囲の問題を設定する。
- b．複数の信頼できる情報源（例，話し手，季刊誌，オンラインの情報）事実，細部，例，および説明を用いることで話題を発展させる。

2.3　文学作品に対して口頭で感想を述べる。
- a．注意深い読み，理解，および洞察を示す解釈を展開する。
- b．明確な論，前提，または表象を中心に限定的な解釈を行う。
- c．例および文中の根拠を用いながら限定された解釈を発展させ，正当化する。

2.4　主張の発表を行う。
- a．立場を明確に述べる。
- b．適切な根拠を示す。
- c．情報の論理的な連続を示す。
- d．聴衆をひきつけ，命題や提案を受け入れる姿勢を育てる。

2.5　問題と解決について発表を行う。
- a．それぞれの問題の原因と結果に関して理論化し，各問題設定に対して少なくとも１つの回答との結びつきを確立する。
- b．問題の設定と提案される解決を確定するための主張の論拠を示す。

（二宮　皓）

１．２　イギリス

（１）ナショナル・カリキュラム（英語）「到達目標」

ナショナル・カリキュラム・到達目標（英語）

到達目標１：話すこと・聞くこと

レベル１：

子どもたちは，直接興味のあるものについて話す。他者のことを聞き，適切に返答する。さまざまな聞き手に対して簡単な意味を伝達し，聞き取れるように話し，自分たちの考えや弁明をある程度詳しく伝えることをはじめる。

レベル２：

子どもたちは，特に題材が本人たちの興味を引いたときに，話すことと聞くことについて自信を持つ。時には，関連のある詳細にまで触れることによって聞き手の要求に応じる。考えを発展させ説明する際は，明瞭に話し，増え続けている語彙を用いる。いつも注意深く聞き，他者が言っていることに対して，さらに的確に返答する。より格式ばった語彙と声の調子が使用される場面もあるということが分かりはじめる。

レベル３：

子どもたちは，さまざまな文脈において，探究し考えを伝えるとき，自信を持って話したり聞いたりする。議論の際には，重要なポイントを理解する。関連のある意見や質問の間中，彼らは注意深く聞いているということを示す。語彙の使用と詳細の程度をさまざまに変えながら聞き手の要望に応じて話す内容を合わせるようになる。標準英語と，それがいつ使われるかを理解しはじめる。

レベル４：

子どもたちは，より広がった文脈において，自信を持って話したり聞いたりする。話は目的に合わせられる。すなわち，思慮深く考えを発展させること，出来事を説明すること，はっきりと自分の意見を伝えること，である。話し合いでは，意見を述べながら，また他者の意見や見解に対して質問をしながら，注意深く聞く。標準英語の語彙と文法の特徴のいくつかを適切に使用する。

レベル５：

子どもたちは，格式ばった種のものも含んだ広範囲の文脈において，自信を持って話したり聞いたりする。表現や語彙に変化をつけはじめるため，話は聴衆の興味を引きつける。話し合いでは，他者の言うことに綿密な注意を払い，考えを推し進める質問をし，他者の見解を考慮した発言をする。格式ばった状況では標準英語を使用しはじめる。

到達目標２：読むこと

レベル１：

子どもたちは，簡単な文章でのなじみのある単語を認識する。声に出して読む際には，単語の読解や意味をはっきりさせるために文字や音記号の関係の知識を用いる。これらの

活動の中では，しばしば助けを必要とする。詩，物語，そしてノンフィクションについて，好きな場面を明らかにするというかたちで，その反応を示す。

レベル２：

簡単な文章を子どもが読むときは，それを理解していて，ほぼ正確である。物語，詩，ノンフィクション中の主要な出来事や思想に対する意見を述べる。なじみのない単語を読み，意味をはっきりさせる際には，音，文字，統語，文脈のなど方法を一つ以上用いる。

レベル３：

子どもたちは，ある範囲の文章を流暢に，そして正確に読む。意味をはっきりさせる方策を用いながら一人で読む。フィクション，ノンフィクションへの反応では大事なポイントの理解を示し，自身の好みを表現する。本を探し情報を見つける際にはアルファベットの知識を用いる。

レベル４：

ある範囲の文章に対応する際に，子どもたちは重要な思想，主題，出来事，登場人物への理解を示し，推論や演繹を用いはじめる。自分の見解を説明するときにはテキストを参照する。思想や情報を探し出して使用する。

レベル５：

基礎的な点を選び出したり，適切な場合に推論や演繹を用いながら，子どもたちは，ある範囲の文章を理解する。彼らの反応としては，特徴，主題，登場人物をとらえること，また自分の見解を支持する文，フレーズ，関連のある情報を選び出すことである。ある範囲の情報源から情報を検索し，順序ただしくまとめる。

到達目標３：書くこと

レベル１：

子どもたちの作文は，単純な単語やフレーズを通して，意味を伝える。読み書きにおいて子どもたちはピリオドの使い方への理解を示しはじめる。通常，文字は明瞭な形で書かれ，向きも正しい。

レベル２：

子どもたちの作文は，適切で面白い語彙を使って物語風か，あるいはそうでない形式によって，その意味を伝える。そして，読み手に対する多少の意識が見受けられる。一連の文の中で考えは展開され，しばしば大文字やピリオドで区切られる。単純な単音節の単語は正確に綴られ，不正確な箇所も音声学上では妥当と思われる。手書きにおいて，文字は正確な形で書かれ，大きさも一貫している。

レベル３：

子どもの作文は，多くの場合，まとまっていて創造的で明瞭である。作文の，さまざまな形式の主要な特徴が適切に用いられ，さまざまな読み手に応じるようになりはじめる。一連の文は，考えを論理的に展開し，多様性に富み，興味を引くものにするために，単語が選ばれる。文章の基礎的な文法構造は正しい。通常，一般的な多音節の単語も含め綴り方は正確である。ピリオドや大文字，疑問符を文章に付ける句読法は的確に使用される。手書きはつながり判読できる。

レベル４：

子どもたちのある範囲の形式の作文は生き生きとして思慮深い。考えはしばしば興味深い方法により維持，発展され，読み手の目的に合わせて適切に編成される。語彙の選択はしばしば大胆で，単語は効果を狙って使用される。意味を広げるために文法的にいう複文を用いはじめる。標準型に従う多音節の単語の綴りも含め，綴りは大体正しい。ピリオド，大文字，疑問符は正しく使用され，文中で句読法を使いはじめる。手書き形式はすらすらとし，つながり，判読できる。

レベル５：

子どもたちの作文は，必要な箇所ではより正式な型を用いながら，さまざまな読み手を対象に，いろいろな形式によって明確に意味を伝えながら，多様性に富み面白い。語彙の選択は想像力豊かで，単語は正確に使用される。単文と複文は段落として編成される。複合の標準型による単語は通常正確に綴られる。コンマ，アポストロフィ，引用符を含むある範囲の句読法は通常正確に使用される。手書きはつながり，明瞭，流暢で，必要に応じ，ある範囲の課題に適して使われる。

（２）ナショナル・カリキュラム（英語）「キーステージ１・学習プログラム」

ナショナル・カリキュラム　英語　キーステージ１　学習プログラム

到達目標１：話すこと・聞くこと

指導は「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動が統合されるものとする。

知識・スキル・理解

話すこと

1)　はっきりと流暢に自信を持って話すため，子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．明瞭な言葉遣いと適切な音調で話す
ｂ．単語を正確に選択する
ｃ．言うことをまとめる
ｄ．大事なポイントに焦点を合わせる
ｅ．関連のある詳細を取り入れる
ｆ．聞き手の要望を考慮する。

聞くこと

2)　聞き，理解し，他者に返答するため，子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．集中力の持続
ｂ．興味を持った特定の箇所を思い起こす

c．関連のある論評をする
d．他者の反応に耳を傾ける
e．理解を明瞭にするため質問をする
f．言語における音声の型を認識し，それに反応する［例として，頭韻，押韻，ことば遊び］。

集団討議と相互作用

3) 集団の一員として参加するため，子どもたちが教わらなければならないこと：
a．話は順番に行う
b．それまでの話に発言を関連させる
c．様々な見解を考慮に入れる
d．議論に照らし考えを広げる
e．意見や行動に根拠をもたせる。

ドラマ

4) 様々な種類の演劇活動に参加するため，子どもたちが教わらなければならないこと：
a．状況，登場人物，感情を探究し伝えるため，言葉やアクションを用いる
b．他者と演じる際，個々が役割を創造し持続する
c．演劇で観たもの，あるいは参加したものについて建設的に論評する。

標準英語

5) 子どもたちは口語の標準英語の主な特徴のいくつかに触れ，それを使用することを教わらなければならない。

言語の多様性

6) スピーチがどのように変化するかを子どもたちは教わらなければならない：
a．様々な状況において［例えば，より格式ばった状況においての話し方の変化についてよく考えること］
b．様々な聴衆に配慮する［例えば，知らない人々と話をする際，話す内容を合わせること］。

学習領域

7) キーステージの間，以下の活動，状況，目的を通じて子どもたちは知識・スキル・理解を獲得しなければならない。

話すこと

8) 次の事項を取り扱うこと：
a．実際の話と想像上の話を語ること
b．声に出して読むことと，朗読すること
c．出来事や経験したことを述べること

d．友人，クラスの仲間，教師など，様々な人々と話をすること。

聞くこと

9) 聞く機会として次の範囲を含むこと：

a．相互

b．詳細な説明や提示をする大人［例として，模型がどのように動くかを説明すること，声に出して読むこと］

c．録音されたもの［例として，ラジオ，テレビ］。

集団討議と相互作用

10) 目標として次の事項を取り扱うこと：

a．計画を立てることと調べること

b．考えや経験したことを共有すること

c．論評することと報告すること。

演劇活動

11) 次の事項を取り扱うこと：

a．役割を演じること

b．他者に向けて演劇や話を発表すること［例えば，タブロー（絵画的描写）を通じて話をしたり，語り手を用いたりすること］

c．演技に反応を示すこと。

到達目標２：読むこと

指導は「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動が統合されるものとする。

知識・スキル・理解

読む方法

1) 流暢さ，正確さ，理解，喜びを伴って読むために，子どもたちは，読んだものが分かるための様々な方策を使用することを教わらなければならない。次の事項について教わること：

a．単語の音素を聞き，認識し，区分し，融合させる

b．アルファベット文字を発音し，その文字の名前を言う

c．押韻や頭韻，その他の音声の型について探究しながら，音声と文字の型を結びつける

d．単語中の音節をとらえる

e．同じ音でも異なる綴りがあり，同じ綴りでも異なる音と関係があるということ

を認識する。

単語の理解との文字の知識

ａ．頻出単語とその他のよく知られている単語を一目で読む

ｂ．一般的な綴り方の形式である単語を認識する

ｃ．接頭辞，接尾辞，屈折語尾，複数形の語など，単語特有の部分を認識する。

文法的理解

ａ．単語の順序がどのように意味に影響を与えるかを理解する

ｂ．新出単語を判読し，意味を確かめる，または調べる

ｃ．読むこと，あるいは読み進めることによって文の趣旨を解く

文脈の理解

ａ．文章全体から引き出された意味に注目する

ｂ．本の伝統的手法，構造，順序，発表道具に関する知識を活用する

ｃ．背景の知識を用いて内容を理解する。

情報を読むこと

2)　子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．情報を見つけるため，見出し，イラスト（挿絵・説明図），目次，索引，章などノンフィクション文章の構成的特徴を活用する

ｂ．文章は，様々な方法によって，同じ話題でも異なった情報を含んだり似通った情報を提示したりすることを理解する

ｃ．様々な目的の参考資料を活用する。

文学

3)　物語，詩，演劇への理解を得るため，子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．物語中の登場人物，出来事，背景をとらえて描写する

ｂ．話を語り出来事を予測する際，順序だて物語言語の知識を用いる

ｃ．根拠を示して好みを表明する

ｄ．物語や詩を記憶，暗唱，実演する

ｅ．詩において，韻律，押韻，調子の型とそれらの効果を理解する

ｆ．読んだものに対し，様々な方法で想像力豊かに返答する［例えば，演劇中の話から登場人物を用いること，以前読んだものを基に詩を書くこと，美術や音楽を通して理解を示すこと］。

言語構造と多様性

4)　文章を更なる正確さと理解によって読むため，子どもたちは様々な形式の文章の特性について教わらなければならない［例として，話の始まりと終わり，見出しの使用］。

学習領域

5)　キーステージの間，子どもたちは次のような文学作品，ノンフィクション，ノンリテラリー（文語的でない）の文章を通して，知識・スキル・理解を獲得しなければなら

ない。

文学

6) 次の事項を含むこと：

a．物語や詩で，設定が馴染みあるものと，架空，幻想的世界を基にしたもの

b．主な児童文学作家による物語，劇，詩

c．やさしく書き直された伝統的な民話やおとぎ話

d．様々な文化からの物語や詩

e．型にならった予想通りの言語による物語，劇，詩

f．長さや語彙の観点から興味をそそる物語や詩

g．声に出して読まれたり再読されたりすると，言語の使い方がためになる文章。

ノンフィクションとノンリテラリーの文章

7) 次の事項を取り扱うこと：

a．連続する文章や関連するイラスト付のものも含めた印刷物，ICT（情報通信技術）による情報の文章

b．辞書，百科事典，その他の参考資料。

到達目標３：書くこと

指導は「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動が統合されるものとする。

知識・スキル・理解

作文

1) 子どもたちが教わらなければならないこと：

a．大胆な語彙，広範囲の語彙を使用する

b．出来事を順次取り上げ，適切な詳細にまでそれらを物語る

c．考えを文にする

d．文書をまとめるため明瞭な構造にする

e．目的や読み手に沿うよう書き方を変える

f．自分の書き方の見本として以前読んだ文章を利用する。

立案と起草

2) 教師や他者と作業しながら，書く能力を発達させるために，子どもたちが教わらなければならないこと：

a．馴染みある単語を書き，また，不慣れな単語を試す

b．用紙やスクリーン上で考えを整理し発展させる

c．書かれたことの質を吟味しながら作文の計画を立て再検討する
d．手助けを得ながら広範囲の文章を書く［例えば，教師を書き手とする］。

句読法

3) 子どもたちが教わらなければならないこと：
a．書かれていることを読み手が理解するために句読法がどのような役割を果たしているか
b．句読法と文章構造，語調と強調についての関連性
c．大文字，ピリオド，疑問符を使用すること，コンマを使い始めること。

綴字法

4) 子どもたちが教わらなければならないこと：
a．アルファベットのそれぞれの文字を書く
b．音声と記号の関係と音韻組織の形式の知識を用いる［例えば，子音群（２つまたはそれ以上の連続した子音）と母音音素］
c．簡単な綴り方の形式を認識し使用する
d．一般的な文字の連なりを書く
e．一般的な単語を綴る
f．一般的な接頭辞と屈折語尾の単語を綴る

綴りの照合

g．ワードバンクや辞書を使って綴りの正確さを照合する
h．単語群やその他の単語の知識を用いる
i．綴りの誤りの理由をはっきりとらえる。

手書きと提示

5) 読みやすい型式(を書くことを)発達せるため，子どもたちが教わらなければならないこと：
a．鉛筆／ペンの持ち方
b．ページの左から右へ，また，上から下まで書くこと
c．文字を正確に書き始め仕上げること
d．整った大きさ，形の文字をつくること
e．文字と単語の間に一定の空白を設けること
f．大文字や小文字のつくりかた

発表

g．効果的に意味を伝えるための明瞭できちんとした発表の重要性。

標準英語

6) 文語の標準英語の文法的特徴のいくつかを子どもたちは教わらなければならない：

言語構造

7) 自分自身の文章を組み立てる際，子どもたちは熟慮することを教わらなければならない：
   a．単語の選択や順序が意味にとってどのように決定的に重要であるか
   b．名詞，動詞，代名詞の性質と使用
   c．文中でどのように考えが結びつくことがあるか，文の順序がどのようにかみ合うか。

学習領域

8) キーステージの間，以下の目的，読み手，書き方の形式に注目することにより，子どもたちは知識・スキル・理解を獲得しなければならない。

9) 書くことの目的として，次の事項を取り扱うこと：
   a．他者に伝えること
   b．架空世界を創造すること
   c．経験したことを探究すること
   d．情報をまとめ，説明すること。

10) 子どもたちは考えを記憶し発展させるために書くことの重要性を教わること。

11) 作文の読み手には，教師，他の大人や子ども，そして筆者自身が含まれること。

12) 書き方の形式には，物語，詩，メモ（覚え書），表，見出し，記録，メッセージ（伝言・通信文），指示が含まれること。

（３）ナショナル・カリキュラム（英語）「キーステージ２・学習プログラム」

ナショナル・カリキュラム　英語　キーステージ２　学習プログラム

到達目標１：話すこと・聞くこと

指導は「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動が統合されるものとする。

知識・スキル・理解

話すこと

1) 様々な文脈の中で，目的や聴衆に話し方を合わせながら，自信を持って話すために，子どもたちが教わらなければならないこと：
   a．語彙や統語を用いることにより，より複雑な意味を伝えることができるように

する

b．関心を引きつけ，さまざまな聴き手に返答する［例として，誇張した表現やユーモアのある話を用いる，速度に変化をつける，特殊効果を狙った説得力ある言葉を使用する］

c．話題や聴き手と関連のある題材を選ぶ

d．明瞭な形式，構造を持った始まりと終わりにする

e．格式ばった状況下では，口語の標準英語を用いて聞き取れるようはっきり話す

f．話を評価し，どのように展開したかを反省する

聞くこと

2) 聞き，理解し，適切に返答するため，子どもたちが教わらなければならないこと：

a．話し合いの中で，説明の要点をとらえ，聞いたことを評価する

b．話を明確にしたり，広げたり，続けたりするための，適切な質問をする

c．討論，談話，朗読，ラジオやテレビ番組，映画の中の重要箇所を思い返し，再現する

d．特定の目的で使用される言語の特徴をとらえる［例として，説得，指示，娯楽］

e．他者の発言に注意しながら適切に返答する。

集団討議と相互作用

3) 集団の一員として効果的に話すために，子どもたちが教わらなければならないこと：

a．発言を当面の話題に関連させ，交替で話し合いをする

b．考えを一つにまとめる探究的で暫定的なコメントや，話し合いが結論や行動へと進展するための判断的あるいは批評的なコメントなど，発言を行動や目的に沿うよう変化させる

c．他者の質問や報告を聞いた上で，自分たちの考えを固めたり正当化したりする

d．反対の見解には丁寧に対応し，話し合いが進むようにする

f．議長，書記，代弁者など，状況に応じてふさわしく演じるよう，様々な役割を演じる

g．集団の動きの促進のため，主要な点の要約，話し合われたことの振り返り，明瞭化，他者の引き入れ，合意形成，選択肢の検討，結果の予想など，さまざまな方法を用いる。

ドラマ

4) 様々な種類の演劇活動に参加して自分たちや他者の貢献具合を評価するために，子どもたちが教わらなければならないこと：

a．個々または集団の中でのさまざまな役割の創造，適合，持続

b．自分たちが考案し脚本化した話・主題・感情・思想を伝えるために，登場人物，アクション，語りを用いる

c．登場人物や問題の探究のため，劇に関する技術を用いる［例として，ホットシーティング（劇中の役になりきって質問に答えるという試み），フラッシュバッ

ク（過去回想場面への瞬間的な切り返し)］

d．自分たちや他者が，演技の全体的な効果へどのように貢献したかを評価する。

標準英語

5） 口語の標準英語の特徴である文法構造と，その知識を文脈の中で適切に用いることを子どもたちは教わらなければならない。

言語の多様性

6） 言語がどのように変化するかを子どもたちは教わらなければならない：

a．文脈や目的に従う［例として，より格式ばった状況での語彙の選び方］

b．標準英語と方言の違い［例として，劇中における標準語と方言の使用効果］

c．口語と文語の違い［例として，原稿のあるスピーチ，直接のスピーチ，報告用のスピーチ］。

学習領域

7） キーステージの間，以下の活動，状況，目的を通じて子どもたちは知識・スキル・理解を獲得しなければならない。

話すこと

8） 次の事項を取り扱うこと：

a．声に出して読むこと

b．さまざまな聴衆に向かって発表すること

c．さまざまな目的のために話を広げること。

聞くこと

9） 次の事項を聞く機会を設けること：

a．生の講演／朗読／発表

b．録音されたもの［例として，ラジオ，テレビ，映画］

c．集団内の他者。

集団討議と相互作用

10）目標として次の事項を取り扱うこと：

a．調査，選出，分類

b．計画，予測，探究

c．説明，報告，評価。

演劇活動

11）次の事項を取り扱うこと：

a．即興演技と役割を演じること

b．演劇において脚本を書くことと演じること

c．演技に反応を示すこと。

到達目標２：読むこと

指導は「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動が統合されるものとする。

知識・スキル・理解

読む方法

1) 流暢さや正確さ,理解を伴って読むために子どもたちが教わらなければならないこと:

a．音素の識別や発音に関する知識

b．単語や書記記号の知識

c．文法に関する知識

d．文脈的理解。

文章の理解

2) 子どもたちが教わらなければならないこと：

a．推測，推論を用いる

b．辞書的解釈を超えた意味を探る

c．文章中のさまざまな箇所の関連性を持たせる［例として，話の始まりと終わり方，情報伝達の文中に含まれていることと除外されていること］

d．以前読んだ他の文章の知識を用いる。

情報を読むこと

3) 子どもたちが教わらなければならないこと：

a．情報を見つけるため，文章をざっと読む

b．要点と全体の印象に目を通す

c．詳細に読むことによって具体的な情報を得る

d．意味を把握するため，印象，言葉の調子，比喩的表現など，文章のさまざまな特色を参考にする

e．主題や情報を見つけるために構造的な特徴や方式を用いる

f．事実と意見の区別をつける［例えば，文章の意図や情報の信憑性を考察することによって］

g．論点を批判的に検討する。

文学

4) 文学的な文章を理解したり鑑賞したりする能力を発達させるため，子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．比喩的言語，語彙，言語様式の選択や使用あるいは効果を認識する
ｂ．文章を構成するさまざまな方法とそれらの効果を確認する
ｃ．登場人物と背景の設定方法や，構想，物語の構成，主題の展開の様子をとらえる
ｄ．筆者，語り手，登場人物の違いを認識する
ｅ．観点を広げたり思考を深めたりする思想やテーマを評価する
ｆ．詩の形式とその効果についてよく考える
ｇ．文章にふれることを通して，好みを表明し，見解を支持する
ｈ．本文全体や他の読みものなどを引用し，想像力豊かに応答する
ｉ．物語，詩，劇を声に出して読む。

ノンフィクションとノンリテラリー（堅苦しくなく文語的ではない文章）の文章

5) ノンフィクションとノンリテラリーの文章を理解したり鑑賞したりする能力を発達させるため，子どもたちが教わらなければならないこと：
ａ．専門的な語彙の用途や効果をとらえる
ｂ．理由づけ，説得，議論に結びつく単語をとらえる
ｃ．形式的で感情を交えない語調の句や文を認識する
ｄ．年代記的でない文書において，考えと文の結びつきをとらえる
ｅ．さまざまな形式の文章の構造的，組織的特徴を理解する［例として，段落分け，副題，ハイパーテキストとの組み合わせ］
ｆ．さまざまなフォーマット（判型），レイアウト（割付け），発表道具［例として，一覧表，バレットポイント（話したいことをひと言で言う方法），アイコン（図像）］
ｇ．やりがいのある題材に取り組む。

言語構造と多様性

6) 子どもたちは本文をさらなる正確さと理解によって読むために，適切な専門用語を用いながら，単語，文，文章レベルで英語の特徴をとらえ，論評するということを教わらなければならない［例として，形容詞，副詞の全般的効果としての貢献のし方，さまざまな文の長さと構造の効用，章と節の関係］。

学習領域

7) キーステージの間，子どもたちは次のような文学作品，ノンフィクション，ノンリテラリーの文章を通して，知識・理解を獲得しなければならない。

文学

8) 次の事項を取り扱うこと：
ａ．重要な児童文学作家による近代小説
ｂ．長く名声を得た児童向け小説
ｃ．質の高い現代詩

d．古典の詩
e．いろいろな文化や伝統をもとに書かれた文章
f．神話，伝説，言い伝え
g．劇の脚本。

ノンフィクションとノンリテラリーの文章

9) 次の事項を取り扱うこと：
a．日記，自叙伝，伝記，手紙
b．印刷物，ICT（情報通信技術）を基盤とした参考資料［例として，教科書，報告書，百科事典，ハンドブック，辞書，シソーラス，語彙集，シーディロム，インターネット］
c．新聞，雑誌，論文，リーフレット，小冊子，広告。

到達目標３：書くこと

指導は「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動が統合されるものとする。

知識・スキル・理解

作文

1) 子どもたちが教わらなければならないこと：
a．ある特定の目的に沿うよう，形式と内容を選びとる［例として，読んだり考えをまとめたりするためのメモ，行動計画，娯楽としての詩］
b．語彙を広げ，創意に富む方法で使用する
c．読み手に応じた言葉と書式を用いる
d．書き方の特質を子どもたちの読み能力に即して適宜用いる
e．レイアウト（割付け）や提示，構成の特徴を効果的に用いる

立案と起草

2) 紙やスクリーンに書く能力を発達させるため，子どもたちが教わらなければならないこと：
a．立案……初期の考えをメモし，発展させる
b．起草……考えを計画段階から構成的な文章へと展開させる
c．改訂……草案を変化させ，さらに良いものにする
d．校正……綴り，句読法の誤り，脱落，反復表現を点検する
e．提出……きちんとした，正しい，明瞭な最終の写しを用意する
f．自分たちと他者の書いたものを吟味し，評価する。

句読法

3) 子どもたちは書くことにおいて，終止符，疑問符，感嘆符，コンマ，引用符，文字・数字の所有格や省略に用いるアポストロフィなどの句読点を正確に使用することを教わらなければならない。

綴字法

4) 子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．音素を発音すること

ｂ．単語を音節や別の既知の語に分解すること

ｃ．綴り方の慣習の知識を適用すること

ｄ．共通の文字記号，視覚的図形，類似の知識を用いること

ｅ．ワードバンク，辞書，スペルチェッカーを用いて綴りを確認すること

ｆ．単語や綴り方の形式の知識を見直し増やす

語形論

ｇ．一般的な接頭，辞接尾辞の意味，使用と綴り方

ｈ．語形変化（屈折語尾）の単語の綴り方

ｉ．語族，語の起原や由来の関連性

ｊ．母音，子音，同音字（異形同音異義語），音節など，適切な用語法の使用

手書きと提示

5) 子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．筆記体，活字体ともに，できるだけ流暢にすばやく読みやすいものを書く

ｂ．さまざまな目的に合ったさまざまな手書きの形式を使用する［例として，地図や図解のラベルに用いる字，最終提出用の明瞭で整った手書き，迅速なメモ書き］。

標準英語

6) 子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．形式にこだわることの程度によって，文語の標準英語がどのように変化するか［例として，修学旅行について書いた友人宛の手紙と発表用報告書の違い］

ｂ．従属動詞，呼応，前置詞の使用方法など，標準英語とそうでないものの語法の違いのいくつか。

言語構造

7) 子どもたちが教わらなければならないこと：

ａ．名詞，動詞，形容詞，副詞，代名詞，前置詞，接続詞，冠詞など単語の種類と文法上の機能

ｂ．主張，質問，命令など，さまざまな文章の型の特徴と使用方法［例として，命令の際に使用される命令法］

c．節，句，接続語など，複文の文法
d．段落の目的や構造的特徴と意見の絡み方。

学習領域

8) キーステージの間，以下の目的，読み手，書き方の形式に注目することにより，子どもたちは知識・スキル・理解を獲得しなければならない。
9) 書くことの目的として，次の事項を取り扱うこと：
a．言語の創造的な使用方法と読者の引きつけ方に注目して，感情や思想を想像し探究すること
b．主題と読み手に十分詳細に伝達する方法に注目して，通知し説明すること
c．議論と証拠の構成方法や読み手が納得する言語使用に注目して，説得をすること
d．話題と著者の見解の両方に注目して，読んだもの，見たもの，聞いたものに対し概観し，論評すること。
10) また，子どもたちは，思考，研究，編成，学習の手助けとしての書き方を教わること。
11) 書き方のための読み手には，教師，クラスの仲間，他の子どもたち，大人，より広い集団，想像上の読み手が含まれること。
12) 書き方の形式には，物語，詩，劇の脚本，報告，説明，意見，指示，論評，事実の記録が含まれること。

（４）全国リテラシー戦略（第３学年）

全国リテラシー戦略

３学年　１学期

範囲
物語と詩：馴染みある設定の物語；劇；感覚と観察を基にした詩；形態を用いた詩。
ノンフィクション：(ⅰ)興味深い話題の情報本，(ⅱ)非年代記的報告；(ⅲ)シソーラス，辞書。

単語レベルの取り組み：

発音，綴り方，語彙
子どもたちは次の事項について教わること：
キーステージ１からの復習とまとめ
1　長母音を含んでいる単語の綴り方について，キーステージ１（付録リスト３）より；
2　次の項目へ移行すること：
●発話や作文の際に音素の判別をすること；
●読むために音素の混合をすること；

●綴るために単語を音素に分けること；

3　高頻出の単語を正確に読んで綴れるために，キーステージ１（付録リスト１）より；

4　読みや綴りの際に音節を識別すること（２学年より）；

綴り方

5　自分の作文中で誤って綴られた単語を確認すること；自分のリスト（例，綴りログ）を携えること，それらを綴るように学ぶこと；

6　次の事項を含む，自分だけで綴る方法を用いること

●音素を用い，音に表して綴ること

●視覚的な見本を用いること，例えば，一般的な文字の連なりを知ったり不安な要素をチェックすること（i.e. 形や長さなどが正しいようであるか）；

●似通ったパターンや意味を持つ他の単語から書き出すこと，例えば，*medical, medicine ;*

●既知の単語の分析によって綴ること，例えば，*light, flight ;*

●ワードバンクや辞書などを用いること；

7　‘見る，言う，写す，書く，調べる’方法によって新しい綴りを定期的に練習すること

綴り方の慣習と規則

8　動詞において，*-ing*　が付いた後，綴りをどのように改めるか；

9　*little, muddle, bottle, scramble, cradle* の語の中における *le* という綴りのパターンの使用を調べ学ぶこと

10　共通の接頭辞を認識して綴ることと，それらがいかに単語の意味に影響するか，例えば，*un-, de-, dis-, re-, pre- ;*

11　元の単語から新しい単語を生み出す接頭辞の知識を用いること，特に反意語 *happy / unhappy , appear / disappear*；

12　専門用語‘接尾辞’を使用すること

語彙の広がり

13　他の教科の読みや学習により新しい単語を収集し，それらの分類や記録の方法を編み出すこと，例えば，個人的な辞書，語彙集；

14　知らない単語の意味を文脈から推測すること；

15　辞書の目的や構造を確実に理解すること；

16　シソーラスの目的や構造の理解と同意語を見つけるためにそれを利用すること；

17　高頻出単語に対して同意語を派生させること，例えば，*big, little, like, good, nice, nasty;*

18　専門用語‘同意語’を使用すること

19　対話の導入部分と結びの部分における共通の語彙，例えば，*said, replied, asked.*　読書から実例を集めること；

手書き

20　２学年からの基本的な接合の正確な形を練習すること：

●文字に対角的についてアセンダのないもの，例えば，*ai, ar, un*;

●文字に水平についてアセンダのないもの，例えば，*ou, vi, wi;*

●文字に対角的についてアセンダのあるもの，例えば，*ab, ul, it;*

●文字に水平についてアセンダのあるもの，例えば，*ol, wh, ot;*

21　文字の大きさやつりあいを整え，文字と単語の間隔をとることを習得すること。

文レベルの取り組み：

文法と句読法

子どもたちは次の事項について教わること：

文法的理解

1　新しい単語や知らない単語を判読するために文法の知識を用いること，例えば，文章からの推測，読み続けること，隙間をあけて読み返すこと；音素の知識，語の認識，書の知識，読む際の文脈と結合させて，これらの方策を用いること；

2　声に出して読む際，文法や句読法に注意する，例えば，文章，スピーチマーク，感嘆符，終止を意味するコンマ；

3　文章における動詞の役割

●それらなしでは文章の意味が分からないことに気付くこと；

●読書や自分の知識から動詞の例を集め分類すること，例えば，*run, chase, sprint; eat, consume, gobble; said, whispered, shrieked;*

●文中の単純動詞を変える試みをし，意味上でのインパクトについて話し合うこと；

4　発話，作文において，より正確に動詞の時制を使用すること，例えば，*catch/caught, see/saw, go/went* など。叙述の際には一貫して過去の時制を使用する；

5　動詞という専門用語を適切に使用する；

作文と句読法

6　読みにおいて，疑問符，感嘆符の確実な知識の取得することと，それらの目的や自分の作文における適切な使用法を理解すること；

7　次の事項を通じての話の句読法の基本的なしきたり；

●読みにおいてスピーチマークをとらえること；

●自分の作文で使用し始めること

●直接話法の始まりを印す際に大文字を使用すること；

8　‘スピーチマーク’という用語を使用すること；

9　本文を表現するいろいろな方法に気づき，調べること，例えば，吹き出し，拡大やイタリック体での印字，キャプションとヘディング，折込み広告の活字。それらの目的を探究し，実例を集める；

キーステージ１からの復習とまとめ

10　読みや自分の作文において，文の区切れがはっきりわかること；

11　（文法的に）完全な文を書くこと；

12　文の終わりはピリオドで，始まりは大文字で区切ること；

13　リスト中のアイテムを分けるためにコンマを用いること。

テキストレベルの取り組み：

理解と作文

子どもたちは次の事項について教わること：

物語と詩

読解

1　物語の設定を比較すること，場面を描写する単語や述べているフレーズを選び取ること；

2　物語の中で対話がどのように表現されているか，例えば，主張，疑問，感嘆によって；対話を構成する際の段落の使われ方；

3　語り手や様々な登場人物の違いを表現しながら劇的な読みをすることにより，物語におけるさまざまな声に気付くこと；

4　劇の台本の読み，練習，発表

5　散文と脚本の主な違いを認識すること，例えば，散文や脚本の文章における，対話，舞台の指示，文章のレイアウトに注目すること；

6　同じ題材のさまざまな見解を比較しながら詩を声に出して読み，暗唱すること；そこで使われインパクトを与えている単語やフレーズの選択について話し合うこと，例えば，形容詞，力強く表現豊かな動詞，例えば，‘look’よりも‘stare’；

7　韻を踏む詩とそうでない詩の違いを見分け，レイアウトの効果についてコメントする；

8　自分たちの観点を支持する特定の単語やフレーズをとらえて，物語あるいは詩に対する自分たちの見解を表現すること

作文の構成

9　ブレーンストーミングや語の連想などによってテーマに合わせて考えを記述すること；

10　自分で対話の一節を作文するためのモデルとして読書をすること；

11　次の事項によって，自分で作る物語における場面設定を発展させること：

- ●知っている場所を短く書き表すこと；
- ●よくある物語の文体表現によること；
- ●物語を始めるため，終えるための文／フレーズを研究し，収集すること－再記述や物語の文章における形式的な要素をある程度用いること；

12　詩や短い文を書くために適切な単語やフレーズを集めること；単語で単純なパターンを作り，繰り返しの多いフレーズを用いる；想像力に富んだ比喩を使う；

13　適切な単語を選びながらカリグラムや形態の詩をつくり出すこと。クラスにおける作品集を作成する；

14　自分自身による朗読や対話活動をもとに，単純な脚本を書くこと；

15　物語を段落へと組み立て始めること；話の中の対話表現において，段落を使い始めること；

ノンフィクション

読解

16　事実とフィクションの区別を理解すること；‘ファクト’‘フィクション’‘ノンフィクション’という専門用語を適切に使用すること；

17　フィクションとノンフィクションの文書の形式と構造における違いに気づくこと；

18　内容，索引，表題，副題，ページ数，参考文献一覧を利用しながら情報を探し出すこと；

19　情報の表現方法を比較すること，例えば，IT情報も含み，さまざまな情報文を比較す

る；

20　情報の文章を読むこと，文章の要点や要旨をとらえること，例えば，そこにある４つか５つのキーポイントを取り上げながら，手がかりとなる単語やフレーズに気付くあるいは理解すること；

作文

21　本文を読み簡単な情報の記録をつくること，例えば，キーワードを取り上げたり１つ以上の情報からのメモをまとめたりしながら明らかにされた情報の図解を仕上げることによって；

22　既知の情報から簡単な非年代記的報告書を書くこと，例えば，考えを構築し表現するためのメモを利用しつつ自分自身の体験や読書から書くこと。知り合いを読み手として書く，例えば，クラスの他の生徒，教員，両親。

３学年　２学期

範囲

物語と詩：馴染みある設定の物語；劇；感覚と観察を基にした詩；形態を用いた詩。

ノンフィクション：(ⅰ)興味深い話題の情報本，(ⅱ)非年代記的報告書；(ⅲ)シソーラス，辞書。

単語レベルの取り組み：

発音，綴り方，語彙力

子どもたちは次の事項について教わること：

キーステージ１からの復習とまとめ

1　キーステージ１（付録リスト３）からの長母音を含んでいる単語の綴り方について；

2　次の項目へ移行すること：

- ●発話や作文の際に音素の判別をすること；
- ●読むために音素の混合をすること；
- ●綴るために単語を音素に分けること；

3　キーステージ１（付録リスト１）からの高頻出の単語を正確に読んで綴れること，；

4　読みや綴りの際に音節を識別することへ移行すること（２学年より）；

綴り方

5　自分の作文中で誤って綴られた単語を確認すること；自分のリスト（例，綴りログ）を携行し，それらを綴るようになること；

6　次の事項のように，独力で綴ることができる方法を用いること

- ●音素を用い，音に表して綴ること
- ●視覚的な見本を用いること，例えば，一般的な文字連なりのを知ったり間違いやすい傾向を調べたりすること（i.e. 正しくみえるか形や長さはどうか）；
- ●似通ったパターンや意味の単語から書くこと，例えば，*medical, medicine ;*
- ●既知の単語の分析によって綴ること，例えば，*light, flight ;*
- ●ワードバンクや辞書などを用いること；

7　‘見る，言う，写す，書く，調べる’方法によって新しい綴りを定期的に練習すること

綴り方の慣習と規則

8　er や est，y が付けられると語はどう変化するか；

9　名詞に s が付けられるときの綴り方の基本的な変化の法則を調べ，確認する；

10　発音されない文字が含まれている語を調べ，綴り，読むこと，例えば，*knee, gnat, wrinkle;*

11　専門用語 ‘単数形’‘複数形’を正しく使うこと；

12　複合語を認識し書くこと，例えば，*playground, airport, shoelace, underneath;* また，この知識を綴るときの手引きとして利用すること；

13　一般的な接尾辞を認識して綴ることと,それらがどう語の意味に影響するか,例えば,*-ly, -ful, -less;*

14　語根から新たな語を派生させるため，接尾辞の知識を用いること，例えば，*proud/proudly, hope/hopeful/hopeless;*

15　語の省略の際はアポストロフィを使用すること，例えば，*don't, can't;*

16　専門用語‘接尾辞’を使用すること；

語彙の広がり

17　他の教科の読みや学習から新出単語の収集を続けること

18　知らない単語の意味を文脈から推測することと，可能性のある意味を探し出す，例えば，ある文中の‘ochre’という単語について，何が最もふさわしい意味として考えられるか，またその理由を話し合う；

19　単語の綴りや定義を学んだり調べたりするために辞書を利用すること；

20　表現をより明確，正確にしながら自分自身の単語の定義を書くこと；

21　専門用語‘定義’を使用すること；

22　辞書の性質を知ること，例えば，m は半分くらいのところ，t は後の方にあるということ；

23　最初の２文字を使ってアルファベット順に単語や情報を整理すること；

24　反意語を探すこと，例えば，*upper/lower, rude/polite;*

手書き

25　２学年の４つの基本的な手書きの接合の使い方から，基礎的な接合の正しい形を練習すること：

- ●文字に対角的についてアセンダのないもの，例えば，*ai, ar, un*;
- ●文字に水平についてアセンダのないもの，例えば，*ou, vi, wi;*
- ●文字に対角的についてアセンダのあるもの，例えば，*ab, ul, it;*
- ●文字に水平についてアセンダのあるもの，例えば，*ol, wh, ot;*

26　文字の大きさやつりあいを整え，文字と単語の間隔をとることを習得すること。

27　練習を通して，手書きの速さ，なめらかさ，読みやすさを増進させること。

文レベルの取り組み：

文法と句読法

子どもたちは次の事項について教わること：

文法的理解

1　新しい単語や知らない単語を判読するために文法の知識を用いること，例えば，文章からの類推，読み続ける，間をあけて読み返すこと；読む際に，音素の知識，単語の認識，図形に関する知識，文脈という方法とともにこれらの方策を用いる；

2　次の事項を通じて文中の形容詞の機能の把握；

- ●読み合わせの中で形容詞を把握すること
- ●それぞれの共通点を話し合い，定義すること，例えば名詞とみなされる語；
- ●形容詞の削除や代用を試み，その意味への影響に注目すること；
- ●形容詞を収集し分類すること，例えば，色，大きさ，雰囲気；
- ●共同での作文を通して，さまざまな形容詞の効果を試みること；

3　専門用語の‘形容詞’を適切に使用すること；

4　次の事項を通し，複数形の知識を広げ理解すること：

- ●スピーチや読み合わせの中で，単数形と複数形の使い方を認識すること；
- ●文を単数から複数へ，また複数から単数へ変換すること，どの語を変化させる必要があり，どの語がないかについて注目すること；
- ●専門用語‘集団名詞’について理解することと，実例を集めることー新しい集団名詞を考案してみる；
- ●複数形になる語とならない語について注目すること，例えば，*trousers, rain;*
- ●名詞の一つの基準として複数形にすることを認識すること；

5　専門用語の‘単数形’と‘複数形’を適切に使用すること；

作文と句読法

6　読みの中で，どこにコンマが出てくるかに注意することと，読み手への補助としての機能について話し合うこと；

7　読み関して，専門用語‘コンマ’を適切に使用すること；

8　読み以外の大文字使用の利用方法，例えば，名前，見出し，強調，詩における新たな行の出だし；

9　どの語が意味を保持するのに不可欠で，またどの語がそうでないかを見るため，文中の語を削除してみること；

10　次の事項を通じて，一人称，二人称，三人称における動詞の違いを理解すること，例えば，*I/we do, you/you do, he/she/they do/does,*

- ●実例を集めて分類し，単数人称と複数人称間の違いに注目すること；
- ●利用可能な目的について話し合うこと；
- ●さまざまな形式の文章に関係づけること，例えば，日記や個人的な手紙における一人称，指示や指導における二人称，物語や順序立ててのべることにおける三人称；
- ●文を変形させてみて，変える必要のある語に注目する；

11　発話や作文において，文法的呼応の必要性を理解する，例えば，*I am; we are.*

テキストレベルの取り組み：

理解と作文

子どもたちは次の事項について教わること：

物語と詩

読解

1　伝統的な物語の言語の形式や様態について調べること－実例を集める，例えば，物語の始まりと終わり；場面の出だし，例えば，*'Now when...', 'A long time ago...'*；自分自身の作文で取り上げ，比較し，使用する；

2　典型的な話の主題をとらえること，例えば，苦難と喪失，悪の上に成り立つ善，強さを超えた弱さ，愚かさあっての賢さ；

3　主要なよく出てくる登場人物をとらえ，行動を評価し，考え方を理解する；

4　適切な表現，語調，音量，声の使い方，他の音をとらえながら，パフォーマンスのため詩を選び準備すること；

5　句読点や意味に注意しながらパフォーマンスを試演し改良すること；

作文

6　後で推敲され得るわずかな単語を用いて，いかに要点をつかむかということを考慮しながら，物語の構成における要点を立案すること；さまざまな立案方法を話し合う；

7　多様な方法で，描写やキーとなる出来事のを描写し配列する，例えば，一覧表にすること，図表で表すこと，地図を作ること，簡潔なストーリーボード（場面の変化を順に示す素描画を貼るパネル）を作ること；

8　行動やや登場人物を描写した物語の文章を用いながら登場人物の像を描きだすこと，また，多様な方法で登場人物を表現すること，例えば，ポスター，ラベルの貼られた図，それらについての友人への手紙；

9　読書で得た物語の主題を登場人物を変えたり設定を変えたりしながら利用し，自分自身の神話，寓話，伝説の物語案を作る；

10　典型的なフレーズや表現をそのまま用いながら，同じ登場人物，設定による伝統的物語の続きを書く，そしてそれらを作文の時の構成の手助けとして使用すること；

11　'パフォーマンス'や朗読のための口述詩をモデルとして，パフォーマンス用の新しく形にとらわれない韻文を書くこと，例えば，リズム，反復；

ノンフィクション

読解

12　指導書のさまざまな目的をとらえること，例えば，レシピ，ルートファインダー，タイムテーブル，指示書，計画，規則

13　ITや他のメディアテキストなどの特定の指導書の長所や限界を話し合うことと，それらを他のものと比較すること，ふさわしい箇所には，全体の評価をすること；

14　指導書はどのように構成されているか，例えば，一覧表，番号のふられた点，矢印のあるダイアグラム，ブリットポイント（一言で表す手法），手がかり；

15　簡単な指示を読み，従うこと；

作文

16　文中のリストのための一覧表，ダッシュ，コンマなどの構成上の工夫をしつつ，また，正しい文の重要性を認識しながら，ゲームのための規則や，レシピなどの指示書を書くこと；適切であるよう'作文の枠組み'を手引きとして使うこと；

17　次に挙げる例を通じて明瞭な注釈を作ること：

●注釈づくりの目的を話し合い，簡単な例をみること；

●ある注釈が使われる目的を明らかにすること；

●読みにおいて，手がかりとなる語，フレーズ，文をとらえること；

●注釈，一覧表，見出し，電報など考えやメッセージを短く記述する方法を探究し，いくつかの単語は，それを意味する上で他よりも基礎的なものであることを理解すること；

●キーポイントをつかむため，単純なフォーマットを利用すること，例えば，フローチャート，‘賛成’‘反対’のコラム，作文中や画面上で書き込む表；

●念頭におく読み手を特定すること i.e. 自分自身，他者。

３学年　３学期

範囲

物語と詩：冒険やミステリーの話；同じ著者による物語；ユーモアのある詩，言語で遊ぶ詩，ワードパズル，謎かけ。

ノンフィクション：（ｉ）ある目的のために書かれた手紙；語り，説明，問い，祝福，苦情など，（ii）ＡＢＣ順のテキスト，辞書，百科事典，索引など。

単語レベルの取り組み：

発音，綴り方，語彙

子どもたちは次の事項について教わること：

キーステージ１からの復習とまとめ

1　キーステージ１（付録リスト３）からの長母音を含んでいる単語の綴り方；

2　次の項目へ移行すること：

●発話や作文の際に音素の判別をすること；

●読むために音素の混合をすること；

●綴るために単語を音素に分けること；

3　キーステージ１（付録リスト１）からの高頻出の単語を正確に読んで綴れること；

4　読みや綴りの際に音節を識別すること（２学年より）；

綴り方

5　自分の作文中で誤って綴られた単語を確認すること；自分自身のリスト（例，綴りログ）を携行し，それらを綴るように学ぶこと；

6　次の事項のように，自分ひとりで綴る方策を用いること

●音を出してみて，音素によって綴ること

●視覚的なスキルを用いること，例えば，一般的な文字の連なりを知ったり間違いやすいものを調べたりすること（i.e. 正しそうか，形や長さなどはどうか）；

●似通ったパターンや意味を持つ他の単語から探しだすこと，例えば，*medical, medicine ;*

●既知の単語の分析によって綴ること，例えば，*light, flight ;*

●ワードバンクや辞書などを用いること；

7　‘見る，言う，写す，書く，調べる’方法によって新しい綴りを定期的に練習すること

綴り方の慣習と規則

8　綴ることの手助けとして，長い語中の短い語をとらえること；

9　接頭辞 *mis-, non-, ex-, co-, anti-* を認識して綴ること；

10　語根から新たな単語を派生させるため，接頭辞の知識を用いること，また，意味の手がかりを示す方法を理解すること，例えば，*lead/mislead, sense/nonsense,*；

11　短縮形を綴るため，アポストロフィを使用すること，例えば，*couldn't ;*

語彙の広がり

12　読書や他の教科での学習から新しい単語の収集を続け，それらを読み書きの際に利用すること；

13　*shouted, cried, yelled, squealed,* など，会話の部分を書く際に有効な同義語を集め，意味上の効果を探究すること，例えば文中でそれらの同義語を代用してみる；

14　同じ綴りだが多くの意味をもつ同音異義語を探究することと，文脈でどのように意味が判別できるかを説明すること，例えば，*form*（形あるいは文書），*wave*（身振り，形あるいは動作）；

15　ある辞書は単語についてのより多くの情報を与えてくれることの理解,例えば,語源,様々な意味，綴り方の手引きをするもの；

16　読みや自分自身の経験で得た知識から一般的な表現を集め，調べ，分類すること，例えば，驚き，謝罪，挨拶，警告，感謝，拒絶の表現方法；

手書き

17　２学年の４つの基本的な手書きの接合の使い方から，基礎的な接合の正しい形を練習することと，それらを自分の作文の際に用いること：

●文字に対角的についてアセンダのないもの，例えば，*ai, ar, un*;

●文字に水平についてアセンダのないもの，例えば，*ou, vi, wi;*

●文字に対角的についてアセンダのあるもの，例えば，*ab, ul, it;*

●文字に水平についてアセンダのあるもの，例えば，*ol, wh, ot;*

18　文字の大きさやつりあいを整え，文字と単語の間隔をとることを習得すること；

19　練習を通して，手書きの速さ，なめらかさ，読みやすさを増進させること。

文レベルの取り組み：

文法と句読法

子どもたちは次の事項について教わること：

文法的理解

1　新しい単語や知らない単語を判読するために文法の知識を用いること，例えば，文章からの推測，読みとばす，間をあけて読み返すこと；読む際には，音素の知識，単語の認識，書の知識，文脈という方法とともにこれらを用いること；

2　次の事項などにより，代名詞をとらえて，それらの機能を文中で理解すること：

●発話や読みの中で,それらがいかに名詞の代わりに位置しているかに気づくこと;

●自分自身の作文の中で,代名詞を共通でふさわさしい名詞の代わりに用いること;

●*I, you, him, it* などの人称代名詞と *my, your, hers* などの所有代名詞を識別すること；

●前学期の一人称と三人称の学習に関連させて，さまざまな人物に代名詞を用いるため文脈や目的を考えながら *I, me, we; you; she, her, them* などの代名詞の一人称，二人称，三人称を識別すること；

●*he, she, they,* など性別を示すためにどのように代名詞が使われているかを調べること；

3　標準英語で，*I am, we are*, など，代名詞と動詞の発話や作文において文法的呼応を確実にすること；

文の構築と句読法

4　作文においてスピーチマークやそのたの会話的句法を適切に使用し，会話と文章のその他の部分を分ける慣例を使う。

5　*and* や *then* などに加え，いろいろな種類の接続詞を使うことで文はより複雑に接続できること，例えば，*if, so, while, though, since, when*。

6　読みと作文を通して，単語やフレーズがどのように時系列を示すことができるかを調査する。例えば，*first, then, after, meanwhile, from, where*;

7　文中の文法的境界を示すためにカンマをつけることを理解する。

テキストレベルの取り組み：

理解と作文

子どもたちは次の事項について教わること：

物語と詩

読解方策

1　物語の重要なポイントを順番に再現して話す；様々な物語を比べる；物語を評価し，自分の好みを主張する。

2　例えば，はじまりや展開や雰囲気など文章における重要な側面について言及し，記述において形容詞をつかうことなど，言語はそうしたものを作り出すためにあることを理解する。

3　一人称と三人称の違いを見分ける。

4　例えば，書かれたものや物語として再現された実際の冒険物語を選んで，できごとの信頼性を考察する。それらをフィクションと比べてみる。

5　文章を検討して判定し，（ⅰ）登場人物の感情（ⅱ）行動，例えば公平か理不尽か，勇敢か愚かかなど（ⅲ）関係，について討議する。

6　例えば，形式やユーモアの型を探し，集め，分類することで比較する。例えば言葉の遊び，ふざけた詩，言葉のゲーム，ばかばかしいもの，警告的な話，ナンセンス詩，カリグラム；

7　言葉によって演じたり楽しませる心情詩を選び，準備し，音読し，聴衆の前で朗吟する；韻文，頭韻，やその他効果のある音の型式を知る。

8　同じ著者の作品を比較対照する。様々な物語。例えば同じ登場人物を新たな場面でつかう続編。類似のテーマをもつ物語。

9　著者について理解する。好みとその理由について討議する。

作文技術

10　作文の計画として，知られている物語をモデルに出来事の順序を立案する。

11　読書から得られた物語や章の出だしを書いてみる。; 効果を生み出す言葉に注目する。例えば，緊張を生む，サスペンス，ムードを作る，情景を設定する。

12　一人称による記述を書く。例えば物語の中で登場人物によって出来事を記述するように書く。

13　出来事の計画に基づいて，物語をさらに展開させて書く。またタイトルや著者の詳細を加えた，章立てをつくる。; 語りを組み立てるように段落をつくる。

14　特定の読み手を念頭に置き物語の構成や登場人物や言葉を評価した，書評を書く。

15　例えば，擬音語や頭韻，特有のリズムなど効果音を使った詩を書く。

ノンフィクション

読解

16　いろいろな目的で書かれた手紙の例を読む。例えば，物語る，説明，調査，苦情，祝福，評論など。; 段落の使用，書き始め，書き終わりなどの方法，フォーマル，インフォーマルなど様々な読み手にあわせること，を含んだ形式やレイアウトの理解。

17　情報をすばやく性格に見つけ出すためにお，索引や目録，情報リソースを細かく調べる。

18　教室や学校図書館において，分類されている本から見つけ出す。

19　文や文章の内容やその重要なポイントを一文によって口頭で要約する。

作文

20　他の教科における学習に関連した手紙，注意書き，メッセージを書き，学校内で連絡しあう。; 想定する読み手にふさわしい形式と語彙を使って，本について著者に手紙を書く。

21　出版物の形式にするためにITを使う―読み手にふさわしいレイアウト，フォントなどについて話し合う。

22　例えば，物語，手紙，ニューズの報告など様々な方法で，同じできごとを伝えることを試す。

23　手紙を簡単なパラグラフに整理する。

24　ABC順の文章を作る―他の教科，自分の体験あるいは，工作のしかたやスポーツなど他の本からの情報を使う。

25　前学期から作っているノートを修正し拡張する。

26　作文において文や文章の内容や重要なポイントを要約する。

（新井浅浩）

１．３　フランス

学習指導要領（フランス語）

Ⅰ．序文

１．要求の多い学校

この２１世紀の初めにおいて，初等学校は共和主義的な学校の偉大な着想に忠実でなければならない。すなわち，すべての子どもに，平等な機会とフランス社会での統合の成功をもたらすことである。初等学校は，同時に，近年の歴史の大きな変化を無視することはできない。なかでも最も積極的な側面は，修学期間の延長である。初等学校がそれ自体で自足し，リセと関係なく，並行した制度として発展したのは遠い昔である。今日では，義務的には 16 歳まで，大多数の者には 20 歳あるいは 22 歳まで継続する，長い行路の最初の段階である。したがって，初等学校は，一人ひとりを資格に導く複雑で長い期間の教育がその上に築かれる基盤とならなければならない。資格は，大多数の者には高い水準のもの，すべての者には生涯を通じて明示すべきものである。基礎の教育は手軽なものを意味するものではない。「初歩的な（élémentaire)」という言葉が簡単すぎると同義であるならば，もはや適切ではない。こうした目的を十分に考慮して，初等学校は，記憶と創意工夫の力，厳密さと想像力，注意と自律性の学習を同時に働かせるよう，高く要求することのみが可能である。

学校教育が直面する挑戦はますます複雑化している。それは，毎回一層注意深く，どの児童ものけ者にされることがないよう確かめながら，絶えず目的の地平を広げるよう強いる。現代外国語の学習がこれに当たり，それにより，世界の大多数の国々と共有される要請にフランスが応えられなければならない。効果的であるためには，最も幼い年齢から始めるべきであり，単に関心を持つことに限定することはできない。したがって，コレージュにまで引き継がれる本物の教育が必要とされる。しかし，失敗を生み出すいかなる過重負担も避けるためには，現代外国語は，初等学校の他のすべての領域と，特に絶対的な優先事項である言語及びフランス語の修得と関連付けられるべきである。

ますます多様になり，後には教育の様々な道の中から選択すべき児童に直面し，学校は，非常に早くから，一人ひとりの児童の適性の複数性と多様性を考慮し発達させるとともに，彼(女)らが学習指導要領に定める共通の目標に到達することを可能にしなければならない。推論と知的省察の重要性は過小評価することはできないが，その上で，観察の意義，実験への関心，感受性と想像性を発達させなければならない。芸術教育，体育，科学技術教育も学校教育の代替できない要素である。

すべての児童の成功を願う共和主義的な学校の不変的な要請を見失うことなく，こうした先進的な必要に対応することは，新しい学習指導要領とともに，教育の一定程度の再編成を必要とする。

２．共有される一つの学校的教養

２つの主要な軸である言語及びフランス語の習得と公民教育が初等教育を構成する。国語の伝達は基本的目標である。フランス語を我が家のように感じることはあらゆる知識に至るために不可欠である。初等学校の全体を通して，この要請は教員の絶えざる関心とならなければならない。保育学校では，音声による表現が優先され，書き言葉との接触が準備される。読めることと読みたいと思うことは小学校の最初の学級の主要な目標である。基礎学習期の終わりから，児童は容易に読み，簡単な文章を理解できなければならない。この読みの学習は深化学習期の全体を通して継続される。児童はそこでより長く多様で複雑な文章と出会う。彼(女)らは全教科において，多様な書き言葉，すなわち，小説，歴史的物語及び資料，地理的叙述，科学的実験の報告を通して，読むことを学ぶ。この学習期において非常に有益な読みのアトリエが多様な領域において設けられなければならない理由がここにある。文学の読みのアトリエは最も時間数も多く最も定期的に行われる。歴史，地理，科学の読みのアトリエは，取り扱う主要テーマごとにきちんと行われる。書くことの学習は，保育学校から準備される長い獲得の成果である。基礎学習期の最後には，児童は，語彙，統語法，つづりの問題を習得しながら，５行から 10 行の文を書けなければならない。この学習は，多様な教科に特有の文の作成により，深化学習期まで延長される。文学における物語や詩，歴史や地理における短いまとめ，実験科学における実験記録，視覚芸術における企画と簡単なシナリオなどがそれである。

公民教育は，簡単で正確な知識とともに，行動と態度を含む。公民教育がしっかりとして効果的であるためには，基礎学習期の終わりまでに，自分と他者の尊重から，「共同生活」の制約を徐々に発見する中で構成されなければならない。規則正しい意思疎通の学習は最良の手段の一つである。一人ひとりが自分の発言を抑え，他者に発言の機会を与え，その視点を理解し―それを共有しなくとも―，議論しながら説得しようと試みる話し合いを保つことは，民主主義の教育の最初の形態である。児童が市民的価値の存在に気づき始め，多様な教科から，その反省を培い，市民であることによりよく準備させうる最初の知識を得るのは深化学習期からである。

多様な教科領域が初等学校の全体を通じて徐々に現れる。それは保育学校には存在しない。保育学校の教育課程には，記憶すべき知識の一覧も時間配当も含まれていない。このことは子どもたちがそこで何も学んでいないことを意味するものではなく，むしろ逆である。学習の課程は，小学校の学習期と同様に，厳密で要求の高いものでなくてはならない。基礎学習期から，外国語又は地域語，小学校の最初から，算数，芸術教育と体育・スポーツが現れる。深化学習期では文学，歴史と地理，実験科学と技術が始まる。情報通信技術は単独の教科としては組織されない。それは多様な学校活動に役に立つ道具であり，その積極的な獲得は，情報通信免状につながる。それにより教科横断的アプローチと世界への開放が促される。静止画であれ動画であれ，絵・映像も同様であり，大多数の教科領域で活用され，視覚芸術の枠内ではより深い形で理解される。

徐々に教育を教科領域に編成していくことは，しかし，初等学校のさまざまな学習の統合が忘れ去られるべきであるということを意味するものではない。教員は，領域間の連携やある領域から別の領域への投げ返しをふやすために，複数教科担任制の利点を生かす。こうして，教員は，高い要求水準を維持しながら，練習を無秩序に積み重ねることを避け，しっかりとした知識の構築を保証する。これにより，学校は，一人ひとりの児童が，それ

なしではすでに出会った知識やこれから出会う知識がばらばらのままであるような，文化的基盤を獲得させることができる。

言語とフランス語の習得は，実際に，一つの文化の多様な側面，すなわち，文学的，歴史的及び地理的，科学的及び技術的，身体的及び芸術的側面の獲得と切り離すことはできない。学校の基礎的目標―話す，読む，書く，計算する―と確実なそして多様な知識は対立するものではない。それらが相互に構築され強化されるのは一つの同じダイナミズムにおいてである。読むことにおいても同様である。初期の学習の時間を経て，文章の理解の元となり，読み手を効果的にするのは，歴史と地理や科学の授業を通して，あるいは，文学や芸術に頻繁に接することにより，獲得された知識である。いくつかのこの関係が思い起こされると，教員は，他の関係も築くことができよう。

本学習指導要領は，1989 年の新教育基本法の展望に含まれ，これまでの法令ですでに認められる一つの進展を強化するものである。その連続性はさらに古くまでさかのぼる。野心の大きさ，児童の自発性への訴えかけは，たとえば，新しい期待ではなく，その繰り返しは，その実施に含まれる困難の明白な証拠である。すでにジュール・フェリーにより定められた 1882 年の通達は次のように述べている。従うべき方法は，「一連の機械的な手順のなかにあるのではなく，読み，書き，計算といったコミュニケーションの初歩的道具の学習のみにあるのでもなく，講義の多様な章を児童に提示する授業の冷たい連続にあるのでもない」と。それは次のように付け加えている。「初等教育に適した唯一の方法は，教師と児童に順番に発言させる方法，双方の間において，多様で，柔軟で，巧妙に段階付けられた形態により，いわば，絶えざる意見交換が行われる方法である」。1923 年の通達は 1970 年代までの我々の学校の基礎であり，さらには 80 年台に出される指針を先取りするものであった。すなわち，「児童を消極的にさせる観察よりも，我々は，初等学校において実施可能の範囲で，積極的役割を児童に与える実験を選ぶ。いくつかの学校では小学校第 1 学年の児童は自分たちで液体の量を測り，比重の違いに気づく。いかに喜びながら彼(女)たちが記録を取っているかを見なければならない。我々は，こうした実践が一般化し，至るところで児童が授業の準備，材料と資料（絵葉書，植物や昆虫など）の収集に協力することを望んでいる」。

教員の仕事を容易にし，小学校とコレージュのより効果的な接続を保障するために，学習指導要領の各部の最後に，保育学校，基礎学習期，進化学習期の最後に要求しうる能力の一覧を載せている。それぞれでは，一方で，態度と技能（～ができる），他方では，知識（理解し記憶したもの）を区別している。こうして小学校で正当に期待されるもの，共通教養の最初の水準が定義される。

３．すべての者の成功

能力の体系的な目録は，教育内容の系列の終わりごとに，あるいは，基礎学習期の評価の時（第３学年の初め）のように教育の展開にリズムを与える大きな機会に，評価の基盤を提供する。こうした評価の強化が，児童に烙印を押したり，時期尚早に類別したり，運命となるようなカテゴリーに閉じ込めたり，さらには，かつての流刑の体系を復活させたりすることになってはならない。それは，すべての児童の成功を保証するために教員を支援する手段である。それがもっとも弱いものを失敗に閉じ込めるのであれば，その目的を

果たすことにはならない。それはまた，保育学校の終わりと小学校の初めに児童の言語の上達を計るための道具である。これまでになく，唯一の基準は，極端に困難な場合にも，児童に向けられた肯定的なまなざしである。教員は，欠けている点よりもすでに獲得した成果に価値を置き，水準よりも進展を計り，そこから一人ひとりの児童の成功を保証するための方策を引き出すよう気を配るべきである。

実際に，学校での成功に対する障害について一般的な取り扱い方はない。つまり，それぞれの場合は特有であり，とりわけ支援と進度の個別化計画（PPAP）にみられるように，長期間にわたる特別の分析と処遇が必要である。それはすべての教育に必要な多様化を思い起こさせる機会である。

一人ひとりに対するまなざしが個別化されるとしても，それが唯一であるべきではない。弱い児童への同伴支援は，近隣の保育学校やコレージュとのネットワークによる活動を必要としている。学習困難児に対する特別支援ネットワーク（RASED）の支援が求められる場合も，その担当は学校又は学習期の教員チームの責任である。教員は多様な方法（指導付き学習，情報通信技術，芸術・文化プログラム，身体活動・スポーツ）を用いることもできよう。児童に自信を取り戻させるためには，練習を増やすよりも教育的な回り道の方が効果的でありうる。

保護者と一定して保たれる関係や密接な連携は問題の解決を可能にする。この継続的な信頼関係により，保護者は学校で行われる学習を理解し支え，教員はその要求の理由を説明し，家族の話を聞き入れることができる。それがなければ，失敗の，場合によっては脱学校化のおそれが生じる。

４．時間配当と教育課程の編成

本指導要領の最後に示す小学校の時間配当は４日と半日からなる１週間を基礎として作られている。半日単位で 15 分間は休み時間としてそこから差し引かれなければならない。学校ごとに１週間の編成に違いがあることを考慮し，移動学級や課題別計画（特に芸術・文化計画）のような特別の教育形態をよりよく統合することができるように，時間配当は年間単位の配分として表されるべきである。いくつかの場合，その活動の計画化にとって重要な裁量の幅を教員に委ねるために時間配当の上限と下限が示される。同様に，指導付き学習に当てられた特別の時間配当の廃止は，その学習がなくなることを意味するものではなく，学年を通して，又は一定の期間に，学級の特別な必要に応じてこの学習を活用するために，教員の補足的な自主性に委ねられる。

この柔軟性により，学習期の教員チームは教育をより一層必要に合わせ，教員は各段階で適切なリズムをとることができる。その上，学習期委員会は，実態に応じて，あるいは他の理由により，一定の活動により大きな重要性を与えるよう決定することもできる。学級生活のための話し合いに当てられる 30 分の時間についても同様であり，困難が生じた場合や特別な計画を作成するときには，増加されうるものでなければならない。さらに，各領域が自閉するものではない限り，時間配当は文字通り解釈される必要はない。すべての領域は言語の習得にかかわり，その時間の一部は必ずそれに充当される。この教育課程の教科横断的編成は，すでに基礎学習期に現れ，深化学習期で明確に主張されるものであるが，それ以外の区切り直しも可能である。視覚芸術において，教員は映像の読み方に導き，

それを利用するすべての教科の学習を助ける。地理において児童に風景を教えなければならないときに，その見方を教えることに役立ち，したがって，視覚芸術の目標の一つを満たす。

こうした必要不可欠な自由は，年間の全般的なバランスや学習期の全体を通じた活動の計画を危うくするものであってはならない。学習期，年度，各学習期間の厳密な編成は必要不可欠である。それは学級の中に掲示されなければならない。日々のノートに関する指標により，行われた学習を帰納的に点検することで仕上げられる。試みた活動の総括を定期的に行い，評価によってその効果を計ることも有益である。こうした検討は，学習期の教員チームで行われることが望ましく，それにより学習の計画を再考し，場合によっては修正することができる。

１日や１週間の編成がいかなる形態であろうと，一つの命令がすべてに課せられる。すなわち，さまざまな活動領域を通して，十分な時間をとり，すべての児童に毎日読み書きを行わせ，コレージュでの教育から十分に利益を得ることができるような自律性に導くことである。特別な枠付けが基礎学習期と深化学習期の時間配当において明確にこの点を思い起こさせる。

教育目標を中心とする学校教育計画は，教員チームが到達目標を尊重しつつ最もよくその児童に適した計画を編成するために用いる道具である。それは，必要な連続性を保障し，必要不可欠な段差に対して援助しなければならない。児童の進度には，実際，この両方が含まれている。保育学校と小学校の教員間の定期的協力は，小学校とコレージュ教員と同様に，唯一，義務教育の終了までの児童生徒の学習に一貫性を与えうる。

５．学習の道具

本指導要領は，定められた教育内容のみならず，その方法と効果的で首尾一貫した形でそれを適用しうる活動の編成を詳細に説明する伝統を引き継いでいる。特に保育学校と基礎学習期における言語の習得がそれに当る。それでも，深化学習期の歴史や教科横断的課題，困難にある児童の成功などいくつかの点については，さらに明確に説明することが望まれる。したがってそれらについては，その適用に必要な詳細を与える実施要領により補われなければならない。活動計画の例や学習単元を含んだ情報カードは定期的に出版され，国民教育省の情報サーバー上で自由な利用に供されることになる。

教科書は再び学習の道具とならなければならない。それは，自律的な読みと探求の数多くの機会を児童に提供し，コピーの増加や細分化された知識の表現を許さない。その他にも，百科事典，辞典，マルティメディア製品は，教員の援助により，児童が参照する習慣をつける参考資料を構成する。できるところではどこでも，地域のコレージュの資料・情報センター（CDI）のネットワークに位置づけられる図書・情報センター（BCD），他の地域の図書館の発展は，この計画の実施に必要不可欠な支えとなる。

力強い文学的芸術的教養を発達させようとする意志は，初等学校から，新しい学習の道具を提案するよう導く。すなわち，実施要領において再編成される参照作品の一覧がそれであり，教員を援助し案内することができる。実際，世代を育て，依然としてその情感，省察あるいは夢の力を失ってはいない作品は存在する。その上，そうした作品は，それとの対話を絶えず行っている現代文学の基盤である。それらはすべての者により共有されな

ければならない。同様に，今日，共通教養の一部となる建築，音楽あるいは絵画の遺産があることは同意されている。芸術は時間や空間で遠く離れた他の文明を理解するための最も効果的な方法ではないか。初等学校から，こうした作品に児童の眼を向けさせることは早すぎるものではない。学校が行わなければ誰が行うのか。しかし，段階を無視してはならない。偉大な文学や芸術作品との出会いは，まず第一に，一人ひとりの児童にとって，単純に沈黙，見ることや聞くことを求め，共有される情緒に浸る特異な時間である。この修学期間の最初の段階において，分析の概要が示されるとしても，その先に行くのはコレージュからである。文学や芸術作品の説明と解釈は確固とした教養を前提とし，それは，数多くのそして多様な文学，芸術作品と早くから頻繁に接することによってのみ構築される。この領域では，初等学校は代替できない役割を演じる。

本指導要領の要求は多い。それは，わが国の期待と，知性を基盤とする 21 世紀の社会の必要に合ったものである。それは，学校のすべての他の大人との連携と，保護者の支援とともに，実施しうる教員に対する信頼の表れである。

Ⅲ．基礎学習期―第２期

はじめに

基礎学習期は保育学校（年長組）から始まり，この学年では，その教育方法を取り入れる。この学習期は，小学校の最初の２学年（準備級と初級第１学年）まで続き，そこには，書き言葉の技術への最初の導入を厳密で確実な学習に変えるという難しい任務が課せられる。この２つの段階の間で最良の接続を実現することは，それぞれの学校において読み書き計算に児童を導く責任を有する教員にとって困難な目標である。

基礎学習期が保育学校から始まるとして，子どもが文字文化の道具（算数もその一部である）を身につけるために行うべき努力の中心は，言語への関係を変える能力にかかわる。すなわち，読み書きとさらには計算も学ぶのは，まずは話し言葉の中である。したがって，保育学校の教員の仕事は，話せるためのみならず話し方のためにも言語に関心を持つように，担当するすべての子どもたちを導くことである。年長組の大部分は，教えるというよりも形作られるこの困難な変化に充てられる。

小学校の教員はこのダイナミズムに加わらなければならない。見方によっては，担当するこの学習期の２年間は保育学校の延長であり，部分的には継続してその方法に拠る。話し言葉への注意がそこでも依然として決定的に重要である。同様に，学校配置により可能ならば(そうであることが望まれるが)，２つの学校の教育計画がこの連携を丁寧に想定し，活動の共通計画を提案する。

たしかに，保育学校から小学校への移行は子どもにとって重大でありまた必要な段差である。そこには，それまでとは異なる大人との関係，同級生とのより複雑な社会的関係，より要求の多い知識との関係，より大きな自律性の責務などが見出される。しかし，見方を変えれば，基礎学習期と深化学習期の間にも，この態度や行動の変化が子どもを小学生に変えるとき，少なくとも同様に大きく，しかしあまり知られていない段差がある。

こうした観点から，基礎学習期の学習指導要領は，まず，保育学校と小学校の間の連続

性を提案する。実際に，そこでの教育は，教科領域よりもむしろ主要な活動領域から編成され，そのいくつかの領域は保育学校のそれと直接的な連続性を持つ点に気づかれるであろう。「言語とフランス語の習得」は，話し言葉と書き言葉の相対的な割合は逆であっても，まさにこれに当たる。「共同生活」も同一の方向性を持つ。すなわち，共同生活とその制約を徐々に受け入れ，同時に，その人格を形成するよう児童に伴い支援することである。「世界の発見」の場合は，保育学校と同様に，依然として好奇心の教育（人間界や物質界，生物や技術の世界，現実世界と仮想世界など）が優先的な領域であり，また同時に，時間，空間，物質，原因など，知識の主要な種類を構造化する最初の機会である。「言語とフランス語の習得」と「世界の発見」の間にある「外国語又は地域語」は，保育学校においてすでに垣間見られたが，基礎学習期において明示的に構造化される学習対象となる。ここに，この学習指導要領の重要な新しい点がある。一人ひとりの児童をフランス語とは異なる言語の最初の実践に導くことが大切である。特に，児童が耳にする資料のなかで発見する新しい抑揚，音，語を識別する能力と，模倣する喜びに力点が置かれる。また，別の地平，別の国，別の生活方法が存在すること，そして，その場合に，好奇心が知識となりうることを発見させることが大切である。

保育学校でわずかに示される「芸術教育」と「体育・スポーツ」の領域は，全面的に構成され，児童の成熟に助けられる。すなわち，新しい運動的行動ができるようになり，より複雑な道具や技術の利用への道を開く。あるいは，子どもの自律性と表現力は，その創造性がよりよい方法と習熟を伴って発達する枠の中で活かされる。

「算数」領域の場面は一層対照的である。たしかに，保育学校から，子どもは，数え上げるという方法により，身の回りの世界を数量化し始める。子どもはまた，空間あるいは平面において特定の形態に目印をつける。その特性のいくつかを取り出して，物を分類したり並べることができることを発見する。自分の判断する力やそれを用いる際に守るべき厳密さについて気づき始める。しかし，小学校においては，書くことを学ぶときと同様に，子どもに提案される経験の領域はまったく別のものである。算数とそのモデルはそこから本当に始まる。一方で，児童は，実際の場面で選び，決定し，行動するために数が与えてくれる力をより意識する。他方で，アルファベットの原則の機能を理解するときと同様に，児童は数を書くことのシステムの知性，数が説明することのできる関係，それが開く計算の可能性に接近する。鉛筆といくつかの道具を携えて，基礎学習期の児童は，自分にとって新しい世界を存在させることを学ぶ。

この意味で，算数の教育と文字言語の教育は基礎的学習において非常に強く関連付けられ，何世紀にも渡って学校の骨格を構成してきた。一方の領域で獲得された能力が他方の能力を強化することはまったく疑いを入れない。

この点で，「言語とフランス語の習得」が保育学校の学習と小学校の学習の間の連続性を表現しているとしても，それはまた，もっとも大きな段差が生み出される領域でもある。書き言葉の主要な技術を身につけることは，この学習期の地平において，たしかにまだ困難ではあるが豊かな可能性を含んだ自律性の訓練に子どもを導く。教員による仲介は文字文化や知識の世界に接近するための唯一の方法ではもはやない。これからは，児童は，語彙，統語法，つづりの問題を習得しながら，容易に読み，簡単な文章を理解し，10 行の文を書くことができる。

その時から，読み書きの学習が，なぜこの時期の主要な関心事として現れ，かつては理性への接近の時期として特徴付けられていたのかが理解される。また，この道のりにおいて困難が生じるときに生まれる不安が思い描かれる。

基礎学習期の過程において読み書きを覚えるに至らない子どももいる。この失敗の原因は非常に多様であり，またたいていの場合，この年齢で分析することは難しい。読字障害の可能性も，時折，想起される。専門家は，この種の診断は８歳以下では困難であると考えている。たしかに，５歳児検診の際に，医者は，この領域での当該児童の特定の弱さについて家庭と学校の関心を引き，特別の注意をうながすことはできた。しかし，当該児童が普通に読み書きを学ぶことができないことを確実に推測することはできない。したがって，この領域においては，学習期の教員チームに，忍耐の責務が注意のそれを補うことを考慮に入れることが課せられる。

特定の障害がなくとも，学習の準備段階で，児童の平均よりも長い道のりを必要とする子どももいる（特にアルファベットの原則を確立する場合)。必要な道具を備える時間がなかった場合，失敗に直面することもある。保育学校と小学校の連関，準備級の最初の数ヶ月の学習の多様化，当該児童の個別的な支援がここでは決定的に重要である。学習の道のりにおける児童への肯定的なまなざしは至上命令である。

言語の習得において家族自体が困難を有する児童や，様々な理由により，学校文化から隔てられたままの家庭で教育を受けている児童が就学する学校では，より頻繁に理解の問題に直面する。こうした場合，話し言葉とすべての活動領域において，この展開を反転させうる知識を作り上げることができる。いかなる場合にも，この努力に費やす時間を減らさないことが重要であり，しかも，この努力は基礎学習期の優先的目標である読み書きの学習の成功と密接に結び付けられるべきである。

保育学校の児童は，読むことができなくとも，豊かな文学的教養を育まれてきた。基礎学習期では,少年少女文学に頻繁に接することを引き続き優先事項としなければならない。児童が長く複雑な文章を取り扱うために十分に効率的に読むことができない程度に応じて，保育学校の学習技術が活用されなければならない。

このはじめにおいて，少々長く教員の直面する困難に言及するのは，この目的の実現を遅らせようとするためではまったくなく，反対に，修学の良好な継続の不可欠な条件である，基礎学習期の終わりに獲得される成果をよりよくするよう励ますためである。本学習指導要領において「言語の習得」の領域が占める位置はその決定的な重要性を表している。他の領域との間で絶えず確立される関係は，特に基礎学習期においては，いかに言語の習得が学習全体の統合軸になっているかを示している。

言語とフランス語の習得

目標

基礎学習期は，一人ひとりの児童が，文字文化のいくつかの主要要素に親しみながら，フランス語の読み書きを学ぶことを可能としなければならない。この学習期は，想起の言語（過去の出来事を思い起こさせる，計画を作成する，想像上の場面を言葉にする）に接近し，言語と文字文化に親しむことにより，保育学校から始まる道のりの最初の段階であ

る。児童向けの口承文芸と絵本に頻繁に接することは，多様な活動領域において蓄積される経験や知識と同様に，決定的に重要な要素である。児童が小学校に入学する時には，この目的に到る道のりは遠い。それは，コレージュは別としても，基礎学習期のみならず深化学習期まで同じ決然たる態度で目指されるべきである。

特に保育学校の最終学年では，読み書きの学習への根気強い準備により，学習が継続される。すなわち，フランス語の多様な音（音素）を聞き識別する。文字（文字素）がいかにその音を表現するかを理解する。多くの子どもたちにとって，この学習は小学校に入学したときに終わるものではない。この意味で，小学校第１学年を新しい教育の始まりとみなすべきではない。実際，第１学年では保育学校で始まった学習を継続し補完している。教員は，小学校に入学してきた児童の学習成果を確認することにより大きな注意を向けなければならない，そして，言語の領域において保育学校終了時の能力が欠けたままであるならば，年長組の活動を延長することに躊躇すべきではない。文字言語への接近は，第１学年のみならず，基礎学習期の全体にかかわる。

読むことの学習と書くことの学習は完全に相補的である。両者は常に同等に取り扱われ，相互に強化される。説明の明晰さのために区別されるときでも，両者は，授業においては，交互性を厳密に考えたうえで，同じ系統性の中で取り扱われることが大変重要である。

それぞれの学習において，基礎学習期の教育課程の多様は領域において構造化された知識，教員が自由に使える図書目録に挙げられた児童文学の著作と，児童の年齢に適した多様な資料等は文化的基礎となり，それなくしては，話すこと，読むこと，書くことは意味のないメカニズムとなろう。

教育課程

１．話し言葉の習得

音声言語の習得は，保育学校の活動の主要な領域であるが，基礎学習期の全体を通して同等の注意を払う対象でなければならない。その習得は，学級生活及び学校生活を構成する多様なコミュニケーション場面の練習において，また，一人ひとりの言語の発達と構成を明示的に目的とする時間において，強化される。

1.1　日常のコミュニケーション網において十分に自分の位置を占める

小学校では，集団生活（「共同生活」を参照）にかかわる話し合いを正式に始めるために１週間に 30 分間の時間が割り当てられた。どの児童もやり取りから遠ざけられることなく，一人ひとりが大人と同級生の話を聞くことを学び，話し合いの態度を受け入れるよう導くことが望まれる。この年齢では話し合いはまだ教員に依存する。集団で熟慮させるために進行中のやり取りを考慮する能力に主要な困難がある限り，この観点から，特に教員が集団を導くよう気を配るべきである。正式の形ではない話し合いも，学習の道筋において行うことができる。その場合も同様の支援を受けなければならない。

1.2　教育上の対話に入る

学習の全過程を通じて教員と児童の間に確立された対話はこの学習期の間に構成され

るコミュニケーションのもう一つの重要な側面である。児童は，このやり取りを元にして，不確かな知識を構造化し，無理解から抜け出し，間違いを意識してそれを直すことを学ばなければならない。数人の児童とのやり取りに拡大することは，分かっている者すなわち教員との相互作用により，一人ひとりの児童が自分の表象を再構成し，それを表現する方法を修正することが基本である点を見失わなければ，有益でありうる。

1.3　フランス語を話し理解する学習を続ける

小学校に入学しても，児童は，話し相手が知らない出来事を思い起こさせようとするときや少し複雑な現象を説明しようとする時に，依然として数多くの困難を感じる。一般に，児童が複数の文がつながる表現を思い切ってするときや話し相手の発言により投げ返されることがないときには，依然としてしばしばうまくいかない。この種の音声表現を理解しようとするときも同様である。こうした場面が生じるときには，対話によりながら，教員がよりよい理解と表現を徐々につくりあげる。

より長く発言することができ，対話場面以外での理解を向上させる

一人ひとりの児童が言語の使用においてより大きな自律性を徐々に獲得し，より長くより構造化された発言を行うことができるためには，保育学校で行われてきた活動に続く特別な活動を計画する必要がある。ここでもまた，過去の出来事を思い起こさせることが優先されなければならない。それは，物語を話すことにつながり，聞いた文章の理解と統合される。

物語文の理解を促す（交互に行われる聞くことと「再表現」の場面における）

絵本や挿絵入りの物語の発見は，小学校においても，そこに至るための優先的な方法である。教員による朗読，一人又は複数の児童による自分の言葉での再表現とそれによる思い起こし，難しい点に関する対話，教員による改めての朗読，児童による改めての再表現（たとえば，大人に対する口述の形での）を交互に行うことは，一人ひとりが文章により親しみを感じる援助となりうる。児童が自分の言いたいことをよりよく構成し，より長くより複雑な文章を理解するように，児童がこのやり取りにおいてより大きな部分を担うことが徐々に求められる。

説明文の理解を促す（集団での発見の場面における）

上記の点は説明文においても同様であり，資料（映画，本，雑誌，マルチメディア等）の様々な面をよりよく理解することにつながる。基礎学習期では，音や教員の声による情報源への音声による接近，絵・映像，図式による支えは依然として必要である。ここでもまた，産出と理解は相補的である。すなわち，１つの文章の共同での検討，児童に求められ教員により投げ返される部分的なまとめ，ここでもまた大人に対する口述により達成されうる最終的なまとめ。

話し言葉と書き言葉を関連づける

一般に，基礎学習期では，児童は，自分が読んだ文章に関する理解の真の「問題」を示

すための書き言葉をまだ十分には習得していない。読むことの学習の教科書はこの状態を反映しており，物語の複雑さは避けている。長く複雑な文章の理解の方略の発達を続けられると望まれるならば―またそうすることは大変重要であるが―それが練習されなければならないのは，まずは教員により声に出して読まれる文章についてである。

1.4　絵・映像について話す

あらゆる形態の絵・映像は，静止画であれ動画であれ，子どもがまだ読めない文字メッセージと同等のものとして，読むことの学習の際に頻繁に用いられる。したがって，読むことの授業はたいてい絵・映像の提示から始まる。その利用は，絵・映像が子どもにより直接的に記号化されるものであり，そのメッセージは確実性に拠るという考えに基づく。しかし，実はそうではない。

芸術活動の枠内では，基礎学習期の児童はより熟慮された形で絵・映像を利用し始める。しかし，絵・映像が授業の多様な活動において用いられることは日常茶飯事である。そうした場合に，こうした資料がもたらすメッセージを言語的に検討するために，それらが粘り強い話し合いの対象となることが重要である。それは，図像的言語の数多くの要素の識別を確認し，また反対に，それを指し示す語の意味を正確にし，表現される物や人物を近づけることにより示唆される活動を明白にし，できる限り，すでに見た他の絵・映像との示唆される一致点を見出し，写真家，図案家，映像作家により採用された観点を簡単に解釈する機会となる。

しかし，絵・映像の形式的な解読に引きこもってはならない。単純に，児童が理解の共通基盤を築くに至り，困難なくこの意味づけの検討からその言語化に移行できるよう保障することが大切である。

1.5　自由に使える語彙を構成し増やす

６歳から，子どもたちは，他者の話の中や朗読を聴く機会に発見する新しい語にますます注意深くなる。大人の援助によって，このように出会った語の多かれ少なかれ自発的な再使用に正確さと厳密さを加えることができる。この観点から見ると，文章理解に関する話し合いは依然として大変重要な役割を担う。

語の構造に対する注意により，新たに獲得された各基本要素が，そこから派生させることができるものを理解し生み出す可能性を開く点で，自由に使える語彙をより速く増やすことができる。数多くの接頭辞と接尾辞の遊び的な操作は語の「発明」への道を開く。それが適当であれ不適当であれ，その続きを言うのは教員である。ここでもまた，語彙の形式的な記述に専念するのではなく，語彙と遊ぶこと，そして言葉の喜びを発達させることが重要である。

1.6　文章を述べる

基礎学習期の児童が教員の声により発見する散文や詩の数多くの文章の中で，それが呼び起こす関心や文学的な質の高さにより，暗記するに値するものがしばしば見出される。この記憶化は，文章を理解し，そこで可能な意味を話し合うことを可能とする学習の最後に行われる。保育学校と同様に，学習はクラスで，つまり集団的に行われる。解釈の準備

は，話し合い，試み，判断，決定等を必要とする。この年齢では，個人による解釈よりも集団での解釈を優先することが望まれる（「音楽教育」参照）。演劇はより練り上げられた計画の機会を提供できる。散文や詩の文章を組み合わせるのも同様である。詩は，基礎学習期では，保育学校と同様に，中心的な位置を占めなければならない。

声を出して読むことは文の発声法のもう１つの側面である。それは，読むことが十分に保証され，文章の暗記学習と非常に類似した学習を想定するときからすぐに行われる。この場合，文章も部分的に記憶されなければならず，読むことは記憶化の支えとしてのみ行われる。

聴衆のために文章を解釈する学習と基礎学習期の読み書き活動の大部分に伴う声を出しての読みとを混同しないことが重要である。後者の場合，その目的は，意味を見出すために，語群のアクセント付け（フランス語では，アクセントは群の最後の音節に置かれる）と文の通常の抑揚曲線を回復させることのみにある。

２．読むこと

読むことを学ぶ，それは非常に異なる２つの活動を同時に行うことを学ぶことである。すなわち，書かれた語を識別するに至る活動と，言語的文脈（文章）及び非言語的文脈（文章の媒体，コミュニケーションの場面）において意味を理解するに至る活動である。前者のみが読むことに特有なことである。後者は，様々な書き言葉でのコミュニケーションの条件があり，書き言葉は話し言葉にはほとんどない統語法，語彙，テキストの特殊性があるものの，話し言葉にかかわるものと非常に異なるものではない。

確かな読み手にとっては，２つの活動はほぼ同時に起こる。前者が自動化すると，後者のためにすべての知的資源を自由に用い，一貫した注意を向けることができる。初歩的な読み手にとっては，語の識別はあまり能率的ではなく，記憶が文の最後までのすべての言葉を保存するため，しばしば非常にゆっくりとしている。特に文章が長く複雑な場合は，理解は困難であり，強力な援助がなければならない。しかし，初心者の読み手が学習期の最後に最初の自律にまで至るのは，語の識別をより効率的にする過程においてである。

読むことの両側面が教えられなければならない。このことは学習期の全体を通した活動の正確な計画化を前提とする。読むことの「方法」の大部分は，今日，均衡のとれた学習プログラムを提案している。

質の高い教科書に依ることは，特にこの学習期の新任教員にとっては，この難しい教育において重要な保証であることがわかる。しかし，この教科書は，いかなる場合であっても，児童の出会う唯一の本となることはできない。並行して少年文学との出会いが必要であり，それは教員による数多くの朗読により促進され，複雑な文章の理解を学習する唯一の方法である。

2.1　語のアルファベットによる記号化を支配する原則を理解する

語を識別するためには，初心者の読み手はフランス語の書き言葉の記号化を支配する原則を理解しなければならない。すなわち，文字又は文字群（文字素）は，たいていの場合，音節に組み立てられる話し言葉（音素）とは異なる単位を表す。子どもは保育学校からこの知識を徐々に構成していく（保育学校の教育課程における「学習の中心にある言葉」の

章を参照）が，小学校入学時にはこの原則の複雑さをまだ十分には理解していない。

したがって教員が読むことの教育を始める前からこの領域で児童を評価することが重要である。たとえば，書き方の「問題」（これこれの言葉を書こうと思ったら，どのように書きますか。）を示し，徐々に課題を複雑にしながら，児童が取り組む様子を観察することができる。すなわち，語を構成する音韻論的要素を聞く能力の有無，音韻論的単位のための文字を示す能力，文字の名称とその意味の理解など。

すべての児童のためには一般的に，アルファベットの原則を理解するにはまだ遠い児童には個別的に，学習の課程は次のことのために編成される。

- 語を構成する特徴的単位の理解を高める。音節，語の声たて（母音の前にある子音），韻（母音と母音に続く子音），徐々に音素。
- 新しい語の音声的に正確な書き方を構成できるようにつづりを理解した語の一覧を増やす。音の構成要素（音節，部分的に，音素）を分析し，書き方，そのつづりを言うことができる。新しい語を手がかりとなる語と結びつけることができる。
- 「つづり問題の解決」（どのようにこれこれの語を書けますか）の練習を増やし，効果的に上記の２つの能力を活用するよう指導する。

2.2　文字及び音声の文を最も単純な構成要素に分割することができる

語のアルファベットによる記号化の原則に関する学習と並行して，児童が，この識別において急速に進歩することができるような整理され構造化された教育から利益を得ることが決定的に重要である。

文を語に分解すること

保育学校では，文字記号への最初の接近は，多くの場合，文よりも語にかかわる。小学校では，読むことの学習の優先的な支えに急速になるのは文であり，児童は文を構成する語の識別を学習しなければならない。さて，語は音声言語の明白な実在ではなく，それは読み書きのできる者のみに認められる。したがって，読むことの教育の最初の週から，文字による語（空白による分けられる書記単位）と音声連鎖の対応する単位との連携を強化することが重要である。たとえば，教員は，声に出して読む文の語を手で指し示すことができる。それは分解の学習の最初の段階であり，読むことの学習の重要な側面である。

語を音節と音素に分解する

文の分解は語自体の水準でも継続され，示差的な単位の分析の学習に力点がおかれる。保育学校と小学校の初期においては，それは基本的に遊びに属する。小学校においては，分析能力はより確実で正確にならなければならない。この観点から，分類規則の練り上げ，分類の実施，提案した種類に新たに入りうる要素の探求により，多様な水準の音の単位を類別することを可能とする練習を増やすことが望まれる。同様に，その構成要素に着目して語を変化させることに児童を導くことが重要である。分解，単位の列挙，（音節，次に音素の）短縮，延長，倒置による語の変形。厳密な音声分析は，少なくとも，読むことの学習の理由よりも結果であると思われる。したがって，それは要求しうる前提条件とはなりえない。

2.3　語を識別する２種類の方法

ある語を識別するためには，読み手は視覚的情報（書かれた語）と発話の学習によりすでに獲得している知識，すなわち，この語の聴覚的イメージ（それを構成する音素の表現）とその意味を関係付けなければならない。この結果に至るには２つのやり方，直接法と間接法が利用できる。初心者の読み手はこの双方を効果的に利用することを学習しなければならない。それらは頻繁な活用により相互に強固なものとなり，書くことのすべての活動により強化される。

直説法による語の識別（通常の読み）

読み手がすでにその記憶の中に，語のつづりのイメージを持っている場合，この種の識別は可能である。この場合，語は，視覚的，聴覚的及び意味的に，ほぼ瞬時に理解される。読み手は語を識別するために，その輪郭によるのではなく，それを構成する文字を非常に速く認知することに拠ることが今日では知られている。

2.4　間接法による語の識別（解読）

また間接法，すなわち解読によることで，つづりのイメージを記憶していないある語を見出すこともできる。この場合，文字は発音しうる音節を構成するために集められ，その語は発音され，すでに聴覚的イメージを記憶している類似の語と比較される。フランス語において文字の音節と音声の音節の間にある重大な差異はこの識別をしばしば困難にする。

間接法により語を識別することを学習する（解読する）

間接法により語を識別できるためには，アルファベット記号の働き方を理解し始める小学校の児童は，文字素と音素の関係を記憶しその利用を学習しなければならない。

大多数の方法は最初に相補的な２つの種類を提示している。すなわち，すでに獲得した知識により語をより小さな単位に分析することと，その構成要素から，音節や，実際にある又は創作した語を総合することである。２種類の活動はこの関係を強化できる書く方の数多くの場面と関連して学習される。

書記素材の分析と識別された単位の総合

最初に，示された各語は手がかりとなる語との類似により分析される（《manteau》の場合，《maman》の《man》，《table》の《t》，《beau》の《eau》が見てとれる）。手がかりとされる書記単位は，その長さにかかわらず，書くことやつづりを言うことができ，あいまいでない音声的価値を持つものである（私は〔mã〕，〔tø〕又は〔o〕と発音する）。

次に，児童の記憶において活用できる聴覚的イメージに送り返す語を構成するために，このように見出された音声素材は音節ごとに集められなければならない。主要な困難は，それを構成する音素を元に音節を組み立てることにある。〔tø〕と〔o〕から〔to〕への移行は誘導なくしては発見が困難であり，最も頻繁に同様の場合が学習される必要がある。

ここから，様々の可能な結合において母音と子音の間の音節の主要な組み合わせを記憶

することにより，総合の手続きを児童に教える必要が生じる。この規則性が記憶されるのは，依然として読むことよりも書くことによる。子音と母音をもとに音節を作る，口述した音節を書くこと，規則的な書かれた語を音節に切り分けることなど。

フランス語のつづりの不規則性に関する分析の困難

初心者の読み手があまり規則的でない語を取り扱うに応じて，分析自体も複雑になる。２重子音，間接的な音声価値を持つ文字（《c》と《g》の後の《u》など），動詞の複数形の《nt》のような文法的価値，文法的価値（《doigt》の《gt》など）がこれに当る。こうした実態は分析において無視されるべきではない。というのもそれらは語の識別の重要な支えとなるからである（《rat》を《ras》から，また多くの場合単数形を複数形から識別できるのは無音文字による)。それらは統合され，それ自体で特徴的な手がかりとして参照されなければならない。

分析は，あいまいな切り分けと特に特別な文脈依存の場面を扱う時にさらに複雑化する。たとえば，もっともしばしばある《n》又は《m》（《angine》に対する《animal》）の多様な使用におけるように，音声の音節の切り分けが文字の音節の切り分けに対応しない場合である。ここでもまた，初心者の読み手が非常に急速に，自分の出会う同様のすべてのことにそれを広げるように求められる最初の区別を利用するほど，誘導はより基本的である。たしかに，記号化の新しい不規則性に危険が残り，今度は教員がそれを示さなければならない。

読むことの練習と書くことの練習の相補性

読み書きを関連づけることは，この場合，先の通り，学習を強化するすばらしい方法である。まだ書けない語を書くことは，実際，分析を補うことになる総合の活動に戻ることを可能にする。書き取りが唯一の方法ではない。書くという働きは，類似した音節（たとえば，[d]と[t]を識別する）や同じ音素になる多様な文字素（《o》,《au》,《eau》），文脈の規則（たとえば，[s]や[z]の書記法の違いを識別する）やさらに曖昧な文節の区切りを比較することを可能にする。

活動の計画化

こうした学習は読むことの大部分の教育方法の中心にある。提案される計画化の質が教員の選択を導かなければならない。こうした知識の構成を出会いや児童の反応の偶然性に委ねる方法（セレスタン・フレネの提案した「自然」法の場合）や，分析と総合において行われる活動の複雑さと文字素と音素の関係の複雑さを結びつける進度に応じて知識を構成する方法もある（発行者により提案される小冊子)。２つの事例において，その情報を記憶するよう援助し，したがって厳密にそれを構造化し，頻繁に見直すことを可能にすることが重要である。

いくつかの教授法は，文章の意味を取り扱うためにあまり効果的ではない繰り返しの読解に閉じ込められる児童が出ないように，言葉の間接的理解を省略するよう提案する（総合的教授法，表意・視覚法など)。今日では，多くの場合，この選択では利点よりも不都合のほうが多いと考えられている。それでは，読むよりもむしろ文脈におけるその意味によ

り非常に長い間把握されてきた語のつづりの直接的理解に速く到達することができない。しかし，こうした方法の大部分は，書く活動を非常に広く用いることにより，あまり明示的ではなくとも，同様に，文字素と音素の関係を教えるに至ると考えることもできる。すべての児童を学習指導要領に定めるすべての能力（知らない語の解読の能力もその一部である）に最も効果的に導く方法を選択するのは教員である。

2.5　直説法により語を識別することを学ぶ

基礎学習期の終わりまでに，児童は直説法を優先的に活用しなければならない。それにより，児童がほぼ瞬時に語を識別することができ，一方では記憶の負担を減らし，他方ではより確かでより完全な情報の取得を可能にしながら，理解を容易にする。

この直接的な接近は，児童が非常に数多くの語の（全体的なイメージではない）つづりの形態をすでに記憶しており,大切で定期的な練習から利益を得てきたことを前提とする。しかし，この方法では継続的に読むことはできないことももっともである。というのも，児童の見出す文章の大部分は話し言葉でも書き言葉でも児童の知らない，あるいはつづり字の形態をまだ記憶していないような，ほとんど見かけない語を含んでいるからである。

道具語の識別

つづりの形態が最初に記憶されるのは，もちろん，もっとも頻繁に出会う語である。それはまた，道具語の本質として，言語の最もよく見かけるものであり，授業の慣例の中で多用されるものだけではない。道具語は話し言葉ではほとんど知覚できない（子どもたちが，名詞から冠詞を，動詞から助動詞を切り離すことは容易ではない)。したがって，それは，書かれた文章の分割のあらゆる練習において特に強調されなければならない。

小学校の最初の学年から，書記の類似（指示詞の《c》，３人称所有詞の《s》など）を明らかにする分類や同じ範疇に属する語（基本的に可能な代用により決められるもの，限定詞，前置詞の位置で）を関連付ける分類に専念し始めることもできる。

名詞，動詞，形容詞の識別

道具語以外の書かれた語の識別は，明らかに，児童の語彙（頭の中での語彙体系）の全般的増加により，したがって，児童の蓄積する知識により進む。基礎学習期では，こうした知識は，たいていの場合,「世界の発見」や「芸術教育」の領域に関連する活動において，また，児童文学の朗読の間に，口頭で作り上げられる。したがって，特に学校外で多様な文化的活動の利益を得られない児童にとっては，それらをなおざりにしないことがきわめて重要である。

しかし，書かれた語の識別はまた，読みの簡単な問題を提起し，特に初心者の読み手の場合，随伴支援や誘導が前提となる。道具語の時と同様に，読みの練習と書きの練習の連関が重要な役割を演じる。児童が一つの語を書くたびに，読むときよりも確かに書記の構成要素を記憶する。

この観点から，あらゆる書写活動は関心を引く。語のつづりの記憶を促すことをねらいとし，したがって，子どもが一文字ごとに転写することに満足しないことを学ぶことを前提とする書写が重要である。文章の出典の取り扱いは，ここでもまた，書記素材の分割と

分析の活動と関連する（全体を記憶するまでに至らないとき，どこでその語を区切るか，どのように名詞とその定冠詞，助動詞と動詞の全体を記憶するか，など)。

語が組み合わされ構成される仕方に注意を引き付ける

書くことによりもたらされる文法上の特徴への注意は時期尚早である。５歳から，多くの子どもたちは複数の《s》の役割について自発的に聞き始める。小学校では，読み書きにおいて，解決すべき小さな問題（その分布，役割に関する話し合い，同じ現象を示す多様な仕方の比較）としてそれを取り扱いながら，そして，すべてのその出現について注意を向けながら，この現象を体系的に教えることが重要である。文法的分析の練習に専念することや，ましてや大雑把な用語法に児童を閉じ込めるようなことは重要ではない。反対に，そうした特徴の効果に子どもたちを敏感にするために，話し言葉でも書き言葉でも，言表と遊ぶことが望ましい。単数形の限定詞を複数形に変えるとどうなるか，人称や時制の語尾はどうなるか。必要不可欠なことは，すべての児童に，各変更が言表の意味に与える影響に関する明確な意識を発達させることである。この学習は，その文脈の中で，読んだ文章の語の識別と取り扱いを容易にすることに徐々に貢献するとの仮説を作ることができる。

名詞群における性と数の特徴，動詞の複数形の特徴，最も規則的な人称の特徴については特に注意を要する。特に過去の予期的な時制（複合過去と半過去）のいくつかの特徴について注意を引き始める。

派生のあらゆる現象（《sable》,《sableux》,《sablonneux》,《sablière》,《sablage》,《sabler》,《ensablé》）により語の間に生み出された関係についても同様である。その作成を容易にし，統御をより厳密にし，意味を正確にするためには，非常に多くの練習が必要とされなければならない。上記のように，一つの簡単な語からすべての派生語を探し，接尾辞や接頭辞を当てにし，後者から語を作り，言語の存在する語は何であり，何が存在しないのか（《peignure》に対する《coiffure》）を考え，あるいは，やはり成果を制御しながら，派生した語から元の語を見出すことができる。語源学の練習に専念する必要はないが，自由にできる書記情報を児童が使えるよう導くことが大切である。

2.6　文章を理解する

書かれた文章の理解と，近しいコミュニケーション状況（独り言や指示対象の不在など）にかかわる口頭での表現の理解の間には非常に多くの共通点がある。すなわち，話し言葉の理解を深めることのできるものはすべて，児童に文章のよりよい理解を準備させる。同様に，児童は十分な語の識別能力を持っていない限り，理解の練習は次の２つ方向で行われる。口頭では，長く複雑な文章，特に子どもの年齢に適した文学作品，書き言葉では，児童の知らない知識や経験を参照することのない，より短い文章。

文学作品を理解する

保育学校のように，小学校の活動の中心に文学作品（最初に絵本，次に短い物語）が位置づかなければならない。たいていの場合，それは教員の朗読を媒介として出会う。児童は，そのあとに，聞いた文章を自分自身の言葉で作り直すことを試みる。話の連続する段

階を把握し，必要なまとめを行い，読んだところから続きを予想することを可能にする切り分けを提案するのは教員である。

解釈の誤りや忘れたところはしばしば理解されていなかった一節に戻らせる。再読は困難を乗り越えるには不十分である。理解されたところを支えとして，そうでないところの明確な表現を築くためには，教員と児童との対話が行われなければならない。この学習は大きな集団でのみ行われることはできない。それは文学的教養から最も遠いところにいるものを決してあきらめさせないように，一歩一歩一人ひとりの児童とともに行われる。この年齢では要約はほとんどの児童の理解の外であるとしても,理解の学習の重要な部分は,読んだ文章の可能な限り短い要約の作成に関わらなければならない。つまり，この文章は誰が何について話しているのか（主題)，それが言っていることは何か（意図)。

口頭では，児童に文章での文字通りに与えられる情報の理解で満足することはできない。理解できる言外の情報を見出させなければならない（メッセージの不在の理解はそれを再発見できる知識を有することを前提とする)。このことは，言外の含みに関する教員の側からの的確な質問を含んでいる。その質問には教員にはもっとも明確に見えるものも含まれる。すべての児童が読んだ文章を理解しうるようになるのはこのためである。

それ以上に，児童を解釈的態度に導くことも重要である。すなわち，文学作品の意義はすべて与えられているわけではない。重要な部分は読み手（ここでは聞き手）の個別的なかかわりに委ねられている。多様な解釈が比較されうるのは，聞いた文章，後には読んだ文章に関する議論によってである。多様な解釈は，また，それが文章と矛盾しないかを確かめるために，文章自身に立ち返るならば，評価されうる。同様に，児童が文章の文字に対する尊重を学べるのは，この解釈的学習に果敢に取り組むときである。

児童文学の著者は，他の作家と異なることなく，文章の間に数多くの関係を張り巡らしており，それはその創造の文化的文脈を構成する。つまり，簡単な絵本であっても，ある作品を文学作品にする微妙なこの関係を見出すことがなければ，ある本を本当に理解することがない。基礎学習期の文学の読みは，他の学習期と同様に，入念に選び，登場人物，主題，分野，著者，挿絵画家などを見出せるように道のりを組織しなければならない。それにより，むしろそれによってのみ，本を頻繁に読む習慣が，徐々に一つの文化になる。

作品との出会いは数多く，多様であることが重要である。授業での読みは，図書・資料センター（BCD）や家庭における個別の読みにより補われなければならない。図書・資料センターと市内の図書館での借り出しは，習慣となり必要となるべきである。教員は，親に対して，本と子どもの仲介者の役割と，親もその役割を担いうることを説明する。親が声に出して読むことをためらうならば，挿絵を探し，それについて話し合うことも可能である。必要不可欠なことは，子どもが，作品は解釈の多様な地平のもとにあり，多様な文化的参照とかかわり，家族や教師とともに友達と共有できるものであることを発見することである。

文章理解をより確かにする他の方法は，それを書く学習と関連付けることである。たいていの場合，冒頭のみが提示された文章を続ける，挿話を変形する，登場人物を変える，主要人物を別の場所に移すなどが重要である。児童文学はこの種の模倣文や変形の非常に豊かな例を提示する。基礎学習期の児童にとって書くことはいまだ難しいが，大人への口述，あるいは，徐々に，事前に編集された素材に基づく書くことを優先することが必要で

あろう。この場合，この年齢ではまだ難しい個別学習よりも，集団での学習が望ましい。

記録文を理解する

情報を提供する文章は同類の学習の対象となる。情報文もまた，基礎学習期の全体を通じて，個別の自律的な読みでは接近が難しいままである。したがって，集団的で随伴的な支援による接近が望ましい。必要不可欠なことは，記録作品がその参照機能において現れ，他方では現実の直接体験に基づきながら，知識の構成作業の一段階になることである（「世界の発見」参照）。

情報文は一つのアルバムとして目を通すことができ（それは数多くの挿絵，図，表等を含んでいる），教員が声に出して読むことができる。それは意味の構成という同様の努力を引き起こす。非常に頻繁に，ある記録は明確な問いに応えるために用いられる。したがって，それは，児童が目次，索引，題名，中見出し等に支えられた探求方略を与えられていることを前提とする。見出された答えは，たいていの場合，解釈することが困難である。というのも，それらは，しばしば，文章の他の部分にある他の情報を参照するからである。この種の読みでは，推論が，物語におけるよりも一層重要な役割をたしかに果たしている。文章の欠落が示す問題を解くためには，自律的な読みよりも，資料を頻繁に読むことを整然とした知識の構成における優先的な時間とすることが望ましい。

電子媒体により接近可能な資料は，ハイパーテキストが情報を一層断片化する傾向がある程度に応じて，別の種類の問題を提示する。児童への随伴支援はここでは印刷物によるときよりも重要であるべきであり，まとめの努力は常に探求を延長させなければならない。

文学作品と同様に，読みと書きの接続は記録文の理解を深めることを可能にする。その機会は，訪問，飼育，経験，ノンフィクションとの出会い等により提供されうる。基礎学習期では，描画は依然として情報の報告の優先的方法である。それは，概念の整理，記録の編成の支えでありうる。文章はむしろこの最初の表現の補足として登場し，それを仕上げに来る。この年齢では，記録文はしばしば物語のままである。それは，説明文に接近する，通常の，そして豊かな段階である。

読んだ文章をよりよく理解する

読んだ文章の理解は，語の認識の質に依存する。語の認識がほぼ自動的であるとき，読み手は，読んだものの確実な表現を築くために，調整された仕方で，語彙の情報と統語法の情報を扱い，文章の中で発見したものとすでに得ている知識を結びつけることができる。読みが進むにつれて，新しい情報を古い情報を結びつけるために，集めた情報を総合しなければならない。たいていの場合，それはすでに取り上げた文章の要素を凝縮する形で進められる。

基礎学習期では，したがって，徐々にすべての子どもが文章の連続する文とその接続を理解するために効果的な方略を身につけるよう導くことが重要である。２種類の活動が考慮されうる。文の理解において統語法の機能について児童を一層敏感にする活動と，構成された理解の質を確かめることを可能にする活動である。ある文の最初の語を読んで最後を予測したり（誤った解決の批判はこの意識化の重要な側面である），関連する文脈で意味的に可能な続きを提案し不可能な続きを批判するよう児童に求める場面もそれにかかわ

る。

いくつかの統語法的構造は理解することが難しい。たとえば，受動文がそれであり，多くの子どもたちはそれを能動文として理解する。また，関係節や接続詞を含む複文もその例である。すべての場合に，教員との相互作用が決定的に重要である。その際には，困難を予見し，児童が注意を向け，停止点を示唆し，実際に理解された点を示しながら困難に立ち向かうときに，児童を随伴支援しなければならない。

また，読み手は，読むものについて連続的に表現し，それを連関させなければならない。それは，文章の中で情報の全体のまとまりを切り分け，選別と凝縮という重要な作業によりそれを記憶することを前提とする。またそれは，文章の統一性を保障するすべての特徴を効果的に扱うことを前提とする。すなわち，句読法，限定詞，名詞（名，同義語）の代用語，結合子，時制の標識などである。ここでもまた，文章をよりよく理解させるよう導くのは，読んだものを自分の言葉で繰り返し，重要な情報を選別し，それを記憶するよう児童を導くことによってである。その使用を徐々に身につけることを可能にするのは，読みの過程において，出会った統一性の標識に注意を向けさせ，その良い解釈を保障することによってである。

一般に認められているように，文の理解と文章理解の学習は，絶えざる話し合いと，読みの初心者とその専門家とのやりとりによる試みの厳密な確認を前提とする。したがって，一人での黙読の場面は，読んだ文章に関する口頭でのやりとりの長い学習の到達点とみなされなければならない。声を出して読むことは，読み手が読んだものを理解する機会を与えるため，対話と確認を可能にする。それは学習の最良の手段である。

３．文章を書く

書くことと読むことは基礎学習期のすべての活動において密接に結びついている。しかし，本学習期の終わる前までに，物語文であれ説明文であれ，短いが構成された文章を自分で生み出す能力を児童が身につけるように導く活動のために特有の時間が割り当てられなければならない。

こうしたことは，すべてを同時に示すことなく，文章作成の様々な構成要素を別々に練習するために，困難な点を順に並べる条件でのみ可能となる。実際に，基礎となる能力（字の線を引く，つづりの基本を操る）が獲得され，自動化されていない限り，情報の動員，文章の編成，発話の練り上げといったより難しい活動に児童が十分に取り組むことは困難である。実際のコミュニケーション場面に根ざした書き方の計画を実施することにより，教員が他の構成要素を管理する間に，その都度，これこれの構成要素を強調することが可能となる

3.1　文字を書き表す活動

保育学校では，子どもは書き方の必要不可欠な動作を習得することを学んだ。右利きであれ左利きであれ，子どもは手を引きつらせることなく鉛筆やペンを普通に持ち，紙をほぼ前腕の延長線上に置くことができ，速くそして読みやすい草書体を書くよう徐々に促すために，主な線を習得し，回転の意味を尊重する。書き方と同様に描画において示される良好な運動性はより一般的な運動的容易さを土台とする。多くの子どもたちは小学校入学

時にはまだこの容易さに達していない。文字の書き表す活動は，この段階でもまだ，すべての児童の表記の動作に必要な運動性を発達させる効果的方法である。

小学校では，確実で読みやすい草書体（小文字と大文字）を身につけなければならない。教員は国民教育省が発行した手本に拠ることもできる。それは，児童がアルファベットの各文字の書記的特徴を身につけ，徐々に，完全に読みやすくかつ速く書けるための運動性の容易さを獲得するために作成されたものである。

パソコンのキーボードは児童が保育学校から利用する道具の一部である。それは，文字の個別化を強化することにより,我々の正書法アルファベットの構造に児童を親しませる。保育学校では文字が非常に自由に「発見される」ことが必要であるとしても，基礎学習期からは，いくつかのタイプ技術の機能性が両手や親指などの使用によりいっそう効果的に動員されうることを示すことにより，多様な使用において児童を援助することができる。

特に視覚芸術の領域において，他の書き方や他の表記動作を発見することにより，書くことの道具的使用とその美的使用を結びつけることができる。作成された文章の手書き版の作成は書道の多様な側面を探索することを可能にする。電子版あるいは印刷版を目的とするとき，文章を取り扱うソフトウェアの印刷管理においても同様である。

3.2　正書法の問題

基礎学習期の目的は，すべての児童を，表音に関する確実な正書法，あらゆる規則的な場合における主語と動詞の一致を書き表す能力，名詞群における（限定詞の近接における）性と数の一致の確認に導くことである。もっとも頻繁に出てくる語のつづりの形態は，不規則であっても，獲得されなければならない（特に道具語の場合はそうである）。

こうした能力は相対的に多様であり，特定の学習場面を前提とする（書き取りがすべてを解決することはできない)。語彙に関する正書法については，間違いなくある語を書き写す能力と，そのつづりの形態が確実には定着していない語を援助なしに書く能力とをはっきりと区別しなければならない。文章を作成する場面では，児童がこの２つの手順を選択し，確実に獲得したものかあるいは一覧を支えにすることができることが決定的に重要である。言ってみれば，自分が知らないものを明確に意識するよう児童を導かなければならない。児童が「正書法の問題」を自らに課し，ある語のつづりの書き方を声を出して振り返ることもまったく同様に重要である。この場合，教員との相互作用が重要である。それは，語の音声的分析における厳密さを要求し，児童が同じ音で可能な多様な書き方の間での選択の最初の目印とその最初の規則を構成することを可能にしなければならない。語彙（派生）の構成に関する学習は，書き方の最初の練習から再利用されなければならない（たとえば，無音の文字を再発見するために)。

文法に関する正書法については，注意の喚起よりも規則の記憶のほうが困難は少ない。《les》や《des》といった語の出現はそれに続く語の注意深い検討にいたることを児童がすぐに発見することは重要である。一致を起こしうる多様な記号は，しるしをつけられ，授業において特有の表示の対象となり，絶えず見直される。名詞群では，基礎学習期の終わりまでに，複数限定詞に続く最初の語に関する一致を書き表す能力を一般的に有する。後者についてはより困難を生じる。第１群の動詞の場合と同じように，よく理解していないとき，主語と動詞の一致はきわめて困難となる。こうした正書法の能力はそれが自動化し

たときにはじめて本当に獲得される。この見通しのもとに学習させなければならない。

文章の正書法の見直しは基礎学習期の児童にとっては依然としてとても難しい。しかし，まず間違いのあった文章のポイントに目印をつけ，可能な解決策を声を出して喚起し話し合うよう導くことにより，この非常に重要な実践の手ほどきをすることはできる。

一般に，児童の努力がいわゆる編集的活動に注がれているときには，正書法の問題を学習するような選択はしない。反対に，構想し言葉にする努力があまり大きくない場合（絵の説明文，非常に短い文章，多様な書写），自発的な書き方において，正書法の関心を保つことができる。

3.3　知識の動員と文章の構成

文章の連続する部分を編成する以上に，基礎学習期の児童にとってもっとも大きな困難は，それを作成するために必要な知識の動員である。児童は大人との対話の枠内では情報を練り上げることができるが，それを一人で行うのはやはり難しい。このため，知識の動員は依然として教員の強力な支援による集団的な活動のままである。それは，しばしば，書き方の計画の可能な内容の話し合いのときに，事前の口頭での学習を前提とする。描画の活用もまた(知識や記憶の動員の道具として),話し合いに安定した媒体を提供する限り，有効でありうる。

基礎学習期で学習されうる２つの調子（物語文と説明文）は児童にとって慣れ親しんだ３種類の文章への参照を指示する。すなわち，経験した出来事の報告，文学的物語とドキュメンタリーである。報告は物語やドキュメンタリーにも導入できる。直接経験の支えにより，記憶した要素の間に適切な時間を厳密に確立し，作り出そうとする文章に応じてそれを調整することを可能にする。それぞれの場合に，文学とドキュメンタリーと一定して関係する文化に支えられるほど，知識の動員は確実なものになる。

文章の編成は，この年齢では，事前の計画を練り上げるものとみなすことは難しい。すでに練り上げた文章の断片を順序だて，それを表現するデッサンや絵を支えとして出来事や情報の続きを予測するよう導く場面が望ましい。ここでもまた，模作や挿話の変形のように，すでに書いた文章の規則的な修正の試みを媒介としてこの問題を取り扱うことにより，学習を徐々に構成することができる。

3.4　単語にする

基礎学習期では，作り出した文章を単語にすることは，大人への口述や，一覧において書き写された一節の借用が優先的な方法になる。しかし，児童はまた，すべての基本要素が事前に触れられ組織された文章を自律的に書くことを徐々に学び始めなければならない。文を作るこの努力のなかで，単語を見つけ，その関係を管理し，そのつづりを書き表すことは言語への新しい関係を作り上げることである。ここでもまた，教員は特にその場にいること，本人が気づいていない困難を示し，欠けている情報を提供し，統語法や正書法の問題の解決を示唆することにより，一人ひとりの児童の特有の努力を支援することが大切である。

基礎学習期の終わりまでに，一人ひとりの児童が，厳密な準備の後に，統語法と語彙の問題に正確に対処しながら，10 行の文章（物語文あるいは説明文）を書くことができなけ

ればならないと考えられる。

文章の発行

書く試みは，たいていの場合，集団としても個人としても，文章の手書き又は印刷による発行により終わる。それは文章の作成の重要な側面であり，ないがしろにすることはできない。特に，発行の方式は想定される読み手と一致することが保証される。芸術活動との連携は，より練り上げられた表現や創造の計画に書くことを位置づけることを可能にする。

４．獲得された能力を評価する

深化学習期の初めの全国的評価により，５年間，しばしば６年間の学校教育で得られた成果を測定することができる。その評価は言語の習得のさまざまな領域において正確な指標を提供する。

- 日常的な学校生活における（指示の理解），教員の話す長い文章に出会ったとき（児童文学，ドキュメンタリー）の，話し言葉の理解。
- 直説法による（この識別は，頻繁に用いられる語とあまり頻繁ではないがつづりが規則的な語のすべてについては自動的になっていなければならない),そして間接法による（まれな語とつづりが不規則な語の解読），語の識別の習得。
- 書き言葉の理解。この年齢では，ある文章から，自律的に，児童の文化的環境や知識にすでに属している情報を見つけ出せることに限定されると考えられる（新しい知識を発見するための読みの活用はむしろ深化学習期に属する)。
- 短い文章の正確な書き写し。
- 自律的な文章作成と，最も一般的な語の準備された書き取りにおける，正しいつづりで書くこと。主語と述語の一致と名詞群での一致（規則的な場合）の尊重。
- 教員の援助を伴う，さまざまな制約を含む短い文章の作成。
- 文章にまとまりを与える主要な言語的道具の確実な使用（名詞の代名詞的及び名詞的代替，結合子，限定詞，動詞の時制)。
- 一般的語彙の確実な使用と，いくつかの派生現象に基づき，その文脈において新しい語を理解する能力。

全国的評価の存在は，基礎学習期の教員が教育の過程で評価を実施することを免除するものではない。それにより，何人かの児童がその時点で直面しうる困難に注意を向けることができる。それは，特に一連の教育の最初や新しい学習段階（小学校第１学年の最初）において，提案される活動と教育の計画化の適切さを継続的に確認する方法である。数多くの評価の道具は，計画・開発局により教員の利用に供される。

学習期の最後までに獲得されるべき能力

１．話し言葉の習得

1.1　伝える

次のことができる。

・　他者の話を聞き，説明を求め，教員による話し合いの方向付けを受け入れる。
・　やり取りに心がけながら，対話や討議において自分の観点や反応を示す。
・　暗記した文章を口頭で表現するため，あるいは，文章を読みながら話すために，解釈を提案する。

1.2　イメージを喚起する言語の習得

次のことができる。

・　はっきりと理解してもらうように，出来事，話，情報，観察を報告する。
・　大人に対して（物語文や説明文の）書き取りをさせる際に，文章の一貫性とその言葉の使用（統語法と語彙）に関して適切な訂正を提案する。
・　絵本の中で出会ったイラストから意味を引き出し，イラストが示唆するイメージや場面を手がかりにその解釈の理由を説明する。
・　すでに暗記しているものの中から詩や短い文章を朗読し解釈する。

２．読むことと書くこと

2.1　理解

次のことができる。

・　児童の年齢や文化に適した文学作品や資料の明確な情報を理解する。
・　印刷された資料やインターネットのサイトから簡単な質問の答えを見つける。
・　文学作品から主題を引き出す。
・　群のアクセントと文の旋律を正確に再現しながら，短い一節を声に出して読む。
・　教員の援助によりクラスで読んだ絵本を一人で再読する。

2.2　語の理解

次のことを理解し，記憶にとどめる。

・　書き言葉の記号化のアルファベットによるシステム
・　書記素と音素の規則的な対応

次のことができる。

・　規則的な語の可能な（音声的にも正確な）書き方を提案する。
・　知らない語を解読する。
・　ほとんどの短い語（４，５文字）と最も頻繁に使用される長い語を直ちに識別する。

2.3　文章の作成

次のことができる。

・　統語法と語彙の問題を正確に処理しながら，明確な指示に対応して５行以上の文章（物語文又は説明文）を自分で書く。

2.4　書くこととつづり

次のことができる。

・　しばしば使用する「簡単な語」（冠詞，前置詞，接続詞，副詞等）のほとんどをつづ

る。

- 記号化の音声的な特徴を尊重しながらほとんどの語を書く。
- 一語一語書き写し，読みやすい草書体で，４，５行の文章を間違いなく書き写す。
- 活字の特徴の印(ピリオドと大文字)を正確に用いて，コンマを使い始める。
- 自由に書くことや書き取りの際に，規則的な名詞群（決定詞，名詞，形容詞）の数と性の一致を表す。
- 自由に書くことや書き取りの際に，規則的な統語法が尊重されるすべての文章で動詞と主語の数の一致を表す。

Ⅳ．深化学習期―第３期

はじめに

深化学習期（初級第２学年，中級第１及び第２学年）において，児童は引き続きその教育の基礎を獲得する。すなわち，言語とフランス語の習得，公民教育，算数，芸術教育と体育である。しかし，接近方法は異なっている。というのも，児童は，より反省的に知識を構成し，より確実に知的道具を身につけることができる心理的発達段階に入るからである。ただし，その知性のすべての面を，特に行動力と感受性を刺激することがこれまでにないほど求められる。したがって，深化学習期の教育方法は，知識への接近の抽象的で形式的な考え方に閉じこもるべきではない。それは依然として現実の経験により支えられている。

深化学習期に入ると，児童はその修学の重要な段階を越える。読み書きにおいて獲得してきた能力により，児童は，情報の可能性を豊かにし，その学習を強化することができる。児童の発見した算数の知識と技能は，関心のある現象とその変化をより厳密に記述する可能性を与える。たしかに，それぞれの使用において十分な自律性は得ていないものの，深化学習期は，各領域において，より確固とした習得の機会となろう。この学習期はまた，新しい教育への幕開けでもある。すなわち，歴史，地理，フランス語の反省的考察（文法），外国語又は地域語，実験科学と技術である。

教員は，３年間を用いて，一人ひとりの児童が，例外なく，知的技能，知識への欲求，他者に対する態度を獲得することを可能にする。それなくしては，児童はコレージュにおいて提供される教育から利益を得ることはできないであろう。この観点から，学習指導要領は，２つの主要な一般的領域―言語・フランス語の習得と公民教育―と，それぞれに均衡のとれた教養の基礎を提供する，参照学問により根ざした教育を有機的に関連付ける方法で編成される。

言語とフランス語の習得は，最も重要な軸を構成する。それは，深化学習期の各教員にとって，優先事項の中の優先事項，絶えざる関心の的でなければならない。いかなる児童も，コレージュでの学習のための十分な自律性を可能とするフランス語の話し言葉と書き言葉の取り扱いにおいて最小限の保証を得ることなく，初等学校を去ることがあってはならない。

学習指導要領に定めるような言語の習得への接近は，児童の中には読み書きの基礎を習

得せずにこの学習期に到達したものもいるという事実にぶつかるかもしれない。算数においても同様のことがありうる。こうした児童が利益を得られる教育の多様化は,「支援と向上の個別化計画」（PPAP）の対象とならなければならない。言語の習得という一般的な目的を目指す継続的でより個別化された支援で十分な場合もあり，特別な時間がそのために配当されなければならない場合もある。深化学習期の終わりまでに獲得されていなければならない話し言葉と読み書きの使用に関する能力は，すべての児童に対しては，勤勉で規則正しい学習を前提としており，教員に対しては，調整された学習を進展させる厳密な計画の作成が求められる。

学習指導要領の非常に重要なこの部分は，２種類の時間配当を含んでいる。すなわち，特定の時間配当と教科横断的な時間配当である。前者はいくつかの教科領域ごとに分けられる。「文学（話す，書く，読む)」,「フランス語の反省的考察（文法，活用，つづり，語彙)」，さらに「外国語又は地域語」は，フランス語を識別する違いへの最初の気づきに貢献する。「共同生活」では,「ルールに基づいた話し合い」の毎週の時間が，一人ひとりを発言に導くもっとも豊かな機会である。後者は，教科横断的であり，例外なくすべての教科領域にかかわる。各教科領域の相当の時間が，話す，読む，書くための学習に割り当てられなければならない。

確かに，これにより，時間配分はより複雑な構成になるが，それは熟慮の上の選択である。実際に，言語は，いかなる場合も，内容のまったくない形式的な練習により習得されることはできない。とくに，一人ひとりの児童が自分の読む文章を理解することを望むならば，出会った語をほとんど瞬時に理解するためにアルファベット記号を使えることが必要であるが，同時にまた，児童が確実な知識を獲得しており，自分が読んだものを正確に表現するための十分に豊かな教養を持っていることも必要である。つまり，文字言語は，深化学習期のすべての特定教科の中で，それが保障する多数の知識により，習得される。読むべき通りに読まない，あるいは書くことに困難があるとの理由で，一人ひとりの児童に強固な教養を提供する教育から一分たりとも差し引いてはならない。こうした児童こそ，もっとも明白に，かけがえのない支援を必要としている。一つひとつの読み方や書き方の計画は，正確な知識を構築する活動に根ざしていなければならない。

このように，言語とフランス語の習得は，深化学習期のすべての活動に表れるものであり，それは，各学習の進度において正確な位置を占め，定期的な評価の対象とならなければならない。つまり，それは教員の絶えざる関心とならなければならない。教員がその教育を編成するための支援として，各領域において目指されるべき，話す，読む，書くことに関する能力の要点一覧表が,「言語とフランス語の習得」の章の最後に提示される。

公民教育は，知識が集団的に構成されるという事実により特徴付けられる学校の，もう一つの編成軸である。「共同生活」の制約の明確な意識がなければ，児童は，他者と出会いが各人に開く地平を発見することができない。小学校のこの数年間においてこそ，児童は，友達や教員とともに，相互の尊重や反省的協力の関係を本当に築くことを学ぶ。そうした関係が公民教育への最初の敏感化を可能にする。時間配当に組み込まれている定期的な集会のときに（２週間に１時間)，集団生活により提起された問題を検討する習慣は，深化学習期では，この教育の重要な要素である。この教育は，別の領域において獲得された知識によっても成長する。

深化学習期のこの他の教育は４つの主要領域に配分される。第１は，フランス語と文学・人文教育であり，第２は科学教育，第３と第４は直接身体にかかわるものであり，芸術教育と体育・スポーツである。各領域はそれ自体で閉じるものではない。それが構成された特定の領域の外で，児童が獲得した能力や知識を再び利用するよう絶えず教えなければならない。

最初の領域（フランス語と文学・人文教育）では，それが構造化する知識によって，同時に，獲得できる共通の能力によって，双方が絶えず強化される教育が集められる。それは確固とした教養の基礎となり，他の主要な領域が豊かにすることになる。

文学はこの教養の一部であり，それなくしては，日常的会話（ましては読むこと）で参照する大部分は我々から離れ去る。深化学習期では，この段階では無駄話でしかないような文章の説明技術を確立することが重要ではないことは明らかである。反対に，児童は，豊かな教養が染み込むように，何度も読まなければならない。その教養は，少年少女文学において構成され，発達を続けるものであり，絶えず再編集される「古典」であり，現代の作品でもある。学校の中で，著者により扱われる主要な問題に関する議論を発達させうるのはこうした読みの基礎のもと，そして，その読み手に提示される審美的あるいは道徳的感情のもとにおいてである。印象に残る文章を読み，頻繁に味わう喜びを書く試みに延長する喜びを発見することは同じ読みの基礎による。

言語，特に書き言葉は，フランス語の反省的考察（文法，活用，つづり，語彙）がなければ，習得することができないであろう。言語を用いる喜びを感じ，効果的にそれを使用するのは，言語の論理を理解するときである。児童が書く度に（深化学習期のどの教育領域においても），作成した文章を見直し，比較的安定したつづりを保証するために，辛抱強く行われたこの考察に依拠することができるのは，一定の時間配当の枠内で，この考察の時間をとるからである。このように言語の構造により一層親しむことにより，相対的な複雑さのために直接的な解釈を拒むような文章をよりよく理解することができる。統語法，形態統語法，語彙のあらゆる次元の考察が探求されうる。

外国語又は地域語の教育は，このフランス語の機能の発見と関連付けられてきた。それは，外国語が文法の習得によってのみ獲得されることを前提とするからではない。むしろ反対に，教育課程は全体としてコミュニケーション場面の探求のもとに位置づけられる。そのコミュニケーションが，学校の内外において，日常の生活場面に含まれるほど，児童にとっては充実したものとなる。児童は，他国の児童の経験と比較するために現在の自分の生活を思い起こし，直接彼(女)らと接する方法を得ることができなければならない。地域語は，特にそれにより児童が他の世代との関係を結ぶことができるときには，同様の役割を担う。この言語の発見は，フランス語に関する省察を強固にする支えとなる。それはまた，遠くであれ（外国語），近くであれ（地域語），世界に開かれることである。

歴史と地理は，児童が，歴史的時間と，人間の活動により変えられた空間の多様性に関する最初の知性を構築するよう援助する。それは，人間の世界が児童にとって意味を持ち始めるために必要な文化的指標を与える。フランスの歴史とフランス国土に優先的部分が当てられることを保ちながらも，この教育は，今日必要不可欠なヨーロッパの，さらには世界の次元を開く。歴史における資料の最初の発見と，地理における地図や風景の読み方に支えられて，それは，児童の好奇心を拡大し，文学や，実験科学，芸術教育において効

果的に再活用できる知識を提供する。最後に，歴史と地理は，それがもたらす知識と，それが開発する批判的方法により，公民教育に強固な支えを提供する。より広くは，時間と空間において多様な社会との比較により，児童が，自信を持ち，同時に開かれた，そして，一つの伝統に含まれ，すべての人間に共通する冒険に参加するという意識に基づいた，強いアイデンティティを構築することを可能にしなければならない。

もう一つの重要な新しさは，最初の科学教育に当てられる領域にある。一方の算数と他方の実験科学・技術は，学習指導要領の実施において，できる限り関連付けられるべきである。算数において，この領域において人間を補いうる機械を考慮に入れた，計算の学習に関する新しい見解が登場しても，教育課程の核心は問題解決に中心をおく算数教育の実践的方向性にある。それにより，算数の様々な領域において練り上げられた知識は意味を持つようになる。それは，数多くの場面を取り扱い，別の方法で科学に入るために自由に使える道具となる。科学・技術に関する新しい学習指導要領は，実際，実験的手法にはっきりと中軸を定めている。提示される知識は，それが操作，観察，測定の機会に示される問題から生じるほど，よりよく吸収される。この教育はまた，子どもにとって特に敏感な現代社会の重要な倫理的問題（経済開発，環境や健康）にも開かれる。

他の領域は見直されてきた。芸術教育の名のもとに，真の実践のみが発達させる感覚的知性に力点がおかれる領域。それまでの学習期と同様に，２つの主要な領域，視覚芸術と音楽がそこに含まれ，演劇と詩（文学の教育課程と連携），ダンス（体育・スポーツの教育課程と連携）により補われる。声の実践が音楽と同様に，演劇や詩の活動においても中心となる。描画は依然として視覚芸術の重要な部分であり，それは写真や映画にも開かれていく。主要な作品の調整された発見はこの学習指導要領のもう一つの別の側面である。一人ひとりの児童は，共有されうる参照文化を構成するものと出会わなければならない。その内容は本学習指導要領に付帯される実施要綱により示される。それが近くにあることにより直接に接触できるものは，芸術の歴史への最初の手ほどきの第２の面である。その一覧は大学区ごとに定められる。

体育・スポーツは，深化学習期においても，それまでの学習期と同様に，人格の構造化と自己の変容を狙いとする。しかし，運動的行為に必要な能力の発達と資源の開発は，この年齢における新しい次元である。一方，体を用いる身体的，スポーツ的，芸術的な多様な活動を表現する文化遺産の積極的な発見は,頻繁に描かれる風刺画の類にとどまらない,対応する社会的実践の理解を各自に与える。安全に必要な反射的動作と体型を保つことのできる能力と知識の獲得も，自己の尊重の，したがって言葉の十分な意味で教育の，重要な側面である。

深化学習期では，それまでの学習期と同様に，情報通信技術（TIC）が毎日の学習の普通の道具である。それは，言語とフランス語が内容のないままでは習得されないのと同じことである。学習期の終わりまでに,児童は,付帯文書に詳述される情報通信技術免状(B2i)の水準１の能力を困難なく獲得するために，多様な機能に十分に親しんでおかなければならない。同様に，絵・映像（静止画・動画）の熟慮した利用は，特別の教育の対象ではなく，各領域において展開され，児童が多様な利用法を容易に理解できるようにする。

（藤井穂高）

１．４　ドイツ

バーデン・ヴュルテンベルク州の学習指導要領（基礎学校）（ドイツ語）

基礎学校　学習指導要領
Bildungsplan für die Grundschule

基礎学校　教育計画 2004
Bildungsplan 2004 Grundschule

序

この教育計画 2004 は，生徒のやる気と興味を喚起する学習文化に寄与し，学校活動の質をさらに発展させるような学校教育の内容とスタンダードに関して，何年にもわたって徹底的に確かめた成果である。

教育スタンダードの導入は，成果の比較を容易にするためであり，コアカリキュラムと学校カリキュラムの区別は，学習文化の形成における教育の自明性を強化する。よって，この教育計画は，その構造からわれわれの学校の発展における教育の里程標（Meilenstein）なのである。

あらゆる教育計画と同様，この教育計画もわれわれの学校の生徒をその好奇心や才能を，またアイデンティティや志向の探求の面を真に受け止めてこそ生きてくる。ゆえに陶冶（Bildung）と教育（Erziehung）には分かちがたい関連がある。

同時に，陶冶が始まるのは学校が最初ではないともいえる。学校が子どもや青少年の生活世界に定着するにつれて，学校はその活動において，家族やメディア，今日の子ども期・青少年期を形成している影響要因による支援をますます必要とするのである。だから家庭と学校の教育パートナー関係（Bildungs- und Erziehungspartnerschaft）が根本的に重要である。学校が自立するようになればなるほど，学校のもつ特別な力点や個性について，親とよく対話することが必要となる。

他方で，教育計画 2004 は，学校種ごとに構成されている。バーデン・ヴュルテンベルクの教育制度の質のためには，学校種の特性に応じた発展が必要である。基礎学校の第４学年後の決断は，ある特定の学校修了を決めるのではなく，ある特定の教育構想を決めるものである。基礎学校には，進学する普通教育学校ごとの特色によってさらに発展される基礎が置かれる。それは，われわれの学校法にも定められている。同時に，接続のない修了はないという，そのような原則は，すべての学校に共通の教育原則についての確認を必要とする。すべての教育計画に共通する導入において，これが表現される。バーデン・ヴュルテンベルクの教育制度の透過性（Durchlässigkeit）によって，さまざまな段階で個人の

教育履歴を構築することが可能になる。誰一人として現代化の敗者となってはならないし，その才能を埋もれたままにされる人があってはならないのである。第二の構造政策的な原則は，その点と密接に結びついている。バーデン・ヴュルテンベルクのような州では，過去数十年の経験から，ハイレベルな質の教育で，可能な限り比較ができ，家から近い学校の供給を保障したいという原則がある。われわれの州のすべての地区が一様に発展していることはバーデン・ヴュルテンベルクに関する分析で確認されているが，その重要な一つの理由は根本的にはそこにもある。

教育スタンダードの導入は，われわれの教育計画の構成における新しい基礎となる。新教育計画導入と並行して，なかでも授業評価を可能にする，われわれの学校の質を向上させるシステムに道が与えられる。そうして初めて，学校活動を関係者や世間の関心ある人々にとってわかりやすくし，それぞれの授業文化や学校文化をさらに発展させる手助けとなる手段が開発される。それによって，同時にわれわれは，国際比較において多くの模範がある，われわれの教育制度を統制する新しい段階に入る。多くの詳細な基準の代わりに，教員の教育行為により大きな余地が与えられる。それによって，われわれの学校はその具体的な教育活動において，十分に多様化するのである。スタンダードは，同時に学校教育の成果と修了の見通しにおいてもよりよい方向づけを与えてくれる。この教育制度の統制を徹底して継続することは，われわれの主要な学校修了証である。

教育計画 2004 は，包括的な改革案件の一部である。時間割の割り当て，教科の新しい結びつき，学校種ごとの強調点や支援の提供（Betreuungsangebote），多くの学校での終日の学校の提供，さまざまな教科で共同した授業外プロジェクトがその件に含まれている。それらすべては，国際比較においても高く機能する教育制度を表した言葉である，持続的な学習文化という一つの目標に寄与する。

お力をお貸しくださった方々すべて，特にこの教育計画 2004 を作りあげてくださった方々すべてに感謝いたします。最後にバーデン・ヴュルテンベルク州教育審議会（Bildungsrat Baden-Württemberg）の委員の方々と公聴会内で提案を出してくださった方々すべてに感謝します。私が特に謝意を表したいのは，ハルトムート・フォン・ヘンティッヒ（Hartmut von Hentig）教授です。教授は，教育審議会の委員であり，同審議会の委託を受けてこの教育計画の導入を執筆してくださいました。

教育計画 2004 がわれわれの学校の教員にとって，その活動のしっかりとした基礎になりますように。教員によって，この計画が具体化され，生徒が才能を伸ばし，知を獲得し，経験を重ね，能力を発揮し，方向性を見つけることのできる教育世界が開拓されますように。この計画が，すべての校区（Schulgemeinde）に対し，そこでの共同した努力において，持続的な陶冶・教育文化のための活力を与えることになりますように。

バーデン・ヴュルテンベルク州文化・青少年・スポーツ省大臣
アネッテ・シュヴァン博士

教育計画 2004 への導入

ハルトムート・フォン・ヘンティッヒ教授
バーデン・ヴュルテンベルク州教育審議会会委託

このタイトルには，一つのプログラムと一つの日付とが含まれている。「教育計画」が表すのは：普通教育学校に共通の責務を説明した規則についてということである。「2004」が表すのは：この機関に対して現在もたらされ，認識されている期待への回答に関わるということである。

「教育計画 2004」（Bildungsplan 2004）は，まず単数であるということでこれまでの教授計画（Lehrpläne）とは区別される。「教育計画 2004」は統合されていて，教授計画は分散している。さらに，「陶冶」（Bildung）というドイツ語に伴われる要求によって，教育計画と教授計画とは区別される：陶冶とは若い人々にその全人の発展と強化を支援するものである―つまりは，かれらがこのプロセスの主体となるように。

教授計画は，何が「教えられる」（gelehrt）べきであるかを示している。教育計画は，学ぶという語の広い意味において，若い人が何を「学ぶ」（lernen）べきであるかを示している：どのような要求や目標に向かって，どのような経験が形づくられるのが最もよいのか，そのとき，どのような手段が人生を形成するのに役立ち，どのような能力についてのどのような訓練が有用なのか―かれらの時代に，個人として，市民として存在するのを可能にする手段と能力である。

この経過は，多くが学校において，そしてそこで働く教員によって行われる。この限りにおいて，教育計画は「何が教えられるか」をも含むが，これは教育・陶冶の包括的な責務について，社会から授けられる業務において置かれるのである。

州政府が教育計画 2004 で追求する*目的*は，「Timss（国際数学・理科教育動向調査）やPisa（生徒の学習到達度調査），その他の国際比較調査の結果への応答」をはるかに超えるものである。急速に変化する世界においては，諸機関は，その発展を注意深く観察し，入念に考慮する義務を負っている。諸機関に対して社会は，認識の継続性と同一性とを確保し，安定的で生産的な変化を実現するという両面を要請してきたのである。学校では，人類の経験（Menschheitserfahrungen）やその経験で獲得される「よき生活」の基準が受け継がれ，同時に学校では，いまだ定まっていない将来のための道具が用意される。そこで重要なのは常に，責任と確証に関して，責任を持つことと先入観を持たないこととのバランスである。ここに州政府は，控えめではあるが明確に，学校の目標，方法，習慣を変えるきっかけを見ている。

新しい教育計画の草案にあたって，*きわめて重要なきっかけ*について，それぞれの例と共にここで手短に列挙してみよう。

■ *科学（die Wissenschaft）*は実情に関する新しい知識を生みだし続けるだけではなく，科学自体の前提，作用，伝達様式に関する新しい認識をも生みだすのである。たとえば脳科学から早期学習に対する今までとは違った考えが喚起される。学習科学は，学習環境の特殊な作用に注目してきた。加速する科学利用の拡大には，統合戦略が必要であり，学習形式の変更が求められる。

■ *技術（die Technik）*は人間から肉体的・精神的苦労を取り去るが，逆に，ますます複雑化するその集合体を制御するために，自然やわれわれの肉体的・心的健康に対する技術の影響をより意識的に考えなければならないし，独立した手段のシステム（Mittelsysteme）に対するより広範な責任意識を持たなければならない。たとえば新しいメディアは，教育における知識，思考，経験の関係を変化させる。そして，それは時間と距離，金銭と労働に対する人間の関係をも変えるのである。

■ *世界の経済的・政治的一体化（das wirtschaftliche und politische Zusammenwachsen）*によって人々が相互に関係する数が増え，それにともなって意思疎通の必要性が高まり，誤解や衝突の危険性が上昇する。より大きな調整単位―ヨーロッパ，国際連合，世界教会運動，国際的に活動する非政府組織（NGOs），多国籍企業―が生まれているが，人はその単位に合わせるのではなく，それに対して忠実性がまずは形成されなければならない。その単位のなかで生活する住民の不均質性や移動活動，社会的格差は増大している。それゆえに，たとえば言語学習や異なる生活様式の理解が，個人やそれぞれの社会にとって非常に重要になる。

「加害民族」や「2001 年 9 月 11 日」，「サリドマイド」や「チェルノブイリ」，「人口成長」や「気候変動」，「インターネット」や「グローバル化」，「ホイヤースヴェルダ」や「エアフルト」というキーワードやキーデータに入っている基本的実情は，19 世紀の百科事典的な知識教育以上のものを今日，要求している。この 19 世紀の知識教育が 20 世紀の間に変容してできた情報＝知識＝教育（die Bescheid-Wissens-Bildung）でさえ，まったく不十分なのである。先の基本的実情が必要とするのは，「形式陶冶」（formale Bildung）というフンボルトの観念に近いものである。それはつまり，少ないけれども基本的な「能力」（Kompetenzen）の形成である。この能力は，正確な知覚，判断，行為能力からなる複合的な能力で，それゆえにきわめて重要な実情の理解に必要不可欠なものとされるものなのである。能力の新しい輪郭や「正しい」「重要な」という言葉に含まれる規範的要素を表現し，根拠づけることがこの教育計画 2004 の目的であり，そのなかでここに簡単に示したきっかけがまとめられている。

教育計画 2004 において着手された努力は，教育機関は自らの働きの有効性についての判断を誤っていると明らかにした学問的な研究の成果によって，さらに理由づけされる。したがって教育計画は，そのような自己幻想が生じないために，観念上，組織上の条件を作り出さなければならない。つまり，監査のための明確な基準を立てなければならないのである。

将来，あらゆる教育計画は，その基礎となっている観念やそれの指示する措置が，次の点についてふさわしいか否かということで評価されることになるだろう。現在の世界において，

■ 若い人々の確信や自信*および*協調への用意を高める
■ 市民としての使命，責任，権利を負うように教える
■ 変わりやすく，複雑で，抽象的なわれわれの生活の実情が求めるような判断能力を身につけさせる
■ 世界を理解するために不可欠な知識を開拓する
■ 学ぶ喜び，成果を収める喜びを感じさせる

■ 違いを理解させ，違うものは違うように扱う必要性をわからせる。あるものはそのまま受け入れ，あるものには補整を加えるというように。

これらはすべて，教員たちにとっても消化しやすい形でなされるべきである。

この基準は，計画できる前提を厳密に定めることなくしては実現されえない。この前提を統合することが教育計画の課題なのである

教育計画 2004 の*拘束力（die Verbindlichkeit）*は，３つの次元に分類される。第一の次元では，国家的な基準が作られる；つまり，その基準は各学校に対して義務を負わせるものである。第二の次元では，選ばれた例をもとに，この基準が具体的に説明される；これらの例自体は拘束力をもたないが，そのなかでそのつど水準が明らかになる。第三の次元では，実践に移すためのバリエーションが自由に使用される。主要な試験と比較作業は，第一の次元に関係する。

教育計画 2004 において，教育スタンダード（Bildungsstandards）は，教育の過程を簡潔で明快な秩序とするための手段である。それは，特定の段階において学校にそれを達成する能力があったのか否かについて検証できるような期待を挙げることによって行われる。したがって，教育スタンダードは，教育計画 2004 のなかでそれぞれの学校種や教科ないし教科の組み合わせに割り当てられるが，教育スタンダードは，すべての普通教育学校に共通する期待に合うように決められなければならない。つまり，結局，教育スタンダードは教育計画の総合的な関連から切り離されず，それゆえ，導入部のここで一般的に理解される分類と専門的でない用語を使っている。教育計画では，(1)学校の責務についての明確な観念が真価を発揮し，(2)生徒が達成すべき目標が挙げられ，それは，(a)かれらが重ねた経験や獲得すべき「態度」，(b)身につけるべき「能力」，(c)もっているべき「知識」として区別される。(3)したがうべき教授法や方法論の原理が言及され，(4)責務，目標，原則を保障するのに役立つ対策と仕組みが挙げられる。この部分では，教育スタンダードは特別な課題である検証に役立つ。

学校の責務

現代の義務教育学校は宗教改革と重商主義の結果として生じたものである。つまり，すべての人々が聖書を読むことができるように，そして，すべての人々が公共体のために役立つような商業を追求することができるように，と。実用的で政治的，学術的で社交的，儀礼的で美的といった技能が一体化した貴族文化は，宮廷で，わざわざそのために招かれた家庭教師のもとで，最後にはよりむだのない貴族学校で学ばれたのであった。あとから押し迫ってきた市民階級は，書き方学校（Schreibschule），後には上級学校（Gelehrtenschule）で満足していた。これらの学校は，社会的上昇を可能にし，その成果，すなわち学校教育は「そこに属していた」ことを証明した。国民国家は，すべての学校段階，すべての学校種において，望ましい愛国心が教えられるよう取り計らった。共和制の世紀である 20 世紀になってはじめて，「政治」教育（”politische” Bildung）の意識が生まれた。その教育は，国家制度と若い市民に対して公立学校という義務を負わせるものである。近頃では，これから，未来の潜在能力，すなわち*人的資源 human resource* が生じている。その時々の社会の位置的安定は，この人的資源にかかっている。

このような意図や責務の混成のなかから，教育計画立案は選択を下し，その選択が誰か

らも同意されるような理由づけされた秩序を生み出す。ここに提出する教育計画 2004 では，それは次のようなことである。

１．学校であげられるべき成果が「教育」（Bildung）である。教育には３つの定義がある。*第一に*,「形成される人間」（der sich bildende Mensch）が気にかけるもので，所有というよりも経過である。そのような人は，社会とは無関係にひたすらこれを志向する。ロビンソンですら過去の時間について釈明をしている。記憶を保ち，決まりごとをつくり，自然を観察して解明し，書を読み，詩をつくり，歌って，その分野のことで腕に磨きをかけている。つまり，来ない救出への望みと起こらない事態への「感覚」（Sinn）という想像力を伸ばしている。それは*個人的陶冶（persönliche Bildung）*であり，理解されるように，その人が育った文化によって強く規定されるものであるが,文化がなくとも通用するものである。

*第二に*教育は，歴史的世界で，*社会状態（état civil）*のなかで，生き残る能力を人に与えるものである：同じような人々で満たされた世界で自分の位置を確かめ，職業分化された社会で生き残ることを可能にする知識と技能，態度と行動様式である。これが*実際陶冶（praktische Bildung）*である。

教育とは*第三に*，共同体が文明化し，平和で，自由であり，幸福を求められる存在であることを可能にするものである。つまり，公共の福祉，法と義務の存在・知識・遵守，自由の用語，秩序と礼儀作法の尊重に対して個人の目を向けさせるのが教育なのである。教育には，社会における適切なバランスをとる権限がある。教育は，目的と手段，その両者の関係を守らせるようにする。教育は，時間と資源の限定と力量に鑑みて決断する能力を与える。これが*政治的陶冶（politische Bildung）*である。

３つの定義すべてをわれわれは学校に委譲してきた。誰一人として，他の人の犠牲にされてはならない。世界経済の発展を考慮すれば，労働市場で，科学技術の分野で，直接役に立つ教育成果，すなわち*職能（marketable skills）*が特に奨励されるのは当然である。州政府の教育計画 2004 は, ３つの責務すべてに等しい意義を主張しなければならない―生徒の全人格の発達，社会の生き残り能力，われわれの共和国や生まれつつあるヨーロッパ，将来の世界共同体の市民という立場での若い人々の訓練である。もっとも，それらを調和させ，バランスをとるのは学校にとって容易なことではない。そのどれかが優勢になることもあれば，ほかの課題が優勢になることもあるが，外的な状況や発展によって優遇されることがほとんどである。そうなれば，責任の影響を修正し，バランスを取り戻さなければならない。

２．責任とバランスに関する行動基準は，連邦共和国の自由・民主という基本体制に基づくバーデン・ヴュルテンベルク州法と州学校法にある。

３．そのなかで親の「教育要求」（Erziehungsanspruch）と公立学校の「陶冶要求」（Bildungsanspruch）との関係が慎重に整理されている。後者は，若い人々相互の関係を学ぶ場であり，文化，生い立ち，価値観念，学習習慣，習慣的思考，得意・不得意，期待・困難の異なる人々との間で学習する場なのである。それゆえに学校は，同様に家庭も当然やめることのない，生徒の陶冶に寄与するという教育責務も有するのである。公立学校の

責務から，公立学校には，より密接で一致した親との協力が義務づけられ，学校外協力者（地方自治体，教会，企業，団体，文化施設）との専門的協力が想起される。

４．学校とそれを導く構想には，上述した教育の３形式を超えて，精神的，社会的，経済的作用がある。なんの特徴ももたず学校へ来る子どもはいない：男児か女児か，一人っ子か兄弟のいる子か，注意深く見守る裕福な家庭の子か無秩序で不利な生活環境の子か。若い人々は誰もが教育への権利をもっている。公立学校はかれらに対して，この権利の充足に必要な援助を負っている―出自や性別，経済状況とは関係なく，かれらの特別な才能を明確に考慮して。子どもは１人として見放されてはならない。生徒は１人として，少なくとも「教育訓練の素地となる力」（Ausbildungsfähigkeit）を達成することなく学校を去るべきではない。これらは特に教育計画 2004 の基幹学校（Hauptschule）に向けられた部分で綿密に新しく考慮されている。

学校種が相互に通じていることは，それぞれが異なる方法を試したり，いまある多様性を教育的に利用したり，誤った決定を修正したりするのに役立つ。学校は，すべての段階，すべての学校種で，適切な支援と動機づけをしなければならない。

５．州法と学校法は学校に対し，「キリスト教および西洋の教育価値，文化価値に基づいて子どもたちを」教育する責務を与えている。これは他方で，キリスト教的寛容と，他者の尊厳および信念の尊重とを要求している。すなわち，学校は他の文化の生徒に対して開かれており，わが国への移住者を統合するよう努めている。

生徒が達成すべき目標

生徒が達成すべき目標を立てることは，教育計画を立案する者に対して，必要で，満足でき，よく知られていて，それゆえしばしば度を超している課題である。そのようなリストが有効になるのは，３つの特性によってである：リストは，簡潔で，特徴を示していなければならない；目標は学校の責務に適合していなければならない；目標は，学校が行うことのできる手段と方法で実現可能なものでなければならない。

本序論では，第三の努力についての輪郭を示すだけにする。仕上げは，各パートでの教育計画 2004 自身に残されている。

本序論は，この期待について，簡単に，専門知識がなくても理解できる区分を行う。(a)態度（Einstellungen），(b)能力（Fähigkeiten），(c)知識（Kenntnisse）である。

(a)態度（Einstellungen）

獲得が望まれ，学校に奨励される態度には，姿勢，用意，抑制，習慣，信念，確信，そして疑念が含まれる。それらは，人間，共同体，人生の課題や人生の意味，満足と幸運，平和と正義，罪と赦し，歴史性と自然，健康，美，有限性，運命，神ということについての観念によって裏づけられ，明らかにされる。それらの観念は，非常に限定的にしか教えられない（そして「教えられる」ことは「知識」のところで生じる）。それらは，たとえば授業科目のような特定の催しに限定されない。それらは，分けて調べることができるようなもの（abprüfbar）でなく，自動車を運転する「能力」（Kompetenz）や原稿を見ずに演説

する「能力」のように，あるときに「できた」として項目から外すことはできない。

20 年前に実証的研究で示されたのは，学校はどの程度，学校の「エートス」を引き受けることができるのか，これがどの程度に個人や学校共同体，その雰囲気がもつ健全性や能力を促進するのか，ということである。現在および将来の市民の特定の態度から社会が得るものについての注意を喚起するのが，次のリストの意義である。このリストでは，特定の態度は，「社会の結束力」の消滅が嘆かれる社会での「学校の責務」と明確に関連づけられている。

ここに挙げる態度はすべて教育計画 2004 から取ったものである。教育計画によれば，各学校は，大人の行動を通じて，思いやりのある，根気強い励ましを通じて，公的な表彰や私的な褒美を通じて，活動の余地，助力，適切な挑戦の承認を通じて，能力を証明する機会や課題，意義ある規則の準備を通じて，生徒に次の 10 の特徴的な経験を与える努力をする。

１．生徒は，人生の確信を得て，それに伴う不安を克服し，学ぶ喜び，試行錯誤する喜びを持って，好奇心を広げ，満足の行く道へ向いて，さらに学び続ける用意を手にする。

２．生徒は，危険にさらされている自然財，小さきもの，弱きもの，傷つきやすきもの，見いだされるよき秩序，かれら自身に与えられた親切，安全，権利を守ることへの少なからぬ喜びを獲得する。

３．生徒は他者からの信頼を喜び，それゆえ自分からの信頼を示す。生徒は，労働分化された世界で自分の持ち分を引き受ける。かれらはそれを必要とされる満足感と結びつける。かれらのやる気（Leistungsbereitschaft）は，よい業績が認知されるのにともなって高まる。

４．生徒は最初に感情を発達させ，それから共通の生活環境の形成や改善に対して，それらの前提や目標に対しての責任感を発達させる。生徒は，初めは小さな共同体の，それから大きな共同体の生活に積極的に参加しようとする。生徒は自身の行動に責任をもって応じる。

５．生徒は，批判する権利をもつためには，あるいは，思い切って対立してみるには，確信，価値観念，基準が必要なことを学ぶ。生徒は公の争いで，冷静と情熱を発達させる。生徒は，「戦い抜く」意味があることを経験し，いつ譲歩するのがよいかを学ぶ。生徒は民主主義の基礎をなす難しくも有益な原則を認識する。生徒は，周辺グループの苦境に気づき，それを含みいれて，支援する。

６．生徒は，肉体的・精神的な暴力を断つことを学ぶ。生徒は，法や国家による権力の独占が，平和や安全を与える機能をもつことを認める。生徒は，自己の信条を公にする勇気の必要性と特殊な有効性を経験する，あるいは，それを出さなかったことへの恥を経験する。

７．生徒は，自分の性別について，もう一方の性別について，性別の生物学的機能と精神的機能について，交際と家族について，人生の段階について，年齢とその特色について，つい先ごろまでかれら自身がそうであった子どもについて，明確に理解する。生徒は，公的な生活と私的な生活の区別を学び，どのように私的生活が守られるかを学ぶ。生徒は，決断をくだすことによって自身の「アイデンティティ」を知る。かれらは，自身の決断の強さは根拠づけの真実性にあることをも知る。それなくしては，自己の強さはむしろ弱点である。

８．生徒は学ぶことを楽しむ。静，動，遊び，美，自然，芸術。生徒は，どのように楽しみの量を適正化し，楽しみを洗練させるかを学ぶ。

９．生徒は，近隣，都市，共和国を超えて，ヨーロッパに，世界に目を開く。生徒は世界市民の自由とともに，自分の民族，言語，国家の特殊性に対する感性を得る。

10．生徒は，「究極の問い」（etzten Fragen）に心を開く。生徒は啓蒙をとるか信仰をとるかの決断をする，あるいは，その両者を結びつけることに決める。

「絶対」“absolut”の態度はない。態度は，それが有効であるとされる場合には，常に能力に左右され，専門的な理解力と結びついている。単に同一のやり方で態度を操作する方法が明確にされないからといって，態度が能力や理解力より後ろに置かれたり，それらの犠牲とされたりしてはならない。このような理由で，態度はここで最も重要なのである。

(b)能力（Fähigkeiten）

「能力」（Fähigkeiten）という言葉は，教育学では昔から，「知識」や「態度」との間で概念を限定するのに役立ってきた。この言葉は，ほかの要求のなかには，あるいは，ほかの要求の背後には消えてしまうことがないとされるものに名前を与える。しかし，実践では，学校で獲得するための努力がなされる能力は，特定の事態や特定の心的な気質から分けるべきではない。概念上の明確な区分がもつ長所は，同じくらい明確に，つなぎ合わせるのも可能だということである。

「能力」（Kompetenz）という言葉は，国際的な潮流に導かれてドイツにおいても，まさに概念上の区別をやめるために取り入れられた。たとえば「読解力」（Lesefähigkeit）という能力は拡大されているようである。一方では，読む用意，読む習慣，読む喜び，書かれたメッセージを「解読する」（Entzifferung）意志，成り行きの普遍的な重要性への意識に関して，他方では，書き手が用いた，テキストの種類，表現・印象の意図，濃密化・コード化・異化の技法に「実務的に」（sachlich）慣れ親しんでいるか，そして特に使いこなすことのできる知識や参考資料に関して。

能力概念の長所は，一方では散在している情報からのあいまいな結論づけ（bloßer Stoffhuberei）から，他方では心的態度の育成から，カテゴリー上で離れることにある。能力概念によって，教育経歴やカリキュラムによる比較が可能になり，実際的に３つの能力証明カテゴリーにも，いわんや教科や知識領域にも分類することのできない人生の課題に

ついて，学校活動の理解がより深められる。

教育計画 2004 は，一方のモデルを採用し，他方を棄却するのではなく，両方の方法を取る。つまり，その名について意見の一致が明確な諸能力を挙げる。

■個人の能力（personale Kompetenz）
■社会能力（Sozialkompetenz）
■方法能力（Methodenkompetenz）
■専門能力（Fach-(oder Sach) Kompetenz）

は，しかし，その構成要素の確定や計量を断念する。

この導入部では,教育計画 2004 で要請される多様な能力から 10 例で再び満足としよう。

１．生徒は，全般的にも意図的にも注意する能力を授業で獲得する。観察したり，聞き入ったりということは意識的に行われ，それは知識獲得に利用される。生徒は，観察と評価とを区別することを学ぶ。かれらは,「客観化」の原則を理解し，この手続きの模範的な方法を知るようになる。かれらは「事物の科学」と「生物の科学」との区別を認識する。演繹的方法と帰納的方法とが比較される。かれらは，真相を調査し，観察を記録し，さまざまな観察－見解の中の一つを選択し，自身の調査を時間的，技術的に計画することを学ぶ。

２．生徒は授業の中で，考えるための適切な問いによって指導される。目指されるのは，いわば日常語による思考に加えて，適切な機会に概念的な思考を獲得することである。定義，推論，考えの調整を伴って，実情が評価され，検討される。

３．機械的な読書をこえて，さまざまな長さ，文体の文章の含意を引き出す能力は，いろいろなテクニックで補われるが，テクニックがその能力のすべてにはならない。「鉛筆を使って読む」ことで，重要なことと付随的なこととの区別が強要されるが，その区別が正しくなされるものであるということを保障するものではない。ゆえに読解力は，常に読解の討論によって付け加えられ，向上しうるのである。抜粋，記録，要約，自分自身に発する点検の問いという「視覚的記憶」は型どおりに練習される。

４．発言能力は，参与と民主主義の時代におけるものであるが，利用可能な技術的手段という点を考えれば，読解力に劣らず重要なものである。生徒は，有効な発言，もっともな発言とはどのようなものかを授業の中で知っていく。討論は，準備された論争（ディベート）を通して適切に練習される。論争の対象だけでなく自らも表現能力によって勝利する。思考の秩序，対話ならびに文字による記録での感性よりも，わずかな教育プロセス（Bildungsvorgänge）のほうが，効果の面ではまさっているかもしれない。

５．生徒は，基本的には依然として学校で外国語を獲得する。かれらは，外国語を始められるのが早ければ早いほど，その習得が容易になる。それゆえ教育計画 2004 は，外国語習得を第１学年から予定している。フランス語はライン川上流のわれわれの隣人の言語として，英語はその他の土地の言葉として。学校経歴の間，英語はすべての生徒に予定されている。フランス語は上級学校で重要な役割をもつ。ギムナジウムの生徒はギリシャ語とラ

テン語の形式を学ぶべきで，それらはヨーロッパの歴史やその思考形式，言語様式を解き明かすのに役立つ。

６．すでにある状況において，その状況を明らかにする数学的関係を認識する能力は，多分に（純粋）数学の知識なくしては不可能である。それでも，初歩的な数学的方法で，問題を理解可能，解決可能なものとすることができるような問題の数学化という試みは，何よりも重要なことである。

７．コンピュータの時代では，この機器を意のままに扱い，インターネット接続を有効に利用することは必須である。作業手段としてのコンピュータや情報源としてのインターネットに加えて，図書館，レンタルビデオ店，美術館や博物館といった施設も必要不可欠な補助手段であり，特に学校で，あるいは，学校を通して利用できるようにすべきものである。生徒は，専門書や事典からCDやCD-ROMまで，情報手段を使いこなすことを学ぶ。

８．発言権の増大する時代では，個人に発言の義務が生じる。そのために個人は西洋で発達した秩序と手続きを知っている必要がある。手続き規則（議会手続き）は，普通教育学校でそれぞれに適した機会に訓練されることによって，手続きの機能するさまが理解される。

９．労働分化された世界では，協調する能力とほかの人に自分を理解させる可能性，この問題にさらされる用意とが重要な位置にある。

10．すべての生徒は，適当な時機に，自分の将来の生活をやりとげることに目を向けるようにならなければならない。人生設計をし，そのために用意すべきものを計画することを学ぶ。

(c)知識（Kenntnisse）

特に Pisa 以降，かつての教授計画が示していた知のピラミッドから脱却するという教育計画者の意図がみられ，またそれが守られているが，この意図は，一般的には「がらくたの除去」（Entrümpelung）とよばれ，教育理論では，そのつど学ばれるべき対象の「範例性」（Exemplarizität）によって説明された，かつての努力を再度採用したものである。

この観点によれば，教育計画 2004 は「保守的」（konservativ）なように振舞っている。教育計画 2004 で「必修」（verbindlich）と説明されている知識は，広く教科に割り当てられ，設置されているものについては教科グループに割り当てられたままである。しかし，特に「学校種を包括する」（schulartübergreifend）スタンダードについて，ここでは一般的なことについてのみ言及することができよう。知の対象（いわゆる教育の「内容」（Inhalt））を分類しない分岐型の学校システムは，自ら否定されるだろう。

再びこの導入部で，厳密な集権によって，コアカリキュラムや割り当て授業時間の導入によって，「中心テーマ」（zentrale Themen）という規準によって達成されうることについて考えの伝達を試みる。より大きな見通し，教育の統一にとっての意味，総合計画の簡素

化，個別の学校カリキュラムの裁量。
　そして，またしてもこの導入部は，教育計画 2004 の基本的傾向が具体的に示している 10 の領域・テーマの説明に限定される。集権，首尾一貫性，輪郭。

１．人間，その性向と文化。ここで獲得されるべき知識は，人類学の基本的事実，地理や気候に関する生活条件から，神話や歴史解釈，文化芸術作品で表される「人間像」（Menschenbilder）にまでわたる。創世記，プロメテウス伝説，進化論，有史以前・以後の判定，ホモ・サピエンス／ホモ・ファーベル／ホモ・サイコロジクス。

２．世界，時間，社会。生徒は，主要な権力の産物（統治形式），生活共同体，運動，発展，革命，人間の行動の依存性と自発性，衝突と終末について，過去と現在から選び出されたふさわしい例から知識を得る。同時に，また，そのために，時代や年月日の骨組みが築かれる。

３．歴史性，歴史像，歴史上の人物。この骨組みの内部で，生徒は次に選び出した事象や主題についてのはっきりしたイメージを手に入れる。すなわち，古代，中世，ヨーロッパの世界進出，啓蒙（フランス革命），第一次・第二次世界大戦，ヒトラー時代，戦後史について。かれらは，歴史的人物の一人ひとりの行為と効力を知る。

４．物質，自然，技術。生徒は，われわれをとりまき，支えている世界について，生体とその成長について，化学物質とその結合について，物理学の古典的分野と基本的法則について，そして，それらに関して発展した「科学」（science）とその恩恵，よくない結果について，「道具」（Werkzeug）と技術について，その典型的な方法とその経済や生態系への影響について，それぞれ適切な例によって，基本的な知識を習得する。

５．経済，労働，健康。生徒は，社会の中心体制について簡単なイメージを形成する。互いにかみ合う要素が，労働，原料，資本，生産性，商業，流通，社会的受け入れ網，健康管理に対してどのように機能しているのかを市民が十分に知らないということが，関係性の変化する現在，複数の静的な共和国が経験している危機の一部となっている。基本的な依存関係の具体的なモデルによって，かなりのことが明らかになり，確実な決断ができるようになる。

６．人文科学としての数学。数学化する「能力」（Fähigkeit）をこえて，生徒は，ユークリッド幾何学や代数学の基礎知識や，数える，測る，関係づける，（空間的，時間的に）構造化する，アルゴリズム化するという数学の基本的機能を駆使することができる。かれらは，「与えられた値をほかのある値に比例させる」とはどういうことか，統計や計算，確率論で何が行われているかを理解する。かれらは，またしても初歩的な類ではあるが数学的解決モデルや数学的表現形式のレパートリーを使いこなす。すなわち，図表，グラフ，座標系など，能力と知識の混合である。最終的には，生徒は，数学を美学的な出来事として経験したということになる。

７．言語と諸言語。ここでもやはり，能力と知識からなる混合物が重要である。一義的に知識とされるのは，印欧語の文構造とそれについて立ち入れば，文法に共通する用語法の習熟である。生徒は自身の言語知識に，その言語を話す民族の生活の仕方に関する想像を結びつける。かれらは，それぞれの正書法の規則を使いこなす。

８．文学。生徒は，文学のジャンルやエポックを理解するのに必要とされるきわめて重要な区分を知る。成功した文学の授業の成果として，次のことが期待される。各生徒が２編の詩を選んで暗誦でき，その選択を理由づけられる。各生徒は叙事的作品３作をすべて読み，その内容を再現し，なぜその作品がかれらにとって重要であるかを説明することができる。各生徒は，演劇作品を２本観て，さらに２作品を読み，１作品の上演にできる限り参加し，その作品が与えようとする作用はどのようなもので，それが与えられるのか否かを知る。選ばれた作品とのふれあいによって，生徒は，好奇心に満ち，綿密で，歴史的な難しさを意識した読み手になった。その読み手は，どのようにしてこのすばらしい作用となるのか，文学作品は現実とどのように関係しているのか，文学作品自体がどのような可能性を持ちうるのか，そしてそのようなものを書くということについて問い，生涯にわたってこの習慣を続けていく。その点において，これは「知識」というよりも「態度」に属することである。読書の規範に固執する人は，文化は共通の「歴史」で維持され，共通の意志伝達の可能性も同様であるという主張に基づいている。「読んだ」というのではなく，「読むのが好きで，読んで得るところがある」というのが目標である。

９．芸術。芸術の「知識」は，第一に，作品をゆっくりと，集中して，繰り返し鑑賞することにある。そうして初めて，それらの作品が解釈される必要がでてくる。芸術史や音楽史，芸術理論や音楽理論は，それらが同時に文化史の一部であるならば，解釈に役立つであろう。

10．すべての生徒は，世界の宗教の多様性についての観念を持つべきである。プロテスタントおよびカトリックの宗教教授の形式でキリスト教を教えることが，バーデン・ヴュルテンベルクの学校に対し，法律で命じられている。この法律を必要とする生徒のために。かれらは，それのみならず，二派相互の相違点から他の宗教にいたるまでの知識をもつべきである。どの宗教共同体にも属していない人もやはり，宗教授業の参加が認められるべきである。すべての生徒は，倫理の基本問題や基本概念の初歩を教わるべきである。すべての生徒は，自分の日常的な思索を明らかにするために，何人かの偉大な哲学者とその説を知るべきである。

教授法上，方法論上の原則

教導施設から離れて，教育施設となる学校の発展は，ドイツでは数十年来，それぞれの学校共同体，学校，授業科目，（「学級レベルでの」（on the classroom level））授業の種類において起きている。教育計画 2004 は，多くの点でその後を追っているにすぎない。教育計画 2004 やなかでも特定の教授法上，方法論上の原則（方法ではない）によって，学校当局

は教員集団を支えている。当局は，特定のやり方を熱心に教えるわけではなく，むしろそれらに対して賛同を表明するのである。同時に当局は，考えられる誤った方向への発展に関する注意を喚起する。この誤った方向への発展とは，ほかの重要な発展と並行して現れるかもしれないものである。新しいメディアを授業に導入したり，標準化されたテストを用いて体系的に検証（評価）したりすることによって，また，さまざまなものが考えられる媒体や今日の技術的な方法によって，根本的な学習の個人化や物質化が起こるかもしれない（ワークブックが共同授業に代わる)。能力，知識，態度の構えを自発的に身につけるように仕向けることが，教導（カリキュラムの消化）に取って代わるのは，おそらく今まで述べられ，変更されてきた学習目標や能力一覧に基づくというよりも，ここで話題にした原則に基づいて達成される。

再びここで例示的に，つまりすべてをそろえることは考えないで，教授法上の原則と方法原理を続けよう。

１．学習は二重の意味において行動志向である。すなわち，第一にそれが後に日常や仕事で使えるかという点で解釈される。何かを使って行動することができなければ，それを知っている，わかっているということにはならない。第二に学習は，かなりの部分まで行動によって遂行される。そのため教育計画 2004 には，「行為実行において」（im Handlungsvollzug）という表現が頻繁に登場する。これは教育理論では「なすことによって学ぶ」（learning by doing）（Lernen durch Handeln）と呼ばれている。

２．学習行為は，自発性，自己責任，自己統制 Selbstkontrolle（selfdirection）を可能にすると同時に，それらを要求する。航海日誌（日々の学習を記録するもの)，学習したことを他の人に意識的に伝えること（プレゼンテーション)，自分の成績を（ポートフォリオに）まとめること，というのは，教師の評価や評点よりも資質意識（Qualitätsbewusstsein）に大きな働きをする。自分の学習への責任は,（教員によって行われる）共同学習への責任において，重要な補完と励ましを得る。授業経過の計画や機会・対象の選択に生徒を参加させることで，授業への参加を強化するのである。

３．学ぶことは―同様に教えることは―，本人自身にとって意義が深く，感動的である。ゆえに，学習は生徒の問いや理解の問題，人生の問題を出発点とするのである。教育計画 2004 では，それを「能動的に発見する」（Aktiv-entdeckend）といっている。教師もまた，「完成されたもの」（Fertiges)，「最終的なもの」（Endgültiges）を教えるのではなく，かれらをなお駆り立てるもの,かれらがそれに基づいて生き方の範を示すようなものを教える。教師が教えることは，かれらにとってもやはり重要なことであるべきだ。

４．励まし，不必要な拒絶（モチベーション剥奪）の回避，意欲の誘発は高度な技術であり，教育計画で指示されうるものではない。しかし，これに関連する原則は，実情の解明に始まる学習期待である。教える者の最も重要なはたらきは，理解を可能にすることである。

５．教える者が高い業績概念をもち，独自の，さまざまな，予定されていない答えを認める（そしてそれを予定していた答えと関連づけることができる）ならば，それは，その人の寛大さというよりも専門知識の証明である。

６．子どもは多くのことをお互いから学ぶ。年少者は特に年長者から学ぶ（cross-age teaching）が，年長者も年少者に何かを説明することによって学んでいる；ましてやかれらは一緒に学んでいる。協力は，行為や自発性と同様に，目的であるだけではなく，学習の方法でもある。

７．学びのつながりが生徒間でうつっていくように，対象と能力のつながりもうつっていくものである。本教育計画の意味での能力は，常に他の能力と結びついている。専門能力は，「決して孤立した形で」現れることは「ない」ということである。社会的能力は，個人の専門能力や方法上の能力と組み合わされ，ともに発達させることができる。

８．行われた学習の成功は，有意義なリズム化に大きく左右される。集中と冷静，録画と再生，肉体的・感覚的要求と精神的要求を交替させることである。

９．学習は，「学習戦略」（Lernstrategien）によって容易化される。これは，学習状況や適切な教科に関してそのつど意識的に作られ，利用されるべきである。教える者は，学んだことの復習，応用，「転移」するのに適った機会を用意する。13 ページに列挙してある先述の技術における訓練とあわせて。教える者は，らせん型カリキュラム（Spiralcurriculum）（繰り返される要求を高め，広げること）の原則をよく知っていなければならない。学ぶ者が絶対に知っている必要はないが。

10．学校外での経験や学校外での役割は，学習動機にかなり寄与し，それゆえ体系的に取り入れられ，評価に際して高く評価されるべきものである。「学校の外へ出る―学校に何かをもってくる」（Aus der Schule gehen – etwas in die Schule mitbringen）。この原則は，学校や教科の効果を向上させる。

責務，教育目標，教授法上・方法論上の原則を保証するための対策と組織

対策という言葉が意味するのは，学校の構造には手をつけずに役立つ個別の予防措置である。それらはここでそれ自体の目的のために描写されるのではない。それにもかかわらず，それらは重要なのである。その効果は，過去に非常に激しい闘いのあった構造改革をむしろ上回るかもしれない。

本来の意味で教育計画は，このような対策によって，特に独自の学校カリキュラムを編成するという各学校に課された使命によって推進される。ここでも，本導入部は教育計画 2004 に挙げられた対策から選んだものだけをみる。それらは，計画の意図の特色を示している。

１．各学校種のそれぞれの教科に対して，コアカリキュラム（Kerncurriculum）は拘束力を

もつものと設定されている。コアカリキュラムは，生徒の授業時間の３分の２を要求する。コアカリキュラムの意義は，第一に期待される学習成果，授業成果の基準を定義すること，第二にそれによって学校独自のカリキュラムに関する自由裁量を保証することである。

２．学校カリキュラム（Schulcurriculum）は，学校が自ら作り上げるべきである。この計画過程やその自主的な実施から，計画された教育課題に対する関心の高まりや，その課題に着手する際の集中が期待される。学校カリキュラムは，（それぞれの教育過程におけるそれぞれの教科に対する）明確な基本思想によって系統立てられる。教育計画 2004 でふれている主題は，「レパートリーの拡大」（Erweiterung des Repertoires）や，希望する特定の学習選択肢，その場に与えられた状況のなかで置かれた学習選択肢の「深化／強化」（Vertiefung/ Intensivierung）である。

３．教育計画は，学校の基本責務の一つ一つに対して，基本的問題を問うている。

学習と活動

- 学校は，自己責任による学習と作業に対して，どのような可能性を開くのか。
- どのようにしてすべての授業科目や合同科目における言語（特にドイツ語）の役割を正当に評価するのか。
- どのような学校内部の構想によって，生徒の母語能力や外国語能力を強化するのか。
- 生徒の出自言語の重要性に鑑みて，多言語併用能力をどのように考慮するのか。
- 二言語併用学習・活動をどのように支援するのか。
- 成績のよい／よくない生徒をどのように識別し，助言し，区別して支援することができるのか。
- 創造的な芸術的可能性は（例えば合唱団やオーケストラ，劇団によって）どのように支援されるのか。
- 能力を発達させるための学校独自のカリキュラムをどのように形成するのか。

共同体で生活する

- お互いの関係を築き，方向を与えるために，どのような取り決めをするのか。
- 衝突の解決のためにどのような教育的可能性を活用するのか。
- 生徒の人生問題を克服するためにどのような手助けを与えるのか。
- 学校共同体は，生徒の特別な生活環境や学校周辺でのさまざまな生活世界をどのように考慮することができるのか。
- 性別に関するアイデンティティを獲得するために，少年少女たちが，あらゆる相違に関して同じ権利，同じ価値をもっていると自覚することは，学校でどのように達成されるのか。

民主主義を学ぶ

- 学級や学校の次元では，どのような形態の共同決定，共同形成があるのか。
- 生徒が共通の問題の処理に協力する能力と意志をもつために，どのようにして責任の

引き受けと言語能力を支援するのか。
■ 生徒の連帯責任は，どのように促進されるのか。
■ 「外部にある」政治的民主主義について，どのような見解を与えるのか。

親や学校外のパートナーとの協力

■ 親との共通教育責務の達成をどのように作り上げるのか。
■ われわれの学校構想の発展と実現に，親や学校外のパートナーをどのように関与させるのか。
■ 学校外の青少年活動は，どのように授業や学校に組み入れられるのか。

中心テーマと学校の課題

■ 学校は，次の中心テーマを年齢に応じてどのように並べ替えるのか。ここでは，10 の代表例を選んでいる。
・ 職業に関する方向性と労働世界
・ 世代間対話
・ ヨーロッパ
・ 性教育
・ 健康教育と依存症予防
・ 衝突の克服と暴力予防
・ 読書促進
・ メディア教育
・ 環境教育と持続性
・ 消費者教育と余暇形成

４．成果の上がりにくい生徒や不利な条件にある生徒に対して，定めるべき支援対策とサポート提供を学校に行わせる，また，行えるようにする。この仕事は，多くの場合，なかでも学校外パートナーとの共同作業によって可能になる。

５．教育計画 2004 では，科目の結合が初めて拘束力をもって導入されている。例えば基幹学校では，
■ 世界 - 時間 - 社会
■ 物質 - 自然 - 技術
■ 経済 - 労働 - 健康
■ 音楽 - スポーツ - 造形
これらの結びつきは，新しい時間配分やそれらのテーマを生活により近づけることを可能にし，必要とする。

６．学校は中央機関から定期的に評価されるだけではなく，学校には自己評価が求められ，その権限と能力が与えられる。「自己評価と他者評価は，相互に必要とされる。そして，経験的に保障された，目標志向型で体系的な現場での質の発展に寄与する」。中央機関によ

る検査と「比較作業」はコアカリキュラムに関係する。コアカリキュラムでは特に，教育スタンダードが有効となる。

７．バーデン・ヴュルテンベルクの学校では，第一学年から外国語学習が始まる。

８．終日学校（Ganztagsschule）は，状況がそれを求め，許す範囲で生まれる。そこでの発展は，それが授業をこえた学校生活を可能にし，より教育的な時間配分の実施を可能にするので，歓迎され，支援される。学校は，それと結びついた時間に関する裁量の余地を学校外パートナーとの共同作業のために，また，不利な条件にある生徒や才能ある生徒の支援での特別学習プロジェクトのために，活用することができる。しかし，全日運営でなくとも学校は，割り当て時間割や新たな自治に基づいて，別のより教育的な時間配分を手にすることができる（14 ページ（＝本資料 p. 106）を参照）。

９．「学んだことは，試される」という古い文（これは，しばしば「そして，試される形で学ぶ」という文で補足される）が，教育的意図や教授技能の無力さを主張するために，一般に引用される。そう表現された状況は，試験が不自然な学習経過に即しているという意識で試験が作られていることによって，ますます強化される。文部省は，教育諸計画の平準化によって試験を始め，それによって，広く求められているいわゆる「アウトプット・コントロール」（output-Steuerung）を初めてあるべき姿にするという試みを興味深く観察する：授業の改善。

10．スポーツ・遊び・運動は，すべての学校で，スポーツの授業を超えて，つまり休み時間，集団旅行，スポーツ連盟との共同作業において，促進される。多くの基礎学校に導入された「スポーツ・体育を重点とする基礎学校」というプログラムは，児童に運動の喜びを呼び起こし，それを強化するというもので，近年中にすべての基礎学校に拡大されるべきである。

教育計画 2004 の主要な意図や基準，対策についての展望をこの導入部で示したが，それは，州のすべての学校種，すなわち基礎学校，基幹学校，実科学校，ギムナジウムに適用される。これから明らかなのは，この説明の普遍性と開放性で，それは，これに続く個々の計画におけるいっそう明確な規定や確認に引き継がれる。「導入」とそれぞれの「仕上げ」はお互いを補い合う部分として読まれるべきである。教育計画 2004 のほかならぬ一方として。

ドイツ語
DEUTSCH

Ⅰ．能力獲得のための基本方針

ドイツ語授業の中心課題

言語発達は，肯定的な全面発達の創造的な過程であり，結果である。語彙，概念形成，文法構造，調音，イントネーション，メタ言語能力の教育は，生まれたときから，認知的発達やインタラクティブな発達との連動に埋め込まれている。その過程で，子どもには大きな個人差があることが観察される。ゆえに，基礎学校，幼稚園，親の協力に大きな意義があるのである。

また，基礎学校時代，子どもは言語習得の集中的な発達段階にある。そこでは，成人モデルとの食い違いが顕著である。これは，子どもは自分のなかで論理的な体系を表している特定の原則に基づいて言語表現をするということを示す。

標準語で意思疎通し，学習するという子どもの能力は，基礎学校の中心的な関心事である。方言や日常語は，多くの児童の言語的アイデンティティの表現として特別な位置価値をもち，学校での特別なコミュニケーション状況において重要性を要求するものである。

成人の言語的範例，すなわち成人同士の会話や子ども集団との会話には，子どもの言語習得に効果的な影響がある。この影響は，全学校時代を通じて顧慮され，観察され，総体的に支援されなければならない。

ドイツ語授業の課題は，人間相互間の意思疎通や，実世界の知覚・整理・伝達，表象世界の発達，自分自身についての熟考のための最も重要な手段として，子どもたちが言語を知り，使えるようにすることである。ドイツ語授業は，人間性の発達と促進に役立つ。ドイツ語授業は，言語学習研究，読解研究，脳研究の認識を考慮する。

ドイツ語授業は，話す，読む，書く，言語意識を発達させる，という活動分野で構成される。これらの分野は相互に密接に結びついているので，授業では，子どもにそれを無関連にではなく，総体的に体験してもらわねばならない。

読み書きの学習は，生涯にわたる過程である。この過程は，文字文化への道を開き，自主的な参加を保障する。子どもは，就学の際，文字に関して非常にさまざまな経験を示す。この基盤のうえで，かれらは書き言葉を把握する方法を発達させ，能動的，発見的に書き言葉とじっくり取り組む。ここでも，かれらの個人差が，最初から全学校時代を通して，顧慮されなければならない。子どもの発達差が授業を決定し，多様化（Differenzierung），個別化（Individualisierung）を要求する。すべての子どもを適切に支援するために，詳細な入学時調査（Eingangserhebung）とならんで，連続的な発達観察も必要である。これは，言語困難の子どもや，読解・正書法に難点のある子ども，逆に特別な言語的才能をもつ子どもにとっても同様にあてはまる。

最初は乏しい予備的経験しかない，あるいは別の母語を話すなどの理由で，ドイツ語をまだ十分には習得していない子どもに対しても，学校は心遣いと注意をささげる。ここで子どもも言語案内役として相互に支えあうことができる。

他方，教室内のさまざまな出自言語や，それに関してこのような子どもがもつ特別な能力は，ドイツ語授業を豊かにするものとして，また，言語観察のきっかけとして，取り上げられ，役立てられる。

ドイツ語授業は，英語ないしフランス語という外国語との関連も見つけようとしている。さまざまな言語の考察から，実り多い授業場面や他文化の生活世界・思想への洞察がもたらされる。さまざまな言語の文法上の構造を比較することによって，言語能力が拡大

され，言語学習能力が獲得されることになる。ドイツ語という教科は，第２言語としてのドイツ語を伝える教科としても理解される。

文字言語の習得は，子どもを通して自主積極的に文字が（再）構築されることであり，慣例の受動的な受け取りと誤解されてはならない。子どもは，書かれたものを分析し，自ら書くことで特徴的な戦略を獲得し，その助けを借りて，話したことや考えたことを文字化するのである。その際，かれらは書き言葉の規則性を発見する。子どもは，正書法上の規則に対するセンスを育み，しだいに正しく書く能力を獲得する。そのとき，かれらは話す，聞く，見る，書く，考えるということを結びつけている。

規範への接近は，子どもがすでに何ができて，その子の発達における次の一歩をどのように促すかを示す発達段階にともなって進行する。間違いは，個人的な学習水準，すなわち個々の子どもの考え方ややり方を認識させ，さらに先へ学習を前進させる糸口となる機会を指摘する。

入学時診断は，その時々の習得の前提条件を確認する手助けとなる。学習状況を定期的に診断することは，支援計画の作成の基礎を広げ，支援措置の実効性を評価する。

診断と，それに上積みされる，読解や正書法に特別な困難を抱える児童への助言と支援は，学校の課題である。効率のよい支援のためには，学校の全体構想の枠組みで作成され，関係するすべての教員，親，児童と話し合われる個別支援計画が有効である。内的・外的細分化の枠で目標とされる支援措置は,学校の診断が可能な限り過程志向（pozessorientiert）で行われるとき，成功の見通しが大きい。この診断は，一人ひとりの子どもの言語的，認知的，感情的／社会的，運動的発達やかれらの学習動機を観察することによって支えられる。そしてまた，特に，自分の成果への自信，学ぶ喜び，子どもの自尊感情が強化されなければならない。重度で，長引く困難の場合には，専門教育や継続教育を受けた教員によって，診断する過程や学校ごとの支援活動がサポートされうる。学級，学校を超えた支援措置も可能である。

子どもは，基礎学校において，目的にかなった提供や提案を通して，言語を自立的に扱うように鼓舞される。重要な目標は，意識的な言語行動の発達である。そのための前提条件は，子どもが自分で選んだ本を読み，自分の文章をまとめることができるような，十分かつ信頼できる読み・書きの時間である。学校は，言語とそのさまざまな鋳造形式（話す，書く，読む）に対する子どもの学習意欲と好奇心を守るよう努力しなければならない。

ドイツ語授業の最重要課題は，子どもに言語と親しむ喜びを目覚めさせ，高めること，かれらに読んだり書いたりする動機を与えること，そのためには，できる，うまくいくと最初から子どもが感じられるように配慮することである。そのような場合にのみ，読み・書きに関する生涯にわたっての前向きな姿勢が築かれる。読解や作文のコンクールへの参加は，児童を特に動機づけ，挑発する。

能力

話す

基礎学校の間，児童は，わかりやすく，言語表現の上で正確な意見を述べる程度が大きくなる。かれらは，自身を発話のきっかけに関連づける能力や，聞いている人の前で，問題にふさわしく，受け手に合わせて，内容を紹介する能力を育む。子どもは，会話の規則

の重要性を理解し，その規則を状況に合わせて発展させ，守るようになる。かれらは，会話の形式を調べ，習得し，熟考する。そのときに，さまざまな現れ方や調子（たとえば方言）の言語を意思疎通の手段として経験したり，対立解決の戦略を発揮することを学んだりする。このように，言語はアイデンティティ形成や社会的能力の強化にも役立つ。授業では，考えや意見の交換という意味で，そして共同学習，相互学習という意味で，信頼できる語りの時間において，子どもには相互に言葉をやり取りする多様な機会がある。子どもは，創造的で遊びの入った言語使用の時間ももつべきであるし（たとえば，言葉遊びや暗号言葉を考え出す)，同時に，気づきの対象や積極的な意見交換の対象として言語を経験しうるべきである。

読む／テキストやメディアに親しむ

読解力は，ドイツ語授業においても，ほかの学科においても，自主的な学習にとって重要な能力である。このとき，読む意欲や読む喜びを育むことが，授業のきわめて重要な前提条件である。それゆえ教室には，少年少女のさまざまな関心に対して幅広く書物を提供し，かれらのそれぞれ異なる読解力を支える用意があるといった読む文化（Lesekultur）が育まれなければならない。

初回の読む授業は，言語学習研究や読解研究の認識に添って，子どもの読書経験や予備知識，発達状況に関して，かれらの個人差を考慮に入れる。書き言葉の習得に最も重要な前提条件は，言語の形式に注意を向けることができるかということと十分な記憶時間という子どもの能力である。これらの能力は，最初から観察され，支援されなければならない。最も重要な協力相手は，家庭でも好ましい読書環境を作り出すことに関して学校から支援される親である。親，そして年長者や上級生，学生やそのほかの人々も，ほかの言語のテキストについても，読書に関する代父として，朗読者として，学校の読書活動を支えることができる。

子どもが本についての発表や，本の推薦をすることや，自分の作品を紹介することも，同じく最初からこのような読書を促進する授業の構成要素である。少なくとも初期授業の最後と基礎学校時代の最後に本について発表することが，義務づけられる。

印刷メディアと並んで，オーディオブックや映画化された文学作品，文学のCD-ROMと自主的に親しむこともこの読む文化に属し，この文化は，他の言語での提供によっても豊かにされている。

信頼できる朗読や読書の時間や，学校外の文化の担い手である図書館，書店，美術館，画廊，子ども・青少年劇場，映画館，大学，作家，童話作家，芸術家，ジャーナリストなどとの協力は，ドイツ語授業を支える要素である。

授業は，情報をさまざまに入手する可能性を活用し，それによって情報源についての傾向を伝える。そのとき，児童は自分自身が作り出すものにとって重要な創作能力を知るにいたる。メディア自体が授業の対象になる；ドイツ語授業は，児童のメディア能力を発達させる手助けをする。

読むことは，本質的に人格形成に貢献する。テキストを読むことで，子どもは別の世界に開かれ，自分の経験の地平を広げ，概念を発展させ，美的意識を発達させる。かれらは自分の望みや疑問，問題を再発見したり，読みながらそれらに取り組む，自分自身との距

離を獲得する，新しい視点を発達させることができたりする。読むことは，それを超えて，ほかの母語の子どもについては，絵を用いた表現や追加の解説によって支援されなければならない概念形成を促進する。

基本的な読む能力とならんで，さらに進んだ読む戦略も発達させられるべきである。そこでは，読解の支援に特に価値が置かれなくてはならず，これは多様な方法で促進されるべきである。児童は，読解技術（Arbeitstechniken）を利用して，さまざまな種類の文章，特に専門文章をも意図的に活用することを学び，訓練する。これは，かれらが自分の知識を発展させるのを手助けし，自主的な学習の前提条件となる。行為志向，生産志向の方法を利用して，子どもは文章を分析的に調べるだけでなく，創造的に文章を扱い，この方法に慣れ，消化できるようになる。その際，かれらはさまざまな美的手段に取り組み，メディアを合理的に，自己責任で活用することを学ぶ。

書く

文章を書く

読むことを学ぶ場合と同じく，書くことを学ぶことは，テクニックの伝達を超えて，文字文化への入門である。多様な授業の状況のなかで，子どもは最初から文字（Schrift）のさまざまな機能を知るようになり，そこでは読むのを学ぶことと書くのを学ぶこととが相互に支えあっている。子どもは，さまざまな筆記用具，筆記用紙，罫を創造的に試す。かれらは文字の歴史的次元を認識し，たとえば紙の製造や印刷の発明を，そしてまた，異なる国，時代のさまざまな文字を知るようになる。

読み書きのための基礎筆記体（Ausgangsschrift）は，活字体である。活字体を出発点として，子どもはつながった文字（eine verbundene Schrift）を習得する。かれらは，基礎学校期の間に，個人的な筆跡を発達させ，書くときにふさわしい握りかた（Handhaltung）に注意する。全教員会議（Gesamtlehrerkonferenz）は，ラテン書体の基礎筆記体ないし簡易基礎筆記体が基礎におかれるかどうかを決定した。個々の子どもに対して，基礎学校期に基礎筆記体が変更されてはならない。きき手がまだはっきりと識別できない子どもや左ききの子どもは，適切な支援を受ける。特別な支援の必要がある子どもに対しては，個別的な解決策が開発されうるし，場合によっては，かれらは活字体を書き続けてもよい。

書くことのコミュニケーション機能とならんで，児童は文字の美的側面にも一段と注意を払う。書く能力や読みやすい個人の筆跡を発達させるためには，書く気を起こさせる環境や多様な練習形式が必要である。全基礎学校期にわたって，また，それを終えた後，滑らかに書くことを促進し，形のはっきりとした，構成された記述を要求するような書く練習が，コミュニケーションの観点においても重要である。

子どもは，書く過程を次第に自分の責任でコントロールするようになる。そのためにかれらには，信頼できる自由な書く時間や，かれらの文面が現実の読み手にとって明確であるとか声に出して読まれるなどの確信とともに，書く過程の基礎に豊富な練習が出されることが必要である。

書くことは常に意味のある連関に埋まっている。自分が書こうとするものを展開できるように，この企図をすでにある知識と結びつけ，調査し，文章をまとめ，最後に書いたものにもう一度手を入れるというさまざまな書くきっかけを提供することが，書く過程をそ

の複雑性において経験し，克服するのを手助けする。

子どもの文面は，さまざまな書く立場をもとに定められ，いろいろと違った型の文面に倣っている。子どもは，書くときに受け手に合わせることを学ぶ。

かれらは，言語表現，文体，正書法，創造の観点において，自分の文章を改善するという目的を持って，個人的に，あるいは書き方会議（Schreibkonferenz）において共同して，自分の文章に手を入れる。そこでかれらは，実務的な基準に関連づけ，事典や辞書を一段とうまく扱い，そしてまた，情報を得るために新しいメディアを活用することを学ぶ。

コンピュータと文章に手を加える可能性とは，書くこと，特に仕上げることを支援する。

正書法に従って書く

書きことばをうまく習得するための基礎と結果は，音を区別し，音の持続に語を聞き取る子どもの能力である。この分野の能力は，最初からすべての子どもについて目標を定めて観察され，支援されなければならない。話し言葉と書き言葉に関する考察において，子どもは話したことや考えたことがどのように文字化されうるかという戦略を獲得する。かれらは規則性を発見し，正書法上の慣例を考慮するようになる。

正書法の学習は，基本的に文章作成に組み入れられるが，目的を持った練習を必要とする。それは，書く過程での推敲の構成要素で，書くという事象全体に属する。正書法学習の目標は，子どもが自分の書いた作品を正書法に従って推敲することができるようにすることである。

正書法意識の発達には，子どもとともに正書法上の現象を発見し，調べるという学習環境が必要である。それに該当するのは，書き言葉の発見についての学習対話や，正書法上の戦略を発達させ，利用するために，辞書で調べる，点検する，訂正する，重要かつ自主的な練習をするという作業形式である。誤りに注意を払い，間違いに対する感度を高めることによって，正書法の困難を予防することができる。

子どもは，正書法が読み手にとって役立つものであり，それによって書き手にとっても役立つものであることを経験する。

言語意識を発達させる

授業は，言語やその型，構造について，目的をもって調べることに対する子どもの発見する喜びを活用する。これによって，実際的な言語行動が支える言語に関する知識が増加することになる。このとき子どもは，この知識を自身の言語生産や文章の分析・推論に意識的に利用することを学ぶ。

目標は，子どもが自身の言語をいっそう自覚的に投入することである。この際，他の言語，特に必修外国語や学級内の子どもの出自言語との比較が役立つであろう。その道筋は，文法から言語へではなく，言語から文法へと通じるものである。

教授法上の示唆と授業のための諸原則

相互理解や事態の熟慮・議論のために話す，読む，書くという機能は，子どもが，自分の経験，体験，考え，問題が重要なことであり，それらが口頭や文字でのコミュニケーションにおいて真に受け止められていると学校で日常的に経験している場合にのみ，子ども

にとって明らかなものとなりうる。

そのためには，授業のなかで，子どもが理解してもらえるような適切な表現をしたり，理解しながら耳を傾けたりすることを学ぶ場である対話の文化（Gesprächskultur）が発達していなければならない。ここで重要なのは，それについて熟慮し，お互いに話し合ったり，耳を傾けたりするに値するような子どもの興味を引く内容のはずである。交換の形式は，（たとえば朝の会での）報告グループ（Erzählrunde）や学級会（Klassenrat），自由読書時間の最後の子どもの図書紹介のように，一緒に発展，儀式化されなければならない。その際，学級委員やクラスの子ども全員が，かわるがわる対話の司会を引き受ける；かれらは対話の規則を遵守する必要性を経験する。さらにかれらは，自分の言語能力を意識的に用いること，言語慣習に注意を払って個人的な意見を述べたり主張したりすること，異なる意見に対する立場を明らかにすることを学ぶ。自分で選んだ具体的なテーマに対して，小さな報告や提案を準備したり行ったりすることもその一つである。それによって，社会的能力が強化され，基本的な民主的態度が開かれる。

そこでは，発言自体や発言行動も熟慮する対象や話のきっかけとなる。発言に関するこのメタ次元での話は，他の言語，たとえば学級内の子どもの出自言語や第一外国語が引き合いに出されるときに，子どもにとってより容易である。

子どもが最もよく学ぶのは，それが個人的に意義あるものになるときであるということは，読み書きにもあてはまる。ここでも，学校で読み書きの文化を発展させることが重要である。ふさわしい児童文学を定期的に朗読することによって，子どもは文学の型や言語形式，内容に習熟し，自分で読む気になる。さまざまなテキストの種類の本（たとえば，絵本，童話，専門書，児童小説，事典，詩集，漫画，新聞，雑誌），いろいろなテーマに関する本，難易度の異なる本が多く提供されることによって，子どもが読書，本への独自の入り口を見つけることが可能になる。学級文庫，学校図書館，市立図書館，教区・教会図書館でのオリエンテーション，図書館への共同訪問，図書館利用証や図書館入館証の取得，作家朗読会への参加，自作本や学級新聞の作成，児童書から演劇への転換は，読む意欲や読む喜びを助ける。読んだ本や推薦図書について子どもがお互いに話し合うことは，一人ひとりの子どもの読書体験に学級全体で関与できる状態をもたらす。

書く気を起こさせ，書くきっかけを与えるおもしろいことを提供すれば，きっと子どもは初めから自力で書こうという気になり，さまざまなレベルで著作に親しむようにそそられ，その親しみは大いに努力する価値があるものである。そのとき，文字を開拓する道程にある子どもは支援されなければならない。読むことについて，テーマに関係する子どもの話が集められる学級通信，自作の話や本についての朗読ラウンドによって，目的に合致し，受け手に関係した著述へと導かれる。書くプロセスは，すべての段階で支援される：自身の書く着想を発展させるときには，できる限り開かれた書く励ましによって，書く目的を見つけだすとき，計画し，調べるとき，自分で書くとき，書き方会議で手を入れるときに。たとえば，学級新聞や物語集，書籍評価など公表されることが決まっているテキストは，誤りのないものでなければならない。この規範要求は，テキストの構想に適用されるのではなく，常に最終版で初めて適用されるもので，基礎学校の子どもにはまだ手助けが必要な校正の観点である。正書法に従って書く能力を発達させるためには，子どもは，規則を形成し，正書法に対する感知力を発達させることができるような多くの励ましや討

論，実験する機会を必要とする。それとならんで，子どもは，基礎的な方法や戦略，特別な問題に関係する多様な練習方法の習得に際して，支援を必要とする。個々の語を単に覚えたり，規則を暗記したりすることは，あまり訳にたたない。

ドイツ語の授業は，それが可能な場合には，他の教科や教科結合のテーマをとりいれる。同様に，他の授業はつねに言語の授業でもある。なぜなら，言語は学習をはじめて可能にする本源的な媒体であるから。

すべての教科は，パートナー的で状況に関連した正確で適切な言語使用に留意しなければならないという意味で，言語形成の使命を有している。

算数の授業では，子どもは観察，認識，自分の学習方法・思考方法，ならびに教科の関連を明瞭にし，他の者と数学について意思疎通するために，言語を利用する。子どもは，日常語とは異なる，専門用語の使用について学ぶ。

言語コミュニケーションは，つねに内容と結びついている。その多くは，人間，自然，文化の教科結合からの内容である。さらに，教科結合は，ドイツ語という教科にほかの多様な学習機会を提供する。事物連関の言語化や事態の明確化は，語彙や概念形成の拡大をもたらす。芸術的形成，表現，言語は，創造的な相互関係にある。分節，リズム，響き，テンポは，言語発達を支える。

宗教の授業との結びつきは，話すこと，文学，筆記，言語形成，演劇といった領域にある。

運動，演劇，スポーツの教科結合は，子どもに，リズム化による，テキストや詩との身体的交わりによる，言語への広い入り口を提供する。

Ⅱ．能力と内容

第２学年

１．話す

児童は，次のことができる。

■　わかりやすく話し，ほかの人に理解をもって耳を傾ける
■　体験したことを説明する
■　ほかの人とあるテーマについて話し，自分の意見を述べ，民主的態度を習得する
■　話し合いの決まりに注意を払う
■　短い格言，韻文，詩を暗記し，朗読する
■　簡単な演劇シーンを皆や個人で演じる
■　方言と標準語を区別する

内容

・信頼できる語りの時間
・今月の詩／歌

２．読む／テキストやメディアに親しむ

児童は，次のことができる

■　習っていない簡単なテキストを読み，理解し，そのための練習をする

■　テキストについての簡単な問いに答える
■　短いテキストで適切な情報を見い出す
■　作業の簡単な指示を自分で読み，それに従う
■　文章をつくる
■　ほかの人にテキストを朗読し，それに関する課題がわかる
■　本からの朗読を注意深く聞く
■　内容的に多様なテーマで，読みの難易度の異なる本の中から，適切な本を選び，読む
■　図書館で本を借りる
■　自分で選んだ本の題名と作者をあげ，ほかの人におよその内容を説明し，その本に関する自分の意見を述べる
■　本のほかに，子ども雑誌やリスニングカセットにも親しむ
■　自分の関心で選んだ本を読む
■　児童書を紹介する

内容

・信頼できる自由な読む時間
・信頼できる朗読の時間，読書の代父
・学級文庫，学校図書室，図書館（図書館訪問）
・図書紹介（少なくとも 1 冊の本についての発表義務）

３．書く

文章を書く

児童は，次のことができる。

■　自分の書く着想を発展させる
■　個人的に選ばれ，与えられた書くきっかけにより，自分で短い文章を書く
■　短い話を書く際に，時間的な順序に留意する
■　自分の文章やほかの人の文章へ問いを立て，それに応じて文章に手を入れる
■　活字体とつなぎ文字を書く
■　手書きをし，さまざまな筆記用具，筆記媒体，文字を試す

内容

・自由な書く時間
・朗読ラウンド
・学級通信

正書法に従って書く

児童は，次のことができる

■　正書法の模範にますます注意して自分の文章を書く
■　知らない単語に出合ったら，知っている型を用いる（複数形についての推論や基本形の形成，類推など）
■　児童にとって，それを書くのはまだ難しい単語や書くことが重要な単語を自分で練習する

■ 練習した単語を規範に従って書く
■ 正書法上正しく書き写し，書き写す戦略を用いる
■ 正書法上の規則を発見し，書くときにそれに従う（たとえば，文の始まりは大文字で書く，文の終わりの記号，名詞を大文字で書くなど）
■ 規則性に従わない重要な学習単語を規範どおりに書く
■ ひな型を用いて，自分で書いた文章をチェックし，訂正する
■ 年齢に応じた辞書で単語を調べる

４．言語意識を発展させる

児童は，次のことができる。
■ 言語について，特に書き言葉について，ますますじっくり考える
■ 言語の規則性を発見する
■ あらかじめ決められた観点に基づいて単語を集め，分類する
■ 単語を構成要素に分解し，変化させる
■ 文章で文や単語の境界を定め，ピリオドを打つ

児童は，次のことを知っている。
■ 最初の専門概念：文字（Buchstabe），音（Laut），母音（Selbstlaut），子音（Mitlaut），二重母音（Zwielaut），単語（Wort），文（Satz），名詞（Nomen）（単数（Einzahl），複数（Mehrzahl）），冠詞（Artikel），動詞（Verb），句点（Punkt），疑問符（Fragezeichen），感嘆符（Ausrufezeichen），読点（Komma）

内容

・正書法の話題
・探す課題，集める課題

第４学年

１．話す

児童は，次のことができる。
■ 状況や相手に応じて，わかるように話し，ほかの人に理解をもって耳を傾ける
■ よりいっそう標準語で表現する
■ ほかの人と意識的に一つのテーマについて話し，そのことをさらに考え，それについての自分の意見を述べ，ほかの意見に対する立場を明らかにし，基礎的な民主的行動様式を用いる
■ 会話の原則を尊重する
■ コミュニケーションの成功について熟考し，そこからの結論を引き出す
■ 皆や個人での演劇シーンを発展させ，形づくる
■ 選び出された詩や歌を覚えて，暗誦する
■ ドイツ語，外国語，出自言語の間にある共通点と相違点を見出す
■ 状況や相手に応じて，方言や標準語を入れる
■ 方言の独自性や創造性を認識する

児童は，次のことを知っている。

■　口語による言語行為を調べ，それについて熟考するための方法や専門概念

内容

・信頼できる語りの時間

・今月の詩／歌

・自由な語りや話し，再現

・積極的な聞き取り

２．読む／テキストやメディアに親しむ

児童は，次のことができる。

■　自分の関心で選んだ本を読む

■　本の朗読に聞き入る

■　聞き手に朗読する

■　テキストについて熟考し，思考，行為，人物に対する意見をもち，内的なイメージ像を発達させる

■　本，新聞，リスニングカセット，映画などのさまざまなメディアを活用し，そこから書くこと，読むこと，メディアに自分が寄与することへの励ましを得る

■　自分で選んだ本を理解しながら読み，ほかの人に紹介する

■　あるテキストのその後の進行についての推察を述べる

■　テキストに対する問いに答え，目的をもってテキストにある情報を見つける

■　基礎的な読解能力と合わせて，ますます進んだ読解戦略を発展させる

■　テキストの一節をもって，発言を裏づける

■　テキストを推論する方法を用いる（しるしをつけたり，下線を引いたりするなど）

■　行為・生産志向の方法を利用して，テキストを分析する

■　一冊の本についての読書日記をつける

■　静かに，意味を理解しながら読むのと合わせて，慣れた本を声に出して適切に朗読する

■　作業についての簡単な指示を自分で読み，理解し，活動する

■　さまざまなテキストを美的，創造的に扱う

■　詩を読み，覚える

■　選び出された台本作品の演劇場面を発展させ，構成する

■　図書館を利用する

■　テキストに関する情報を入手し,テキストについての専門概念を利用して語り合う(タイトル，出版社，著者，題，ストーリー，行，段落，物語，専門文献，童話，詩，韻文，詩行，詩節，韻)

■　著者の伝記から意味のあるディテールを挙げ，どのようにしてこれらの情報を入手できるか知っている

■　本を紹介する

内容

・信頼できる自由な読む時間，信頼できる朗読の時間

・文学的な討論，詩の工房

・図書館利用証，図書館入館証
・少なくとも 1 冊の本についての発表義務

３．書く

文章を書く

児童は，次のことができる。

■　自分の書く着想や目的を発展させる
■　個人的に選択したさまざまな基準に応じて書く（表象，表題，書き出しなど）
■　文章を構想し，文章のために調査する
■　自分で責任をもってテーマを選択し，実現する形式や書くためのヒントの利用について決める
■　自力で文章を作成する
■　話を時間的に整理して書く
■　目的に向けて文章を作成し，構成する
■　アイデア集めや語場，書式など，書くためのヒントを共同して練りあげ，収集し，それを利用する
■　物語調の文章や情報提供型の文章を書く
■　文章について協議する
■　ほかの人が書き改めるための建設的な示唆を与える
■　ますます自力で文章を書き改める
■　自分の文章をほかの人に紹介する
■　練りあげた書くためのヒントや方法を利用する（拡張，代替，入れ替え，短縮など）
■　文章を要約する
■　ますますなめらかに，よみやすい筆跡を書く
■　さまざまな筆記用具や文房具を選び，使い，製造する（紙をすく）
■　文字で創造的に造形する

児童は，次のことを知っている。

■　さまざまな時代，国，文化から生まれたさまざまな字体や文字

内容

・義務的な書く時間，自由な書く時間
・朗読ラウンド，書き方会議
・壁新聞，学級物語集，読書日記
・学級通信

正書法に従って書く

児童は，次のことができる。

■　学習した語彙をドイツ語やテーマに関係する語でよく使われる単語と合わせて語家族へと拡大させ，正しく書く
■　知らない単語に出合ったら，知っている型を用いる
■　規則性に従わない学習単語も規範どおりに書く

■ それを書くことがかれらにはまだ難しく感じられるが，かれらにとって書く重要性のある単語を自力で練習する
■ 手本を利用して，自分で書いた文章をチェックし，訂正する
■ 正書法について熟考し，どのように単語をつづるかについて根拠ある推察をし，自分たちの仮説を検証する
■ 辞典類を利用する
■ 正書法上の特定の観点で単語を集め，分類し，規則性を認識する

児童は，次のことを知っている。

■ 規則的な子音の二重つづり，名詞の頭文字の大文字書き，行末での単語の分割，文末記号の正しい使い方

内容

・単語カード，単語ノート，書き取りノート
・集める，探す，調査する課題

４．言語意識を発達させる

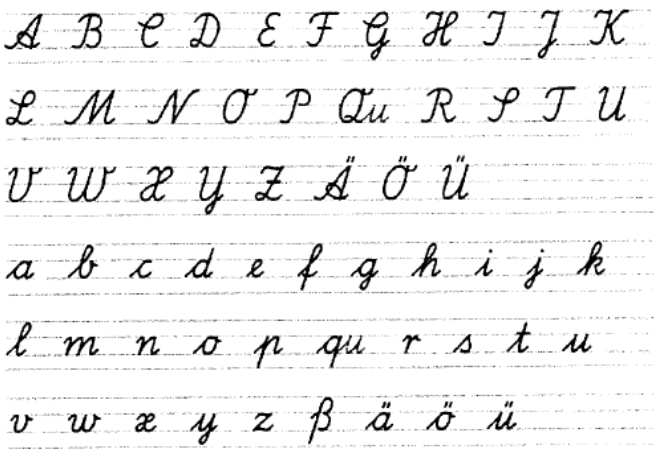
児童は，次のことができる。

■ 言語，とくに書き言葉を熟考の題材にする
■ 文法的，意味論的な基準にしたがって単語を収集，整理，分類し（たとえば，音節にしたがって，あるいは単語の内容上の構成要素にしたがって），変化させる
■ 言語上の規則性を言い表すために，手続きを用いる（文を長くする，短くする，文成分を補う，省く，取り替える，置き換えるなど）
■ 一語一語その通りの発言と発言にともなう文とを区別し，発言記号を正しく置く
■ 自分で文章にするときの規則性を理解する
■ ドイツ語，外国語，出自言語の共通点と相違点をテーマにする
■ 討論のために，（書き）言葉についての重要な専門概念を有効に利用する：母音，子音，アルファベット，音節，語の構成要素，冠詞，名詞，動詞（原形，人称変化形），形容詞（原級，比較級），前置詞，時制（現在，過去，未来），主語，述語

内容

・文を変化させる，手続きを試す
・単語を研究する
・規則性を研究する
・文法工房

ラテン書体基礎筆記体



簡易基礎筆記体

（長島啓記）

１．５　ロシア

（１）「ロシア語」の教育課程基準（初等普通教育；第１～４学年）

ロシア語（母語）により教授する学校におけるロシア語の初等普通教育スタンダード

ロシア語（母語）により教授する初等学校におけるロシア語学習は，次の目標の達成を目指すものとする：

- 児童のコトバ，思考，想像力，コミュニケーションの条件に応じて言語手段を選択する能力の**発達**，直感と「言葉の感情」の発達
- ロシア語の語彙，音声学，文法に関する入門的知識の**習得**，言語について学習した現象を分析する初歩的手段の習熟
- 正しく書き，読む能力，会話に参加すること，簡単なモノローグの発言を組み立てることの習熟
- 母語に対する積極的，感情的・価値的態度，母語の独自性と純粋性の維持にかかわりあう気持ちの**教育**，母語の単語への知的関心，自らのコトバを向上しようとする欲求の目覚め

基本的教育プログラムの内容のエッセンシャル・ミニマム

言語活動の種類

聴くこと（音による聞き取り）。音声言語の知覚と理解。

話すこと。コミュニケーションの条件に応じて話し言葉における言語手段を活用すること。コトバの会話の形態に実践的に習熟すること。モノローグ的発言（物語-記述，叙述，子どもにわかりやすいテーマの批評）に実践的に習熟すること。遊び，行事，散歩などについての口頭によるお話し。学習および日常のコミュニケーションの状況におけるコトバのエチケットの規範（こんにちはの挨拶，さようならの挨拶，すみませんの挨拶，感謝，頼み事のお願い）。正音法の規範と正しいイントネーションを遵守すること。

読むこと。教科書のテキスト，課題，きまり，定義の定型の読み方と理解。選択的読み方：必要な教材をみつけること。

書き方。書きコトバと話しコトバの相違。文章とテキストの違い。*テキストの特色*[1]。テキストを間違えずに書き写すこと。ディクテーションによりテキスト（75～80 語）を学習した正書法の規範にしたがって書くこと。*テキスト（叙述，記述の要素のある叙述）の要約。子どもにとって関心のあるテーマにより小さなテキスト（作文）を作ること。お祝いのカード，手紙の作成。*

[1] 文中にイタリック体で書かれていることは，学習の対象となるが，「初等学校修了者の準備水準の要請」には含まれない。

言語体系（実践的習得）

音声組織。文字体系。音と文字：母音，子音。有声子音と無声子音，軟音と硬音，複式子音と単式子音の違い。アクセントのある母音とアクセントのない母音。単語を音節に区分すること。単語のアクセント。耳からの理解と単語の正しい発音。

ロシア語のアルファベット。書き方において子音の柔らかさの表し方。単語の間の余白，ハイフン記号の使用。

語彙。単語とその意味。ロシア語の語彙の豊かさ。*同義語と多義語。類語と反意語。単語の直接的意味と転移的意味。*ロシア語の辞書の利用。

単語の構成。単語の意味のある部分の区別（語根，接頭辞，接尾辞，語尾）。接尾辞と接頭辞の意味（もっとも簡単な例）。*同一語根の単語，様々な単語の形態。*

形態論。名詞，意味と活用。活動体と不活動体の名詞の違い；男性名詞，女性名詞，中性名詞の違い。数と格による名詞の変化。名詞の第１，第２および第３の格変化の違い。

形容詞，意味と活用。性，数および格による変化。名詞との一致。

代名詞，意味と活用。*人称代名詞の格変化。*

動詞，意味と活用。現在形・未来形における時制，人称および数による変化，過去形における性と数による変化。*動詞の不定形。動詞の変化（１，２の変化）を規定する方法の実践的習熟。*

前置詞，接続詞。コトバにおけるそれらの役割。

シンタクス。単語，語結合と文章の違い。発話と感情的ニュアンスの目的に応じた文章の多様性。文の主要成分および二次成文。文章における単語のつながり。単純な拡大文および非拡大文。文の同種成文。コトバのなかでの単文と複文の区別と利用。

正書法。アクセントのない母音，対をなす有声子音と無声子音，発音しない子音，語根の重複子音の正書法；名詞と形容詞のアクセントのない格語尾の正書法。動詞とは関係のない正書法。жи-ши, ча-ща, чу-щу, чк-чн の組み合わせの正書法。文の初め，固有名詞における大文字の使用。単語の正書法を確かめる様々な方法：単語の形態の変化，同根語の選別，*正書法辞典の利用。*

句読法。文末の句読点（ピリオド，疑問符，感嘆符）。同種成文の複文における読点。

初等学校修了者の養成水準要件

ロシア語学習の成果として児童は次のことができなければならない。

次のことを**知っている**こと。

- 単語の意味をもつ部分
- 学習したコトバの部分の特色
- 発話を目的とする文章と，感情的にいろどられた文章のタイプ

次のことが**できる**こと。

- コトバの音，単語の構造；コトバ，文章の部分について，分析し，簡単に特徴を表す。
- 単語の発音と書き方を区別する。

- 単語の書き方を確認する方法をみつける。
- 70～90 語程度の平易なテキストを間違いなく書き写す。
- ディクテーション（75～80 語）を書く。
- 辞書を用いた活動の際には，アルファベットの知識を実践的に用いる。

習得した知識と能力を日常生活の実践的活動のなかで使用すること。

- 音声言語（教員の話，仲間の発言，子ども用ラジオ放送，視聴覚機器への録音など）を適切に理解する。
- 子どもにわかりやすいテーマで，叙述と説明書きの形態の簡単なモノローグ的テキストを作る。
- 標準語発音基準の遵守。
- 低学年の児童が関心をもつテーマで，簡単なテキストを筆記の形態で伝える。
- 日常的コミュニケーション学習上のコミュニケーションの状況において，ロシア語のコトバのエチケット（出会いのあいさつ，別れのあいさつ，謝辞）の規範に習熟する。

（２）「文学的読み方」の教育課程基準（初等普通教育；第１～４学年）

ロシア語（母語）を教授言語とする学校用文学的読み方
初等教育スタンダード

ロシア語（母語）を教授言語とする初等学校における文学的読み方の学習は，以下の目標達成を目指している。

- 芸術的・創造的能力および知的能力，文学作品を読む際の感受性の**発達**，言葉の芸術に対する美的観点の形成；あらゆる種類の言語活動，対話を行い，表現豊かに読み話し，即興的に作品を作る能力を向上させる。
- 低学年の児童の教育システムの基礎としての，意識的で正しい，速読ならびに表現豊かな読み方の技能の**習得**；読者としての見識を形成し自主的読書活動の経験を身につけること。
- 読書と本に対する興味や芸術的文学の世界とのまじわりに対する欲求を**育む**こと；低学年の児童の道徳的経験を豊かにし，善と悪，正義と誠実の概念を形成すること；道徳的感情，多民族社会ロシアの諸民族の文化に対する敬意を発達させること。

基本教育プログラムのミニマム・エッセンシャルズ

読書の範囲と読書活動の経験

読書の範囲

文学作品と通俗科学的読み物。口承民俗芸術作品。ロシア文学の著名な作家の作品（A. S. プーシキン, V. A. ジュコフスキー，M. Y. レールモントフ，F. Ｉ. チュッチェフ，A. A. フェート，Ｉ. A. クルイロフ，N. A. ネクラーソフ，L. N. トルストイ，A. P. チェー

ホフ，S. A. エセーニン，V. V. マヤコフスキー)。ソビエト児童文学の古典。低学年の児童が知覚することのできる現代の国内の文学作品（ロシアの多民族社会としての特色を考慮して）ならびに国外の文学先品。案内書的，百科辞典的文献。*子ども用定期刊行物*[2]。

子どもの読書の基本的テーマ：郷土，自然，労働，子ども，人間関係，善悪に関する作品；冒険に関する作品。

入門的文学教育

テーマ，主題（思想)，出来事，それらの継承性。作品の主人公。主人公の感情的・道徳的体験の知覚と理解。*主人公の性格，行動ならびにそれらのモチーフ。*様々な作品のジャンル：小さなフォークロアのジャンル，民族の昔話；文学的童話；物語；*散文；*詩，寓話。*（専門用語を使わずに）芸術的表現力の言語手段を見分けること*；本の挿絵と作品理解におけるその役割。文学作品とその他の種類の芸術との関連[3]。

本を扱って作業する能力：本のタイプを区別し，出版データ（著者，表題，副題など)，目次，*前書き，後書き，*自主的に本を選択し読書するための注釈を活用すること。

言語活動の種類

聴くこと（ヒヤリング)。聴覚による知覚と様々なジャンルの文学作品（学習している教材の枠内で）の理解。

読むこと。適切な分量とジャンルの作品を意識的に読むこと。*読むことの目的の理解。目的に応じた読み方の種類の選択。*読み方の方法：言葉全体による読み方。読み方の正確さ：文学先品の規範を遵守しながら未知のテクストを間違いなく読むこと。読みの速さ：読み手がテクストを意識できるような,その人にとって普通のテンポの目標を定めること。読み方の速さを次第に速める目標を定めること。テクストの意味に応じてイントネーションを用いた表現豊かな読み方。

話すこと。全体を読み聞かせてもらった（通読した）作品を検討する際，対話に参加すること。個人的評価の形成，作品のテクストやその他の資料を引用しながら自分の意見を論証すること。通読した作品の内容に関する問題を設定したり，問題に答える能力。テクストの再話。短いモノローグの構成：作品（主人公，出来事）についての自分の感想について話すこと；プランにしたがってテクストの説明を口頭で説明すること；考察と記述の要素を含む口頭による叙述的性格の作文。

詩的作品の朗読（暗誦)。

書くこと。通読した（読み聞かせてもらった）作品に対し設定された問いに対し，筆記により短い解答を作成すること。

初等学校修了者の養成水準要件

文学的読み方の学習の成果として，児童は以下のようになる必要がある。

---

[2] イタリック体で表示しているテクストは，学習のなかには位置づけるが,「初等学校修了者の学力水準」には含まれないものである。

[3] 造形芸術や音楽の授業との関連。

次のことを知っていること

- 学習した文学作品，それらの作家；
- 本の要素（表紙，目次，とびら，挿絵，注記）；

次のことができること

- 「一人で」（速さには関係なく）文学作品のテクストを意識的に読むこと；
- 作品のテーマと主題を見分けることができること；
- テクストを再話すること（1.5頁から２頁の分量）；
- テクストを意味によって区分し，その簡単なプランを作成すること；
- 作品の出来事，主人公を評価すること（作家のテクストにもとづきながら短いモノローグ的意見を作成すること）；
- （選んで）表現豊かに暗誦すること；
- 与えられたテーマにしたがって，口頭により短いテクストを作成すること；
- フォークロア作品（ことわざ，なぞなぞ，昔話）を引用すること；
- 児童文学のジャンル（昔話，物語，寓話）を区別し，民族の昔話と文学的昔話を区別すること；
- 学習した教材について様々なテーマと様々な作家の芸術的作品を引用すること；

習得した知識と能力を実践的活動や日常生活に活用すること：

- 自主的に本を選び読むこと。
- 読み終えた作品（主人公，出来事）についての評価的判断について話すこと。
- 表題，注釈から本の内容を見極めること。
- 知らない言葉の意味を辞書でみつけること。

ロシア語（母語）を教授言語とする初等学校における文学的読み方の学習は，以下の目標達成を目指している。

- 芸術的・創造的能力および知的能力，文学作品を読む際の感受性の**発達**，言葉の芸術に対する美的観点の形成；あらゆる種類の言語活動，対話を行い，表現豊かに読み話し，即興的に作品を作る能力を向上させる。
- 低学年の児童の教育システムの基礎としての，意識的で正しい，速読ならびに表現豊かな読み方の技能の**習得**；読者としての見識を形成し自主的読書活動の経験を身につけること。
- 読書と本に対する興味や芸術的文学の世界とのまじわりに対する欲求を**育む**こと；低学年の児童の道徳的経験を豊かにし，善と悪，正義と誠実の概念を形成すること；道徳的感情，多民族社会ロシアの諸民族の文化に対する敬意を発達させること。

模範プログラム「ロシア語を教授言語とする学校用文学的読み方」

総説

ロシア語を教授言語とする学校用の文学的読み方の模範プログラムは，初等普通教育国家スタンダードの連邦コンポーネントに基づいて作られている。本プログラムは，当該教育分野の教育スタンダードの内容を具体化することを目標とし，教科間の関連と教科内の関連，文学的読み方の教授過程の論理，低学年児童の年齢的特性を考慮して開発された。本プログラムには，課程の大区分ごとの授業時間配分を仮に示している。模範プログラムは，自主開発（アーフトルスカヤ）教育プログラムの作成のための指針となるが，学年ごと，テーマごとの教材配分については触れていないため，学校の実践プログラムとしてみることは勧められない。

文書の構成

模範プログラムは３つの部分から成る。教科の性格と基本教科課程における位置づけ，学習の目的，基本的内容系統を明らかにする総説；課程区分ごとの標準的授業時間配分を示す学習の**基本的内容**ならびに初等学校修了者の**要請水準要件**である。

教科の一般的特徴

「文学的読み方」は，低学年児童の要請システムにおける基本教科の一つである。「ロシア語」とともに，「文学的読み方」は機能的識字を形成し，子どもの全般的発達と育ちを促進する。「文学的読み方」の課程の学習に成功すれば，初等学校のその他の教科の学習の成果も保証される。

「文学的読み方」の入門課程の特色は，「ロシア語」との緊密な統合にある。これら二つの教科は単一の言語課程を代表するものであり，そのなかにおける読み方の学習は文学教育の入門とロシア語学習を組み合わせたものとなる。まさに読み方の学習は読み方の技能の改善，文学的テクストの知覚の発達，読者としての自主性の形成といった活動を前提とするものなのである。

第１学年における「文学的読み方」と「ロシア語」の学習は，「読み書きの学習」という統合的課程から始まる。その期間（およそ 24～26 週）は，児童の学習のテンポ，個別の特性ならびに使用している教授手段の特色によって定める。模範プログラムにおいては，読み書きの学習は，「ロシア語」と「文学的読み方」の両方の課程として示している。読み書きの学習は次の３つの時期に区分される。前文字期（準備段階)。文字期（基本段階)。文字後期（完成期)。「読み書き」課程の後に「ロシア語」と「文学的読み方」を区別した学習が始まる。

読書の量は，児童の読者としての見識を形成する上で必須の条件であり，読書の一定の範囲を形成し，自主的読書活動への関心を発達させることを可能とする。「文学的読み方」用に，時代とともに確認されており，高い芸術的価値，認知的価値，道徳的価値のある文学作品を提示する。それらは，選文集の読書（様々な作家の作品 60～70 点以上）として提示するとともに，自由読書のための推薦図書としても（およそ 130～150 作品）提示する。子どもの読書の範囲の区分として，次のような比率を目安とすることもできる：フォーク

ロア（授業時間 10～12%），19 世紀のロシア文学（15～20%），20 世紀の国内の文学（40～45%），民族文学（翻訳物およびロシア語で書かれた物，10%），外国文学（20%）。

文学的読み方の活動システムは，本を用いた活動の特別な学習を前提とし，読者としての自主性を身につけた読者として児童を育成するものである。この活動は体系的に行われる。その方向性の一つは，低学年の児童に，辞書，ガイドブック，様々な種類の百科事典，図書カタログを用いた活動であり，これらは模範プログラムの内容にも反映されている。

基本的内容系列

模範プログラムには，５つの基本的内容系列がある。*読書の範囲と読書活動の経験*は，初等学校における子どもの読書用に推薦する作家，作品のリストを示している。第二の内容系列である*読み方の技術*は読み方の過程（能力，速度，正確さ等）の形成の基本的内容を定めたものである。*文学教育入門*は，第三の内容系列である。これは，初等学校における学習の時間内に低学年の児童が習得する基本的文学用語と概念を明らかにするものである。*読書活動能力の形成*は，本を用いた活動の能力，自主的読書のための選択の実現など児童の読書活動の形成を保証する内容によって特色づけられる内容系列である。言語活動の種類は，ヒヤリング，発話，読み方および書き方をひとまとまりとして，また相互作用として保証する最も重要な内容系列である。

学習の目的

ロシア語を教授言語とする教育機関における文学的読み方の学習は，以下の目標達成を目指している。

- 芸術的・創造的能力および知的能力，文学作品を読む際の感受性の**発達**，言葉の芸術に対する美的観点の形成；あらゆる種類の言語活動，対話を行い，表現豊かに読み話し，即興的に作品を作る能力を向上させる。
- 低学年の児童の教育システムの基礎としての，意識的で正しい，速読ならびに表現豊かな読み方の**習得**；読者としての見識を形成し自主的読書活動の経験を身につけること。
- 言葉の芸術に対する美的観点や，読書と本に対する興味，芸術的文学の世界とのまじわりに対する欲求を**育む**こと；低学年の児童の道徳的経験を豊かにし，善と悪，正義と誠実の概念を形成すること;多民族社会ロシアの諸民族の文化に対する道徳的感情，敬意を発達させること。

基本教科課程における教科の位置づけ

文学的読み方の学習には 472 時間あて，そのうち 10%は自主開発プログラムの作成者が独自の判断で使うことのできる時間を 10%残してある。

全教科に共通する能力，技能と活動方法

文学的読み方の教科内容習得の結果として児童は，意識的に読むこと，文学作品と個人的経験にもとづき対話とモノローグの発言を組み立てること，様々な客体を描き対比すること，教科書の資料を自主的に活用すること，辞書などから情報を見いだすことなどの全

般的学習能力，技能と活動方法を身につけなければならない。

学習の成果は，初等学校修了者の要請水準要件に示されており，次の三つの要素により構成される。***知ること／理解すること***：各児童が習得する必要のある知識のリスト。***できること***：具体的能力や技能の習得。また，児童が課外活動で活用することのできる次の能力のグループも示している：***習得した知識と能力を実践的活動および日常生活において活用すること***。

基本的内容

（472 時間）

読書の範囲と読書活動の経験

読書の範囲　口承民族芸術作品。ロシア文学の著名な代表者の作品（V. A. ジュコフスキー，Ｉ. A. クルイロフ，A. S. プーシキン，M. Y. レールモントフ，F. Ｉ. チュッチェフ，N. A. ネクラーソフ，L. N. トルストイ，A. P. チェーホフ，S. A. エセーニン，V. V. マヤコフスキー）；ソビエト児童文学の古典；低学年の児童が知覚することのできる現代の国内の文学作品（ロシアの多民族社会としての特色を考慮して）ならびに国外の文学先品。*通俗科学的，案内書・百科辞典的　文献。子ども用定期刊行物。*

学習のために提案する作品のジャンル的多様性：小さなフォークロア・ジャンル，民族の昔話；文学的昔話；物語；中篇小説；詩；寓話。

子どもの読書の基本的テーマ：「ふるさと」，自然，労働，子ども，人々の相互関係，善悪に関する作品。冒険に関する作品，その他[4]。

入門的文学教育　文学作品の内容の理解。テーマ（子どもの読書のテーマと作品の関係），主題（理念）。筋と作品構成の理解の第一段階として，文学作品の基礎にある複数ないし一つの出来事，あるいは出来事の体系を見分ける能力。作品の主人公，主人公等の感情的・道徳的体験の知覚と理解。*主人公の性格，その行動とモチーフ。芸術的表現力の言語的手段を（専門用語を使わずに）見分けること。文学的コトバの感情的・評価的（様式的）手段を実際に見分ける能力。*

作品の様々なジャンル：登場人物，作品の構造，言葉の比較にもとづく小さなフォークロア的，文学的形態（昔話，寓話，詩，物語，*中篇小説，記事*）。

文学作品とその他の種類の芸術との関連：作品の挿絵の評価，文学作品と絵画，音楽の作品の対比。

読書活動の能力の形成

本（出版物）のタイプ：一作品の本，作品集の本，作文集，定期刊行物，案内的刊行物

[4] 文学教材が教育段階に応じて次のように提示されることが望ましい。第１～２学年：フォークロア（小さなフォークロアの形態，お伽噺）；国内の文学（お伽噺，詩，物語）；第３～４学年：フォークロア，文学的お伽噺；19～20 世紀の国内と外国の芸術文学および通俗科学的文献（物語，詩，中篇小説）；冒険書，歴史書，案内書，百科事典。

（案内書，百科事典)。本の外面的指標，その案内的素材，挿絵などにもとづき，情報の種類（科学的なものか，芸術的なものか）を見分けること。本の選択と読書のために出版データ（著者名，表題，副題)，目次，注記，*まえがき，あとがき*，挿絵を活用すること。

読書の際，言葉の意味を明確にし，出来事，事実，人物についての情報を得ることを目的として，案内書を利用すること。図書館の児童書についての推薦メモ，開架図書のカード式目録にもとづき，本の選択を実現すること。

コトバの活動の種類

聴くこと（ヒヤリング）（80～100 時間）

様々なジャンルの文学作品を耳で知覚し理解すること，質問にしたがってそれらの内容を（学習した教材の枠内で）伝えること。文学作品と本を検討する過程において口頭による会話の目的と状況を意識すること。

読むこと（225～190 時間）

読む方法：通読に先んじた単語全体による読み方。その後フレーズの意味の把握へ移行する。

読み方の正しさ：文学作品の規範を遵守しつつ未知のテクストを間違いなく読むこと。単語の読み飛ばしや取り違えの禁止（第１学年)，文末の間違いの禁止（第２学年)，アクセントの間違いの禁止（第３・４学年)。読み方の速度：読み手がテクストを意識することのできるその人にとって普通のテンポの目標を定めること。読み方の速さを次第に児童の話し言葉のテンポに近づけること。読み方の意識と表現力：単文と複文のあらゆるタイプの意味の理解と，読んだものの意味に応じて（句読点をもとに）イントネーションによってそれを伝えること;(自習の後に）登場人物ないしは出来事との関係をイントネーションによって伝えること。

テクストが答えを示す一つないし複数の問いを作りながら，学習用（通俗科学的）テクスト，論文を部分ごとに順に読む能力。

読むことの目的の意味づけ。目的に応じた読み方の種類の選択。再度意味を把握するため，あるいは出された問いに対する答えを見出すために，テクストを徹底して，意識的に読み返す能力。自主的にまた課題に応じて，一定の目的によりテクストのなかの一節，エピソード，表現，言葉を見出す（選択的読み方）能力。

話すこと（100～110 時間）

作品を検討する際の対話に参加すること。全体を読み聞かせてもらったもの（通読したもの)への個人的見解の表現,作品のテクストを引用しながら自らの立場を論証すること。問いを設定し，通読したものの内容にしたがって問いに答える能力。テクストの再話：物語または昔話の内容を順序立てて再現する能力；テーマ，基本的出来事と主人公（一人ないし複数）の一般化された情報を示しながら短評の形でテクストを短く再話する能力；エピソードや作品の一部を自由に，もしくは教員に指示された形で（短く，全体的になど）再話する能力。

小さなモノローグ的意見の構成：作品（主人公，出来事）に関する自らの印象についての話；考察，描写の要素を含むナレーション的性格の口頭による作文。作品の朗読。暗誦：挿絵やキーワードの助けにより詩を覚える能力，（事前に自習して）聴衆の前で詩と寓話を本から表現豊かに朗読もしくは暗誦する能力。

文学的遊び（クイズ，脚色，朗読など）に参加する能力。読んだ本についてクイズ（文学的なぞなぞ問題）の最も単純な課題を作成する能力。

書くこと（20～25 時間）

通読した（全体を読み聞かせてもらった）作品について設定された問いについて短く筆記で答えを作成すること（コンピュータの利用を含む）。

初等学校修了者の養成水準要件

文学的読み方の学習の成果として，児童は以下のようになる必要がある。

次のことを知っていること／理解していること

- 学習した文学作品の名称，基本的内容，それらの作家；

次のことができること

- 「一人で」（速さには関係なく）文学作品のテクストを意識的に読むこと；
- 作品のテーマと主題を見分けることができること；
- テクストを再話すること（1.5頁以上の分量）；
- テクストを意味によって区分し，その簡単なプランを作成すること；
- 作家のテクストにもとづきながら短いモノローグ的意見を作成すること，作品の出来事，主人公を評価すること；
- （選んで）詩的作品を暗誦すること；
- 与えられたテーマにしたがって，口頭により短いテクストを作成すること；
- フォークロア作品（ことわざ，なぞなぞ，昔話）を引用すること；
- 児童文学のジャンル（昔話，物語，寓話）を区別すること，民族の昔話と文学的昔話を区別すること；
- 学習した教材について様々なテーマの芸術的作品を引用すること；
- 本の要素（表紙，目次，とびら，挿絵，注記）を区別すること；

習得した知識と能力を実践的活動や日常生活に活用すること：

- 自主的に本を読むこと。
- 通読した作品（主人公，出来事）についての評価的判断について意見表明すること。
- 本の内容を要素ごとに自主的に選択し定めること。
- 様々な情報源（辞書，案内書，電子的なものを含む）を用いた活動。

（澤野由紀子）

１．６　フィンランド

基礎学校学習指導要領（フィンランド語）

『フィンランド基礎学校学習指導要領 2004 年版』国語科第１～２学年規定

Finnish National Board of Education ; National Core Curriculum for Basic Education, 2004

7.3 Mother Tongue and Literature

７．３　母語と文献

母語としてのフィンランド語

母語と文献の授業の基本課題は，言葉，文献，相互作用においての生徒の興味を誘発することにある。授業は言葉の地域社会志向観点に基づくものでなくてはならない。すなわち地域社会の成員として，またそこに組み込まれ，人びとが地域社会の他の人びとが用いている言葉を学びはじめる知識として。授業は生徒の言語的，文化的技術と経験の上に築かれるものでなくてはならず，また生徒がそれらを通してアイデンティティーと自己評価を確立するものでなくてはならない。広範なコミュニケーション，読みと書きの機会が与えられなくてはならない。目標は生徒が，文化に包括されることを得しめ，それに参加し，社会的に影響を及ぼす積極的かつ倫理的で，責任感ある意志疎通者であり，読者とするにある。

母語と文献の授業において，生徒は言語的用法で世界に接近し，自身の概念を学ぶ，すなわち彼らはただ単に現実を分析する手段としてではなく，現実から逃避し，また新しい文脈に結びつく新しい世界の構築の可能性の手段を獲得できる。

母語と文献は，言語学，文献研究，コミュニケーション科学からその内容を得ている情報的，芸術的，技術的教科である。教科の基礎はテキストの広範な概念にある。そのテキストは，読まれ，書かれ，想像的，事実的，単語的，映像的，音声的，グラフィック的―もしくはこれらの結合の型のテキストとして。授業は生徒の母語が学習の基礎であるということを考慮に入れなければならない。というのは，生徒にとっては，言葉は，学習の目的と道具の双方であるからである。母語と文献の授業の課題は，言語志向の学習と体系的な相互作用を発展させることにある。

母語の学習は広範に言語の領域と課題をカバーするものである。授業は新しく増大された言語使用の状況とコミュニケーションの状況において，相互作用の技術と，言語と文献の知識を発達させるものでなくてはならない。

第１～２学年

第１～２学年における母語と文献の授業は，家庭とその早期，とくに就学前教育において始められた言語学習を続けることにある。授業は生徒の日常生活に関連をもち，言葉の全領域を包括し，生徒の言語学習を支援する口述また筆記のコミュニケーションからなる。授業は，生徒が彼らの大層異なった学習過程にあるという事情を受け入れてなされるもの

でなくてはならない。

目標
生徒の相互作用の技能が向上される
生徒は次のようになる。
・学校における相互作用の状況になれる。
・集中して聴くことを学ぶ
・質問をし，疑問に答えることを学び，自身の知識，経験，思考，意見に関連をもたせることが出来る。
・彼らの全体的な言語的な身体的表現を発達させる。

生徒の読みと書きの技能が発達する
生徒は次のようになる。
・読解や習字の技能，学習に必要な概念を学ぶ―彼らは実践的規則的な読みと書きの重要性を理解するに至る。
・情報・技術学習環境におけるコミュニケーションの能力と同様に，メディア・リテラシーを含む読み，書きの技能を発達させる。
・自分自身を，読む人，書く人としてみなすことを学ぶ。
・自分自身の文章を書く時，書かれた言葉の伝達について考慮を入れることを次第に学ぶことになろう。

生徒の文献と言葉の関係が形をなすこととなる
生徒は次のようになる。
・聞くことと読むことを通して言葉の書かれた形式に熟知することになろう。―すなわち，想像力，語彙，そして表現の範囲が豊かになり，彼らの考えと表現の材料を獲得することとなろう。
・彼らに興味のある読書材料を選ぶことを学び，彼らの読書力に対応した図書を読ませることになる。
・言葉とその意味と形式を験べることに馴れるところとなろう。
・音，文字，音節，単語，文，句読点，題字，テキスト，イメージといった概念で話されているテキストに馴れることになろう。

<u>中核となる内容</u>
相互作用技術
・各学校の相互作用の状況，１対１，小グループ，クラス討論における口頭での，また書かれたものでの表現
・集中して正確に邪魔されないで聴くこと
・道具や語りや，劇やドラマの助けをかりて，聞いたり見たり経験したり読んだことを再生し，またこれらの技術をまた他の芸術的教科の中に統合させる。

読みと書き
・多様化された日常の読みと書き。
・グループ討議を通して印刷教材，電子教材の分析。
・音と文字の間の交流を通しての充分な実践。
・書かれ話される標準語の練習。
・単語認識・短い語から長い語へ，未知のものへと。―音読から静読へと高めてゆく。
・文章理解改善の方策の導入と応用。
・スピーチを，単語，要目それに音に分割する―書き言葉の練習として。
・文字の形を画き，大文字，小文字，ひげ文字，これらの混合の学習と文字の結合（附録Ⅰのモデル文字，数，句読点を参照)。
・ペンやペンシルを正しく保つことを学ぶ。また適切な書きの姿勢，手と目のコーディネート，さらにコンピューターで書くことについても。
・音と文章のレベルでの綴り字―単語間の空白，ライン間の単語の分割，新しい名前と文の初めに始まる大文字，文章最後の句読点，それらの生徒自身のテキストにおける使用。
・生徒自身の観察，日常の経験，意見，想像による内容豊かで創作の悦びにみちたテキストの作成。

文献と言葉
・文献と他のテキスト，教師が読んでいる間に生徒が聴き，イラストを見，そして自身で次第に読めるようになる。
・読書経験また中枢となる一般的な経験をもって読書し本を取扱う―創造的活動における刺激としての文献の使用。
・主な特色，セッティング，プロットの概念との関係においての文献の討議―自身の生活，以前聞いたり見たりしたものについての読書と関連して。
・図書館利用を学ぶ。
・言葉とその形態と意味についての観察。

第２学年末までに期待される到達度
生徒の相互作用技能が望まれるように発達している
・彼ら自身が自己表現できることに慣れさせ，それを聞く人たちがそれについてゆくことができるように，小グループでの観察と経験を積ませることによって知らしめる。
・日常の会話状況において適切に行動ができるように―彼らが教師や生徒の話しや討論についてゆけ，話し，討論の相互作用のために努力し，彼ら自身の考えや疑問について聞いた時に反応できる。
・表現の練習において集中して参加できる。

生徒の読みと書きの技能が望まれるように発達している
・基礎的技術が高められる一対一の初期の読書から進歩している―彼らの読みはその年齢層に対応して作られたテキストを読むに当たって十分に流暢であった。
・読んでいる間，彼らの読んでいるものについて，彼らが理解しているかどうかを観察し

始める―彼らの読んでいるものから結論を引き出すことができる。
・また書くことにおいて，彼らの日常生活状況に基づいて，書くことが出来，自己を表現し得ている。―彼らはまたその書くことにおいて想像力を駆使することを得ている。
・手書きによって文字の接続が出来，またコンピューターによって独創的なテキストを作成することができる。
・ほぼ誤りなく簡単な熟知している単語で書くことができ，文章においての句読点，文章の始まりの大文字の使用を始める。

生徒の文献と言葉との関係が望まれるように形成されている
・読むことに特有な歓びを見出している―彼らは，楽しみと情報を見出す双方のために読書技能を使用している。
・彼らの読書技能に適切な少なくともいくつかの児童用図書を読む―彼らのメディア・リテラシーは，その年齢層に相応の次に続くプログラムに対して十分なものとなろう。
・言葉についての彼らの年齢層の特質を観察することが出来る―彼らは言葉の音声的音節的構造の分析が奨励され，それらをＡＢＣ的順序にリストアップし，またＡＢＣ的順序で使用することを可能とする。
・言葉とテキストについて話す際，教わった概念を用いることに慣れるようになる。

母語としてのスウェーデン語

母語と文献の授業において，生徒の言葉，文献，相互関係への興味を呼び起こす努力がなされる。教科としての母語と文献の課題は，個人的文化的アイデンティティーを伸展させ，思考力，創造性，倫理的思考，それに他人とのコミュニケーションの能力を発達させるものでなくてはならない。人びとのネーティブな言葉は，家庭で，また初期の就学前教育に始まり，すべての学習と情報獲得の基礎を形成している。

母語と文献は双方とも，生活管理教科であり，非形式的，技能，文化的教科目のキーとなるものである。当教科はその内容は，本来的には，文化研究と同様に，コミュニケーション科学，言語学的，文学的研究から得られるものである。読み，書き，話すコミュニケーションの助けをかりて，生徒は新しい概念に馴染み，物事の関係を見ることが出来，彼らの環境における現象を考慮して位置を占めることが出来るのである。文献と映像的コミュニケーションメディアを通して，彼らは知識を獲得し，各種文化に遭遇する。文献の学習はまた人格の発達をサポートする。母語と文献の学習を通して，また他の教科との結合を通して，各種非形式的，また技能的分野の機能的結合にその努力が払われなくてはならない。当教科はテキストの広範な概念に基づいている―というのは，フィクション，事実，手書き，グラフィック，また電子的なものにみられるという意味で―。このテキストの広い概念は，メディア・テキスト，音声，イラスト，パントマイム，およびそれらの結合にまで拡大される―さらに話され，書かれたテキストをも加えて―。

母語の話しと書きの習得―すなわち学習する言葉―は，学習また積極的社会参加と影響力を与える前提条件を構成している。そのため学校は，この教科目に関して，他の基本的教科目と同じく，言語開発の広範な機能を提供することが重要である。多くのフィンラン

ドのスウェーデン語系学校の生徒は，広範な言語背景および学校での言語能力を有している。スウェーデン語は，同一のクラスにおいてもそれぞれ多種多様であろう。この変異に学校の授業のすべてにおいて注意が払われなくてはならない―ただ単に母語と文献の授業においてのみでなく―。つまり，すべての言語的アイデンティティーと，学校言語における彼らの能力が，支持され，伸ばされなくてはならない。

第１～２学年

第１～２学年において，学校は生徒の個人的な言葉の発達の観点から用意がなされなくてはならない。生徒はしばしば言葉の発達の非常に異なった段階にある―ある者は文字で自身を知り始め，他の一方では自身で本を読んでいるといったように―。母語と文献における授業の第一の目的は，生徒に，毎日，新しい情報，技能，経験を得ることが出来るように，機能的なコミュニケーションの文脈において，読み，書き，話すチャンスを与えるものでなくてはならない。こうした形において，全体としての生徒の言語能力は，また支援を得ることができるのである。言語熟達の各種の分野は，他から孤立して発達することは出来ない―むしろ，彼らの発達は，全体として統合されたものの中に見られるからである。

目標

コミュニケーション

生徒は

・学校における多様なコミュニケーションの状況下にあって，いかに彼ら自身を表現するかを望み，試み，知ることを得る。
・集中していかに聴くかについて知る。
・質疑応答，情報，そして彼らの知識，経験，考えや意見を意志疎通する会話に参加することに慣れさせる。

読みと書き

生徒は

・読みと書きの基本概念を把握する。
・音，文字，ＡＢＣ，摘要，単語といった読書の基本的技術や言語的概念を学ぶ―節，文章，テキストといった大きな単元の理解。さらに読みと書きの学習における練習と反復の重要性の理解―を学ぶ。
・自分自身で読み書き，テキストの内容について熟考することを学ぶ。
・次第にスウェーデン語の書かれた形態を学び，自身のテキストを書くに当たって，文学的言葉の規範的なシステムを用い始める。
・例えば情報技術の助けをかりて，コミュニケーションに関する知識と技能を発達させる。

言葉，文献と文化

生徒は

・ある人が読み，テキストの内容，読みと書きの内容について議論することによって，現象としての言葉を理解にするに至る―彼らは内容と語法の相関性について理解するに至る。
・言葉の書かれた形態を学び，彼らの想像力および自身が書き考えるための材料の双方において刺激を受ける。
・個々人の興味のある個々人の読書能力にふさわしい読書を見付けるに当たってガイダンスを受けることが出来る。

中核となる内容

コミュニケーション

・学校における異なるコミュニケーション状況における口頭また文書での表現―一対一，小グループ，クラス討論への参加―。
・用意されたもの，ナレーション，演劇の助けをかりて，聞き，見，経験し，読んだものを取扱う。
・集中的に，正確に，妨げられないで聴くこと。
・詩と童歌を読み，心底から学ぶ。
・美的な表現形態を通しての言語的，非言語的表現を統合させる。

読みと書き

・想像的またノン・フィクションのテキストをかりての読みと書きの技能の多岐にわたる発達
・活字体で書き，次第に筆記体へと移る。(モデル文字，数，句読点については附録 I を付加する。)
・適切なペンまた鉛筆の握り方と正しい筆記姿勢で，文字を画き，文字を結び合わせる練習を継続。
・書きのリズム，手書き，またコンピューターを使用して書くことの実習。
・コンピューターで画き，書くに当たって，コンピューター・マウスの使用の実習―手と目との相互調整能力を延ばす。
・経験，意見，観察，想像に基づいて文章を書く。
・大文字，句読点，空間，改行の仕方。
・音と文字間の相関関係の把握。
・文学的，話し基本的言葉の導入。
・短い，熟知した単語，より長いもの，熟知していない単語への認識―音読から黙読へ。
・文章，章句，単語，語形，音の作業，こうして言語的自覚を発達させる。
・主題を打出しイラストを用いて，テキストの内容や型を識別するといったキーとなる読書手段を用いる。―理解を促進させるために，読書を自然のポイントにおいてスロー・ダウンさせる―。
・テキストの本質的なものと非本質的なものの識別―自身の経験と言葉の知識でテキストを統合させる。
・むつかしい単語，文章，テキストの部分に慣らさせる―周辺のテキストから意味すると

ころのものを発見させる実習―。
・討論を通して印刷された，また電子化されたテキストを験べる。
・スピーチを単語，形態，音素へと分割する―単語を発音された音声的なものとして書く練習。
・綴り，発音は人によって違うことを理解させる。

文献と言葉
・フィクション的テキストの広範な導入
・おとぎ話，詩，会話を聞き，自身で漫画を声を出して読む―イラスト，フィルム，劇，デジタル・テキストの形態における文献に親しませる。
・本を読み，内容を討論し，経験した質と読書経験を分け合ったことに焦点を当てて書く。
・文献の討論，主な特質，設定，テーマに筋といった概念の理解―自身の書かれたまた話された成果に対してインスピレーションの源としての文献の利用。
・図書館の利用
・言葉の観察と言葉の形態と内容の考察

第２学年末までに期待される到達度
コミュニケーション
生徒は
・自分自身を口頭で表現することに慣れてきて，聞く人がそのメッセージを理解することができるよう，彼らの経験をどのように小グループで生かしたらよいかを知るに至る。
・綴り，音，リズムの問を区別し，言葉をいかにあやつるかを知る―彼らは言葉の韻，重み，形，意味を知る。
・日常の会話状況において適切に自分自身を表現することを知る。
・教師と他人に対していかに集中して聴くかを知る。
・自然に会話することに加わり，さらにその会話のコースにおいて，自身のコメントや疑問を述べることが出来る。

読みと書き
生徒は
・比較的に誤り少なく，発達の段階に適わしいテキストを読む―彼らの読みの技術が自動的になり，親しみ易い単語として認識するに至る。
・テキストを全体として，しかも詳細に理解し，テキストとの対話がなされる―読書理解を促進する方策を自身が熟知し，必要とされる時にこの方策を使用できる。
・読んでいる間に理解が読みとれる。
・異なった状況下の必要において，書くことにおいていかに自身を表現するかを望み，またそれを知る。
・想像と事実（即ち現実的経験）に基づく経験に照らして，書くことが出来る。
・手書きによって，またコンピューターによって文字を互いに結び付け，自身のテキストが作成出来る。

・頻度の高い単語の綴りを知る。
・少なくとも，文章は大文字で始まり最後は終止符を用いることを可能ならしめる。

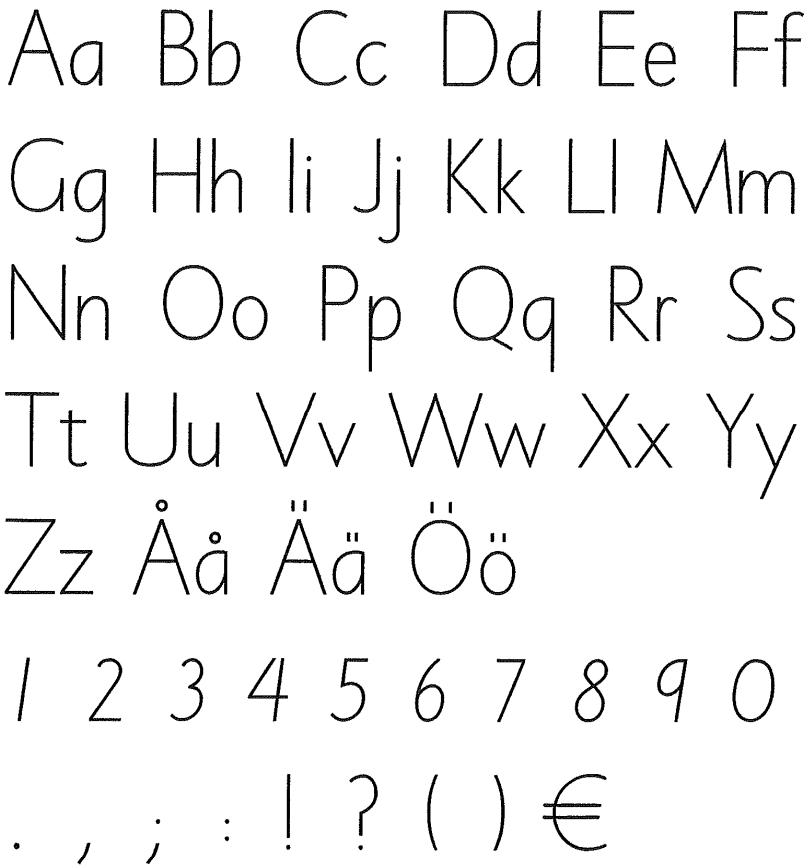
言葉，文献，そして文化
生徒は，
・現象としての言語を理解し始める―彼らはある程度言語学的表現とテキストについて論じ合えるようになる。
・適切な語彙になれ，年齢に相応な印刷，メディア・テキストを理解する能力をもつ。
・年齢に相応な彼ら自身の文献に興味をもち，それを知ろうとする積極的な読者へと動機付けられる。
・いくつかの童話をもち，広範に読み，同時に想像的なテキストによって目覚めさせられた感情と思想へと導く。

（注）
フィンランドはその殆んどがフィンランド語を母語とするも，6％弱がスウェーデン語を，0.03％がサーミ語を母語としている。
そして，1994 年の学習指導要領以来 Äidenkieli（母語）として，Suomen kieli（フィンランド語），Routsin kieli（スウェーデン語），Saami kieli（サーミ語）が同格に扱われ，PISA でも全く同格な扱いがなされたのであった。
しかし，これらは国際的にみて，国語科といってよいものと考えられる。
なおちなみにこの国の公用語は，フィンランド語とスウェーデン語であるが，基礎学校（９年制）の生徒は次のように，いわゆる国語のほかに外国語を学習している。

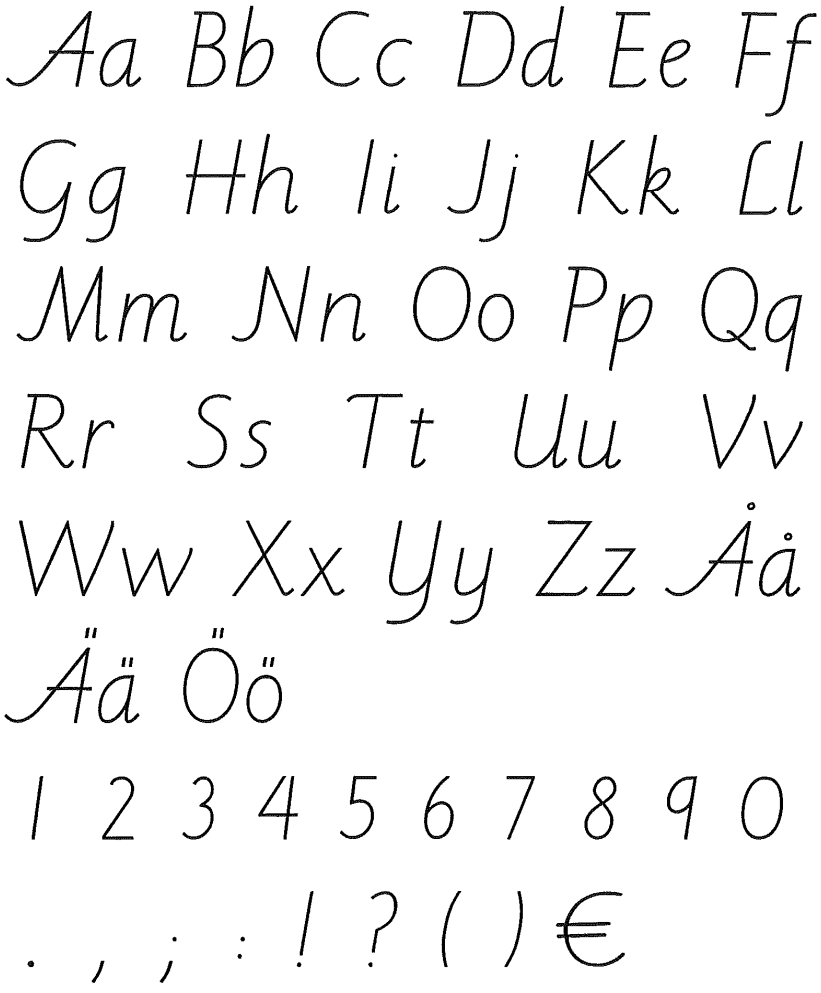
フィンランド語の母語以外の言語系科目
Ａ１言語　通常３年生から必修語（殆んどが英語）
Ａ２言語　初等教育段階の選択言語
Ｂ１言語　通常７年生からの必修言語（スウェーデン語が多い）
Ｂ２言語　前期中等教育段階の選択言語

（中嶋　博）

APPENDIX 1
Letter models, numbers, and punctuation marks
Letter models by Toivo Heiskanen and Liisa Uusitalo



276


Aa Bb Cc Dd Ee Ff
Gg Hh Ii Jj Kk Ll
Mm Nn Oo Pp Qq
Rr Ss Tt Uu Vv
Ww Xx Yy Zz Åå
Ää Öö
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
. , ; : ! ? ( ) €

２　各国の「読み物教材」

２．１　小学校国語科教科書の「読み物教材」の題目一覧表

２．１．１　アメリカ

第１学年

“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.1: Here We Go!”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.2: Let’s Be Friends”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.3: Supurise”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.4: Treasures”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.5: Wonders”, 2005

第一巻

単元１　みんな一緒

読み物１　ねこのマック	すてきなねこが家から抜け出し周りを騒ぎに巻き込む
読み物２　学校の一日	パムが彼女の新しい学校で忙しい一日を過ごし友達を作る
読み物３　ぶたトラックに乗る	のんきなぶた達が農業祭に出発して，災難に見舞われる

単元２　びっくり

読み物１　ボブのパーティー	ボブの６歳の誕生日に，家族と友達はびっくりパーティーと，他にもびっくりプレゼントを用意する
読み物２　うさちゃんときつね	２匹の賢いうさぎが狐をまんまと出しぬく
読み物３　ジグ虫くんおどろく	陽気な３匹の虫が泳ぎに行き思いがけない冒険と出会う

第二巻

単元３　まわりを見回そう

読み物１　きせつ	きせつが変わるときどうぶつたちも変わっていく
読み物２　ジルさんのアイスクリーム店	ジルさんのお店で次から次へと騒ぎが起こる
読み物３　水族館で	水族館への遠足で，子どもたちは魚，海の小さな動物，ラッコ，そしてイルカのことを学ぶ

単元４　家族と友だち

読み物１　オットーむこうに行け	弟が掃除を手伝おうとするが，彼のがんばりでもっと散らかることになる
読み物２　二人の親友	家族で新しい街に引っ越したとき，パムは一人の友だちと分かれ，新しい友だちができた。いま，彼女

には２人の親友がいる

読み物３　ドッグスクール　もこもこした犬のスプリッツは言うことを聞くように犬の学校に入れられる

第三巻

単元５　すてきなわが家

読み物１　引越しの日　大きくなりすぎたヤドカリが新しい家をさがす

読み物２　地図の上のわたし　女の子が部屋，家，町そしてついに世界の地図をつくる

読み物３　たこ　飛んでいってしまったたこを探す子どもたちが，その代わりに迷子の子猫を見つける

単元６　動物の冒険

読み物１　眠りぶた　たくさんのいろいろな動物が，眠りぶたのセリーナを彼女のスイカ畑から助け出そうとする

読み物２　キャー！家にねずみがいるよ　女の子に家の中のねずみ退治をたのまれたおかしな動物たちが騒ぎを巻き起こす

読み物３　３匹の赤目がえる　ジャングルに住む３匹の赤目ガエルの一日を体験しよう

第四巻

単元７　わたしたちは解決できる

読み物１　このヒキガエルはぼくのだ　２人の男の子は何でもなかよく分け合ってきた。ヒキガエルを見つけるまでは

読み物２　まいご　男の子は街で迷った熊が森の家に帰る道を見つけるのを助ける

読み物３　ぶたにパンケーキをあげたなら　元気いっぱいのぶたにパンケーキをごちそうする女の子は大忙し

単元８　私達の地球

読み物１　森　森の植物と自然の中での生活を学ぶために子どもたちが遠足に出かける

読み物２　チョウ　卵から成虫までのチョウの成長を色鮮やかな細部で知らせる

読み物３　ジョニー・アップルシード　西部にりんごを植える旅を続けたジョニーの残したものを伝える

第五巻

単元９　特別な友だち

読み物１　もしあなたと同じに年をとっていたら　１人のこどもがおじいさんと同じ生活を楽しむことを想像する

読み物２　新しい友だち　日本から来たまことが近所の子どもの中で友だちをつくる

読み物３　びっくり家族　男の子に育てられた雌鳥がアヒルたちのお母さんになる

単元 10　やればできる

読み物１　２匹のよくばりなくま	２匹のこぐまが一つのチーズを仲良く分けることができないときずる賢いきつねが仲直りの計画を耳打ちする
読み物２　ナタンのホタル	おじいさんとおばあさんの家に遊びに行ったナタンはお父さんがしたのと同じようにホタルをつかまえる
読み物３　ふたりはきょうも	かえるくんはがまくんの誕生日にぼうしをあげる。ぼうしが大きすぎて脱げてしまったとき，かえるくんはうまく問題を解決する

第２学年

“Houghton Mifflin Reading　Grade2, Level 2.1: Adventures”, 2005

“Houghton Mifflin Reading　Grade2, Level 2.2: Delights”, 2005

第一巻

単元１　まぬけな話

読み物１　お買い物（『かいじゅうが来た』より）	かいじゅうの買い物失敗談
読み物２　ジュリアス	破天荒なブタと女の子がお互いの知っていることを教えあう
読み物３　ブラウンさんが町に行った	ブラウンさんの留守中に動物たちが好き勝手をして大混乱

単元２　自然の中の散歩

読み物１　ヘンリーとマッジと星ふる夜	ヘンリーはお父さんとお母さんそして飼い犬のマッジとキャンプを楽しむ
読み物２　ドケット警備隊員と公園を歩く	都会に近接する公園のレンジャーの仕事を通して公園を観察
読み物３　池の周りで：だれがいるの	兄弟が池に向かって歩く途中にいろいろな生き物を見つける

単元３　町の中で

読み物１　中華街	住人の男の子の目を通した中華街の生活
読み物２　消防署見学	子どもたちが消防所を見学する
読み物３　立派な鬚	鬚のある父親に憧れる男の子が劇の小道具の鬚をなくして落ち込み，父親が自分の鬚を剃って与える

第二巻

単元４　すごい動物

読み物１　バックル警官とグロリア	話が退屈なバックル警官が相棒の犬グロリアと一緒に人気者になる
読み物２　あり	様々なアリについての説明文。
読み物３　すごいボールゲーム	蝙蝠が動物として認められるきっかけになったのは鳥対動物のボールゲームで動物として活躍したか

ら。

単元５　家族の時間

読み物１　きょうだい	兄弟や姉妹がどのようなものかを子どもの視点から語る。
読み物２　ハラペーニョベーグル	男の子がパン作りを通してユダヤとメキシコ両親それぞれの文化に触れる。
読み物３　メーリーゴーランド	誕生日に父親の帰りを待つ女の子の葛藤。
読み物４　かみなりケーキ	雷を怖がる女の子にケーキを作りながらおばあさんが冷静であること，勇気を持つことを教える。

単元６　タレントショー

読み物１　美術の授業	絵を描くことが好きな男の子が，学校の美術の時間の制約を超えて成長していく
読み物２　モーゼスコンサートに行く	耳と言葉の不自由な男の子が学校からオーケストラのコンサートに出かける
読み物３　学校の壁	あるクラスの子どもたちが，学校や地域の自慢となる壁画を作成する

第３学年

“Houghton Mifflin Reading　Grade3, Level 3.1: Rewards”, 2005

“Houghton Mifflin Reading　Grade3, Level 3.2: Horizons”, 2005

第一巻

単元１　冒険に出よう

読み物１　壁のぼり	高い所に取り残された犬を助けるために少年が高い壁を登る
読み物２　ムーランの子守唄	年老いた父親の変わりに少女ムーランが徴兵に応じる中国の話
読み物３　探し物	探検仲間が失くしたものの秘密の世界で幸運の帽子をさがす

単元２　伝統を大切にする

読み物１　大切なキルト	おばあちゃんがロシアから来たときに見につけていたドレスとスカーフはキルトに作りなおされ大切にされてきた
読み物２　おばあちゃんのレコード	少年はスパニッシュ・ハーレムで過ごす休暇におばあちゃんの大好きなレコードを聴きながら想い出話に耳を傾ける
読み物３　おしゃべりな服	叔母さんはアンバーにアフリカの服の模様や色の意味を説明する
読み物４　踊る虹	インディアンの若者カートとそのおじいさんが祭りのしたくをする

単元３　信じられないような話

読み物１　ドグジラ	マウスシティーを破壊する恐ろしいドグジラにネズミたちが立ち向かう
読み物２　バールレッタの謎の巨人	軍隊が街を攻めたとき賢い巨人は自分が小さすぎると嘆いて見せ，おびえる兵隊達を退却させる
読み物３　立ち上がった龍	女の子が見つけた卵から生まれた恐竜を育てる
読み物４　アブダル・ガザイの庭	アランは，ミス・ハスターから預った言うことを聞かない犬を追いかけて謎の庭の扉をくぐる

第二巻

単元４　動物の暮らし

読み物１　パフリングの夜	ハラは彼女が住む島に毎年来る渡り鳥のはじめの一羽を見るために毎日空を見上げる
読み物２　アザラシサーファー	少年と祖父が家の近くでアザラシの赤ん坊を見つけ，その日から特別な友情が育まれる
読み物３　５月の２日間	町に現れた５匹のおなかをすかせた鹿を住人が無事に住処にもどす

単元５　旅行者

読み物１　暗い海を越えて	メイフラワー号で家族とともに祖国を後にした少年は長い旅の末に新しい世界を見る
読み物２　ユンミとハルモニの旅	ユンミと大好きなおばあちゃんはアメリカからおばあちゃんの故郷の韓国を訪ねる
読み物３　氷に閉じ込められて	1914 年，南極で９ヶ月間氷に閉じ込められながら脱出した物語

単元６　賢い解決

読み物１　ペピタは２倍話す	英語とスペイン語ができるペピタは,「２倍話す」のをやめることにして，そして，２つの言葉が話せることはいいことだと気づく
読み物２　ポッパの新しいズボン	アフリカ系アメリカ人の家族が，巨人のはくようなズボンの使い方をユーモラスに解決する
読み物３　ラモナ・キンビー，８歳	３年生で８歳になったラモナは一人でバスに乗ってすっかりお姉さん気分，学校で騒ぎを巻き起こす

第４学年

“Houghton Mifflin Reading　Grade4, Level 4: Traditions”, 2005

単元１　旅

読み物１　アキアック	アラスカの犬ぞりレースのリーダー犬アキアックは７度目，最後のレースに挑み４日目に怪我をする
読み物２　おじいさんの旅	日本人移民のアメリカへの旅の物語
読み物３　タイタニックを探して	ルスは逃げ遅れ一人で見知らぬ人びとと救命ボート

	に乗り込んだ。世界一大きな船が沈むときの様々な決断が描かれる
読み物４　シルバーレイクの岸辺で	『大草原の小さな家の』作者ローラ・インガルスがティーンエイジを過ごした場所の思い出
単元２　アメリカの物語	
読み物１　トーマスと図書館の人	移住労働者家族の中で育つトーマスに，お父さんが図書館に行き家族で楽しむ新しい物語を仕入れてくるように言う
読み物２　タニアの集会	親戚の集まりを楽しみにおばあさんの家に出かけたタニアは，農場の寂れた様子にがっかりするが，おばあちゃんは別の見方を教える
読み物３　原野のボス	だれがテンガロンハットを作ったのか。そしてなぜ，西部の服装に加えられたのか
読み物４　とても大事な日	ある冬の朝，ニューヨークの移民が市民権を得るために，一斉に裁判所に向かった
単元３　それはおどろいた！	
読み物１　不思議なひと	ある日，ビルはトラックで奇妙な紳士に当たってしまい家に連れて帰る
読み物２　シンデレラ	ピンクニーがスクラッチボードに描く絵とともに，おばあちゃんが語るカリブのシンデレラ物語
読み物３　熱波	女の子と自然の猛威の闘いの物語
単元４　問題解決者	
読み物１　私の名前はマリア・イザベル	アメリカで育ったヒスパニックの子どもマリアは，学校の先生が彼女の名前をマリーと変えたときから悩み始める。
読み物２　グレートノースの森のマーベン	1918 年，ミネソタでインフルエンザが大流行したとき，マーベンの両親は彼を安全なところに行かせることを決めた。
読み物３　最後のドラゴン	大叔母さんとチャイナタウンでつまらない夏を過ごすペーターはショーウィンドウで見つけたテン･マンドラゴンの修理に楽しみを見つける。
読み物４　星に歌えば	バイオリン奏者のエフラムに，盲目のピアニストワシントンは，「誰かが聞いていると音楽はしゃべり出すものだ」と語り，屋外コンサートへの出演のための勇気をあたえる。
単元５　英雄	
読み物１　ドクター･キング，お誕生日おめでとう	人権について学習するジャメルは，キング・デーにする寸劇を思いつく。
読み物２　グロリア・エステファン	キューバ生まれの歌手で事故から復帰，アトランタオリンピック閉会式で歌ったグロリア・エステファ

ンの伝記。

読み物３　ルー･ゲーリッグ，最も幸運な男　不屈の伝説をもつ，元ニューヨークヤンキースの一塁手の物語

単元６　自然―友そして敵―

読み物１　サーモンの夏　９歳のアレックスは毎年アラスカのコディアック島に戻ってくるサーモンを釣りに出かける

読み物２　野火　自然の中の火の重要さと，火が制御不可能になったときに何がおこるかを知らせる

読み物３　ヒバリ　渇水を逃れて旅をする家族の物語

第５学年

“Houghton Mifflin Reading　Grade5, Level 5: Expeditions”, 2005

単元１　自然の猛威

読み物１　地震の恐怖　母親が怪我をして病院に運ばれる間，旅行先に残された子供達を地震が襲う

読み物２　嵐の目　息を呑むような写真で構成された嵐の追跡

読み物３　火山　火山は山のような形をしているとは限らず，いつも火を噴いているわけではない。火山について科学的に説明する

単元２　全てをかけて

読み物１　ミシェル・クワン　スケートの世界チャンピョン，ミシェル・クワンの自伝

読み物２　ラ･バンバ　タレントショーでのマニュエルの奮闘

読み物３　危険な場所　ロッキー山脈への家族旅行から始まるサスペンス

読み物４　ミー・ジェミソン，宇宙科学者　1987 年に宇宙へと旅立った黒人女性の伝記

単元３　革命の声

読み物１　ポール･リビア, そして何が起こったのか　アメリカの愛国のシンボルであるポール・リビアの「真夜中の騎行」を描く物語

読み物２　ケィティーの幹　英国派の少女の視点から見たアメリカ独立戦争

読み物３　ジェームス・フォーテン　奴隷廃止運動家の黒人兵士の伝記

単元４　人から人へ

読み物１　マリアはいつもクール　マリアは家族の問題ではなく，ダイビングに集中しようとする

読み物２　ママの親友　視力を失なった小学校教員の物語

読み物３　ヤン２世と秘密のファン　ヤン姉妹がアメリカへの適応を学んでいく

読み物４　親愛なるハンショウさん　転校先の学校でさびしく，面白くないことばかりのレイは，授業で前からファンだった作家ハンショウに手紙を書く。そしてその返事が彼を変えた。

単元５　一つの土地，多くの道

読み物１	スローとよばれる少年	スローと呼ばれたインディアンの少年が最も強い名前を手に入れるために，自分の強さを証明しようとする
読み物２	開拓者の少女	ネブラスカの草原で暮らす開拓者の少女の生活
読み物３	ブラックカウボーイと野生馬	野生馬を移動させる能力で有名なボブ・レモンと愛馬の物語
読み物４	エレナ	伝統に抵抗したメキシコ女性が，革命の中で家族を救う物語

単元６　動物との出逢い

読み物１	グリズリー熊のファミリーブック	美しい写真でアラスカに住む大型獣グリズリーの生活を描く
読み物２	ゴールデンライオンタマリンが家に来た	ゴールデンライオンタマリンと呼ばれる猿をアマゾンの生息地に戻そうとする人々の奮闘
読み物３	私の隣の山	山の中でともに暮らす少年とハヤブサの物語

第６学年

“Houghton Mifflin Reading　Grade6, Level 6: Triumphs”, 2005

単元１　勇気

読み物１	手斧	旅行中に乗ったセスナの操縦士が急死し，ブライアンは着陸を試みることになる
読み物２	自由への道	杉原千畝のパスポートの発行の決意を少年の目から見つめ，大人の目でその成果を考える
読み物３	登るか死か	ダルシー家の人々はコロラド山の山小屋を目指していたが，それはジェークとダニエルの望む週末の過ごし方ではなかった
読み物４	シャルロット・ドイルの告白	アメリカの上流階級の令嬢が波乱の船旅を通して成長する物語

単元２　本当は何が起こったのか

読み物１	ｱﾒﾘｱ･ｲﾔﾊｰﾄ, ﾌﾗｲﾄのﾌｧｰｽﾄﾚﾃﾞｨｰ	アメリカで初めて飛行機の操縦士となった女性の物語
読み物２	月と結婚した娘	いとこ同士の部族の娘二人は，月夜に海岸で遊びながら夫となる人を月に願う
読み物３	恐竜の幽霊	1947 年にニューメキシコで発見された恐竜の化石について美しいイラストともに説明する

単元３　成長

読み物１	赤いシダの育つところ	大恐慌の間オザークマウンテンに住んでいた 10 歳のビリーの物語
読み物２	メゾンの最後の夏	11 歳のマーガレットが経験する父親の死と親友との別れ
読み物３	挑戦	メキシコ系アメリカ人の少年達のスポーツへの挑戦

読み物４　土曜日のながめ	６年生の４人がクイズ大会に勝ち進む間に様々なエピソードが繰り広げられる

単元４　昔の文化の発見

読み物１　失われたアステカの寺院	1978 年，考古学者がアステカの月の女神を描いた円盤を発見したそれは，1500 年代に建築された巨大な寺院の一部だった
読み物２　万里の長城	国を要塞に変えた 4000 マイルにおよぶ土塁と石垣の物語
読み物３　ガーナ，マリ，ソンガイ王国	中世アフリカの生活

単元５　実践者と夢

読み物１　美しい者	貧困，災難，差別，全てを乗り越えてオリンピックメダルを手にした女性の物語
読み物２　シュロの木の下で	後に作家となるフローラ・アダはキューバの素敵な家の裏庭で想像の世界を広げていた
読み物３　チャッククロース・アップクロース	肖像写真を元に作品を制作した現代美術家チャック・クロースの物語

単元６　新たな開拓前線，海と宇宙

読み物１　ソジャーナーの冒険	火星探査自走車ソジャーナーとの火星の旅
読み物２　フランクリン・R／チャンディアズ	ナサのスペシャリスト宇宙飛行士の物語
読み物３　青い水の下で	驚くべき深海の生物を紹介する
読み物４　そこに	船乗りに殺し屋の波として知られる波がカリフォルニアに近づく

（二宮　皓）

２．１．２　イギリス

ステージ１（日本でいう第２学年）

Brian Moses 編 ”Literacy World　Essential Fiction　Stage1”, Heinemann, 2004

Michael Lockwood & Kate Lockwood 編 ”Literacy World　Essential Non-fiction　Stage1”, Heinemann, 2004

フィクション

《種類》	《題名》
日常なじみのある設定の物語	12 階の子どもたち
	フェアじゃないわ・・・私が小さいのは。
観察と感覚に基づいた詩	夏のベッド
	聞いて

伝統的な物語	ルンペルシュティルツキン
日常なじみのある設定の物語	味見のゲーム
形態詩（Shape poetry）	移動の 10 の方法
	川
寓話	井戸の底の贈り物
	混雑した家
（動物などの擬人化した）寓話	犬と骨
	牡鹿とひょろ長い脚
様々な文化の口誦詩と演技詩（performance poetry）	もしワニを見に行きたかったら
	漁師の詠唱
神話	星の誕生
伝説	ベイラと火の主ハゲワシ
様々な文化の口誦詩と演技詩（performance poetry）	おばあちゃん，ラップして
	イギリスを旅するラップ
冒険物語	ヒキガエルのトンネル
言葉で遊ぶ詩	できるのに！
	全校集会の顛末
謎々	謎
言葉で遊ぶ詩	私のパパの驚くところ
同じ作者による物語	ハリネズミのマックス
	マックス王の最期
冒険物語	座礁
ユーモアのある詩	職員室のドアの中
	悲惨な家族のピクニックのためのレシピ

ノンフィクション

《種類》	《題名》
事実と創作	スケートボードについて
	転落よりプライド
	オールトンタワーズへようこそ
	オールトンタワーズの情報
非年代記的報告	象について
	カバに関する重要事項
	巨大な哺乳類
	蛇のスパイダーグラム
	ワニ
指示書	トウィズラーズ（(甘草入りのねじり棒状のキャンディー)）の作り方
	バランスを保つ鳥の作り方
	ティドリーウィンクス（(テーブルホッケー)）の遊び方

ノートのとり方	ローマ人
	ローマのスポーツとゲーム
	剣闘士
	ローマ時代の子どもたち
手紙	順序だてて述べる
	苦情
	説明
	お祝い
	アップランド農場のパンフレット
	手紙の種類
ABC順のテキスト	趣味
	海釣り
	シーマウント・ジュニア・フィッシングクラブ

ステージ２（日本でいう第３学年）

Brian Moses 編 ”Literacy World　Essential Fiction　Stage2”,Heinemann,2004

Philip Bowditch 編 ”Literacy World　Essential Non-fiction　Stage2”,Heinemann,2004

フィクション

《種類》	《題名》
歴史物語	いつも完璧な場所とは限らない
歴史小説	侵入者
歴史戯曲	女王様のクッキー
歴史小説	忘れられないストーブ
よくあるテーマの詩	家族のアルバム
	私のおじいちゃん
	何かが雁に言った
	雪の呪文
想像世界の小説	時間旅行者
	金属先生
伝統的詩	潮の満ち引き
	風の強い夜
想像世界の小説	鉄人
現代詩	見えない怪物
他文化の詩	狩の前に
想像世界の小説	ホビット（小人の妖精）
他文化の物語	ベイジアの誕生日の贈り物
同じ作者の小説	キラーキャットの日記
	ビルの新しい服
問題提起の小説	不正！
さまざまな形式の詩	ハイカーの俳句

	お墓のアルバム
	私のペット
	恐怖の家の人名事典
	As，As，As
	ラムトンの蛇の伝説

ノンフィクション

《種類》	《題名》
非年代記的報告	世界の不思議
	―クラーケン
	―不死鳥
	―ユニコーン
	―ドラゴン
指示書の評価	灯明の祭り（ヒンドゥー教）のお菓子
	宮清めの祭り（ユダヤ教）の食事
	バイサキー（シク教）のお祝い
	告解の三が日の火曜日
新聞のレポート	トロールは十分食べた
	カーレースの旅
	斑の服を着た笛吹きが曲を変えた
	斑の服を着た笛吹きがねずみをだましたと非難された
ノートと情報	ビクトリア女王
	マイケル・オーウェン
説明文	表紙と目次
	宇宙船はどのように発射し着陸するか？
説得する文	イメージ
	言葉の遊び
	壁に掲げるスローガン
討議用テキスト	TVをつけるべきか消すべきか？
	誰が教師になるべきか？
	学校の制服はいいものであるべきか，粗末なものであるべきか？
	ハンバーガー・バーの提案

ステージ３（日本でいう第４学年）

Brian Moses 編 ”Literacy World　Essential Fiction　Stage3”, Heinemann, 2004

Sylvia Karavis & gill Matthews 編 ”Literacy World　Essential Non-fiction　Stage3”, Heinemann, 2004

フィクション

《種類》	《題名》

著名な童話作家による物語	トゥーチーと猫
	捨てられた
戯曲	話の朗読
	エイリアンによる誘拐
著名な童話作家による詩	私の母は踊る熊を見た
	ルルに何が怒ったか？
著名な童話作家による小説	友達か敵か
具体詩	屋根裏部屋の上で
	具体詩
	プラットフォームへ到着
いろいろな文化の神話，伝説，寓話	原初とパンドラの箱
	夜はどのようにしてできたか
	きつねと鶴
	亀とヒヒ
	ベッド・ジェラート
伝統的な長い詩	ベス・ジェラート
	追いはぎ
	密輸業者の歌
伝統的な物語	美女と野獣
	ビリー・ビースト
いろいろな文化や伝統の物語	チャタルジーお爺さん
	ハーモニカ少年
いろいろな文化や伝統の詩	儀式の太鼓
	蛇の歌
	チキンの夕食
いろいろな文化や伝統の小説	アズミールに銃はいらない
	黒馬物語
performance poetry	しぶしぶ学校へ
	話の種

ノンフィクション

《種類》	《題名》
指示書の発明	レシピ
	サイクリストの規則
	生きて到着するために
	トランプで活方法
	視覚的指示書
詳説を批評する	船長の日誌
	アリエルのＥメール
	スターバーストの成功
	日記

	議事録
	絵葉書
	Ｅメール
	地球はまわっているか？
	エイリアン襲撃
説明文の探究	注意書き
	靴のデザイン
	電気の作用
	動物の行動
	製品のリコールのお知らせ
	凍結状態で生き残る
	鉛筆削りの働き
	サーフィンの最初の授業
調査レポート	ヨークのお城ミュージアム
	海の中の街
	SEBのサメの覚書
	化石
	エイリアンと家に住む
説得の技術	エイリアンの休日
	スコットランドのユースホステル協会
	エイリアンの広告
	学校の水は冷たい
	パッケージの芸術
	バケツ一杯の水のためのバケツ一杯の小銭
	里親はあなたの人生も変える
辞書で遊ぶ	混成語の辞書
	私が言う。私が言う，私が言う
	コンピュータ用語すべて

ステージ４（日本でいう第５学年）

Brian Moses 編 ”Literacy World　Essential Fiction　Stage4”, Heinemann, 2004

Michael Lockwood & Kate Lockwood 編 ”Literacy World　Essential Non-fiction　Stage4”, Heinemann, 2004

フィクション

《種類》	《題名》
長く定評のある作家による伝統的小説	サイダー　ウィズ　ロージー
	マチルダ
	オリバー・ツイスト
シェイクスピアの戯曲	マクベス
長く定評のある作家による伝統的小説	リッキーティッキータヴィー（ジャングル・ブ

	ック）
長く定評のある作家による伝統的詩	ハイアウォサ（伝説的なインディアンの族長）のカヌー（ハイアウォサの歌）
長く定評のある作家による伝統的小説	秘密の花園
様々な詩的形式	ダンブリーという老人がいた
	バートンという老人がいた
	フルートを吹く先生
	トランクに老人がいた
	黒い点
	前兆
	交換？売却？すぐ売るための小さな広告
	クリスマスのお礼
	トムの真夜中の庭
	トーマス・ケンペの幽霊
	聞き手
	白銀色
いろいろなジャンルの長く定評のある小説	銀色の武器
	世界の戦争
定評のある童話作家の作品の比較	ロッティーの計画
	悪魔の校長
定評ある童話作家の詩	俳句の年鑑
定評のある童話作家の作品の比較	大きな象の追跡
	真夜中の狐
定評ある童話作家の詩	カンジキウサギ
	ヘラジカ
定評のある童話作家の作品	13 号室
	マリアンの夢
学校の詩	初等学校のスポーツ
	眠っている間のいじめ
	憎悪

ノンフィクション

《種類》	《題名》
創作された人物と実在の人物の評伝の比較，伝記と自伝の理解	反芻
	チャールズ・ディケンス
	少年
	とても有名：ロアルド・ダール
	ジョン・レノン
	ボブ・マーリー
非年代記的報告に使われる構造と特徴の理解	虫の秘密
	さあ，手を洗いましょうか？

	シェイクスピアの時代の劇場
	シェイクスピアのグローブ座
雑誌記事や新聞記事の特徴を知り，バイアスについて考え，新聞記事の示し方について学ぶ。	ごみ：意気消沈
	包装：本当に望むものは？
	皆既日食
討議の文章の特徴の理解し，有効な語彙を増やし，バランスのとれえた議論をすること	有機食品は最善か否か？
	コンピュータは有害か！
	農村生活はあたなのためになるか？
	新しいフィットネスクラブの提案書
様々な形式の文章の特徴を知り，それを活用する場合を知る。	ラークライズ宿泊施設
	グリーンニーズ・クラブの公式規約
これまで学習したすべての型の文章を読む	ヒースコート動物園へようこそ
	動物園：箱舟か刑務所か？
	動力飛行
	飛行機はどのように飛ぶか？
説明文，非年代記的レポート，参考図書の文章の構造と特徴を知り，自分の文章に活用する	携帯電話とメッセージ

（新井浅浩）

２．１．３　フランス

小学校第１学年

フランス語の読み方の教科書　　Pas à page（Nathan 社，1998 年）

（以下の本教科書の教材はすべて物語形式である。）

1　黒うさぎドゥドゥ
2　７人の山賊
3　トラとジャッカル
4　山賊と図書館員
5　海はどのようにして塩辛くなるのか
6　サンタクロースと猫
7　すべてのことを恐れていた狼
8　よい討議
9　遊ぶアパート
10　何も恐れないジャン - フランソワ
11　プロメテウス
12　ユリシーズとキュクロプス
13　カウボーイ
14　モーグリと狼の群れ
15　モーグリとサルの群れ

小学校第２学年

フランス語教科書　　Tout le français en CE1（Nathan 社，1999 年）

単元１　リストと調理法

教材　　いらいらしている親への甘い　　煎じ薬
　　猫とねずみ

亀を作る

単元２　面白い話

教材　すばらしい！
日々の輪舞曲
困った日

単元３　招待状

教材　シャルロットの日
うさぎのコランの誕生日
ほうれん草の国のジビュルカ

単元４　小さな不幸

教材　戸棚に悪魔がいる
ドラゴンのための毒
皇帝の不幸

単元５　手紙

教材　のねずみラスク
階段の下の熊（１）
階段の下の熊（２）

単元６　夢とうそ

教材　うそつき
うそ
私の家　夢で

単元７　情報を得る

教材　象
栽培とその利用
海洋汚染

単元８　望みと希望

教材　ジュールと不思議な帽子（１）
ジュールと不思議な帽子（２）
ジュールと不思議な帽子（３）

単元９　聖なる魔法使い

教材　パリの魔法使いカモミール
パンドラ・ヴェルミスルの午後
魔法使いの箒

単元 10　実験する

教材　なぜ太陽が昇るというのか
過ぎていく時間
太陽のいくつかの秘密

単元 11　誰が話しているか？

教材　ニウ
家の秘密
配管工だ！

単元 12　誰が何を話しているか？

教材　王様は私だ！
ずるいカウボーイ
宇宙人

単元 13　なんという人物！

教材　発音矯正専門家の王（１）
発音矯正専門家の王（２）
ストラヴィンスキイ氏の怪獣

単元 14　動物

教材　最後のダンス
とても寒い
とても小さな女，蝿，警察署長

単元 15　不思議な悪魔

教材　海の悪魔（１）
海の悪魔（２）
海の悪魔（３）

小学校第３学年

フランス語教科書　Tout le français en CE2（Nathan 社，1999 年）

単元１　面白いリスト

教材　３つの花遊び
魔法使いと警察署長

単元２　書くことと楽しむこと

教材　不思議なペン
誕生日の手紙

単元３　魔力

教材　狼の小屋の中のヤギ
小さな黒い鶏

単元４　私は話し，君も話す

教材　オラス（熊）
人食い男のブナの木

単元５　私に理由を話して

教材　これがワニが川に棲む理由です
火と親しい豹

単元６　あちらこちらの話

教材　　とても馬鹿な狼がいた
　　中国の５人兄弟

単元７　水，日，土，空気

（以下の本単元の教材はすべて詩）

教材　　小休止
　　私は火をつけた
　　木のある夜
　　緑の水のほとりで

単元８　昆虫の変態

教材　　どのように繭は作られるのか
　　昆虫の誕生

単元９　両方とも

教材　　小さなフェロスは食養生する
　　孤独なインディアン　サマニ

単元 10　望みと夢

教材　　サッカー狂
　　赤い夢

単元 11　私の友達　クジラ

教材　　アモとボリ（１）
　　アモとボリ（２）

単元 12　読むべき本

教材　　（数冊の本の表紙）

単元 13　旅すること，書くこと

教材　　サラ・テンプルトンの日記
　　メモ帳

単元 14　時間を通して

教材　　ジョアンの冒険
　　本当の王子ティボー

単元 15　旅へのいざない

教材　　アルザスの散歩
　　北極

小学校第４学年

フランス語教科書　　Tout le français en CM1（Nathan 社，1999 年）

単元１　わなとかけひき

教材　　少年探偵
　　バソラのアリ

単元２　奇妙なテレビ

教材　　ちがうチャンネル（１）
　　ちがうチャンネル（２）

単元３　現代的な話

教材　　引越し業者
　　天井のねずみ

単元４　おもちゃの今昔

教材　　プラムとひいらぎの花
　　コゼット

単元５　非常に人間的な動物

教材　　（辞典の項目）
　　自然誌

単元６　詩と名前

（以下の本単元の教材はすべて詩）

教材　　雪解けまで静かに
　　リスを聞いた
　　かわいいオオヤマネコ
　　サン・ローランへの抒情詩
　　町中の木のように

単元７　巨人の国で

教材　　最後の巨人
　　船乗りシンドバッドの３度目の旅

単元８　築かれるべき歴史

教材　　世界で最も大きい人参
　　大通りの小さな山賊

単元９　サスペンス！

教材　　疑惑
　　モンテ・クリスト伯

単元 10　大量の下らぬ話題

教材　　パペルーチョ（１）と（２）
　　竜巻ゾゾの新しいいたずら

単元 11　討議と争い

教材　　フィフィ
　　テオの家出

単元 12　演劇の世界

教材　　少女，悪魔と水車
　　小さなバイオリン

単元 13　通信

教材　年寄りジョン
母親への手紙

単元 14　インタビュー

教材　ルノー：ボク，こうもりが大好き！
プリマ・バレリーナ　パトリック・デュポンへのインタビュー

単元 15　伝記

教材　ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ
ジャン・フランソワ・シャンポリオンと象形文字

小学校第５学年

フランス語教科書　Tout le français en CM2（Nathan 社，1999 年）

単元１　友情物語

教材　「蛙」
私の第１の親友

単元２　妖精はどこに行った？

教材　妖精
蛇口の妖精

単元３　探検者

教材　大王カンの夏の城
マルコ・ポーロの大冒険

単元４　動物の賢明さ

教材　狐と豹（ガボンの寓話）
狐とコウノトリ
蟻と鳩
手柄
牛のように大きくなりたかった蛙
猿と雄ヤギ

単元５　神と神話

教材　ユノの息子ウルカヌス
アポロとファエトン

単元６　詩を聞き，詩を見る

（以下の本単元の教材はすべて詩）

教材　開かれた窓
私の心は泣いている
ネオン
雨が降る
カリグラム（雨が降る，詩の町の伝言，路線バス，太陽）

単元７　私たちを説明して！

教材　羊は寒くない
鍾乳石を作る
硫黄のにおいがした

単元８　謎と調査

教材　頭のない馬
短剣を持つ人に対する切り札を欠いて

単元９　複雑さと対立

教材　恋のかけひき
サミーを殺さなければならない

単元 10　無限の空間

教材　宇宙の限界への旅
宇宙の限界への旅（続き）

単元 11　空間のなかの旅

教材　２つの土地の娘
古い警戒標識

単元 12　時間のなかで失われたもの

教材　時間旅行
ドラゴン

単元 13　それは議論の余地がある

教材　値切り
スキャパンの狡猾さ

単元 14　戦争の狂気

教材　戦争の馬（１）
戦争の馬（２）

単元 15　記憶

教材　２×９＝ハムスター
シャルルコットの子どもたち

（藤井穂高）

２．１．４　ドイツ

第１学年

ドイツ語　初級読本　　KUNTERBUNT Fibel（クレット社）　バーデン・ヴュルテンベルク州版

KUNTERBUNT　Fibel

Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-251030-5

わたしたちはいま学校にいる
映画，写真，テレビ
通行でよく見る
すべてファンタジー
わたしであること
月－日－年
あそびと仕事
木，ねこ，そしてさらに
きみも加わる？
水のまわりに
おはよう！　おはよう！
Good morning!　Guten Morgen!
１年を通じて
付録

第２学年

ドイツ語　読み方　　KUNTERBUNT（クレット社）　バーデン・ヴュルテンベルク州版

KUNTERBUNT　LESEBUCH 2

Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-270114-6

学校ではどんなふうに？

学校Abc
ライオンが学校にやってきたら
ロシアのパン
ゾフィーはトイレに
ゾフィーはたずねようとしない
さえぎる
プラス
日常のふしぎ
助言

通りのまん中で

車が来るとき
バスの運転手の練習
バス停のスヌーピー
チミと一緒に終着停留所まで
わたしたちは車でいく
Im Verkehr
自転車を止められない男の子
申し立て
トラクターダッダッと
主役
助言

わたしができること

わたしがどのくらいそれが好きか
わたしの身体
わたし
小さな竜はとんぼ返りをする
動物ができること
ライオンとねずみ
わたし
わたしには頭がひとつ
わたしが顔でできること
助言

信じられない！

浮かぶための呪文
飛ぶ岩山の家

パッグがお酒を飲むとき　乱暴な男が住むところ
そらまめージム　小さな体操の練習
３人の子どもは森を抜けていく　助言
時間はどのようにすぎ去るか
大きな時計がチクタク進む　シュテフィはおばあちゃんのところに
待って　老人とりんごの木
犬とわたし　人生ー霧
ユールヒェンとティル, ティレが小さかっ　むかし一足のくつがあった
たころ　助言
子どもたちはみんな一緒に
わたしーきみーわたしたち
わたしたちの家で　食器をかわかす
フランツの愛のものがたり　小さな弟，大さわぎ
けんかの後で　きみが必要とする人
パンク　助言
隣ー大さわぎ
わたしはわたしのふるさとを見出す
わたしの町　１日だけ
ミヒは引越しをする　丘の向こうには何が
おやすみなさい　助言
フランツはどのようになくしたか
水を通して空気へ
雲　風
雲をつくるもの　裁判官のまえの風
おふろでの不安　風と太陽
ミンニーおはなし　影
ほんとうの小さい水の精　影
風によること　助言
わたしたちは動物や植物とともに生きている
草原　隣のスズメ
ひなぎく　ヴィデレ，ヴェデレ
なぞ　てのひらの猫
ゆがんだチョウ　夜のように黒いヤマネコ
ヤマキチョウ　助言
スズメのさわぎ
わたしが知りたいこと
紙の上の字　わたしについて
絵はどうやって本に　二冊の本の表紙の間で
本の宣伝文　助言
フランツが不満なこと

ヨーロッパを縦横に

よい旅行とまた元気になる
どうぞこのクマの面倒を見て
毛皮クマ
ピノキオのさいしょのいたずら
ピッピ船に乗る
男の子と凧
パウレ・プーマンのカヌー
助言

１年を通じて

わたしのカレンダーの葉
秋ははしごの上にある
11 月
11 月の雨
バラが冬にすること
３本の木がすること
カラス
待降節
わたしはサンタクロースを知っている
聖夜の子ども
プレゼントを隠すことができるところ
わたしたちのクリスマスツリー
３頭のラクダと１頭のヒトコブラクダ
つららの歌
小さな詩
わたしたちが 12 月 31 日に言われること
雪片の重さ
帽子をかぶった人
最初の太陽
外へ
春はどうやってくるか
ライラックの茂みにツグミ
春
４月のばかげたさん
途方もない日
ママのために
ニワトコのうしろに風呂
夏
助言
付録

第３学年

ドイツ語　読み方　KUNTERBUNT（クレット社）　バーデン・ヴュルテンベルク州版

KUNTERBUNT　LESEBUCH 3

Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-270124-3

わたしたちはあらゆるところで学ぶ

時には
感じる
サボテンのようにちくちくする
もしかするとすべてはよくなる
ハンス・マグヌス・ドイベルバイスーいつも遅れてくる若者
黒い水にとぶ星
ムガボ
助言

走ることと飛ぶこと

ばかげた感じ
スパナ
交通
シュネックさん
ヘッドロック
飛ぶことの夢
特殊な飛行機
夢の旅行社
凧
助言

ありそうもないこと

夢の園
甘いどろどろ
三つの願い
ルンペルシュティルツヒェンのショック
たいへん短いお話
言うことを聞かないことをほめる

ブレーメンの音楽隊
盗賊物語
マケドニアの巨大なバラード
シャツ
ぞっとする話
助言

きみはそれを見た？

広告
宣伝の闘い
大好きな映画
テレビーカール
ロゴ！はどうやってテレビ画面に？

漫画のねずみ
ねこの跳躍
寝るまえのお菓子
助言

わたしは調子よく感じる！

七つの心
中に
病床
飛び込み
わたしでない！

車いす
わたしはそれほど
笑い
助言

発明することと試すこと

発明
フランクフルト上空のワニ
好奇心
環境をそこなわない発明
くつ下を探す機械

特許庁で
有名な発明家
発明された発明家
助言

昔はこうだった

1900 年ごろの学校の決まり
やっと 100 年くらい
博物館見学
童謡と遊び
その前は？

年とったおじいさんと孫
ベラの新しいおじいちゃん
シュヌルプの思案
助言

わたしたちは共に生きている

ゴルディオスの結び目
知らせるひも
傘の下のトビアスとイネス
かわいいアイギュン！
怒りんぼさんとけんかさん
ベルントとフリーダーはどのように一緒

に話すか
おばあちゃん，話して！
アリ
なじみのない人
助言

水，雲，日光

水滴
なぞ

水
どしゃ降り

雲をつくる人
雨のしずく
洪水
洪水
雨はいつまた降るのか？
かつてカエルは水に飛び込んだ

カエルはいつもカエルではなかった
芸術家の庭のリネア
太陽と雲
わたしは日陰にいたい
太陽をめぐるなぞなぞ－ことわざ－慣用句
助言

世界旅行

怒って
船でなく
クリストフ・コロンブスの航海日誌
リリパットでのガリバー
ニルス・ホルゲルソン

野生のガチョウ
遠いところ
キャンプ生活
ヨーロッパのパチパチ遊び
助言

わたしたちは環境について考える

土について
動き回る木
遅い日はスパゲティの日
デパートのサム

動く歩道
休暇旅行
休みの話
助言

１年を通じて

秋の歌
感謝
10 月
新しいことば
ハローウィーン
鳥は冬に窓の前で待っている
観察
三羽のスズメ
雪の結晶
わたしは冬を描く
田園劇
農事金言による暦詩
太陽への手紙
コオロギとモグラ

ライラックの茂み
ottos mops
不気味なやり口
チャーリー　ウサギ　復活祭のウサギー
　事典から
彼は
春の知らせ
見つけられたもの
チューリップ
５月
おとぎ話
貝
助言

第４学年

ドイツ語　読み方　KUNTERBUNT（クレット社）　バーデン・ヴュルテンベルク州版

KUNTERBUNT　LESEBUCH 4

Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-270131-6

だれも一人では生きていない

きみ
橋

一方で－他方で
左の靴となぐり合い

ぼくが君を好きだということを, ぼくは君に言うのだろうか・・・
eulen
友だち
異なる必要
車輪のまわり
わたしとわたしの自転車
車輪で始まる
自転車に乗る人
明るくする
学校，どこか別のところ
世界を理解する
指で読む
ほんとうはまったくやさしい
ナタテクの学校
魔法のような
多くのものは, 目をかたく閉じたときにだけ，多彩に見ることができる
ヨリンデとヨリンゲル
魔法使いとコック
ことばで言い表せない出来事の詩
魔女ー九九
わたしたちは絶えず大きくなる
問い遊び
ベンは質問する
愛
ルカはキスをしようとしない
愛と憎しみ
近くと遠く
ほかの世界
それはどうなるの？
ニーベルンゲンの歌
ヴァインスベルクの女
ハーメルンのねずみ取り
時代は変わる
現在
ザウムズーゼルの発明
ほら穴での食事
ラスコー洞窟の壁画の雄牛と野生の馬
わたしたちは共に生きている
郊外のワニ
調子を合わせる
ロビンソンー島
子どもの権利
助言
ツール・ド・フランス
ヴィレムは夢想する
自動車
助言
盗賊の娘ロンヤ
それはいい！
どうなるのだろう？
助言
魔女ー早口ことば
Gawa Gawa Usedump
幽霊の出る時刻
夜の見なれぬ人
魔法の飲みもの
助言
子どもの町
おじいちゃんはお話をする
ある老婦人はお話をする
助言
ヨーロッパ
ロムルスはローマを築く
アーサー王
助言
お城の調理場
王城でのテーブルマナー
ほかの惑星
助言

生命を敬い，生命を守る
わたしは君にこの木を贈る
古い切り株
森の歌
番犬とオオカミ
それは太古の小道をなくす
ドリトル先生

労働時間－余暇時間

ために
わたしの青い日
セラフィンは仕事を求めている
きみは何になりたい？
わたしが大きかったら
オイレンシュピーゲルがフクロウとオナガザルを焼くように

なぜ，どうして，何のために

どのように　どこで　いつ　何のために
世界の七不思議
海はなぜ青いのか？
テーブルスピーチ
ネコの尻尾は何本？

メディアは一員

男の子は警笛を持って現れる
ポニー・ヒュートヒェン現れる
本はどうやって映画館に来るのか？
本から映画へ

１年を通じて

金色の世界
秋
秋の歌
秋
９月の朝
穏やかな９月
10 月
ひどいどしゃ降り
風
霧
12 月
ああそう
問い

大地で
音楽はもう演奏される
Tsoai - Tallee の喜びの歌
かつて島だった
島に一人の男
助言

約束は約束
夢のような職業
手紙
助言

奇妙な天使
ほかの世界の紳士
地球は引力をもつ
レーベンヘルツきょうだい
助言

ＣＤからインターネットへ
役者と批評家としての子ども
昔と今の子どもの撮影
助言

クリスマスはどこで
羊飼い
主イエスはかく生まれた
クリスマス
他の国はクリスマスをどのように祝うか
二人はどのくらい理解し（ようとし）ないのか
春の太陽
春を待つ
春の賞賛
４月
復活祭のウサギが廃止されるとき
７月

夏　　助言
夏の太陽

（長島啓記）

２．１．５　ロシア

文学的読み方（旧の教科書）
ゴロヴァノワ，ゴレツキー，クリマノワ著「ロドナヤ・レーチ（故郷のことば)」2003 年版
総目次

第１巻第１冊　　全 223 頁

ロシア民族の口承芸術

ロシア民謡　p. 4
ことばあそび　8
早口ことば，決まり文句，数え歌，ほら　9
なぞなぞ　12
ことわざと格言　15
おとぎ話について　19
　きつねとクロライチョウ　20
　きつねとつる　22
　きつねとヤギ　24
　しゃもと豆・　25
　おばあさんの大きな目　29
　斧からできたおかゆ　31
　ガチョウの白鳥　34
　ふたつのマロース（厳冬）　39
テスト問題と課題　43

ロシアの作家

アレクサンドル・セルゲーヴィッチ・プーシキン
プーシキンについて（D.ハルムス）　52
　・・・冬だ！・・・農民よ，祝いながら　53
　・・・ほら北に，雲が追い立てられている　58
　何という夜だ！凍てつくようなマロース・・・　59
　漁師と魚についてのおとぎ話　61
　入江に緑のかしの木が・・・　74

ワシーリー・アンドレーヴィッチ・ジュコーフスキー 76
昔，小さな男の子がいました・・・ 77
母なる空よ，愛しい光よ・・・ 78
ひばり ―
イワン・アンドレーヴィッチ・クルイロフ 79
白鳥，カワカマスとザリガニ 80
マヒワと鳩 81
トンボとアリ 82
ウラジーミル・イワーノヴィッチ・ダーリ 84
ゴドヴィクじいさん 85
なぞなぞ 86
ことわざ ―
早口ことば 87
雪娘 ―
コンスタンチン・ドミートリエヴィッチ・ウシンスキー 93
好奇心 94
風と太陽 96
レフ・ニコラエヴィッチ・トルストイ 98
年老いたおじいさんと孫 99
父と息子 100
森で雷にあったことを少年はどのように話したか 101
うそつき 103
ロバと馬 104
農夫はどのようにして岩をどけたか ―
子ねこ 106
フィリポク 108
学者の息子 111
真実は何よりも貴い 112

ロシアの自然を愛す

フョードル・ニコラエヴィッチ・チュッチェフ 113
冬は無駄に荒れ狂っているわけではない ―
春の水 114
秋には初めてのものがある・・・ 115
冬の魔女・・・ ―
アファナーシー・アファナーシエヴィッチ・フェート 116
ツバメが落ちた・・・ ―
魔法の絵よ，きみはなんていとしいのだろう・・・ 118
アレクセイ・コンスタンチーノヴィッチ・トルストイ ―
秋。私たちの貧しい庭全体がおおわれる・・・・ ―

私のフウリンソウよ・・・ ―
アレクセイ・ニコラエヴィッチ・プレシェーエフ 120
農村の歌 ―
テスト問題と課題 ―

作家から子どもたちへ

コルネイ・イワーノヴィッチ・チュコーフスキー 126
おじいさんについて ―
もつれ 130
喜び 134
フョードルの悲しみ 135
アレクサンドル・ペトローヴィッチ・ガイダール（アルカーディー・ペトローヴィッチ・ゴーリコフ） 144
良心 147
チュークとゲーク 149
サムイル・ヤーコヴレヴィッチ・マルシャーク 156
どのようにしてお父さんは汽車に乗り遅れたのか ―
雄猫と怠け者 159
なぞなぞ 162
御殿－小さな御殿 163
セルゲイ・ウラジミーロヴィッチ・ミハルコフ 174
私の秘密 176
私の子犬 177
書き方 180
エレベータと鉛筆 182
あなたは何をもっているの？ 183
ズアオアトリ 186
アグニヤ・リヴォーヴィナ・バルト 188
縄 190
きのう私はサドーヴァヤを歩いた 193
私たちはコガネムシに気づかなかった 194
学校へ 195
読み書きができるようになりました 196
ニコライ・ニコラエヴィッチ・ノーソフ 197
生きている帽子 198
丘の上で 202
木片 206
ネズナイカはこうして詩を書いた 209
テスト問題と課題 215

第１巻第２冊　　全 254 頁

児童文学から

私と私の友だち p. 4

ワレンチナ・アレクサンドロヴナ・オセーエワ －

魔法の言葉 －

息子たち 9

青い紙 11

なぜ？ 13

３人の同志 19

よりよい 20

ニーナ・ミハイロヴナ・アルチューホワ 21

いえうさぎちゃん －

大きな白樺 24

エレーナ・アレクサンドロヴナ・ブラギーニナ 27

静けさの中で座ろう －

心配性のおばあさん 28

ユーリー・ヤーコヴレヴィッチ・ヤーコヴレフ 29

ママ －

レフ・モイセーエヴィッチ・クヴィツコ 31

おばあさんの両手 －

ラスール・ガムザトービッチ・ガムザートフ 32

私のおじいさん －

テスト問題と課題 33

ロシアの自然を愛す 35

セルゲイ・アレクサンドロヴィッチ・エセーニン －

夜 －

白樺 36

冬が歌っているーおーい，と呼んでいる・・・ 38

アレクサンドル・トリフォーノヴィッチ・トヴァルドフスキー 39

クモの巣が泳いでいく・・・ －

まだらになっていくてっぺんの境・・・ －

冬 40

イワン・セルゲーヴィッチ・ソコロフーミキートフ 41

ロシアの森 －

森の絵 －

アレクサンドル・アンドレーエヴィッチ・プロコフィエフ 42

厳冬ー赤い鼻 －

私たちの弟たち 44
ニコライ・ミハイロヴィッチ・ルブツォフ —
つばめ —
すずめ 45
ミハイル・ミハイロヴィッチ・プリシヴィン 46
子どもと子がも —
ヴィターリー・ヴァレンチノヴィッチ・ビアンキ 49
音楽家 —
いえうさぎのアリーシカ 53
ふくろう 57
エヴゲニー・イワーノヴィッチ・チャルーシン 60
奇妙な物語 —
雄猫エリファン 63
ニコライ・イワーノヴィッチ・スラドコフ 67
すべての人に自分の時間を —
アナグマと熊 69
キツネのダンサー 70
カササギとウサギ 73
ボリス・ステパーノヴィッチ・ジートコフ —
勇敢な子ガモ —
ゾウがどのように主人をトラから助けたか 75
テスト問題と課題 77

冗談でもあり真面目でもあり
詩のなかのほらとナンセンス 80
ボリス・ウラジミーロヴィッチ・ザホデール —
何よりも美しいものは何？ 82
同志である子どもたちへ 84
ヤー（私）という文字 85
ウイニー・プーハの歌 93
クジラと雄猫 96
エドワルド・ニコラエヴィッチ・ウスペンスキー 96
チェブラーシカ —
もしもぼくが女の子だったら 100
漁師 —
私たちの部屋の上に 103
記憶力 105
ヴァレンチン・ドミートリエヴィッチ・ベレストフ 106
知り合い —

窓をノックする音 107
旅人 ―
右のあるところに左あり 108
いいニュース ―
小さな絵筆 109
ヤーコヴ・ラザーレヴィッチ・アキム 110
ぼんくら ―
よくばり 115
エンマ・エフライモヴナ・モシコフスカヤ 116
きっぱりとした決意 ―
私は自分のママをだました・・・ 117
硬音記号と軟音記号のおとぎばなし 118
ヴィークトル・ユゼーフォヴィッチ・ドラグンスキー 120
記号化された文字 ―
秘密が公然になった 123
イリーナ・ペトローヴナ・トクマーコワ 127
プリム ―
不思議の国で 129
春 ―
地の精 130
グリゴーリー・ベンツィオーノヴィッチ・オステル 131
友だちになりましょう ―
テスト問題と課題 134

歴史から 136
アレクサンドル・ステパーノヴィッチ・スタロスティン ―
クリコヴォの決戦 ―
セルゲイ・ペトローヴィッチ・アレクセーエフ 144
将軍から将軍たちへ ―
アナトーリー・イグナーチエヴィッチ・プリスタフキン 152
父の肖像 ―
テスト問題と課題 154

子ども雑誌「ハリネズミ」と「マヒワ」 155
ダニール・ハルムス（ダニール・イワーノヴィッチ・ユヴァチョーフ） ―
むかしむかし男の子がいました ―
あそび 157
みなさんは知っていますか？ 161
これは何だったのでしょう？ 165
とてもとてもおいしいピローグ ―

明るいマヒワ 166
ユーリー・ドミートリエヴィッチ・ウラジミーロフ 170
変わり者 ―
たいこ 171
アレクサンドル・イワーノヴィッチ・ヴェデンスキー 172
学者のペーチャ ―
子馬ちゃん 176
テスト問題と課題 177

様々な民族のおとぎ話

穂（ウクライナのお伽噺） 180
かるいパン（ベラルーシのお伽噺） 183
アイオガー（ナナイのお伽噺） 187
三人娘（タタールのお伽噺） 191
テスト問題と課題 193

外国の文学

勇敢な人 196
手袋 197
ママたちは知っている，子どもたちは知っている 198
スーザンとちょうちょ 199
ドッグというあだ名のブルドッグ 200
いま何時ですか？ 202
つまらないこと 203
シャルル・ペロー 204
長靴をはいたネコ ―
赤い帽子 213
グリム兄弟ヤコブとウイルヘルム 217
ブレーメンの音楽隊 ―
金のアヒル 224
ハンス・クリスチアン・アンデルセン 226
暑さ１インチの板 ―
エンドウ豆の上の王女 245
テスト問題と課題 246

第２巻第１冊（初等学校３年生用）　全 256 頁

私たちの親愛なる読者へ！ p. 3

口承民族芸術

ロシア民謡 6
作り話 8
退屈なおとぎ話 10

おとぎ話

アリョーヌシカ姉さんとイワヌーシカ兄さん 12
イワン雷帝と灰色の狼 15
あし毛の馬 26
生皮なめし職人ニキータ 35

ノンフィクション

ドブルイニャ・ニキーティチ 38
ドブルイニャと蛇 39
イリヤ・ムーロメッツの回復 44
イリヤ・ムーロメッツとソロヴェイ・ラズボイニク 46
問題と課題 49

ロシアの古典より

詩のノート　その１

チュッチェフ，フョードル・イワーノヴィッチ（1803－1873）
３月初めの雷が好き 59
葉っぱ 60
フェート，アファナーシー・アファナシエヴィッチ（1820－1892）
ママ！小窓から見てごらん 61
君にあいさつに来ました 62
暑い畑の上でライ麦が熟していく 63
トルストイ，アレクセイ・コンスタンチーノヴィッチ（1817－1875）
静かな淵の上にヤナギがたわむ所 64
よく響きわたるヒバリの唄 65
ほら野原の最後の雪がもうとけている 66
マイコフ，アポロン・ニコラエヴィッチ（1821－1897）
春 67
子守歌 68
夏の雨 69
問題と課題 70
プーシキン，アレクサンドル・セルゲービッチ（1799－1837）

空にはもう秋の気配がただよっていた（小説「エブゲニー・オネーギン」より） 74
その年の秋の天気（小説「エブゲニー・オネーギン」より） 74
春の美しい自然を求めて（詩「ジプシー」より） 75
きれいな流行の寄せ木のように（小説「エブゲニー・オネーギン」より） 75
冬の朝 75
冬の夜 75
サルタン帝について，彼の息子の輝かしく力強いお金持ちのグヴィドン・サルタノヴィッチについて，そして美しい白鳥の王女について 78
問題と課題 114
クルイロフ，イワン・アンドレーヴィッチ（1769－1844）
キヌザルと眼鏡（寓話） 118
鏡と猿（寓話） 119
カラスとキツネ（寓話） 120
問題と課題 121
レールモントフ，ミハイル・ユリーエヴィッチ（1814－1841）
絶壁 124
山の頂上（「ゲーテ」より） 124
二人の巨人 124
秋 125
問題と課題 －
トルストイ，レフ・ニコラエヴィッチ（1829－1910）
L. N. トルストイの子ども時代（作家の回想より） 128
サメ 131
飛び込め 134
ライオンと犬（実話） 137
草の上の露はどのようになるのか 139
海から水はどこへ消えていくのだろう？ 140
問題と課題 －

詩のノート　その２

ニキーチン，イワン・サヴィッチ（1824－1861）
私の草原よ，ぐっすりと眠りなさい 161
朝 163
冬のお出迎え 164
プレシェーエフ，アレクセイ・ニコラエヴィッチ（1825－1891）
春 166
私のお庭 167
スーリコフ，イワン・ザハーロヴィッチ（1841－1880）
子ども時代 168
冬 172

ドローシキン，スピリドン・ドミートリエヴィッチ（1848－1930）
農民の家庭で 173
ミクール・セリャニーノヴィッチの歌 175
村 176
問題と課題 176

文学的おとぎ話

オドエーフスキー，ウラジーミル・フョードロヴィッチ（1803－1889）
マロース・イワーノヴィッチ 178
アクサコフ，セルゲイ・ティモフェーエヴィッチ（1791－1859）
真紅の花　（食料倉庫鍵番ペラゲイのおとぎ話（ダイジェスト版)） 189
ガールシン，フセヴォロード・ミハイロヴィッチ（1855－1888）
蛙の旅行者 217
マーミンーシビリャーク，ドミトリー・ナルキソヴィッチ（1852－1912） 224
アリョヌーシキンのおとぎ話　お話のまえおき 224
勇敢なうさぎについてのおとぎ話―長い耳，離れた目，短い尻尾 225
カマール（蚊)・カマーロヴィッチー長い鼻と毛むくじゃらのミーシ（熊）ー短い尻尾についてのおとぎ話 229
問題と課題 235

詩のノート　その３

ネクラーソフ，ニコライ・アレクセーヴィッチ（1821－1877）
雨の前 239
輝かしい秋！　（詩「鉄道」より） 240
松林の下では風は荒れ狂うことはない　（詩「マロース，赤い鼻」より） 240
ソロヴィエフ，セルゲイ・ミハロヴィッチ（1885－1941）
小鳥の死 245
バリモント，コンスタンチン・ドミトリエヴィッチ（1867－1942）
秋 246
鳥から鳥へ 247
黄金の言葉 247
ブーニン，イワン・アレクセーヴィッチ（1870－1953）
子ども時代 248
田舎道で 249
野の花 250
問題と課題

第２巻第２冊（初等学校３年生用）　全 238 頁

お気に入りの児童文学作家

ノンフィクション・フィクション p. 4

ゴーリキー，マクシム（アレクセイ・マクシーモヴィッチ・ペシコフ）（1868－1936）

エフセイカに起こった出来事 5

パウストフスキー，コンスタンチン・ゲオルギエヴィッチ（1892－1968）

傷だらけの雀 12

カターエフ，ヴァレンティン・ペトローヴィッチ（1897－1986）

あし笛と水差し 24

メドヴェージェフ，ヴァレンティン・ウラジミーロヴィッチ（1923－）

雀さんはどのようにして声を変えることを思いつき，それによって何が起きたか 32

マルシャーク，サムイル・ヤーコヴレヴィッチ（1887－1964）

１２の月　（おとぎ話の戯曲より） 38

問題と課題 45

詩のノート　その４ 47

サーシャ・チョールニー（アレクサンドル・ミハイロヴィッチ・グリクベルク）（1880－1932）

マヒワさん，君は何を抱いているの・・・ 49

雀 50

ゾウ 51

ブローク，アレクサンドル・アレクサンドロヴィッチ（1880－1921）

古い小屋 52

夢 53

カラス 55

エセーニン，セルゲイ・アレクサンドロヴィッチ（1895－1925）

ウワミズザクラ 56

雀たち 57

問題と課題 58

生き物を愛そう 59

プリシヴィン，ミハイル・ミハイロヴィッチ（1873－1954）

私の故郷　（回想録から） 59

スペードの女王 61

ソコロフ－ミキートフ，イワン・セルゲーヴィッチ（1892－1975）

落ち葉落としさん 66

スラドコフ，ニコライ・イワーノヴィッチ（1920－）

「森のアルファベット」より 72

ベーロフ，ワシーリー・イワーノヴィッチ（1932－）

マリカは悪いことをした 77

さらにマリカについて 79
ビアンキ，ヴィターリー・ヴァレンティノヴィッチ（1894－1959）
熊のピーク（おとぎ話からの数章） 81
ジートコフ，ボリス・ステパーノヴィッチ（1882－1938）
サルについて（ダイジェスト版） 89
ドゥーロフ，ウラジーミル・レオニードヴィッチ（1863－1934）
うちの番犬 102
アスタフィエフ，ヴィクトル・ペトローヴィッチ（1924－）
カパルーハ 105
ピシュージェネッツ 108
問題と課題

詩のノート　その５
マルシャーク，サムイル・ヤーコヴレヴィッチ（1887－1964）
森の中の声 113
昼間の雷 114
バルトー，アグニヤ・リヴォヴナ（1906－1982）
別れ 115
劇場にて 116
ミハルコフ，セルゲイ・ウラジミーロヴィッチ（1913－）
もしも 119
絵 121
ブラギーニナ，エレーナ・アレクサンドロヴナ（1903－1989）
カッコー 122
子猫 123
問題と課題

子ども雑誌「ムルズイルカ」と「楽しい絵」より
エルモラーエフ，ユーリー・イワーノヴィッチ（1921－）
うっかり口をすべらせた 126
保育士 128
オステル，グリゴーリー・ベンツィオーノヴィッチ（1948－）
悪いアドバイス 130
伝説はどのようにしてできたか 131
セーフ，ロマン（セーフ，ロアリド・セミョーノヴィッチ）（1931－）
楽しい詩 133
問題と課題

ちりもつもれば山 135
シェルギン，ボリス・ヴィクトローヴィッチ（1893－1973）

ちりもつもれば山となる 136
プラトーノフ，アンドレイ・プラトーノヴィッチ（1899－1951）
地面の上の花 140
まだだよ，ママ 147
ラスプーチン，ヴァレンティン・グリゴーリエヴィッチ（1937－）
ママがどこかへ行ってしまった 154
ゾーシェンコ，ミハイル・ミハイロヴィッチ（1894－1958）
黄金の言葉 159
偉大なる旅人 168
ノーソフ，ニコライ・ニコラエヴィッチ（1908－1976）
フェージャの課題 177
電話 181
問題と課題 184

外国の文学

古代ギリシャの神話と伝説
勇敢なペルセイ 188
英雄の誕生 198
グリム兄弟　ヤコブ（1785－1863），ウイルヘルム（1786－1859） 200
蛙の王女もしくは鉄の心臓をもつヘンリー 200
ペロー，シャルル（1628－1703）
前髪に房のあるリーケ 209
アンデルセン，ハンス・クリスチアン（1805－1875）
みにくいアヒルの子 220
問題と課題 235

第３巻第１冊（初等学校第４学年用教科書）　全 256 頁

年代記
「ロシアの地はどこから来たのか」（「初期ロシア年代記」より）
そしてオレグはツァリグラードの門に自分の楯をぶらさげた p. 4
そしてオレグは自分の馬を思い出した 6
これらの兄弟がスラブ語のアルファベットづくりを始めた 9
問題と課題 9

ノンフィクション，物語，聖人の伝記

イリヤの３回の旅行 12
イリヤ・ムーロメッツが解放される 22
サドコ（抜粋） 29

ピョートルとフェヴローニンについての中篇小説（抜粋） 35
セルギー・ラドネジュスキーの伝記（抜粋） 39
問題と課題 47

古典のすばらしい世界

ジュコーフスキー，ワシーリー・アンドレーヴィッチ（1783－1852） 50
ベレンデイ皇帝について，彼の息子のイワン雷帝について，いじわるな不死のコーシチェイについて，そしてコーシチェイの娘であるマリヤ王女についてのおとぎ話 52
問題と課題 67
エルショーフ，ピョートル・パーヴロヴィッチ（1815－1869） 68
こぶのある馬（ダイジェスト版） 69
問題と課題 90
プーシキン，アレクサンドル・セルゲービッチ（1799－1837）
A. L. スロニムスキーの中篇小説『子ども時代』より 92
小鳥 93
乳母 95
黒雲 －
秋（抜粋） 96
小鳥は神を知らない（詩「ジプシー」より） －
君を愛している，創造のピョートル （詩「青銅の騎士」より） －
死の女王についてそして７人の金持ちについてのおとぎ話 97
問題と課題 117
レールモントフ，ミハイル・ユリーエヴィッチ（1814－1841）
A. P. シャンーギレイ「M. Y. レールモントフ」の回想録より 119
テレクの恵み（抜粋） 119
アシクーケリブ（トルコ民話） 120
問題と課題 131

詩のノート 「白樺の明るい地方，私のロシア」

親愛なる友人へ！ 135
チュッチェフ，フョードル・イワーノヴィッチ（1803－1873）
地面はまだ悲しげな様子だ 137
これらの貧しい村落 －
なんて突然の明るさ 138
フェート，アファナーシー・アファナシエヴィッチ（1820－1892）
彼らかに学ぼう，樫や白樺に 140
ちょうちょ 141
コズロフ，イワン・イワーノヴィッチ（1779－1840）
キエフ 142
夜の音 143

ルイレーエフ，コンドラティー・フョードロヴィッチ（1795－1826）
イワン・スサーニン（ウクライナの叙事詩的民謡） 145
ベネディクトフ，ウラジーミル・グリゴーリエヴィッチ（1807－1873）
モスクワ 150
バラティンスキー，エフゲーニー・アブラーモヴィッチ（1800－1844）
春だ，春だ！空気がなんて澄んでいるのだろう！ 153
プレシチェーエフ，アレクセイ・ニコラエヴィッチ（1825－1893）
子どもと小鳥 155
コリツォフ，アレクセイ・ワシーリエヴィッチ（1809－1842）
収穫 156
ニキーチン，イワン・サーヴィッチ（1824－1861）
青い空の丘の上を飛ぶ 158
ルーシ 159
ネクラーソフ，ニコライ・アレクセーヴィッチ（1821－1877）
静けさ（抜粋） 163
復活大祭の最中に 165
アルーフティン，アレクセイ・ニコラエヴィッチ（1840－1893）
田舎道 167
ドロージン，スピリドン・ドミトリエヴィッチ（1848－1930）
ふるさと 169
バリモント，コンスタンチン・ドミトリエヴィッチ（1867－1942）
露滴 172
ブーニン，イワン・アレクセーヴィッチ（1870－1953）
ふるさと 173
落ち葉（抜粋） 174
トルストイ，レフ・ニコラエヴィッチ（1828－1910） 175
子ども時代 182
問題と課題 186
チェーホフ，アントン・パーヴロヴィッチ（1860－1904） 175
少年たち 182
問題と課題 186
オドエフスキー，ウラジーミル・フョードロヴィッチ（1804－1869） 198
たばこ入れの町 199
問題と課題 208
クプリン，アレクサンドル・イワーノヴィッチ（1879－1938） 209
番犬とジューリカ 210
問題と課題 210
マーミンーシビリャーク，ドミトリー・ナルキソヴィッチ（1852－1912） 216
養子 218
問題と課題 224

ガールシン，フセヴォロード・ミハイロヴィッチ（1855－1888） 226
ヒキガエルとバラについてのおとぎ話 226
問題と課題 234

詩のノート　子どもの国
プレシェーエフ，アレクセイ・ニコラエヴィッチ（1825－1891） 238
子ども時代 －
過去 241
スーリコフ，イワン・ザハーロヴィッチ（1841－1880） 244
夜に －
ニキーチン，イワン・サヴィッチ（1824－1861） 246
子ども時代の思い出 －
森の音楽 248
ネクラーソフ，ニコライ・アレクセーヴィッチ（1821－1878） 250
冬の薄暮に乳母のおとぎ話 －
ポロンスキー，ヤーコヴ・ペトローヴィッチ（1819－1898） 251
子どもたちが赤いほっぺでいる様子を思い出す －
ブーニン，イワン・アレクセーヴィッチ（1870－1953） 252
お母さん

第３巻第２冊（初等学校第４学年用） 全 208 頁

君の本棚
遠く離れた子どもの国
シメリョーフ，イワン・セルゲーヴィッチ（1873－1950）
エゴリエフの日 p. 4
ナブコフ，ウラジーミル・ウラジミーロヴィッチ（1899－1977）
初恋 8
ちょうちょ 10
ツベターエワ，アナスターシヤ・イワノヴナ（1894－1993）
子ども時代 11
ザイツェフ，ボリス・コンスタンティノヴィッチ（1881－1972）
家のラル 14
バージョフ，パーヴェル・ペトローヴィッチ（1879－1950）
銀のひづめ 17
ジートコフ，ボリス・ステパーノヴィッチ（1882－1938）
私はどんなに人間を愛しているか 27
パウストフスキー，コンスタンティン・ゲオルギエヴィッチ（1892－1968）
松ぼっくりの入ったバスケット 33
ゾーシチェンコ，ミハイル・ミハイロヴィッチ（1894－1958）

ヨールカ 42
プラトーノフ，アンドレイ・プラトーノヴィッチ（本姓クリメントフ）（1899－1951）
乾いたパン 47

問題と課題 56

詩のノート　「静かなるわが故郷」

アフマートワ，アンナ・アンドレーヴナ（本姓ゴレンコ）（1889－1966）
勇気 61
パステルナーク，ボリス・レオニードヴィッチ（1890－1960）
黄金の秋 62
クリチコフ，セルゲイ・アントーノヴィッチ（1889－1940）
早春 63
森の春 64
エセーニン，セルゲイ・アレクサンドロヴィッチ（1895－1925）
太陽が消えた。小川に静けさが。 65
金の星が夢を見始めた －
白鳥 66
私は生家を捨てた 72
プロコフィエフ，アレクサンドル・アンドレーヴィッチ（1900－1971）
夕焼け 73
私は木を持ち上げた 74
ケドリン，ドミートリー・バリーソヴィッチ（1907－1945）
小春日和 75
スーツキー，ボリス・アブラーモヴィッチ（1919－1986）
海の馬 76
ジグーリン，アナトーリー・ウラジミーロヴィッチ（1930－）
ああ，故郷よ
ルブツォフ，ニコライ・ミハイロヴィッチ（1936－1971）
静かな私のふるさと 79
９月 80

自然と私たち

プリシヴィン，ミハイル・ミハイロヴィッチ（1873－1954）
でしゃばり 81
パウストフスキー，コンスタンチン・ゲオルギエヴィッチ（1892－1968）
きーきーときしむ床 84
チャルーシン，エフゲニー・イワーノヴィッチ（1901－1965）
イノシシ 93
アスタフィエフ，ヴィクトル・ペトローヴィッチ（1924－）

アマツバメの雛のスクリプ 97

問題と課題 105

仕事にも遊びにもそれぞれ時がある

シュヴァルツ，エフゲーニー・リヴォーヴィッチ（1896－1958）

失われた時についてのおとぎ話 106

ドラグンスキー，ヴィクトル・ユゼフォーヴィッチ（1913－1972）

イギリス人のパーヴェル 116

ミーシカが好きなもの 118

ゴリャフキー，ヴィクトル・ウラジミーロヴィッチ（1929－）

ぼくはからしなんか食べていない 120

問題と課題

「ファンタジー」の国

ヴェルティストフ，エヴゲニー・セラフィーモヴィッチ（1934－1990）

100 万と 1 日の休暇 127

キール，ブルィチョーフ（本名イーゴリ・ヴセヴォロードヴィッチ・モジェイコ）（1934－）

コンサルテーション 131

問題と課題 138

詩のノート　「遠い昔の子ども時代を思い出す・・・」

ボリュソフ，ヴァレリー・ヤーコヴレヴィッチ（1873－1924）

また夢だ 141

子どものような 143

エセーニン，セルゲイ・アレクサンドロヴィッチ（1895－1925）

おばあちゃんの昔話 144

グミリョーフ，ニコライ・ステパーノヴィッチ（1886－1921）

子ども時代 145

ツヴェターエワ，マリーナ・イワノーヴァ（1892－1941）

こぶのある山道を走る 148

赤い実よ 148

本を求めて 149

トヴァルドーフスキー，アレクサンドル・トリフォーノヴィッチ（1910－1971）

二つの鍛冶場 150

トゥーシノワ・ヴェロニカ・ミハイロヴナ（1915－1965）

娘についての詩 153

シジュウカラ 155
ルブツォフ，ニコライ・ミハイロヴィッチ（1936－1971）
パン 156

外国文学

スウィフト，ジョナサン（1667－1745）
ガリバーの旅行記　T. ガッベによる再話 158
ラスペ，エーリッヒ（1737－1794）
ミュンハウゼン男爵の冒険　K. チュコフスキーによる再話 163
アンデルセン，ハンス・クリスチアン（1805－1910）
人魚姫　A. ガンセンによる再話 168
マーク・トウェイン（本名サミュエル・クレメンス）（1835－1910）
トム・ソーヤの冒険　N. ダルゼス訳 188
ラゲルリョーフ　セリマ（1858－1940）
聖夜　　N. スモレンスキー訳 193
ナザレにて　　N. スモレンスキー訳 198

問題と課題 205

（澤野由紀子）

２．２　対象学年（第２学年）国語科教科書の「読み物教材」

２．２．１　アメリカ

アメリカ第２学年リーディング教科書の主題と読み物，およびねらい一覧

題目と内容の要約および，教科書に書かれている作品ごとのめあて（strategy focus）は次の通りである。

“Houghton Mifflin Reading　Grade2, Level 2.1: Adventures”, 2005

“Houghton Mifflin Reading　Grade2, Level 2.2: Delights”, 2005

単元１「間抜けな話」

読み物１：「お買い物：『かいじゅうが来た』より」。かいじゅうの買い物失敗談。
めあて：ドラゴンの買い物のはずが，冒険になってしまう。読みながら，立ち止まってあらすじをまとめよう。

読み物２：「ジュリアス」。破天荒なブタと女の子がお互いの知っていることを教えあう話。
めあて：マヤとジュリーの話を読んで，どんな風に物語りを理解したか確かめよう。もしなにか分からないことがあれば，もういちど読み直すか，または読み進みながら分かるようにしよう。

読み物３：「ブラウンさんが町に行った」。ブラウンさんの留守中に動物たちが好き勝手をして大混乱する話。
めあて：あなたが動物について知っていることを使って，ブラウンさんが町に行っている間に何が起こるか予想しよう。

単元２「自然の中の散歩」

読み物１：「ヘンリーとマッジと星ふる夜」。家族でキャンプを楽しむ話。
めあて：ヘンリーとマッジはキャンプに出かけてすることを一杯見つけた。読みながら，質問したいことを考えよう。

読み物２：「ドケット警備隊員と公園を歩く」。都会に近接する公園のレンジャーの仕事を通して公園を見る話。
めあて：ドケット警備員の仕事は忙しい。作品を読みながら作者がどのように分かりやすく工夫しているかを考えよう。

読み物３：「池の周りで：だれがいるの？」。兄弟が池に向かって歩く途中にいろいろな生き物を見つける話。
めあて：ケイミーとウィリアムが池の周りを歩く話を読んで，もし何か分からないことがあれば，読み直して何が起こったかをはっきりさせよう。

単元３「町の中で」

読み物１：「中華街」。住人の男の子の目を通した中華街の生活の話。
めあて：男の子は，毎朝，おばあさんと中華街を歩く。読みながら，立ち止まって作品の大事な部分をあらすじにまとめよう。

読み物２：「消防署見学」。子どもたちが消防所を見学する話。
めあて：何人かの子どもたちが近所の消防署を見学する。彼らの訪問について読んで，消防署や消防員への質問を考えよう。

読み物３：「立派な鬚」。父親に憧れる男の子が変装用の鬚をなくして落ち込み，父親が自分の鬚を剃って与える話。
めあて：リッキーが学校の劇に出ることになったことから騒ぎがはじまります。読みながら，問題がどのように解決するか予想しよう。

単元４「すごい動物」

読み物１：「バックル警官とグロリア」。話が退屈なバックル警官が相棒の犬と一緒にスピーチ上手になる話。
めあて：バックル警官の安全についてのスピーチは，考えていたよりワクワクするものになった。物語を読みながら，何が起こったか分かるか確かめよう。

読み物２：「あり」。様々なアリについての説明文。
めあて：ノンフィクションの作品を読みながら，ありのびっくりするような世界についてくクラスメートに質問したいことを考えよう。

読み物３：「すごいボールゲーム」。蝙蝠が動物として認められるきっかけになったのは鳥対動物のボールゲームで動物として活躍したからであるという話。
めあて：ゲームに勝つのはだれ。読みながら，物語の要点をまとめよう。

単元５「家族の時間」

読み物１：「きょうだい」。兄弟や姉妹がどのようなものかを子どもの視点から語った話。
めあて：いろいろな年の兄弟や姉妹がこの物語に登場する。読みながら。作者が，物語のためにどのように言葉や写真を使っているかを考えよう。

読み物２：「ハラペーニョベーグル」。ユダヤ系アメリカ人の父とメキシコ人の母を持つ少年がパン作りを通して自分のアイディンテイティーを明らかにしていく話。
めあて：男の子と彼の家族が学校の大事な行事の用意をする。注意深く読んで，計画に関して質問したいことを考えよう。

読み物３：「メーリーゴーランド」。誕生日に父親の帰りを待つ女の子の葛藤の話。
めあて：女の子の誕生日はベッドですごす日に変わってしまう。読みながら結末を考えてみよう。

読み物４：「かみなりケーキ」。雷を怖がる女の子に「雷ケーキ」作りを通しておばあさんが冷静であること，勇気を持つことを教える話。
ねらい: 雷をこわがる女の子の話を読みながら理解したかどうか確かめよう。もし疑問があれば，立ち止まって確かめのために読み直そう。

単元６「タレントショー」
読み物１：「美術の授業」。絵を描くことが好きな男の子が，学校の美術の時間の制約を超えて成長していく話。
ねらい：絵を描くのが大好きな男の子の話を読みながら，物語のためにどのように言葉や写真が使われているかを考えよう。

読み物２：「モーゼスコンサートに行く」。耳と言葉の不自由な男の子が学校からオーケストラのコンサートに出かけ，感動する話。
ねらい：耳の不自由な男の子がクラスメートとコンサートに出かける。読みながら，物語の大切なところをまとめよう。

読み物３：「学校の壁」。あるクラスの子どもたちが，学校や地域の自慢となる壁画を作成する話。
ねらい: ある学校の子どもたちが学校のプライドを見せるためにかんばる。読みながら子どもたちのしたことについて質問を考えよう。

（二宮　皓）

２．２．２　イギリス

（１）読み物教材の内容分析（その１）－フィクション（３年生用―日本でいう２年生）

Brian Moses 編 ”Literacy World　Essential Fiction　Stage1”, Heinemann, 2004

日常なじみのある設定の物語

●　12 階の子どもたち

アパートの 12 階の子どもたちの自己紹介。エイミーの部屋にはレッド・フォックスのポスターがある。エディは母親と姉と暮らし，バルコニーから下を見るのが好きである。シータの将来の夢は手品師である。ダンは猫を飼っており，父親は町の向こう側に住んでいる。

●　フェアじゃないわ・・・私が小さいのは。

クラスで一番小さいキティは背の低さを不公平に思う。彼女の母親は，誰にでも変えたいと思っているところはあるのだということを教える。キティは友達に質問して気持ちを聞き出し，その意味を理解する。そして，皆が異なり，平等であると思えるようになった。

観察と感覚に基づいた詩

●　夏のベッド　……（詩）

夏は日が長く，寝る時間になってもまだ明るい。ベッドの中で外の風景を眺め物音を聞いている。眠りにつくには少し惜しい気持ちにさせられる。

● **聞いて　……（詩）**

何が聞こえてくるか静かに耳を澄ましてみる。(波の音，鳥の声，蜂の羽音，枝のさざめき，電車の轟音，窓ガラスを叩く雨音，ねずみの足音，おばけ屋敷の戸のきしみ，フクロウの鳴き声，花々の息吹)

伝統的な物語

● **ルンペルシュティルツキン**

貧しい水車屋の娘は王様にわらを紡いで金にするよう命じられ，こびと（ルンペルシュティルツキン）に助けてもらう。女王となった彼女にこびとは赤ん坊を要求する。こびとの名前が分かれば奪わないと約束するが，歌にしているのを覗かれ言い当てられてしまう。

日常なじみのある設定の物語

● **味見のゲーム**

私と弟は味見のゲームをする。台所は散らかり，幼い弟はいつものようにわがままにふるまって更には泣き出す。両親は兄である私を責めた。私も泣き出すと意外にも父親は優しく抱きしめてくれ，母親に出されたバナナミルクシェイクは特別おいしく感じられた。

形態詩（Shape poetry）

● **移動の 10 の方法　……（詩）**

言葉の調子に合わせて文字を変形させ表現した詩。「跳ねる」「転がる」など，10 種類程の運動の様子を取り上げ，最後は「ドスン。」と落ちる様で締めている。

● **川　……（詩）**

奥の方から湧き出たかすかな水が，様々に流れを変化させながら徐々に太くなり，最後は広い海となる様子を表した詩。川の流れのように文字を配列し，文字の大きさで遠近感や強弱をつけている。

寓話

● **井戸の底の贈り物**

２人の姉妹が井戸の底で妖精に会う。与えられた仕事を誠実にこなした娘の方には輝く星々が贈られたが，もう一人の娘には品行が悪かったため泥やほこりの塊が降りかかる。それ以来，善良な娘は笑顔で輝き，不品行な娘の顔は険悪なしかめ面となった。

● **混雑した家**

大家族の農夫が家の狭さに不満を持っていた。賢い牧師は，鶏，山羊，牛を次々と家の中に入れるよう助言する。動物たちは家財を破壊するなどしてより混雑させた。しかし家からいなくなると広い空間ができたように感じられ，幸せに暮らせるようになった。

（動物などの擬人化した）寓話

● **犬と骨**

骨に強欲な犬がいた。ある日立派な骨を得て自負していたが，川に映った骨を持った自分の姿を別の犬だと勘違いして奪おうとしたため，持っていた骨も落とし失う。(今日必要以上を求めれば，明日はより少しを得るだけである。)

● 牡鹿とひょろ長い脚

ある牡鹿は，自分のひょろ長い脚は格好悪く，大きな枝角は素晴らしいと思っていた。しかし猟犬に襲われた際，枝角は引っ掛かって致命的となり，彼を救ったのは速く走れる脚であった。(見映えで物事を判断するのではなく，どう機能するかで判断しましょう。)

様々な文化の口誦詩と performance poetry

● もしワニを見に行きたかったら ……(詩)

ワニを見たければ，ぬかるんだ川のはずれまで下っていかなければなりません。ワニは獰猛です。呼んでみて姿が現れたなら走って逃げましょう。

● 漁師の詠唱 ……(詩)

川に親しみや感謝の気持ちを持って話しかけている詩。

神話

● 星の誕生

かつて夜空に星はなく，魔法使いが暗幕を引き，芸術家はそれに造形を照らし映して人々を楽しませていた。最初の星は蛾が空けた穴から漏れた光である。更に多くの穴が空けられ，今や芸術家の演出は見られなくなったが，人々は輝く星々に魅せられ幸せにしている。

伝説

● ベイラと火の主ハゲワシ

昔々ハゲワシの独占であった火をベイラという青年が奪った。持ち帰る途中の大きな川で，川蛇，車海老，蛙に火を渡してもらう。川蛇の鱗が茶色く，車海老の尾が桃色なのはその時に燃えた為である。最後に火を渡した蛙は唯一蛍(fire-flies)を食べられる者となった。

様々な文化の口誦詩と performance poetry

● おばあちゃん，ラップして ……(詩)

昼寝をしていたおばあちゃんの肩を叩くと，椅子から立ち上がって軽快に跳び回りだした。家の中から外へとラップしながらどんどん遠くへ行く。おばあちゃんのラップは世界一だ。

● イギリスを旅するラップ ……(詩)

車は走り回り，その音は止むことなく軽快にラップしてイギリス中を駈け巡る。

冒険物語

● ヒキガエルのトンネル

子どもたちは，ヒキガエルを無事に池までたどり着かせるためのトンネルを掘ることを考える。体の小さいトムがその役に推されるが，彼はナメクジに怯え，狭い所も苦手だった。しかしヒキガエルのことを思い，最後にはトンネルを貫通させる。

言葉で遊ぶ詩

● できるのに！ ……（詩）

親からのいろいろな要望に，それぞれ面白味のある言い訳をつけている。

● 全校集会の顛末 ……（詩）

人ではないもの（動物，虫，植物，乗り物，気象など）が全校集会を開いており，その様子にはそれぞれの特質が表れている。

謎々

● 謎

謎々。（目には見えないが，どこにでも存在しているものは何でしょう。）

言葉で遊ぶ詩

● 私のパパの驚くところ ……（詩）

パパの驚くべきところを挙げている詩。慣用句が多く用いられている。

同じ作者による物語

● ハリネズミのマックス

ハリネズミの一家が郊外に住んでいた。餌を得るためには往来の激しい通りを渡らねばならず，轢かれてしまうハリネズミが後を絶たない。父さんハリネズミは子どもたちに交通安全について長々と講義をした後，略称マックスという子どもハリネズミと問答を交わす。

● マックス王の最期

ハリネズミのマックスが捕らえられ，家では皆が心配していた。そのころ研究室では教授と科学者が観察するための案を出し合ったりしていた。マックスは帰宅を願い，教授たちもその気持ちを察していたが，捕まったときから特別なハリネズミであると話す。

冒険物語

● 座礁

ティムと父親が乗ったボートが座礁する。ボートはひどく揺れ，船酔いで蒼白した。更にサメの姿も見えていた海に父親が投げ出され，ティムは恐怖の全てを体験した。父親は何かに持ち上げられたため助けることができた。ティムはその際鯨の姿を目撃していた。

ユーモアのある詩

● 職員室のドアの中 ……（詩）

10 人の先生たちが職員室にいた。それぞれの事情で１人ずつ出て行く。10，9，8…と先生たちの数は減っていき，最後は誰もいなくなる。

● 悲惨な家族のピクニックのためのレシピ ……（詩）

悲惨なピクニックの解決方法を料理本形式でまとめている。「材料」にはピクニックを悲惨なものにする要素を並べ，「作り方」では対処法を調理手順のように書いている。

（２）読み物教材の内容分析（その２）－ノンフィクション（３年生用－日本でいう２年生）

Diana Bentley & Dee Reid 編 ”Literacy World Essential Non-fiction Stage1”, Heinemann, 2004

第一学期

１　事実と創作

●　スケートボードについて

スケートボードの始まりについてと，ボード・服装の選び方，主に２種類の滑走場があること，スケートボード細部の名称とその説明，基本的な滑り方と技の解説。

●　転落よりプライド

スケートボードが地区で一番のニックはいつも技術を見せびらかしてふざけ回り，ダンが防具を着けていることもからかった。しかしある日ニックはけがを負っており，ダンが声をかけると顔をしかめながら防具を着けると返事をした。

●　オールトンタワーズへようこそ

オールトンタワーズという遊園地の地図や遊戯施設の名前，説明などが載っている案内図。

●　オールトンタワーズの情報

遊園地の場所，営業時間，料金，また，快適に過ごすための提案や注意事項などが記されている。

２　非年代記的報告

●　象について

象の外見，習性，繁殖，食べ物についての説明と，人間が象牙欲しさに象を殺し，絶滅寸前種になっていることが書かれている。

●　カバに関する重要事項

カバの川底を歩く姿や泥の中で転げ回っている写真に，身体的特徴，行動場所，能力などが短い文で載っている。

●　巨大な哺乳類

カバの繁殖地域，大きさ，体重，寿命などが端的に記され，目，耳，鼻などの能力，皮膚の特徴，暮らし方などが文章で書かれている。象については鳴き声にふれた雑誌の一部が引用されている。動物園の案内書の引用では，小さい種のカバについて述べられている。

●　蛇のスパイダーグラム

蛇の爬虫類としての特徴，習性，外見，獲物のしとめ方，繁殖，食べ物について，それぞれ３～４つの事柄が箇条書きされている

●　ワニ

ワニについて書かれている。（顎や歯，大きさ，皮膚，捕食方法，体温調節，子どもの孵化，身体的特徴，食べ物等。）

第二学期

３　指示書

●　トウィズラーズの作り方

トウィズラーズ（甘草入りのねじり棒状のキャンディー）を作るための材料，用意する道具，作り方，遊び方の記述。

●　バランスを保つ鳥の作り方

バランスを保つ鳥を作るための道具，作り方，遊び方の記述。

● **ティドリーウィンクス遊び方**

ティドリーウィンクス（テーブルホッケー）の遊び方が漫画で描かれている。

４　ノートのとり方

● **ローマ人**

ローマ人の起原，ローマ帝国の巨大な軍隊と勢力拡大ぶり，そして象を率いてアルプス越えをしたハンニバル将軍の記述もある。貧富の差があったローマ支配下での暮らし，また，ヨーロッパ中でローマの影響が道路や建物などに見られるということが書かれている。

● **ローマのスポーツとゲーム**

裕福なローマ人の気晴らしである入浴の利用法，円形闘技場での戦いの様子，友好的な遊びと政治家が費用を出す公的で大規模な競技があったこと，それから二輪馬車競走当日の様子が書かれている。

● **剣闘士**

ローマ時代の剣闘士について。(犯罪者や捕虜，奴隷が剣闘士になり，５年間生き長らえれば引退して賞金で自由に暮らせることができた。剣闘士は武装姿や用いる武器などによって４種類に分かれていた。)

● **ローマ時代の子どもたち**

ローマ時代の子どもたちの身の振り方，奴隷の子の仕事，学校の状況，遊び，服装，家柄や性別による生活の違いにつての記述。

第三学期

５　手紙

● **順序だてて述べる**

ある先生が別の学校の先生に３年生の遠足の成果について語った手紙

● **苦情**

農場経営者から新聞社への電子メール。農場散策者への関わり方について批判的な記事に対する経営者側からの言い分。

● **説明**

ある農場に，最優秀農場管理コンテストの参加資格が与えられたことを知らせ，その規則について説明した手紙。農場と収容施設の評価項目は箇条書きで簡潔に伝えられている。

● **お祝い**

コンテストで優勝したことを伝えた手紙。お祝いや激励の言葉，選ばれた理由が述べられている。また，それぞれ金賞，銀賞，銅賞を受賞した農場や経営者の名前が挙げられている。

● **アップランド農場のパンフレット**

2004 年度のコンテストで金賞を受賞したアップランド農場のパンフレット。壮観な眺め，快適な宿泊施設がある。子どもたちは動物たちとのふれ合いや農業経験ができる。

● **手紙の種類**

いくつかの書体の異なるメモや手紙の断片と，名前や職業，年齢などが書かれた人物の漫画が載っている。誰が誰宛に書いたものであるか，格式ばった手紙かそうでないか，また，内容は何

かという問がある。

６　ＡＢＣ順のテキスト

●　趣味

柔道，トカゲを飼うこと，手品，絵を描くこと，スノーボード，そしてヨガの紹介と解説。

●　海釣り

海釣りを楽しむための道具，餌の選択，釣る時期，安全のため注意することが書かれている。

●　シーマウント・ジュニア・フィッシングクラブ

子ども釣りクラブの宣伝。料金案内と，初心者にも経験者にも魅力のある内容があることなどを取り上げて入会を勧めている。このクラブで初めて大きな魚を釣り上げたと言う子どもの絵も載っている。

（新井浅浩）

２．２．３　フランス

小学校第２学年　フランス語教科書の内容　　Tout le français en CE1, Nathan 社，1999 年

単元１　リストと調理法

教材　いらいらしている親への甘い煎じ薬
猫とねずみ
亀を作る

内容　リストと作成法に従って，料理や工作を行う話

単元２　面白い話

教材　すばらしい！
日々の輪舞曲
困った日

内容　ここの演奏はダメでも合奏するとすばらしい，一週間かけても傘が買えないなど，面白い話

単元３　招待状

教材　シャルロットの日
うさぎのコランの誕生日
ほうれん草の国のジビュルカ

内容　子ども，うさぎ，要請の誕生日と招待状の話

単元４　小さな不幸

教材　戸棚に悪魔がいる
ドラゴンのための毒
皇帝の不幸

内容　悪魔にうなされる，病気になるなどの小さな不幸の物語

単元５　手紙

教材　　のねずみラスク
　　階段の下の熊（１）
　　階段の下の熊（２）

内容　　のねずみから学級の子どもへの手紙，階段に熊が隠れていると思っている子どもの熊への手紙

単元６　夢とうそ

教材　　うそつき
　　うそ
　　私の家　夢で

内容　　夢やウソに関する物語や詩

単元７　情報を得る

教材　　象
　　栽培とその利用
　　海洋汚染

内容　　象，とうもろこし等の栽培とその利用法，海洋汚染に関する説明文

単元８　望みと希望

教材　　ジュールと不思議な帽子（１）
　　ジュールと不思議な帽子（２）
　　ジュールと不思議な帽子（３）

内容　　不思議な帽子を持つ男の物語

単元９　聖なる魔法使い

教材　　パリの魔法使いカモミール
　　パンドラ・ヴェルミスルの午後
　　魔法使いの箒

内容　　魔法使いの物語３編

単元 10　実験する

教材　　なぜ太陽が昇るというのか
　　過ぎていく時間
　　太陽のいくつかの秘密

内容　　昼と夜，時計と時間，太陽と虹に関する簡単な説明文

単元 11　誰が話しているか？

教材　　ニウ
　　家の秘密
　　配管工だ！（漫画）

内容　　たとえば「配管工だ！」では，電話に出た犬の行動から，電話をかけてきた相手を推測させる内容。

単元 12　誰が何を話しているか？

教材　　王様は私だ！

ずるいカウボーイ
宇宙人

内容　たとえば，「王様は私だ！」では，動物たちが集まって，新しい王様を決める場面で，それぞれの主張が，話者を伏せたまま並べられており，話者を推論する内容。

単元 13　なんという人物！

教材　発音矯正専門家の王（１）
発音矯正専門家の王（２）
ストラヴィンスキイ氏の怪獣

内容　ニシキヘビが発音矯正専門家に通うなどの物語

単元 14　動物

教材　最後のダンス
とても寒い
とても小さな女，蝿，警察署長

内容　動物にまつわる物語

単元 15　不思議な悪魔

教材　海の悪魔（１）
海の悪魔（２）
海の悪魔（３）

内容　海の悪魔に関する物語

（藤井穂高）

２．２．４　ドイツ

＊２．１．４を参照

２．２．５　ロシア

文学的読み方の教科書

『ロドナヤ・レーチ（故郷のことば)』2005 年版

Климанова, Л.Ф., Горецкий, В. Г., Голованова, М. В., *Родная речь*, Учебник для 2 класса начальной школы, Часть 1 и 2, 3-ое издание, Москва, Просвещение, 2005

第２学年 第１巻　全 223 頁

この世でいちばん大きな奇跡　p. 3
（無題：教師と児童の対話）　会話文　4
？課題１：「あなたの前に本のおどろくべき世界が開かれて

います。注意深く絵を見てください。どんな本の主人公が		
見えますか。話してください。」	挿絵と問い	5
（本の歴史についての解説と絵）	説明文	6
（図書館についての解説と絵・写真）	説明文と設問	8
（本に関する諺・格言等）	諺・格言	11
読者へ	詩	12

口承民族芸術

（無題：教師と児童の対話）	会話文	14
（諺　２）	諺	15
ロシアの民謡		16
（歌詞）	詩	17
（歌詞）	詩	17
？課題１～３		17
（歌詞）	詩	18
（歌詞）	詩	19
？課題１～３		19
笑い話としゃれ		20
（詩）	詩	20
（詩）	詩	20
？課題１・２		20
（詩）	詩	21
？課題１・２		21
数え歌と作り話		22
（詩）	詩	22
（詩）	詩	22
（詩）	詩	22
？課題１		22
（詩）	詩	23
？課題1～３		23
なぞなぞ		24
（なぞなぞ）	なぞなぞ	24
（なぞなぞ）	なぞなぞ	24
（なぞなぞ）	なぞなぞ	24
（なぞなぞ）	なぞなぞ	25
（なぞなぞ）	なぞなぞ	25
（なぞなぞ）	なぞなぞ	25
（なぞなぞの答え）		25
？課題１・２		25
ことわざと慣用句		26

（詩）　詩　26
（諺）　諺　26
（諺）　諺　26
（諺）　諺　26
（諺）　諺　26
（諺）　諺　26
（諺）　諺　26
（諺）　諺　26
（諺）　諺　27
（諺）　諺　27
（諺）　諺　27
（諺）　諺　27
（諺）　諺　27
（諺）　諺　27
（諺）　諺　27
？課題１・２　27
おとぎばなし
（説明文）　説明文　28
？課題１　29
おとぎばなしが森を行く　詩　30-31
？課題１
おんどりと豆のたね　民話　32-34
（諺）　諺　34
（諺）　諺　34
？課題１～３
恐怖の目は大きい　民話　35-37
（諺）　諺　37
？課題１～７　37-38
キツネと雄ヤマドリ　民話　39-40
（諺）　諺　41
？課題１～６　41
キツネとツル　民話　42-43
？課題１・２　44
斧からできたおかゆ　民話　44-46
（諺）　諺　46
？課題１～６
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞
ガチョウの白鳥　民話　48-53
？課題１～４　53
＜色とりどりのページ＞

おとぎばなしを思い出そう　詩　54-55
＜自分でためしてみよう＞
課題１～１６　56-64

ロシアの秋の自然を愛す　65
（無題：　教師と児童の対話）　会話文　66
秋のなぞなぞ　なぞなそ４問　67
秋には初めてのことがある・・・　詩　68
？課題１～４
こけももが熟している・・・　詩　69
？課題１～３
秋になった・・・　詩　70
？課題１・２
つばめがいなくなった・・・　詩　71
？課題１・２
＜秋の葉っぱ＞
秋。我が家の貧相な庭がすっかり覆われた。　詩　72
？課題１～３
黄金の葉が円く回っている・・・　詩　73
？課題１～４
かわいた葉っぱよ・・・　詩　74
？課題１～３
むくどりが去っていった・・・　詩　75
？課題１・２
いじわるなきのこ　詩　76
？課題１・２
きのこ（百科事典より）　説明文　77
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞
秋の朝　随筆　78
？課題１～３　79
きょうはまわりがとてもすんでいる・・・　詩　79
？課題１・２
＜色とりどりのページ＞
数え歌　詩　80
＜自分でためしてみよう＞
課題１～３　82

ロシアの作家
＜アレクサンドル・セルゲーヴィッチ・プーシキン＞
（解説）　説明文　84

（プーシキンの詩から抜粋３編）　詩　85
？課題１　85
（詩「ルスランとリュドミラ」からの抜粋　詩　86-87
？課題１・２　87
（小説「エフゲーニー・オネーギン」からの詩の抜粋）詩　88
？課題１～４
（小説「エフゲーニー・オネーギン」からの詩の抜粋）詩　89
？課題１・２
漁師と魚のお話し　童話　90-100
（諺）４　諺　101
？課題１～７　101
＜イワン・アンドレービッチ・クルイロフ＞
（解説）　説明文　102
？課題　103
白鳥，えびとかわかます　童話　104
（諺）１　諺　105
？課題１～６
ありときりぎりす　童話　106-107
（諺１）　諺　107
？課題１～５　107
＜レフ・ニコラエビッチ・トルストイ＞
（解説）　説明文　108
？課題　109
年老いたおじいさんと孫　童話　110-111
（諺１）　111
？課題１・２
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞
フィリポク　物語　112-115
？課題
真実は何よりも貴い　説明文　116
？課題
雄の子猫　物語　117-119
？課題１～６　119
＜色とりどりのページ＞
10 羽の鳥の群れ　詩　120
無題　詩　121
＜自分でためしてみよう＞
課題１～11　122-124

わたしたちより小さな兄弟たちについて

彼らと私達	随筆	126
誰が何になったのか？	穴埋め問題	127
ねこちゃんが廊下で鳴いている・・・	詩	128
むかしむかし，犬がいました・・・	詩	128-129
ねこの子	童話	130-131
？課題１・２		131
子どもたちとアヒル	物語	132-134
諺３	諺	135
課題１～６		135
古い古い物語	物語	136-138
？課題１～６		138
勇気ある鴨	物語	139-141
？課題１～４		141
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞		
音楽家	物語	142-145
？課題１～７		
ふくろう	物語	146-150
？課題１～５		150
（絵を見てお話しを作ろう）		151
＜色とりどりのページ＞		
早口ことば	ことばあそび	152
早口ことば	ことばあそび	153
＜自分でためしてみよう＞		
課題１～12		154-156

子ども雑誌から

（解説）	説明文	158
子ども雑誌からの問題（５問）	なぞなぞ	159
遊び	詩	160-164
？課題１・２		164
あなたは知っている？	詩	165-169
？課題１・２		169
陽気なまひわ	詩	170-173
？課題１・２		173
これは何だったのだろう？	詩	174
？課題１・２		174
とてもとてもおいしいピロシキ	詩	175
？課題１・２		175
変わり者	詩	176
？課題１～４		176-177

学者のペーチャ　詩　177-180
？課題１～６
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞
　馬　詩　182-183
＜色とりどりのページ＞
　陽気なおじいさん　詩（早口ことば）　184-185
＜自分でためしてみよう＞
　課題１～６　186

ロシアの冬の自然を愛す
（無題：　教師と児童の対話）　会話文　188
冬のなぞなぞ（４問）　なぞなぞ　189
＜初雪＞
　冬の寒さの香りがする・・・　詩　190
　？課題１　190
　柔らかくふかふかした光の，白い雪・・・　詩　191
　朝にネコが・・・　詩　192-193
　？課題１～５　193
　冬の魔法使い・・・　詩　194
　？課題１　194
　冬が歌っている・・・　詩　195
　？課題１～４　195
　白樺　詩　196-197
　？課題１～４
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞
　二つのマロース　民話　198-201
　？課題１～５
＜あけましておめでとう！＞
　お正月の実話　物語　203-207
　？課題１・２
　１月のことでした・・・　詩　208
　？課題１・２　209
　街をマロースおじさんが行く・・・　詩　209
＜色とりどりのページ＞
　山で・・・　詩　210
　山の上にいるように・・・　詩　211
＜自分でためしてみよう＞
　課題１～５　212

辞書　213-216

読むことをおすすめします（本や雑誌の表紙と図書館の写真） 217-219
目次 220-223

第２学年 第２巻　　全 223 頁

作家ー子どもたちへ

＜コルネイ・イワーノヴィッチ・チュコフスキー＞
無題 説明文 p. 4
？課題１ 5
わけのわからないこと 詩 6-10
？課題１・２ 10
喜び 詩 11-12
？課題１～３ 11
フェードーラの悲しみ 童話 13-22
諺（１） 諺 22
？課題１～５
＜サムイル・ヤーコブレヴィッチ・マルシャーク＞
無題 説明文 24
？課題 25
猫と怠け者 詩 26-28
？課題４
＜セルゲイ・ウラジミーロヴィッチ・ミハルコフ＞ 説明文 30
？課題 31
私の秘密 詩 32-33
？課題１・２ 33
意志の力 詩 33-34
？課題１～３ 34
私の子犬 詩 35-37
？課題１～３ 37
＜アグニヤ・リヴォーヴナ・バルト＞
無題 説明文 38
お馬，たてがみ，お客さんに 詩 39
？課題 39
つばめさん 詩 40-42
？課題１～６ 43
わたしたちは虫に気づかなかった―ナターシャへ 詩 44
？課題１～３ 44
学校へ 詩 45
？課題１～３ 46
ヴォーヴカー善良な心 詩 46-47

？課題１～３ 47
＜ニコライ・ニコラエヴィッチ・ノーソフ＞
無題 説明文 48
？課題１ 49
ひょうきん者 物語 50-53
？課題１～６ 53
生きた帽子 物語 54-58
？課題１～６ 59
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞
丘の上で 物語 60-63
？課題１～６ 64
＜色とりどりのページ＞
無題（詩６） 早口言葉 66-67
＜自分でためしてみよう＞ 68-70
課題１～11

私と私の友だち

無題（教師と児童の対話） 会話文 72
課題１ 73
遊びでは 詩 74
ぼくは恨みの気持ちにはまって・・・ 詩 74-75
高い所から見下ろすと・・・ 詩 75
？課題１～４ 76
ぼくとヴォーヴカ 詩 77-78
？課題１・２
「アンナ，落ち込まないで！」 物語 79-84
？課題１～４
２つのピロシキ 物語 85-86
？課題１ 86
まほうの言葉 物語 87-92
（諺）２ 92
？課題１～５ 92-93
よりよく 物語 93-95
（諺）１ 95
？課題１～６ 95
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞
なぜ？ 物語 96-103
？課題１・２
＜色とりどりのページ＞
ヨーグルト（早口言葉） 詩（早口言葉） 104

ストーブの上で　詩　105
＜自分でためしてみよう＞
課題１～５　106

ロシアの春の自然を愛す
無題（教師と児童の対話）　会話文　108
春のなぞなぞ（なぞなぞ４問）　なぞなぞ　109
冬はわけもなくかんしゃくをおこしているのではない…　詩　110
？課題１～４　111
春の水　詩　111
？課題１～４
春　詩　112
？課題１　112
村の歌　詩　113
？課題１・２　113
草原で　詩　114
？課題１～３
雪はもうそこにない・・・　詩　115
？課題１～３　115
＜女性の日＞
お母さん　詩　116
？課題１・２　116
暴風雨のなかで　詩　117-118
？課題１　118
静けかに座りましょう　詩　119
？課題１・２
ぼくは自分のママを傷つけた・・・　詩　120-121
（諺２）　諺　121
？課題１・２　121
＜色とりどりのページ＞
こんにちは，こんにちは　詩　122-123
＜自分でためしてみよう＞
課題１～５　124

冗談でもあり，真面目でもあり
無題　説明文　126
？課題　127
同志の子どもたちへ　詩　128
？課題１～４　129
いちばん美しいものは何？　詩　129-131

？課題１～３ 131
無題（教師と児童の対話：「ウィニー・プーを知っているかな？」会話文 132
？課題１ 133
ウィニー・プーの歌 叙述と詩 134
　うなり声の歌 詩 134
？課題１ 134
　道のおたけび 詩 135
？課題１ 135
　歌　第１番 詩 135-136
　歌　第２番 詩 136
？課題１ 136
チェブラーシカ（童話『ワニのゲーナとその友だち)』 物語 137-140
？課題１～４ 142
ぼくが女の子だったら 詩 143
？課題１・２ 143
私達のアパートの部屋の上に 詩 144-145
？課題１～５ 146
記憶 詩 146-147
？課題１～５ 147
知り合い 随筆 148
？課題１ 148
旅人 詩 149
？課題１ 149
子猫 詩 150
？課題１ 150
プリム 詩 151
？課題１ 151
不思議の国で 詩 152
？課題１ 152
はじめまして（本『しっぽの体操』より） 物語 153-158
？課題１～６ 158
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞
　秘密は明らかになるものだ 物語 159-165
　？課題 165
＜色とりどりのページ＞
　パーナ・トルリャリンスキーについて 詩 166-167
＜自分でためしてみよう＞ 168
　課題１～７

諸外国の文学

無題（教師と児童の対話）	会話文	170
？課題１		171
アメリカ民謡：ドッグという呼び名のブルドッグ	詩	172-173
？課題１・２		173
イギリス民謡：手袋	詩	174-175
？課題１		175
イギリス民謡：勇敢な人	詩	175-176
勇敢な人	詩	176
？課題１・２		177
フランス民謡：スーザンとちょうちょ		177-178
ドイツ民謡：ママは知っている，子どもたちは知っている	詩	179
？課題１		179
長靴をはいた猫	物語	180-191
？課題１～３		191
無題（ロシア語への抄訳を読むことの重要性について）	会話文	192
赤い帽子		192-196
？課題１～５		196
エンドウ豆姫		197-199
？課題1～３		199
＜読むことができるとはなんと素敵なことでしょう＞		
マフィンと蜘蛛	物語	200-208
？課題１～５		209
無題（イラストに対する問い）	設問	209
＜色とりどりのページ＞		
猫のコタウシとねずみのマウシ	詩（ことばあそび）	211
＜自分でためしてみよう＞		212-213

辞書 214-216

読むことをおすすめします（作家別に並ぶ本の表紙　31 冊） 217-219

目次 220-223

（澤野由紀子）

２．２．６　フィンランド

国語読本　第１（上下巻）　“Läseboken Ia och Ib”, 2004, 2005, Söderström

＊フィンランドの国語教科書は，母語としてフィンランド語，スウェーデン語，サーミ語と３種のものがある。この教科書は，PISA調査でも全く同格に取扱われているスウェーデン語系基礎学校（６％）の第１学年生（７歳）使用のものである。2004 年改訂学習指導要領に準拠し，2006 年８月から使用されている代表的な出版社 Söderström 社の『国語読本第１　上下巻』である。

上巻

A アッラン 6
クラスで 8
L リン 10
リンは退屈しています 12
E エミルとアッランが遊んでいます 14
一つの石 18
M 月 20
月を見るには暗やみの中が良い 22
N テディ・ベア 24
ナタの遊び 26
I インディアン 32
はりねずみ 34
O オッレのお家 36
私の本はどこに 40
R おばあちゃまのリゾット 42
ローマ 44
S アザラシ 46
眠っているスーネ 48
V カジキ 50
代理 52
H どんなにゆっくり行ったのかな？ 56
１００のつぎ絵 58
J サンタの仕事場 60
テレビの中のライオン 62
K しめった雪 64
カッレとカイサ 68
T トムテとトロール 70
トムテ 74
Ä あなたはそこで何をしていますか？ 76
きつねとつる 80
D ドラゴンの遊び 82
巨竜 84
F クリスマスのお祭り 86
家族とクリスマスを祝います 88
単語リスト 90

下巻

P ピザの夕べ 6
栄光のプリンセス 10
U ウェッフの時計 14
〃 （続き） 17
Y 目のくらむ天気 20
パジャマのパーティー 22
B パンを焼く 26
‘ベルギス’（パン） 28
C サーカス 30
クラリッサかシモンか？ 34
G 金の採掘 36
新しい隣人 39
Å いなずま 42
ドンキー 46
Ö 洗濯 52
期待と夢 56
Q お絵画き 60
ブロムクヴィストさんと共に 63
W カイサ ワルイ 66
ウィーン風パンとウィーン風カツレツ 68
X ダックスフンドのマックス 70
６匹の鮭 73
Z ポロ 76
ツァカリアス・トペリウス 80
音の教本 83
ＡＢＣの行事 86
育つに必要とされるものは何ですか？ 90
おじいさんのすずめ 93
アッティ 97
雨，雨，雨 100
クラスのきまり 104
自然探査 110
〃 （続き） 113
春の夕べ 116
終業 119
単語リスト 122

（中嶋　博）

２．３　対象学年（第２学年）国語科教科書にみる「特色ある単元」

２．３．１　アメリカ

（人間関係の読み物教材）
第５主題：家族の時間（Family Time）

兄弟と姉妹：Brothers and Sisters

エレン・Ｂ・セニシ作

めあて：次の読み物にはいろいろな年の兄弟や姉妹が登場します。読みながら，作者が物語の中でどのようにうまく言葉と写真をつかっているかを考えましょう。

p. 163
弟や妹ができると，どんな感じがするでしょう？
トリには，もうすぐ分かります。お母さんに赤ちゃんが生まれるからです。
「男の子かしら，それとも女の子かしら。」
トリは考えます。
「ママは赤ちゃんが来ても私のことをかわいがってくれるかしら。」

p. 164
ベンには生まれたばかりの弟がいて，ドリーには妹ができました。家ぞくに赤ちゃんがいると，楽しいことがあります。
「私たちの赤ちゃんは，やわらかくて小さいから，いつもだっこしていたいの。」
ドリーは言います。

p. 165
けれども，赤ちゃんがいるといつも楽しいわけではありません。
「赤ちゃんは，自分ではなんにもできないんだ。」
ベンは言います。
「ママは，今でもぼくのことをかわいがってくれるよ。でも，赤ちゃんのおせわでとても忙しいから，ぼくは赤ちゃんが昼ねするまで，一人で遊ばなくちゃいけない。」

p. 166
「みんなが，赤ちゃんがどんなにかわいいかって話すのをきくのは，つかれるよ。」
バレリーは言います。
「ぼくは，一人で赤ちゃんをだきたいんだ。」

ミチェルは言います。レオはそうしています。

p. 167

ジャスミンとフアニータ（hwa-NEE-ta）には，歩き始めたばかりの赤ちゃんの妹がいます。

「大きくなってこまったことをするようになったの。」

ジャスミンは言います。

「こまったことをたくさん。」

「わたしは，妹をあやしてあげます。」

フアニータは言います。

「ママは，わたしのことを一ばんいいお手伝いさんだって言うの。」

p. 168

「わたしの妹はいつもわたしがするのと同じことをしたがるけれど，妹はちゃんとしたやり方でゲームができないの。」

アリシアは言います。

「ときどきね。」

ジュドソンは言います。

「いっしょにいると，ものすごく楽しいことがある。」

p. 169

リナは，妹のお姉さんです。

「わたしは，妹の知らないことを知っています。」

リナは言います。

「妹はようちえんに行っているのでわたしはまい朝じゅんびをてつだってあげることができます。それから教室までつれて行きます。」

「妹ができたら，分け合えるようになるわ。」

トリが言います。

「一番むずかしいのは，お父さんやお母さんを分け合うことね。」

レナは言います。

p. 170

キャトリンとジョーダンは年子です。ベンとスザンナもです。

「ときどき，ぼくらは一ばんなかのいい友だちなんだ。」

ジョーダンが言います。

「そして，ときどきさいあくのてき。」

カトリンが言います。

p. 171

ジェレミーとジョナサンはふたごです。

「ぼくたちは，いつも一緒に遊べる。」

ジェレミーは言います。
イアンとライアンもふたごです。
「ぼくたちはとてもよくにているから，それで，みんなをからかうことができるよ。」
「本当は，まったくにているわけじゃないけどね。」
イアンが言います。
「ぼくは絵をかくことがとくいだし，ぼくの兄弟はスポーツがとくいなんだ。」

p. 172
ときどき，弟でいることは大へんなことでもあります。
「ずるいよ。」
ペーターは言います。
「ぼくより大きいっていうだけで，お姉ちゃんはなんでもじょうずにできるなんて。」
そして，ときどき弟でいることはすばらしいことです。

p. 173
「お姉ちゃんはもう一人のママだよ。」
スティーブンがいいます。
「ぼくたちは，二人だけのひみつをもってる。」
タイラーは言います。
「二人だけのとくべつなゲームもあるしね。」

p. 174
トレイのお兄さんとジェズのお姉さんは中学生です。
「お兄ちゃんはぼくのことを厄介ものだと思っていて，おこるんだ。」
トレイは言います。

p. 175
「わたしたちは，おたがいによくおこります。」
ジョゼが言います。
「でも，すぐにそのことをわすれるし。」
「わたしが思っていることが姉ちゃんだけに分かることもある。」

p. 176
ビアンカには，ティーンエイジのお姉さんがいます。
「いつになったら，お姉さんみたいにどこでも行けて，何でもできるようになるんだろう。」
ビアンカはかんがえます。
「ときどき，お姉さんはおとなみたいにしていて，いっしょに話すことができないの。」
モーラは言います。
「でも，お姉さんはわたしみたいになることもあるの。」

p. 177

「わたしは，ようしです。」

スジャティー（soo-JAH-tee）が言います。

「ジェシカとわたしはべつべつのお母さんとお父さんのところから来ました。でも，わたしたちはお姉さんと妹です。ずっとね。」

ローラとエマもようしです。

「みんなに本当のことを言ってるの。」

「これがわたしの妹だってね。」

p. 178

「ぼくのパパは，小さいころぼくのおじさんとけんかをしたって話してくれた。でも，お父さんとおじさんは，いまもおたがいに大のなかよしなんだ。」

ウィルが言います。

「お父さんとおじさんはもう大人になって，たくさんたすけ合っている。ぼくにも，手つだいをさせてくれるよ。」

p. 179

「ぼくのママとおばさんはいつも学校ごっこをしていたってママが言っていた。そして，それが本当のことになったの。だって，二人とも先生なんだもの。」

エディーは言います。

「ぼくのママは，ママのお姉さんがだれよりも大事な人だって言うよ。」

p. 180

「わたしのおばあちゃんと大おばさんは 70 年のあいだお姉さんと妹です。」

キャサリンが言います。

「おばあちゃんは，妹のことを今でも一ばんなかのいい友だちだといいます。」

（アメリカ的な才能を考える教材）

第 6 主題：才能発表会（Talent Show）[1]

美術の授業：The Art Lesson

トミー・デパオラ作

p. 353

トミーは，自分が大きくなったらなりたいのは画家だと分かっていました。そして，トミーは，いつでも，どこでも，絵をかいていました。それが，なによりも好きなことだったのです。

[1] 訳者注。アメリカの学校では，年に一度ほど，希望する生徒が特技を発表する Talent Show が学校で開催される。

p. 354

トミーの友達にも好きなことがありました。ジャックはかめに関係のあるものを集めていました。ハービーは，箱庭に大きな街を作りました。トミーの親友ジーニーは，横とんぼがえりができるし，あたまを地面につけて逆立ちもできました。

けれどもトミーは描いて，描いて，そして描くのでした。

p. 355

トミーの双子のいとこ達は，もう大きくなっていて，本物の画家になるために美術学校に行っていました。いとこ達はトミーに，まねてはいけないと，練習して，練習して，練習すればいいと教えてくれました。それで，トミーはそうしました。

p. 356

トミーの部屋の壁の半分は，トミーの貼った絵でいっぱいでした。

トミーの母さんはトミーの絵を家のあちらこちらにはっていました。

p. 357

トミーのお父さんは，お父さんが働いている床屋にトミーの絵をはっていました。

p. 358

トミーのアイルランド系のおじいさんとおばあさん，トムとナナは食料品を売っていて，その店にトミーの絵をはっていました。

イタリア人のおばあさんのナナ・フォール・リバーは，テーブルの上のコローおばさんのウェディングドレス姿の写真の横にトミーの絵をちゃんと額にいれて飾っていました。

p. 359

あるとき，トミーはふとんの中にかいちゅう電灯を持ち込んで，シーツに絵を描きました。けれども，お母さんがトミーのシーツを取り替えるときにそれを見つけて，そして言いました。「もう，シーツに絵を描いてはいけませんよ，トミー。」

p. 360

トミーのお母さんとお父さんが新しい家をたてたとき，それが出来上がればどんなになるかトミーは絵に描きました。

かべを作っているとき，一人の大工さんが明るい青のチョークをトミーにくれました。トミーはチョークを持って，まだ出来上がっていないかべのあちらこちらにきれいな絵を描きました。

けれど，ペンキやさんが壁を塗りに来た時，トミーのお父さんはいいました。

「もう終わりだよ。このあとは，壁に絵を描いてはだめだ。」

p. 361

トミーは幼稚園に行くのが待ち遠しくてたまりませんでした。お兄さんのジョーは本物の美術

の先生が，学校に**美術の授業**をしに来るといったからです。

「いつ，美術の授業があるの？」

トミーは幼稚園の先生にたずねました。

「あら，来年まではないのよ。」

バード先生は言いました。

「でも，明日お絵かきをしましょうね。」

p. 362

それは，そんなに楽しいものでもありませんでした。

絵の具はひどいもので，かみもしわしわでした。バード先生は色々な色の粉を別々の入れ物に入れ，そこに水を入れて絵の具を作りました。絵の具は紙にうまくつかなくて，そのうちひび割れてしまいました。

p. 363

もし，絵を持って帰るときに風が強かったなら，絵の具は，風に飛ばされて紙の上からなくなってしまうのでした。

「でもさ，とにかく，幼稚園なら紙は一枚よりたくさんもらえるじゃないか。」

ジョーが言いました。

「美術の先生が来ると，一枚しかもらえないよ。」

p. 364

トミーは，美術の先生が水曜日ごとに学校に来ることを知っていました。いつも洋服の上に青い上っ張りを着て，太い色チョークがたくさん入った箱を抱えているので芸術家だと分かるのです。

p. 365

あるとき，トミーとジェニーは廊下に張ってある絵を見ていました。一年生が書いたものです。

「あなたの絵の方が上手よ。」ジェニーがトミーにいいました。

「来年になって本物の美術の授業が始まったら，きっとあなたが一番になるわ。」

p. 366

トミーは待ちきれませんでした。夏中，練習しました。そして，学校が始まったすぐあとの誕生日のこと，お母さんとお父さんがトミーに 64 色のクレヨラ[2]クレヨンをひと箱くれました。普通の箱クレヨンには赤，オレンジ，黄，みどり，青，むらさき，茶色，そして黒があります。この箱には，他にももっとたくさんの色がありました。青むらさき，トルコ石色，朱，桃，そして，金，銀，銅までも。

p. 367

[2] 訳者注。ブランド名。

「みなさん。」

一年生の担任のランダー先生がいいました。

「来月から私たちの学級に美術の先生が来られます。そこで，月曜日は歌のかわりにクレヨンをつかう練習をします。」

p. 368

月曜日，トミーは 64 色のクレヨンを学校に持っていきました。ランダー先生は感心しないようでした。

「みんなが同じクレヨンを使います。」

先生はいいました。

「**学校のクレヨン**です。」

学校のクレヨンには，古いきまりきった８つの色しかありません。ランダー先生はそれを配りながらみんなに言いました。

「このクレヨンは学校のものです。折ったり，紙をはがしたり，削ったりしてはいけませんよ。」

p. 369

「**学校のクレヨン**で，ぼくはどうやって画家になる練習をしたらいいんだろう。」

トミーは，ジャックとハービーに尋ねました。

「たくさんですよ，トミー。」

ランダー先生はいいました。

「そして，あなたに言っておくことは，このお誕生日クレヨンを家にもって帰って，おいておくということです。」

そして，ジョーは正しかったのです。みんなは，たった一枚の紙をもらいました。

p. 370

ついに，美術の授業の日がやってきました。トミーは前の夜，よく眠れませんでした。

次の朝，トミーは 64 色のクレヨンをセーターの下に隠して学校に出かけました。じゅんびは出来ていました。

p. 371

教室のドアが開いて美術の先生が入ってきました。ランダー先生はいいました。

「皆さん，美術の先生のブラウン先生です。今週の配り係のパティーが，みなさんに一枚ずつ紙をくばります。そして思い出してください。紙は一枚だけですから，だめにしてはいけませんよ。では，ブラウン先生のお話を聞きましょう。」

p. 372

「みなさん」

ブラウン先生は話し始めました。

「感謝祭が近づいていますから，ピルグリム[3]の男の人と女の人，そして七面鳥を描く練習をしましょう。私が描くのをよく見て，まねしてください。」

p. 373

まね，まね。トミーは本物の画家がけっしてまねをしないと知っていました。

おそろしいことでした。これは，本物の美術の授業のはずでした。トミーはうでを組んでただ座っていました。

「どうしたというんです。」

ランダー先生が聞きました。トミーは先生の後ろにいるブラウン先生のほうを見て言いました。

「ぼくは大きくなったら画家になりたいんです。そして，いとこ達は本物の画家は決してまねしないといいました。それに，レンダー先生は，ぼくに 64 色のクレヨンを使わせてくれません。」

p. 374

「なるほど，なるほど。」ブラウン先生はいいました。

「どうしましょうか。」

ブラウン先生はランダー先生を振り返って，ささやきあいました。ランダー先生がうなづきました。

「では，トミー。」

ブラウン先生はいいました。

「あなたが，他のみんなと違うことをするのは，公平ではありません。」

「けれども，私に考えがあります。あなたがピルグリムの男の人と女の人と七面鳥を描いてしまってから時間が残っていれば，私が他の紙をあげますから，自分のクレヨンで好きな絵をかけますよ。それでいい？」

「そうしてみます。」

トミーは，にっこり笑って言いました。

p. 375

そして，描きました。

p. 377

そして，描きました。

p. 378

そして，いまも描いているのです。

（二宮　皓）

[3] 訳者注：巡礼者。アメリカへの移民第一世代を指す。感謝祭は，原住民との分かち合いに感謝する祝日。

２．３．２　イギリス

（人間関係にかかわる読み物教材）

Brian Moses 編 ”Literacy World　Essential Fiction　Stage1”, Heinemann, 2004 より

フェアじゃないわ・・・私が小さいのは。

ベル・ムーニー作

キティは，クラスで一番小さな女の子でした。でも普段はそんなことを気にしていませんでした。彼女は泳ぐのも上手で，ほとんどの子よりも速く走れましたし，そう，一度なんか，運動会のタマゴとスプーン・レースで一位になったんです。だから小さいことなんか問題ではありませんでした。キティはそう考えていました。

でも，ある日，考え方がかわる出来事が起きました。それは，何をやっても上手くいかない日でした。

まず，キティのクラスに転校生の男の子が来ました。彼の名前はトムといって，とても背が高かったんです。キティは彼が嫌いでした。何故なら自分のことを”ちび（シュリンプ）”と呼ぶからです。クラスでは，絵の具と切り紙をつかった壁画を作っているのですが，その日はキティとトムと他に二人の子が，特別な作業をすることになったのです。

キティは，とてもワクワクしました。彼女は絵を描くことが好きで，特に汚れちゃってもいい作業はなおさらでした。だからフワフワしたかわいらしくて大きな雲がただよっている空を書きたかったのです。でも彼女が描こうとする度にトムが笑うのでした。

「届かないのか」「小さすぎるんだよ」と彼はいいました。そして彼女の頭の上に覆いかぶさって，彼女がやろうとしたことをチョイっとやってしまいました。

休み時間に，キティは，誰かが自分のジャケットを自分が届かない高いところにある掛け具に掛けたのに気づいたけれども，トムや他の誰かにとってもらうように頼むことができませんでした。だから，彼女は，ジャケットを着ないで外にでることになってとても寒い思いをしました。そして，校庭で見張りをしている婦人に，コートを着ていないので教室内に戻るようにいわれてしまいました。

「届かなかったんです。」とキティは小さな声でいいました。

「あら，まあ小さいのね。」とその婦人は優しく言いました。

キティは，ため息をつきました。ほんとにフェアじゃないよ。

それからゲームの時間になって，女の子たちはネットボールをすることになりました。ボールを取るためにお互いを止める練習をしました。素早く逃げなければなりませんでしたし，とても高くジャンプしなければなりませんでした。キティはそれが上手くできませんでした。

今日は，今までよりも駄目でした，彼女は一度もボールを取ることができませんでしたが，他の女子は腕や脚が長いので簡単そうでした。その後，一人の女の子が言ったことがキティをとても傷つけました。「誰もあなたと同じチームになりたくないわ，キティ。あなた小さすぎるんですもの」

キティは家に帰った後，とても無口でした。ママはそれに気づいていました。とうとうキティは泣いてしまいました。「私が小さいのはフェアじゃないわ。」

キティはママにすべてを話しました。ママはうなずいていました。

「それは簡単なことじゃないわね。私が子どもの頃も背が小さかったのよ。あなたダニエルに学校で何てよばれているか聞いてごらんなさい。」

キティは驚いてお兄さんのところに聞きにいきました。彼は顔をしかめていいました。

「時々はちびっていわれるよ。」「でもそれは親しみを込めているから気にしてないよ。」

「お兄ちゃんも小さすぎるの？」とキティは聞きました。

「そうだよ。でもクラスにとても背が高くて痩せているので“ひも”って呼ばれてる子よりも自分のほうがいいな。」

「ほらね。」とママがいいました。「ほとんどの子はね，自分について変えたいなと思う部分があるのよ。それを知ったら，自分についても悪くないと思うでしょ。」

キティはそのことを考えて，ある計画を立てました。次の日の休み時間に，キティは勇気を出して，一人で立っているトムのところへ行きました。

「トム，ちょっと聞いていい？」と彼女はいいました。

「なんだい，ちび」

「もし願いが叶うとしたら，自分のどんなところを変えたい？」

その背の高い男の子は驚いて見つめました。そして，顔を赤くしてささやきました。

「僕の髪の毛だよ。嫌なんだ。」キティが見てみると赤茶色でした。どちらかというといいと思いました。

「前の学校ではニンジンって呼ばれてたんだ。」「フェアじゃないよな。でも皆にいうなよな。ちび」

キティはいわないといいました。

それからスージーを探しました。彼女は，大きくて強い女の子で，キティにネットボールが下手くそだといった子でした。そして彼女に同じ質問をしました。スージーはしかめっ面をして，すぐに答えました。

「大きいことよ。」と彼女は言いました。「象みたいでしょ。もっと小さくなりたい。あなたみたいになりたいわよ。」

「私みたいに？」キティは驚いて叫び声を上げました。

スージーはうなずきました。

キティは，子どもたちが走りまわっている校庭を見渡しました。ある子は背が高いし，ある子は小さい。ある子は太っているし，ある子は痩せている。ある子は色が黒いしある子は白い。ある子は内気だし，ある子は勇ましい。ある子は歌が上手いし，ある子は泳ぎができる。ある子は優美だし，ある子は不恰好・・・・・・。

「私たちはみんな違うんだ。」彼女は思いました。「そしてそれはフェアなことなんだ。」

（バランスのとれた議論の仕方）

Michael Lockwood & Kate Lockwood 編 ”Literacy World　Essential Non-fiction　Stage4”, Heinemann, 2004

村の生活―あなたは賛成？

二百年前には，イギリスのほとんどの人は村に住んでいました。しかし今はほとんどの人は町に住んでいます。もし，あなたが村に住んでいるなら，村の生活は町の楽しさの代わりになっていますか？また，自分の住んでいる場所に満足していますか？

反対に，あなたが市街地に住んでいるならば，村に引っ越すことは，夢の実現になりますか，それとも最悪の悪夢ですか？

ここに同じ村に住む子どもの正反対の意見があります。

賛成：完璧な場所

私は村に住むことが気に入っています。町に比べてとても静かで平和です。車の騒音は少しありますが，町のように交通渋滞や工場からくる臭気の汚染はありません。

私たちの村は野原や林や広い田園地帯に囲まれていて，犬の散歩をしたり自転車で走ったり友だちと遊んだりできます。

私は村の友好的な学校が好きです。とても小さくて教室は二つしかありません。一つが，幼児部で一つが初級部です。そして校外学習に行くときは全員で行きます。学校は村の丁度中心地にあり，歩いて二分で着きます。

私たちの村は，とても親しみのあるところです。皆がお互いを知っていますし，お互いの面倒を見合っています。誰か新しい人が来れば，皆そのことを知っています。犯罪はほとんどありませんから，おそらく市街地に住んでいるよりも，一人で外で遊ぶ自由が沢山あると思います。

ただ残念なことは，大きくなったらここから引っ越さなければならないことです。というのは，家の値段がとても高くなってきているので，住むことができなくなると思うからです。

反対：ここから連れ出して

私は町に生まれたかったです。この場所は，私の好みからすると，あまりにも静か過ぎます。ここでは何もおこりません。同じ知っている顔と毎日毎日突き合わせて，皆がお互いを知っているので，皆があなたの考えるべきこともすべて知っています。

若者にとってすることは何もありません。私は，どこか新しく出会う人たちがいて，もっと沢山のことが起こっているところに住みたいです。だって，携帯電話が圏外で映画がなくてカフェもなくてスポーツ施設もなくて洋服店もないところを想像できますか？

もし家族が車を持っていたら，それほど悪くないでしょう。何故なら，いきたい町へ行くことができるので。ここに住むのなら車は絶対必要でしょう。そうでなければ，どこへも行けません。バスはありますが，一日二本でしかも夜６時以降はありません！

それでも，来年中等学校へ行くので，私は町にいくことになります。でも問題は，通学バスが全員を乗せていかなければならないので，とても時間がかりますから，私はすごく早起きをしなければならないのです。

私は，大きくなるまで待てません。私はどこか―どこでもいいから，ここよりももっと活気があり面白いところに住みたいです。

村の生活は，明らかに皆にとっていいというものではありません。あなたはどうですか？

（新井浅浩）

２．３．３　フランス

（人間関係）

アシェット社のフランス語教科書 ”Le bibliobus”（「移動図書館」）シリーズから，基礎学習期（小学校第１，２学年）用の第 14 巻

バカにするのはよくない

「こんにちはカマンベール。」「そのような呼び方はやめろ，うんざりだ！お兄さんに言いつけてやる，見てろよ。」「お前のお兄さん？冗談だろう。前からいっているけど，見たことがない！」「じゃあな，カマンベール！」

学校で僕はいつも友達や年下の子を馬鹿にしている。たとえばルシは少し太っているだから簡単。僕は彼女をブブルと呼ぶ。ルシは内気だから言い返さない。僕は人が嫌がることをするのが好き。アランベールのことをふざけてカマンベールと呼ぶ．そうすると彼は怒る。僕はいつも人がいやがることを言って怒らせる。

ある日ピエールが歯の矯正の金具をしていた。ピエールは恥ずかしがっていた。彼は口を開けることや笑うことをためらっていた。僕は，からかってやろうと思った。

「おい。ピエールは口の中で電車の線路を作っているのか。それとも口の中に檻があるのか。鉄道だ！鉄道だ！気をつけろ！もし３キスをすると，電気火花が散るぞ。」

みんなが馬鹿笑いをした。ピエールは笑わなかった。ピエールは先生に言った。先生は怒った。先生は馬鹿にすることはいけないことだと注意をしてきた。今ではピエールとすれ違うとき僕は何も言わない。その代わり，僕は，面白がって電車の音をまねをする。ガタンガタン。

僕が，いじめるきっかけとなるのはこうだ。例えば，名字の中にボンジャンという発音があると，ジャンボンと言う。僕はとても小さい人や，とても太った人を馬鹿にするけど強い人は馬鹿にしない。でももし馬鹿にしても，その人がいやがらなければ面白くない。

この前ルシが変なワンピースを着ていた。それはジャガイモの袋に顔と腕の穴を開けたみたいだった。僕は馬鹿にしてみんなの前で，ルシのことをジャガイモの袋と呼んだ。僕はルシが泣いて立ち去ると思った。しかし彼女は笑って手を差し出して，言った。「初めまして私はルシ」僕は驚いた。次から，ルシを馬鹿にするのをやめた。

ある日健康診断の後，看護士が眼科に僕を連れて行くように僕の両親に手紙を書いた。二週間後，僕は変な眼鏡をつけなければならなかった。僕は一年生のときにセバスティアンが眼鏡をかけていたことを思い出した。僕は目が悪いことをばかにした。「蛇が眼鏡をかけているみたいだ。」

学校のみんなが僕を馬鹿にすることは確かだ。僕は既に落ち込んでいて何も考えられなかった。「どうしよう」

「ケヴィンどうしたの。」何か嫌なことがあったら言いなさいとママは言った。僕は，眼鏡をかけて学校に行きたくない。ママは驚きながらも，僕を安心させた。「似合っているわよ。」「でもママ，みんな僕をバカにするに決まっている。」「違うよケヴィンみんなそんな意地悪じゃない。」「けどみんな他の友達より僕を馬鹿にしたいと思う。」「どうして？」「みんなは僕の眼鏡を馬鹿にすると思う。なぜなら僕は学校でみんなを馬鹿にしているから。だから誰かが馬鹿にするとけんかをすると思う。」「それなら仕方がない。ケヴィンは友達にしてきた悪いことに気がつくでしょう。でもけんかをしてはいけません。」そしてママは行ってしまった。でもママが満足していないことがよくわかった。

月曜日の朝僕は恥ずかしがりながら学校へ行った。行きの道で僕はみんなに見られている気がした。彼らが話していると僕の悪口を言っている気がした。学校についてからもずっとそう感じていた。でも五年生は僕を馬鹿にしなかった。僕が去年馬鹿にしたセバスティアンが笑いながらいった。「ようこそ。お前も目が悪いんだな！」でも優しかった。

教室に入る前にたくさんの友達が僕を見に来た。しかし誰も僕を馬鹿にしなかった。アランベールだけが馬鹿にしようとした。彼は僕を「眼鏡をかけた蛇だ」と呼んだ。僕はけんかをせずに笑って答えた。「けどアランベール，僕の目はとてもきれいでガラスで守っているんだ。」アランベールは気分を悪くした。僕はカマンベールと呼ぶのをやめた。学校で他の子を馬鹿にすることをやめた。

よかった！幸せなことにみんなは僕みたいに意地悪ではない。

（多文化社会の反映）

アシェット社のフランス語教科書 ”Le bibliobus”（「移動図書館」）シリーズから，基礎学習期（小学校第１，２学年）用の第 14 巻

明日，アフリカ人になる

「ねえ，パパ。大きくなったら僕はアフリカ人になるよ。」パパはあくびをしながら答えた。「いい考えだね，シモン。お前はアフリカ人になる。お母さんは日本人，お父さんメキシコ人になる。じゃあ，そろそろおやすみ。」僕は目を細めて，口を曲げてパパを見た。「お前は，パパを驚かせようとしているかい。布団をかぶりなさい。もう寝る時間だ。」

僕はベッドに入って言った。「本当だよ。大きくなったらアフリカ人になる。」パパは僕のそばに座って笑った。「お前が大きくなればカメルーンやコンゴやケニヤへ旅行に行ける。でもアフリカ人にはなることは出来ないよ。」

「違うよ，なれるよ。友達のアフリカ人のフォファナもなれると言っているよ。」パパは大笑いした。「ほほう。フォファナとお前の考えはとても面白い。それならいつかアフリカ人に変身するのか。驚いたなあ。お母さんも驚くだろう。」

僕は腕を組んだ。パパは馬鹿にしている。僕は無視した。僕が大きくなったら黒い肌になりフォファナのようなアフリカ人になる。

パパは，僕をからかったことを許してもらおうとしてきた。「パパは，いつお前がアフリカ人になるかを知りたいな。」

パパは，知らないことが多い。僕がいつも説明をしなくてはいけない。パパは幸せなことに僕がいる。布団を深くかぶり，僕はパパの目を見て話した。

「フォファナと一緒に大きくなったらスーツケースを買って，飛行機に乗ってアフリカへ出発する。休みの間だけではなく，アフリカでずっと生活をする。僕たちはとても急いでいるから，飛行機がアフリカの上空を通るときにパラシュートを使って降りるんだ。風が僕たちを山や森や平野に運んでくれる。僕たち水辺の村に着く。そこにはフォファナのおじいさんが住んでいる。彼は大きな町が嫌いで彼の村が世界で一番美しいと言っている。そこに家を建てる。家は丸くて，木で出来た戸と屋根がある。でも寝るためにだけ使う。なぜなら他の時間は外にいるから。このように想像ができる。

朝にはカバと一緒に体を洗う。カバは子供と遊ぶのが好きなんだ。僕たちはカバの背中に登り，意地悪なワニの舌を引っ張って遊ぶ。ワニは怒って口を開け閉めする。でもワニ達は，僕の近くにカバがいるから，近づいてこない。そしてお腹がすくと，朝食にはアワのガレットがありココミルクをつけて食べる。生オレンジジュースもある。とてもおいしいんだ。

大きくなると学校には行かない。僕は，大きくなるけど大人ではない。一日中遊ぶことが出来る。遊ぶことが僕たちの仕事だ。だからフォファナと一緒に草原でかくれんぼをする。草の丈が高いので，鼻がくすぐったく，僕たちはよく笑う。笑うことはまじめなこと。それは僕たちの仕事だ。

その後シマウマに乗り太陽の下で寝ているライオンの上を飛び越える。とても怠け者のライオンが起きるとき僕たちはシマウマに乗って既に遠くにいる。彼らは僕たちに追いつけない。川のそばでシマウマの群れが水を飲んでいる間に僕たちは山に登る。その山は雲より高い。僕たちは解けることのない雪に触るため頂上に登る。頂上ではすべてがより美しく見える。僕たちは満足すると山から滑り下りる。ワアー！面白い！下につくと草原の中を駆け回り草を払いながら立ち上がる。

太陽が一番高くなる頃には，とても暑くなっているだろう。だから森の木の陰に入る。僕たちはゴリラやチンパンジーに会いに行く。彼らは僕たちにたくさんの芸を教えてくれる。僕たちは

午後に行われる顔芸のコンクールでは賞をもらう。なぜなら僕たちは彼らよりも顔芸が得意だから！

おやつには，のんびりと生オレンジジュースを飲み，マンゴーやバナナを食べる。僕たちはもう一度泳ぎ，カバのお腹をくすぐる。怒ったワニを馬鹿にする。

そして夕方が来る。。。

フォファナのいとこが太鼓を取り出す。太鼓を叩くにつれ，日も沈む。フォフォナのおじいさんが話し始める。魔法の話やしゃべる動物の話やあくびをする木の話。その話の後，僕たちは大きなバオバブの木に上り，像の歌を聞きながら寝る。そして夜になるんだ。」

「こんな感じかい？」パパは電気を消しながら尋ねた。

僕の部屋には小さな光があるだけだ。

「そんな感じ。」僕は答える。夜中には光がないからフォファナと僕は同じ肌の色だ。パパもフォファナのパパと少し似てくる。パパは何も言わずに僕を見る。暗闇の中で僕は丸い目と白い歯しか見えない。

「パパは僕が大きくなったらアフリカ人になると思う？」

「シモン，それはとてもいい話だ。でもフォファナのおじいさんの村がお前が想像しているのと同じかどうかはわからない。」「どうして？パパはもうアフリカへ行ったの？」「行ってない。」後悔しながら言った。「さあ寝なさい！寝ないと明日疲れるよ。学校でフォファナと遊べなくなるよ。」

僕は目を閉じた。フォファナと遊ぶためなら寝よう！「おやすみなさい」パパは小さい声で言い，たくさんキスをした。頭をなでて部屋を出た。「すばらしい想像力だ。すごいなシモン。」

僕は髪を整えた。パパは分らなかったけど僕の髪の毛はカールし始めていた。もうすぐフォファナの様な黒くて巻き毛の髪になるだろう。パパはそれを馬鹿にするだろう。でも僕にはわかる。僕は大きくなったらアフリカ人になる。

（藤井穂高）

２．３．４　ドイツ

（人間関係）

Kunterbunt Lesebuch 2 （Klett）

わたしーきみーわたしたち（76-89 頁）

週にぼくはよくおじいさんとおばあさんといっしょにいる。ぼくのお母さんは一日はたらいている。

しかし，夜には時間がある。週末，ぼくたちはたいてい何かをいっしょにする。

ティーノ　７歳

わたしのいもうとは今やっと１歳。ほんとうにかわいいけれど，よくわたしをいらいらさせる。わたしのパパは一日家にいて，おかあさんははたらいている。

アンネ　８歳

ぼくはドイツで生まれた。ぼくはトルコ語よりもドイツ語をじょうずにはなす。しかし，ぼくたちは家でたいていトルコ語をはなす。ぼくの両親はそれをのぞんでいる。

セヴダ　８歳

ぼくの家族，おとうさんとおかあさん，二人の姉妹とぼく。ぼくたちはみなすごく好き。けれど，ときどき両親は，ねえさんがぼくと車いすでぐるぐる回ると，おこる。ぼくたちはすごく楽しいのだけど。ときどきぼくたちも，テレビのことなどでけんかをする。

ミルコ　８歳

フランツの愛のものがたり（78 頁）

フランツはたくさんの人を愛している。
かれのママとパパを愛している。
かれのおばあさんとかれのおにいさん，ヨーゼフを愛している。
となりに住んでいるガービを愛している。
かれと一緒に学校に行くエーベルハルト・モストを愛している。
それから，かれは三人のおばさんを愛している。

ママ，パパ，おばあさん，ヨーゼフ，ガービ，エーベルハルト，３人のおばさんもフランツを愛しているから，フランツは愛について大きな問題はない。

フランツにとって愛することは，二人が互いに好きで，互いにすごく幸せであること。

（互いに好きな二人は，その間にときおり，少しけんかをしてもよい。）

クリスティーネ・ネストリンガー

けんかの後で（79 頁）

悲しいこと，
ひとりぼっちと
感じること，
それがどんなことであるか
きみは知っている？
きみはぼくに
キスすらせずに，
「おわり，
ねる時間」という。
ぼくは横になっている
ひどくはらをたてて。
すごくちょうしがわるい。

レギーナ・シュヴァルツ

パンク（80–81 頁）

ママは動物園にいた。ママはサルが大好き。
ユーリアも動物園にいっしょにいた。マックスもいっしょにいた。

かれらは車で家にかえる。車の低い音がする。
ママは何ということもなく口ずさむ。
とつぜんガタガタと音がし，音はだんだん大きくなる。
ママは車を止め，おりる。

タイヤがパンクしている。
「わたしは直せない」，ママは途方にくれて言う。
「それはパパがするの！」　しかし，パパはいない。
「さあ始めよう！」とママは言い，
力づよくそでをまくり上げる。

ママは車をもち上げる。
ジャッキがママをたすける。

ママはボルトをゆるめる。
スパナがママをたすける。

ママは車輪をおろす。

それはママは一人でする。

ママは車のトランクから予備のタイヤをとりだす。
ユーリアがママをたすける。

ママは予備のタイヤをあいたところにもち上げる。
マックスとユーリアが手伝う，
けれどママは一人でそれをやろうとする。

ママはボルトをしめる。
スパナがママを助ける。
ママは車を下におろす。
ママはにこにこと笑っている。

ママはパンクしたタイヤをもつ。
ユーリアはジャッキをもつ。
マックスはスパナをもつ。
すべてがトランクにおさまる。

ママはトランクをバタンとしめる。
「わたしはいまそれができる」，ママはまんぞくそうに言う。

それからかれらは車で家にかえる。
ママは原始林のサルのうたをうたう。
マックスとユーリアはいっしょにうたう。車の中はすごくうるさい。

ウーテ・アンドゥレーゼン

隣ー大さわぎ（82 頁）

となりの女性が叫ぶ：　「いまおたくの子どもたちの騒音がきこえます！
ほんとうにこのままではダメ！」
おかあさんが聞く：　「何て言いました？」
となりの女性が叫ぶ：　「このままではダメ！
おたくの子どもたちはうるさすぎるの！」
おかあさんが叫ぶ：　「あなたの言ってることが理解できません！」
となりの女性が叫ぶ：　「おたくの子どもたちはうるさすぎるの！」
おかあさんが叫ぶ：　「何ですって？　何を言いたいの？」
となりの女性が叫ぶ：　「私が言いたいのは，おたくの子どもたちがうるさすぎるってこと！
この騒音にはだれも耐えられないわ！」
おかあさんが叫ぶ：　「ごめんなさい，あなたの言ってることが理解できないわ！

わたしの子どもたちがかなりうるさいの。」

エリザベート・シュティーメルト

食器をかわかす（83 頁）

（早く話す）
Nass nass nässer
Gut gut besser
Ich die Gabel, du das Messer

Hell hell heller
Schnell schnell schneller
Ich did Gläser, du die Teller

Nass nass nässer
Gut gut besser
Hell hell heller
Schnell schnell schneller

Klirr Klack Klick
Klick Klack Klirr
Hin ist das Geschirr!

ハインツ・ヤニシュ

小さな弟，大さわぎ（84–86 頁）

たいていの日，何もかもうまくいかない。
そのとき，赤ちゃんが夜中ずっとずっとずっと大きな声でわめいた。
そのとき，ママは，夜中バラ色の綿を両方の耳につめこんでいたので，目覚まし時計を聞かない。
パパも，疲れていて赤ちゃんの世話にいらだっているので，目覚まし時計を聞かない。
クララはそのときいいかげん急がなければならない。
髪どめをさがす時間はない。
着がえのためにパパがよれよれの赤いズボンをみつける。
パパはいそいでクララのたんすをひっかきまわす。
そして朝ごはんはすごく落ち着かないいそいだ朝ごはん。ずっと遅れて教室にこっそりやってくると，もちろん子どもたちは見る。
先生は，クララがなぜそんなに時間を守らないかたずねる。
すると，クララはどうしていいか分からないので，一言もしゃべらない。
昼にママは赤ちゃんクラブ，たくさんの赤ちゃんが部屋にいて，おむつをしている。
クララはしゅくだいをしなければならないが，いたるところすごくうるさい。

ママの友だちのピアはクララのノートを見ようとするが，クララはピアがきらいなので，見せようとしない。
「それはわたしのノート，そのうち見せる」とクララはぶつぶつ言う。
ママはおこり，氷のような冷たい声でクララがすごくあつかましいと言う。
そして，ママはクララのノートをさっとつかみ，ピアの目のまえにつきつける。
クララはこぶしをにぎる。
そして，ピアの太った赤ちゃんのあしをさっとつねる。
強くではない。しかし，赤ちゃんはとつぜん泣きだす。
ママがロケットのようにやってきて，クララのうでをがっちりとつかむ。
クララはすすり泣きそうになる。しかし，泣かない。
クララはいそいで自分の小さな弟をつねる。弟もすぐに泣きだす。
それからクララは子ども部屋に入り，ドアをばたんとしめる。
ママが後から入ってきて，しかる，しかる，しかる。

ヤーナ・フレイ

きみが必要とする人（87 頁）

キスをし，目かくしをする人，
いたずらをする人。
虹をさがしにいき，
地面にすわる人。
わめいたり，しずかでいたりする人
笑い，泣く人。
とにかく，きょうもあすも，毎日
きみのことを好きな人。

レギーナ・シュヴァルツ

助　言　（88-89 頁）

＜書く＞

77 頁について

きみの家について，短い文章を書きなさい。
他の人は何にきょうみをもつでしょう？
きみはきみの何について伝えたいですか？

＜遊ぶ＞

83 頁について

食器をかわかす

この詩は，きみたちが分かれて読むならば，よく響きます。最初の人は最初の節をまったく普通に読み，次の人は少し早く読み・・・そしてさらに早く。

＜読む＞

80・81 頁について

パンク

「パンク」の話は，ウーテ・アンデルセンが『ママはすべてをみいだす』に書いたものです。そこには，賢いママについてたくさんの話が載っています。また，ウーテ・アンデルセンは，ある父親との体験についてすばらしい本を書いています。それは『慌しい中のパパ』という本です。

＜考える＞

87 頁について

きみが必要とする人

あなたは何のためにだれを必要としますか？

＜さがす＞

次の問題の答えをこの章の文章の中からみつけなさい。

（77 頁） 週にしばしばおじいさん，おばあさんといるのはだれですか？

（？） 車いすをもっているのはどの子ですか？

（？） フランツはだれを愛していますか？ ガービですか，グレタですか，ガブリエラですか？

（81 頁） 原始林のサルのうたをうたっているのはだれですか？

（？） ママはなぜ目覚まし時計が聞こえないのですか？

＜遊ぶ＞

82 頁について

隣ー大さわぎ

二人の女性がじっさいに話しているように，分かれて文章を読みなさい。

何回も読んだなら，暗唱することができます。

また，自分の文章を補うこともできるでしょう。

すべての場面を演じなさい。

＜調べる＞

82 頁について

隣ー大さわぎ

短い文章で演じるならば，それはまだ脚本ではありません。

それは一つの場面です。

“Lesedetektive“ について，それがどのような概念であるか，調べなさい。

＜考える＞

80・81 頁について

パンク

ママはタイヤを代えた。

その後でまんぞくそうに言った：

「わたしはいまそれができる！」

あなたはいつ言いますか？：

「わたしはいまそれができる」

（長島啓記）

２．３．５　ロシア

（人間関係）

プロスヴェシェーニエ社『ロドナヤ・レーチ（故郷のことば)』2005 年版，第２学年用 第２巻

Климанова, Л.Ф., Горецкий, В. Г., Голованова, М. В., *Родная речь*, Учебник для 2 класса начальной школы, Часть 1 и 2, 3-ое издание, Москва, Просвещение, 2005

「私と私の友だち」の章所収

まほうの言葉（87～93 頁）

ワレンチナ・アレクサンドロヴナ・オセーエワ著

長い白ひげをはやした小さなおじいさんが，ベンチの上にすわって，かさで地面の上に何かを描いていた。

「ちょっとつめてください。」とパーブリクはおじいさんに言って，ベンチのはしにこしかけた。

おじいさんはちょっとわきに身を動かし，少年のまっ赤な怒った顔をみつめて，こう言いました。

「君，何かあったのかい？」

「ふん，いいんだよ！おじいさんに何かかんけいあるかな？」パーブリクはおじいさんをにらみつけた。

「わたしには何もかんけいないけれど。でも君はたった今どなって，泣いて，だれかとけんかしたのだろう・・・」

「あたりまえだよ！」と少年ははらただしげにつぶやいた。「ぼくはもうすぐ家出するんだ。」

「家出だって？」

「家出するんだよ！レーンカひとりのせいで家出するんだ。」パーブリクはこぶしをにぎりしめた。「ぼくは今あやうくレーンカにたたかれるところだったんだ！クレヨンを一本もくれないで！自分は何本ももってるのに！」

「くれないって？それで家出をするほどのことでもないじゃないか。」

「それだけじゃないんだ。おばあちゃんはニンジン一本のためにぼくを台所から追い出したんだ。本当にけちで，けちで・・・」

パーブリクはくやしさのあまり鼻息があらくなりました。

「つまらないことだねえ！」とおじいさんはいいました。「悪口を言う人もいれば，かわいそうに思う人もいるよ。」

「だれもぼくのことなんかかわいそうに思ってなんかいないよ！」パーブリクは叫んだ。「おにいちゃんは船をこぎに行くのだけど，ぼくはつれて行ってもらえないんだ。ぼくはおにいちゃんに『ぼくを連れていった方がいいよ。どっちにしたってぼくはおにいちゃんからはなれないよ。オールをとってひとりで船にしのびこむからね！』って言ってやる。」

パーブリクはこぶしでベンチをたたいた。そして突然だまりこくった。

「どうしておにいちゃんは君をつれていってくれないんだい？」

「おじいさんはどうしてぼくに質問ばかりするの？」
おじいさんは長いあごひげを何度もなでました。
「わたしは君を助けたいのだ。こんなまほうの言葉がある・・・」
パーブリクは口をあけた。
「君にそのことばをおしえよう。でもおぼえておいてほしい。そのことばを言うときは，話す相手の目をまっすぐに見つめて，小さな声で言わなければならない・・・」
「それで，どんなことばなの？」
おじいさんは少年の耳元に身をかたむけた。おじいさんのやわらかなあごひげがパーブリクのほほをくすぐった。
おじいさんは何かをささやくと，大きな声でつけたした。
「これがまほうのことばだ。でも，どのようにそれを言わなければならないか，忘れてはいけないよ。」
「ためしてみるよ。」パーブリクはにやにやした。「今すぐためしてみる。」パーブリクはベンチからとびあがり，家に向かって走っていった。
レーナが机に向かって絵を描いていた。緑，青や赤のクレヨンがレーナの前に置かれていた。パーブリクに気づくと，レーナはそれらを山にして手の中にかくした。
「おじいさん，だましたな！」少年はくやしく思った。「こんなやつにまほうのことばがきくのだろうか！」
パーブリクはおねえさんのすぐそばまで近づいて，手をひっぱった。おねえさんはふりむいた。そのとき，おねえさんの目をみつめながら，少年は小さな声でこう言いました。
「レーナ，ぼくにクレヨンを一本ください。・・・おねがいします・・・」
レーナは大きく目をみはった。レーナの手のひらが開き，机から手をはなし，びっくりしながらつぶやいた。
「何色がいいの？」
「青いの」とパーブリクはこわごわと言いました。
パーブリクはクレヨンをとって手でにぎりしめ，クレヨンをもって部屋を歩き回ると，おねえさんにそれをわたした。パーブリクにはクレヨンはひつようなかった。彼はもうまほうのことばのことしか考えていなかった。
「おばんさんのところへ行こう。ちょうど料理をしているころだ。ぼくをおいだすかどうか？」
パーブリクは台所のドアをあけた。おばあさんは焼き板からあついピロシキをとりあげていた。
まごはおばあさんのところにかけより，両手で，赤いしわしわの顔を自分の方へ向けると，目を見つめ，つぶやいた。
「ぼくにピロシキをひとかけください。・・・おねがいします・・・」
おばあさんはせすじをまっすぐにした。まほうのことばが，このように，しわの一つ一つ，目に，微笑みに，かがやきはじめた。
「あたたかいのを，あたたかいのを，わたしのかわいい子がほしいって！」とおばあさんは，こんがりときつね色にこげたいちばんおいしいピロシキをえらびながら言った。
パーブリクはうれしくなってぴょんとはねて，おばあさんのりょうほうのほほにキスをした。
「まほうつかい！まほうつかいだ！」と，パーブリクはおじいさんのことを思い出しながら心のなかでくりかえした。

夕食のとき，パーブリクはしずかにすわり，おにいさんの話すひと言ひと言に耳をかたむけた。おにいさんが船をこぎにいくと言ったとき，パーブリクはおにいさんの肩に手をのせて，小さな声でたのんだ。

「ぼくもいっしょにつれていってください。お願いします。」

食卓ではみながだまってしまった。おにいさんはまゆをあげてにやにやとわらった。

「彼をつれていきなさいよ」とおねえさんがとつぜん言った。「どうしてじっとしているの！」

「つれていかない理由はないよね？」とおばあさんはほほえんで言いました。「もちろんつれていきなさい。」

「お願いします」とパーブリクはくりかえした。

おにいさんは声をたてて笑い，少年の肩をたたき，髪をなでてくしゃくしゃにした。

「すごいな，おまえは旅なかまだ！じゃあいいな，じゅんびをしなさい！」

「うまくいった！またうまくいった！」

パーブリクは食卓からかけだして，外へ走っていった。でも辻公園におじいさんはもういなかった。ベンチにはだれもおらず，地面の上にかさで描かれた何かわからない記号がのこっているだけだった。

良い人間は良いことも学ぶ。

良い人間は良いことにつつまれて１００年生きる。

？

1．ことばがまほうになることはありますか？あなたはそれをどのように理解しましたか？この問いに，V. オセーエワはどのように答えていますか？
2．このお話しのなかのおじいさんをマーグ，チャロデイ，ボルシェヴニク，コルドゥン（訳註：いずれも「魔法使い」の意）と名付けることはできますか？あなたはどのような言葉をえらびますか？
3．パーブリクがおじいさんと出会ったとき，どのようにふるまったか，話してください。次の言葉に注意してください。怒った顔，怒ってつぶやいた，こぶしをにぎった，さけんだ，こぶしでベンチをたたいた。これらの言葉は何をものがたっていますか？
4．パーブリクがまほうの言葉を知ってから，どのようにふるまいが変わったか，調べなさい。
5．パーブリクが自分たちに親しい態度を感じたとき，パーブリクの親族をおどろかせることになった言葉と表現にしるしをつけなさい。
6．まほうの言葉にはどのような力があるか，せつめいしなさい。

（人間関係）

「冗談でもあり真面目でもあり」の章所収

お近づきになりましょう！（153～158 頁）

グリゴーリー・ベンツィオーノヴィッチ・オーステル著

親愛なる子どもさん，こんにちは！

君に書いているのは児童文学者です。その児童文学者とは，私です。私の名前はグリゴーリー・オーステルです。君の名前を私は知りませんが，あててみましょう。それから，もう一つあててみましょう。君は何かおとぎ話を聞きたいと思っていますね。もし私の推測があっていれば，聞いてください。でももし私の推測がまちがっていたなら，聞かないでください。おとぎ話はどこかへ消えてしまうことはなく，君を待っています。聞きたいなと思ったときにいらっしゃい。そして，はじめから終わりまで聞いてください。

でも，君，親愛なる子どもさん，それでもあまりぐずぐずしないでくださいね。というのは，大人にになると，ゾウさん，おさるさん，ウワバミやオウムのおとぎ話を聞くのはそんなにおもしろくはなくなるからです。

このゾウさん，オウム，ウワバミとおさるさんはアフリカに住んでいました。

彼らは毎日集まって，何かおもしろいことを考え出していました。さもなければ，ただおしゃべりしていました。さもなければ，おさるさんがおかしな歌を歌い，ウワバミ，ゾウさんとオウムはそれを聞いてにやにやしていました。さもなければ，ゾウさんがかしこい質問をして，おさるさん，オウムとウワバミが答えました。さもなければ，ゾウさんとおさるさんがウワバミをつかんで，なわとびのなわのように振り回し，オウムがそれを飛びました。

そして，みんな陽気でした。とくにウワバミが。ゾウさん，オウム，ウワバミとおさるさんは，おたがいが知り合っていっしょにあそべることを，いつもうれしく思っていました。だから，おさるさんがあるとき次のように言ったとき，みんなおどろきました。

「あーあ，わたしたちおたがいに知り合って，なんてざんねんなんでしょう！」:

「いったい君はぼくたちにかんしんがないのかい？」とオウムはむっとしました。

「いいえ，あなたはわたしのことわかっていないわね！」とおさるさんは手をふりました。「わたしはそんなことを言いたかったのではないの。わたしは，もうすでにわたしたちが知り合いになっていることをざんねんに思ったのよ。もういちどはじめから出会ったらおもしろくないかしら。わたしはゾウさん，あなたのようにとってもやさしい方と知り合いになれたら，オウムさん，あなたのようにかしこい方と知り合いになれたら，ウワバミさん，あなたのように長い方と知り合いになれたら，とってもうれしいわ。」

「ぼくも」とウワバミは言いました。「おさるさん，君と知り合いになれたら，ゾウさん，君と知り合いになれたら，そしてオウムさん，君と知り合いになれたら，とってもうれしいよ。」

「ぼくも」とゾウさんは言いました。「ぜひそうしたいよ。」

「でも，わたしたちはもう知り合いじゃないか！」とオウムは肩をすくめました。

「だからわたしが言っているのでしょ。」とおさるさんはためいきをつきました。「なんて，ざんねんなんでしょう！」

「友よ！」とウワバミはとつぜん言って，しっぽをふりました。「それならどうして，わたしたちはもういちど知り合いになろうよ！」

「二度もつづけて知り合いになるなんてぜったいにできないさ！」とオウムは言いました。「だれかと知り合いになったら，それはいつまでもずっとということなんだ。もうしかたがないのだよ。」

「でもぼくたちはね」，とゾウさんがつづけました。「またはじめから，いきなり出会うことに

しようよ！」

「そのとおり！」とウワバミが言いました。「わかれて，それからぐうぜん出会って知り合いになろう。」

「えー！」ゾウさんはしんぱいになりました。「でもぐうぜん会えないのでないだろうか？」

「いや，それはべつにこまったことにはならないよ。」とオウムが言いました。「もしぐうぜん会えなかったら，そのあとでわざと会えばいいのだよ。」

おさるさんは手で両目をかくして，さけびました。

一，二，三，四，五！
これからあなた方のことは知らないことになります！
行ったりきたりして，あちこちに走って行って，
もういちど出会えますように！

おさるさんが目をあけると，だれもいなくなっていました。それから，木のかげから，ゾウさんが出てきました。草のなかから，ウワバミが出てきました。そしてかんぼくの上からオウムがとび出しました。みんなおたがいを，したしみをこめてみつめあい，じこしょうかいをはじめました。

おさるさんはオウムの羽をにぎりました。オウムはゾウさんのはなをにぎりました。ゾウさんはウワバミのしっぽをにぎりました。そして，みんなおたがいに「お近づきになりましょう！」と言いました。それから，こういいました。「お知り合いになれて，とってもうれしかったです！」

そしてそれは，本当にうれしいことでしたので，それいらいかれらは毎日２回じこしょうかいをすることになりました。朝は，みんなであつまったときに，そして夜は，ねにかえるまえにさようならを言うときに。

（『しっぽのたいそう』の本より）

？

１．作家がまずあなたに自己紹介したこと，あなたへの接し方は，気に入りましたか？
２．このおとぎ話の登場人物の名前をあげなさい。彼らはおたがいにどのようなたいどをとり，いっしょに集まると何をしましたか？
３．彼らはおさるさんの言葉になぜおどろいたのでしょうか？彼女は何を提案しましたか？
４．動物たちがどのように自己紹介の場面を演じたのか，話してください。この遊びは気に入りましたか？この場面を自分の友だちと演じてみてください。
５．動物たちはなぜこの遊びを何度もしたのでしょう。
６．あなたはだれかと知り合いになることができますか？

（澤野由紀子）

２．３．６　フィンランド

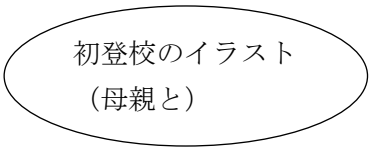
Söderström 社『国語読本第１　上下巻』（Läseboken Ia och Ib, 2004, 2005）

①入学当初

（p. 6　語彙数 5）

A a

―ワーイ，アッランは叫んでいます。
　アッランは嬉しいのです。



（p. 7　語彙数 24）

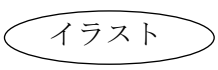
A a

アッランは登校の途中です。
彼は校庭を見ています。
そこにはすでに多くの子供がいます。
アッランは，エミル，ミッラ，それにシモンを見ています。
彼らは入口のところに立っています。

（p. 8　語彙数 45）

A a

　　クラスで
すべての者が教室に入りました。
―皆さんお早う，とレナ先生が言います。
―お早うございます，と生徒が答えます。
教室の中は暖かいです。
アッランは喉がかわいています。
彼は休みの間にフットボールをしたのです。
彼はペットボトルを取り出し飲んでいます。
―今日，私たちは a で始まる単語を書きましょう，とレナ先生が言っています。



（p. 9　語彙数 0）

A a

（イラストのみ）

(p. 10　語彙数 8)

L l

a l　　al　　AL

l a　　la　　LA

a l l a　　alla　　ALLA

リン　　ここにリンがいます。
リンはアッランの妹です。
リンは５歳です。

イラスト

(p. 11　語彙数 30)

L l

リンはアッランと遊びたいのです。
―邪魔しないで，ボクは宿題を読んでいるのだよ，とアッランは言います。
実はアッランは母に向って読みたかったのですが母はお食事を作っているのです。
―ちょっと待ってちょうだい，まず最初にお食事をしましょう，と母は言います。

(L l　練習スペース)

(p. 12　語彙数 46)

L l

リンは不機嫌なのです。
リンは食べたくないのです。
すべてのものについて少しはお食べなさい，と母は言います。

イラスト

アッランはリンが食べるのを待ちます。
彼は食事の後，リンと遊ぶのが好きです。
リンは学校遊びがしたいのです。
彼女は先生になりたいのです。
アッランはリンに従わなくてはなりません。
彼は良い生徒になることでしょう。
―読みなさい！とリンは言います。
アッランは彼女のために彼の読みの宿題を読んでいます。

(p. 13　語彙数 13)

L l

・リンが不機嫌なのはなぜだと思いますか？
・皆さんは不機嫌の時はどうしていますか？

②１学期末のクリスマス

(p. 86　語彙数 47)

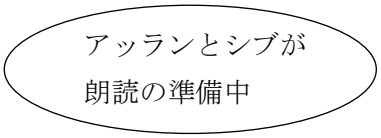
旅行	行く	農場	サイコロ遊び	型
フレドリク	ジュース	フィンランド語	幻想	コーヒー

F f

クリスマスの行事

これは学校でのクリスマスの行事です。
アッランとシブは‘トムテボー子供’からの詩を読むことになります。
他の子供は出来事のある部分を示すことになりましょう。
彼らはドレス・アップしています。

講堂には，祖母と父が座っています。
アッランの祖母と祖父が，母のために席をとっています。



(p. 87　語彙数 140)

F f

彼らは興奮しています。アッランとシブはハンドマイクを手にしています。アッランは神経質になっています。

レナは開始の信号を送ります。アッランは自身でせきばらいをします。それはマイクに響きます。シブはクスッと笑います。アッランはほほを赤らめレナを見つめます。彼女は視線を送りうなずきました。

アッランは読み始めました。

その昔，一人のトムテが静かな茂みの中に住んでいました。

彼は森の静かで平和の中に彼の妻と共に住んでいました。そして彼らは奇妙で小さいが，上に白いポイントのある大きな赤い帽子をかぶった５人の子供をもっていました。

アッランとシブは，レナが選んでくれた詩を交互に読みました。そして他の

子供が取扱っている部分を絵で示しました。最後の詩の部分を読んだのはシブです。

このようにして，彼らは森の中で来る日も来る日も楽しく暮らし，そして彼らは歓びに満ち，皆さんも私と同様にこの物語を好んでおられるのです。ご自身でどれだけ多くのことをお持ちになられましたか。決して終わることがないおとぎ話を聞く時，どうかご自身でお考えになって下さい。

(p. 88　語彙数 80)

Ff

家族でクリスマスを祝います

アッランとリンが気付きます。それはハムの臭いです。

彼らは身なりを整えます。

母は穀物入れの底に一つのつつみ紙を用意しています。

リンの包みにはモデルがあります。アッランの包みにはクレイヨンが入っています。

サンタを待っているのにはそんなに時間がないので，彼らは何もすることがありません。

魚と肉のサラダを作るために間もなく皆は台所に集まります。アッランはキウリを切り，リンは人参を切ります。

サラダが作られる時はクリスマスがゆの日です。

オレンジもそのリズムのために必要です。アッランはそのリズムをしっかりしたものにするために考えています。

(p. 89　語彙数 51)

Ff

夕方彼らの両親も台所にやってきました。祖母と祖父もまたやってきました。

祖母は母と一緒に台所を掃除しています。夕べの食卓は素敵なテーブルクロスでおおわれています。クリスマスの夕食は，より多くのお皿，種類，それに長い時間をかけるものなのです。彼らは焼いた皿物と共にサラダ，たら，ハムを食べます。

アッランは窓を通して外を眺めます。彼は何かの音を聞きました。サンタがやって来たのでしょうか？

・皆さんのお家にサンタがやって来ますか？

③学年末の自然探査（総合学習）

(p. 110　語彙数 123)

自然探査

アッランのクラスは海岸への散策へ出かけようとしています。

―私たちは，それぞれ自然観察をしましょう，とレナ先生が言います。

目をしっかりと開け，皆さんが自然の中で見たものを書きなさい。

子供たちは自身で書くための鉛筆，画用紙をもっています。彼らは二つに分れ，二つの長い列となりました。海岸にやって来た時，彼らは自由に移動することを得ました。彼らはレナ先生が彼女の笛を吹く時，すなわち３０分で最初の集合となります。

アッランとエミルはいくつかの自然発見をした後にあるものを見ました。地上にいくつかのキャンディの紙とプラスティックの破片を見付けました。

―これはいけない，とエミルは言います。

―いや，しかしここで見付けたのだ，おろかなこと！

そんなに時間をおくことなく，彼らは海かもめの呼び声を聞き，湾の向うに飛んでいるいくつかの鳥を見ました。それらは単に笑ってすまされることではなく，彼らは大きな頭と赤い足を持っています。アッランはペンを取り出しました。

(p. 111　語彙数 31)

（２人が鳥を観察）

―ボクは書く，黒い頭のカモメを

エミルはさらに海に向って広く目を見張りました。

―あの白黒の鳥はケワタガモだ，

と彼は言っています。それはおすで，めすは褐色です。

アランにとってはそれは確信が持てなかったのですが，彼もまたケワタガモをノートに記しました。

(p. 112　語彙数 71)

そこにミラとシブがやって来ました。

―いくつあなたたち探し当てたの？とミラが尋ねます。私たちすでに５つの植物と動物を画きましたよ，とも。

―ボクたち１３も，そしてこうして話しているうちに１４も！とアッランはうそをついています。

ボクはすぐ書かなくてはならない，奇妙な外見をし声を出して叫ぶ未知の動物を，と。

エミルはくすくす笑いましたが，少女たちは何かもごもご言いながら，彼らの道へと走り去って行きました。

・自然発見ではない何をアッランとエミルは見付けたのですか？
・一度ならず子供たちはどんな鳥を知りますか？
・アッランがうそを言い，また冗談をいっているのを皆さんは好きですか？

(p. 113　語彙数 62)

先生と子供たち

アッランとエミルはレナ先生が笛を吹くまで自然探査の一瞬の時間が経過しました。彼らは丘の集合場所へ走って行きます。さて他の子供たちはそれぞれの場所から走って帰って来ました。
レナ先生は生徒を数えます。
―……１７，１８，１９，２人いない！　誰がこぼれちゃったのかな？
ヨーナスはそれを知っていて，
―ダビッドとテームがここにいません，と。
そこでレナ先生はもう一度正確に笛を吹きました。
―皆さん，何か興味あるものを見付けましたか？
レナ先生はややあって尋ねました。

(p. 114　語彙数 68)

ミラとシブが最初に話しました。
―私たちはいくつかの貝殻を集めました。
―私たちが見付けたものをご覧下さい！
―素敵，これは貝の一種とレナ先生が言います。
しかしダビドとテームはどこに？
レナ先生は心配そうにしているのが分かります。
湾から落っこちていなければよいのだが？
人びとは自然発見の後，ちょっと砂の湾のしげみと木の間で休んでいるのでは。
長い休みをとり動けなくなっているのでは。
―さあ，少し動いて，少年たちを待ちましょう，とレナ先生が言います。

２少年

(p. 115　語彙数 103)

そう言って間もなく彼女は，松の木の間から２人の人影を見ました。まさにそれこそダビデとテームです。彼らは全速力で走って来ました。

―ボクたち遅れてごめんなさい。と息せき切って。ボクたちすてきなカブト虫を見付けたのです。皆さんのために持ってきました。ご覧下さい！

ダビデはマッチ箱を用意していました。

そこには一匹の光り輝く緑のカブト虫が横たわっていました。

子供たちはその発見を賞讃しました。しかしエミルは次のように言います。

―なぜお前さんを見付けたのか，お家では見付けることができないのに―

レナ先生は時計を見ています。

今や学校に戻る時刻なのです。

まとめ

・自然探査に出かけた生徒は何人ですか？

・ミラとシブは貝のほかに何を見付けましたか？

・人びとは自然の中でどのように自身行動すべきでしょうか？

（中嶋　博）

３　国語教科書の語彙と文章の性質の分析

３．１　語彙分析

語彙数等の比較表

国名		総語彙数	抽象語彙数	
アメリカ		2,337	20	0.9%
イギリス		2,254	28	1.2%
フランス（１分冊）		1,109	15	1.4%
ドイツ		3,385	24	0.7%
ロシア*		566	25	4.4%
フィンランド（単語集）		223	35	15.7%
日本（平均）		925	1	0.1%
	東京書籍	1,002	0	0.0%
	大阪書籍	936	0	0.0%
	学校図書	1011	0	0.0%
	教育出版	768	4	0.5%
	光村図書	906	0	0.0%

＊ロシアは次の教科書の一部分をサンプル調査した。

プロスヴェシェニエ社『ロドナヤ・レーチ』2006 年版　第 2 学年用第 2 巻（全 223 ページ）単元〈私と私の友だち〉所収

ワレンチナ・アレクサンドロヴナ・オセーエワ作『まほうの言葉』pp. 87～92（6 ページ分）

＊参照資料：国別語彙一覧，国別抽象語彙一覧（後掲）

３．２　文章分析

文章の種類と数

国名		総文数	複文	重文	単文*	その他*
アメリカ		984	152	150	673	9
		100.0%	15.4%	15.2%	68.4%	0.9%
イギリス（小計）		1248	429	98	721	0
		100.0%	34.4%	7.9%	57.8%	0.0%
	フィクション	823	293	62	468	0
		100.0%	35.6%	7.5%	56.9%	0.0%
	ノンフィクション	425	136	36	253	0
		100.0%	32.0%	8.5%	59.5%	0.0%
フランス（１分冊）		341	33	68	212	28
		100.0%	9.7%	19.9%	62.2%	8.2%
ドイツ		1,809	632	171	1,006	0
		100.0%	34.9%	9.5%	55.6%	0.0%
ロシア*		106	8	15	78	5
		100.0%	7.5%	14.2%	73.6%	4.7%
日本（平均）		553	26	9	518	-
		100.0%	4.7%	1.6%	93.7%	-%
	東京書籍	572	35	11	526	-
		100.0%	6.1%	1.9%	92.0%	-%
	大阪書籍	614	28	17	569	-
		100.0%	4.6%	2.8%	92.7%	-%
	学校図書	573	27	5	541	-
		100.0%	4.7%	0.9%	94.4%	-%
	教育出版	430	25	8	397	-
		100.0%	5.8%	1.9%	92.3%	-%
	光村図書	573	16	2	555	-
		100.0%	2.8%	0.3%	96.9%	-%

＊「単文」には一語文を含む。「その他」は混文（重文＋複文），命令文など。

＊ロシアは次の教科書の一部分をサンプル調査した。

プロスヴェシェニエ社『ロドナヤ・レーチ』2006 年版　第 2 学年用第 2 巻（全 223 ページ）単元〈私と私の友だち〉所収

ワレンチナ・アレクサンドロヴナ・オセーエワ作『まほうの言葉』pp. 87～92（6 ページ分）

〈資料１〉国別語彙一覧

１．アメリカ

1 a
2 able
3 about
4 above
5 accept
6 accepted
7 accident
8 across
9 act
10 actor
11 acts
12 add
13 added
14 adds
15 adopted
16 advantage
17 afraid
18 after
19 afternoon
20 afterward
21 again
22 age
23 ago
24 air
25 alarm
26 alike
27 all
28 allowed
29 almost
30 alone
31 along
32 already
33 also
34 always
35 am
36 ambulance
37 an
38 and
39 andgrily
40 angrier
41 angry
42 animal
43 animals
44 announced
45 announces
46 another
47 answered
48 ant
49 antennae
50 anthill
51 anthills
52 ants
53 any
54 anymore
55 anyone
56 anything
57 anyway
58 aoudience
59 apaces
60 apart
61 apartment
62 appeared
63 applaud
64 applauded
65 apple
66 apples
67 apron
68 are
69 aren't
70 argued
71 argument
72 arm
73 arms
74 army
75 around
76 arrive
77 arrived
78 art
79 article
80 artist
81 artists
82 as
83 ask
84 asked
85 asks
86 asleep
87 at
88 ate
89 attention
90 audience
91 auditorium
92 August
93 aunts
94 autumn
95 awake
96 away
97 awful
98 azalea
99 babies
100 baby
101 back
102 backpack
103 backs
104 bag
105 bagel
106 bagels
107 bagging
108 bags
109 bake
110 bakery
111 bakes
112 baking
113 balanced
114 ball
115 ballerina
116 balloons
117 banana
118 band
119 bang
120 bangs
121 bank
122 banner
123 barber
124 bare
125 barely
126 bark
127 barked
128 barn
129 barnyard
130 bars
131 basic
132 bass
133 bat
134 batch
135 bathroom
136 baton
137 batter
138 be
139 beamed
140 bear
141 bears
142 beat
143 beats
144 beautiful
145 beaver
146 became
147 because
148 become
149 becomes
150 becoming
151 bed
152 bedroom
153 beds
154 been
155 beetle
156 before
157 began
158 begged
159 beginning
160 begins
161 begun
162 behind
163 being
164 beliave
165 bell
166 bellowed
167 bells
168 below
169 bend
170 beneth
171 bent
172 berries
173 berry
174 besides
175 best
176 better
177 between
178 beyond
179 bicycle
180 big
181 bigger
182 biggest
183 bird
184 birds
185 birthday
186 bit
187 bits
188 black
189 blackbird
190 blackest
191 blankets
192 blending
193 blew
194 block
195 blow
196 blue
197 blueberries
198 blueberry
199 blue-violet
200 board
201 body
202 boils
203 bolt
204 book
205 bookmarks
206 booth
207 boots
208 borrowed
209 both
210 bottom
211 bought
212 bouncing
213 bound
214 bow
215 bowl
216 bows
217 box
218 boxes
219 boy
220 boys
221 braided
222 braiding
223 branch
224 branches
225 brave
226 bread
227 breads
228 break

229 breakfast
230 breath
231 breathe
232 bridge
233 bright
234 bring
235 brings
236 broke
237 broken
238 brong
239 brother
240 brothers
241 brought
242 brown
243 brunches
244 brush
245 brushes
246 bucket
247 buckled
248 buddy
249 bug
250 build
251 building
252 buildings
253 bulletin
254 bumped
255 bunch
256 burp
257 burrowing
258 bus
259 bush
260 bushy
261 business
262 busy
263 but
264 butter
265 button
266 buttoned
267 buy
268 by
269 cake
270 call
271 called
272 calling
273 calls
274 came
275 camera
276 camp
277 campfire
278 camping
279 can
280 candlelight
281 candy
282 can't
283 cape
284 car
285 card
286 care
287 careful-like
288 carefully
289 carousel
290 carpenter
291 carpenters
292 carpet
293 carried
294 carry
295 carrying
296 cars
297 carterpillar
298 cartwheels
299 case
300 catch
301 cats
302 catsup
303 caught
304 cave
305 caves
306 ceiling
307 celebrate
308 celebrates
309 celebrations
310 center
311 centers
312 cereal
313 chains
314 chair
315 chalk
316 chalks
317 changed
318 chango
319 charge
320 charged
321 chased
322 check
323 checked
324 cheek
325 cheeks
326 cheered
327 cheese
328 chew
329 chewed
330 chewing
331 chicken
332 chidren
333 chief
334 child
335 children
336 chimes
337 chin
338 chips
339 chocolate
340 choose
341 chops
342 chunk
343 churned
344 circle
345 circles
346 cities
347 city
348 claering
349 clang
350 clangs
351 clap
352 clapped
353 clapping
354 clasemates
355 class
356 classes
357 classroom
358 clater
359 clean
360 cleaned
361 clear
362 click
363 clicked
364 climb
365 climbed
366 clinbed
367 clinkre
368 clmbed
369 clomping
370 close
371 closed
372 closer
373 closet
374 clothes
375 clouds
376 cloudy
377 coat
378 cobbler
379 cocoons
380 coffee
381 cold
382 collected
383 collection
384 college
385 colonies
386 colony
387 color
388 colored
389 colors
390 combed
391 come
392 comes
393 coming
394 commands
395 common
396 commotion
397 communities
398 community
399 completely
400 computer
401 concert
402 condition
403 conductor
404 cone
405 congas
406 connect
407 containers
408 cooed
409 cook
410 cookie
411 cookies
412 cooks
413 cool
414 cooled
415 copper
416 copy
417 cost
418 costmers
419 costumes
420 couch
421 could
422 couldn't
423 counted
424 counter
425 counting
426 counts
427 cousins
428 cover
429 covers
430 cow
431 cozy
432 crabs
433 crack
434 cracked
435 crackers
436 crackle
437 crammed
438 crane
439 crash
440 crashed
441 crashing
442 crate
443 crawled
444 crayon
445 crayons
446 cream
447 creased
448 creation
449 creature
450 crept
451 cried
452 croaked
453 cross
454 crossing
455 crowd
456 crowded

457 crowed
458 crumbs
459 crumpled
460 crunched
461 cubes
462 cuddle
463 culture
464 cultures
465 cup
466 cupboard
467 cupboards
468 cups
469 curb
470 curled
471 curls
472 customers
473 cut
474 cute
475 cuts
476 cymbal
477 cymbals
478 dad
479 dads
480 dai
481 dairy
482 damp
483 dance
484 dancers
485 dancing
486 dangles
487 dark
488 darted
489 day
490 days
491 daytime
492 dead
493 deaf
494 deal
495 dear
496 decided
497 deep
498 deer
499 definitely
500 delicate
501 delighted
502 delivered
503 delivery
504 deserve
505 deside
506 desided
507 desk
508 desks
509 deserted
510 dessert
511 details
512 develop
513 did
514 didn't
515 diet
516 different
517 digging
518 diive
519 dim
520 dinner
521 dipped
522 dirt
523 disappeared
524 discovered
525 disguise
526 dish
527 dishes
528 dispatch
529 dispatched
530 distance
531 distract
532 divided
533 do
534 dock
535 doctor
536 doctors
537 doe
538 does
539 doesn't
540 dog
541 doing
542 dollar
543 don’t
544 done
545 don't
546 door
547 doorbell
548 doorway
549 dough
550 doughnuts
551 down
552 downed
553 downstairs
554 dragged
555 dragon
556 dragonfly
557 draw
558 drawing
559 drawings
560 dreams
561 drenched
562 dress
563 dressed
564 drew
565 dried
566 drink
567 drive
568 driver
569 drooled
570 dropped
571 drove
572 drum
573 drums
574 dry
575 drying
576 duck
577 ducks
578 dug
579 dulce
580 during
581 dusk
582 each
583 ear
584 early
585 ears
586 easily
587 eat
588 eaten
589 eating
590 echo
591 edge
592 edges
593 eggs
594 eight
595 eighth
596 either
597 elecrician
598 electrical
599 elephants
600 eleven
601 else
602 emergencies
603 empty
604 end
605 ends
606 enemies
607 enerything
608 engine
609 enjoy
610 enormous
611 enough
612 envelope
613 equipment
614 especially
615 even
616 event
617 ever
618 everione
619 every
620 everybody
621 everyone
622 everything
623 everywhere
624 exactly
625 examine
626 except
627 excited
628 excitement
629 exciting
630 exclaimed
631 experts
632 explains
633 explode
634 exploring
635 expression
636 extra
637 eye
638 eyes
639 face
640 fact
641 faded
642 fair
643 fall
644 fallen
645 falling
646 falls
647 families
648 family
649 famouse
650 far
651 fare
652 farm
653 farmer
654 farmhouse
655 farther
656 fast
657 fastening
658 faster
659 fat
660 father
661 father's
662 favorite
663 fawn
664 feared
665 feather
666 feathers
667 feed
668 feel
669 feeling
670 feels
671 feet
672 fell
673 felt
674 fence
675 field
676 fifty
677 fights
678 figure
679 filled
680 fillings
681 filmy
682 finally
683 find
684 finds

685 fine
686 fingered
687 fingers
688 finished
689 finishing
690 fire
691 firecrackers
692 fire-engine
693 firefighter
694 firefighters
695 firehouse
696 firehouses
697 fires
698 first
699 first-grade
700 fish
701 fishes
702 fit
703 five
704 fix
705 fixing
706 flag
707 flaky
708 flamingo
709 flash
710 flashed
711 flashlight
712 flat
713 flew
714 flies
715 floats
716 floor
717 flour
718 flower
719 flushed
720 fly
721 flying
722 folded
723 folds
724 follow
725 follows
726 food
727 foot
728 footprint
729 for
730 forest
731 forever
732 forget
733 forgive
734 fork
735 formed
736 forth
737 found
738 four
739 fox
740 frame
741 fresh
742 fresher
743 friend
744 friends
745 frills
746 frog
747 frogs
748 from
749 front
750 frosted
751 frosting
752 frothy
753 frowned
754 frowning
755 fruit
756 fugde
757 full
758 fun
759 fungus
760 funny
761 furious
762 furry
763 fussed
764 fuzzy
765 galloped
766 game
767 games
768 garter
769 gasped
770 gate
771 gather
772 gave
773 gear
774 gentleman
775 get
776 gets
777 getting
778 gift
779 giggled
780 giraffe
781 girl
782 girls
783 give
784 given
785 gives
786 giving
787 giving
788 glistening
789 go
790 goal
791 goalposts
792 goes
793 going
794 gold
795 golden
796 gone
797 gong
798 good
799 goodbye
800 good-night
801 googly
802 gorden
803 got
804 gotten
805 gown
806 grab
807 grabs
808 graceful
809 grade
810 graders
811 granddaddy
812 grandfather
813 grandma
814 grandmother
815 grass
816 gravy
817 gray
818 grease-stained
819 great
820 great-aunt
821 green
822 greeted
823 greets
824 grew
825 grinned
826 groaned
827 groceries
828 grocery
829 ground
830 group
831 groups
832 grow
833 growled
834 grown
835 grown-up
836 grownups
837 grown-ups
838 grumbled
839 grumpily
840 guard
841 guarded
842 guess
843 guitar
844 guys
845 habitat
846 had
847 hair
848 half
849 halfway
850 ham
851 hammer
852 hand
853 handcarts
854 handed
855 handing
856 handprints
857 hands
858 handsome
859 hang
860 happened
861 happily
862 happy
863 hard
864 hardest
865 hardly
866 has
867 hat
868 hatch
869 hats
870 have
871 haven't
872 having
873 hawk
874 he
875 head
876 headed
877 headline
878 headphones
879 heads
880 hear
881 heard
882 hearing
883 heart
884 heat
885 heaviest
886 heavy
887 he'd
888 heir
889 held
890 hello
891 helmet
892 help
893 helped
894 helper
895 helping
896 helps
897 hen
898 her
899 herbal
900 herbs
901 here
902 heron
903 herself
904 hid
905 hidden
906 hide
907 high
908 highest
909 hike
910 hill
911 him
912 himself

913 hippopotamuses
914 hippos
915 his
916 hissed
917 hits
918 hobbled
919 hobby
920 hold
921 holding
922 holds
923 hole
924 holiday
925 home
926 honey
927 hooted
928 hope
929 hoped
930 hopping
931 horizon
932 horse
933 horses
934 horsing
935 hose
936 hoses
937 hospital
938 hot
939 hour
940 hours
941 house
942 houses
943 how
944 hug
945 huge
946 hugged
947 hugging
948 humburger
949 hums
950 hundred
951 hung
952 hungry
953 hurried
954 hurry
955 hurt
956 I
957 idea
958 ideas
959 if
960 igeas
961 ill
962 I'll
963 I'm
964 imitation
965 imitations
966 important
967 important
968 in
969 inforemation
970 ingredient
971 ingredients
972 insect
973 insects
974 inside
975 inside
976 instead
977 instrument
978 instruments
979 into
980 invited
981 is
982 islands
983 isn't
984 it
985 its
986 it's
987 jagged
988 jam
989 jar
990 jars
991 jazz
992 jeans
993 jeered
994 job
995 jobs
996 join
997 joke
998 jump
999 jumped
1000 jungles
1001 just
1002 keep
1003 keeps
1004 kept
1005 kettledrum
1006 kicked
1007 kids
1008 kind
1009 kindergarten
1010 kindergartner
1011 kinds
1012 kiss
1013 kissed
1014 kitchen
1015 kitchenlooked
1016 kites
1017 knead
1018 kneads
1019 knee
1020 knew
1021 know
1022 knowing
1023 knows
1024 lacing
1025 ladder
1026 lady
1027 lake
1028 lakes
1029 lamp
1030 land
1031 landing
1032 language
1033 lanterns
1034 lap
1035 laps
1036 large
1037 larvae
1038 last
1039 lasted
1040 late
1041 later
1042 laugh
1043 laughed
1044 laughing
1045 lawyer
1046 lay
1047 layer
1048 layered
1049 lazy
1050 leader
1051 leads
1052 leaf
1053 leafcutter
1054 learn
1055 learned
1056 learning
1057 least
1058 leave
1059 leaves
1060 leaving
1061 left
1062 legs
1063 less
1064 lesson
1065 lessons
1066 let
1067 lets
1068 let's
1069 letter
1070 letters
1071 lie
1072 lies
1073 life
1074 lift
1075 lifted
1076 light
1077 lightlyout
1078 lightning
1079 lights
1080 like
1081 liked
1082 likes
1083 lily
1084 line
1085 lines
1086 lion
1087 lip
1088 list
1089 listed
1090 listen
1091 listened
1092 listening
1093 lit
1094 little
1095 live
1096 lived
1097 lives
1098 living
1099 loaf
1100 loaves
1101 local
1102 locker
1103 loepard
1104 log
1105 logs
1106 lonely
1107 long
1108 longer
1109 look
1110 looked
1111 looking
1112 looks
1113 loose
1114 loses
1115 lost
1116 lot
1117 lots
1118 loud
1119 love
1120 loved
1121 loves
1122 lovingly
1123 lox
1124 lumps
1125 lunch
1126 luscious
1127 mad
1128 made
1129 main
1130 make
1131 makes
1132 makeup
1133 making
1134 mammal
1135 man
1136 many
1137 maple
1138 march
1139 marched
1140 marching

1141 marimba
1142 market
1143 matching
1144 mather
1145 matter
1146 May
1147 maybe
1148 mayor
1149 mayself
1150 me
1151 meadow
1152 meal
1153 mean
1154 means
1155 measured
1156 meat
1157 medicinal
1158 medicine
1159 meet
1160 melted
1161 men
1162 mess
1163 messes
1164 metal
1165 middle
1166 might
1167 miles
1168 milk
1169 milked
1170 million
1171 mind
1172 mine
1173 minute
1174 minutes
1175 mirror
1176 missed
1177 mister
1178 mitten
1179 mittens
1180 mix
1181 mixed
1182 mixing
1183 mixture
1184 moisture
1185 mom
1186 moms
1187 Monday
1188 monitor
1189 monitors
1190 month
1191 moon
1192 moonlight
1193 mop
1194 more
1195 morning
1196 moss
1197 most
1198 mother
1199 mouse
1200 mouth
1201 mouths
1202 move
1203 moved
1204 moves
1205 movie
1206 movies
1207 moving
1208 Mr.
1209 Mrs.
1210 much
1211 mud
1212 muggy
1213 mumbled
1214 mural
1215 music
1216 musical
1217 musician
1218 mussel
1219 must
1220 mustache
1221 musty
1222 my
1223 myself
1224 name
1225 named
1226 nap
1227 nature
1228 near
1229 nearby
1230 neck
1231 need
1232 needed
1233 needs
1234 neighbor
1235 neighborhood
1236 nest
1237 nests
1238 net
1239 never
1240 new
1241 newborn
1242 news
1243 newspaper
1244 next
1245 nice
1246 night
1247 nighttime
1248 nine
1249 ninety
1250 no
1251 nobody
1252 nodded
1253 noise
1254 noisily
1255 noisy
1256 none
1257 noon
1258 nose
1259 nostrils
1260 not
1261 note
1262 notepaper
1263 nothing
1264 notice
1265 noticed
1266 now
1267 number
1268 nuts
1269 oatmeal
1270 obeys
1271 observed
1272 o'clock
1273 of
1274 off
1275 officer
1276 often
1277 oil
1278 okay
1279 old
1280 older
1281 omelettes
1282 on
1283 once
1284 one
1285 ones
1286 only
1287 onstage
1288 onto
1289 open
1290 opened
1291 operators
1292 or
1293 orange
1294 orchestra
1295 other
1296 others
1297 otter
1298 our
1299 out
1300 outdoor
1301 outside
1302 oven
1303 ovens
1304 over
1305 owl
1306 owling
1307 owl's
1308 own
1309 owner
1310 packed
1311 pad
1312 paddle
1313 pages
1314 pails
1315 paint
1316 painted
1317 painters
1318 painting
1319 pair
1320 pairs
1321 pait
1322 pajamas
1323 pale
1324 palm
1325 pan
1326 pans
1327 pantry
1328 paper
1329 parade
1330 parasol
1331 parasols
1332 parents
1333 park
1334 parked
1335 parking
1336 part
1337 parted
1338 parts
1339 party
1340 pass
1341 passed
1342 past
1343 paste
1344 pat
1345 patch
1346 path
1347 paths
1348 paw
1349 pay
1350 peanut
1351 pearly
1352 peas
1353 peck
1354 peel
1355 peeling
1356 peered
1357 penalty
1358 pencil
1359 pencils
1360 penned
1361 people
1362 peppers
1363 percussion
1364 percussionist
1365 perfect
1366 person
1367 pest
1368 pet

1369 phon
1370 phone
1371 phones
1372 photo
1373 photograph
1374 photos
1375 piano
1376 pick
1377 picked
1378 picks
1379 picture
1380 pictures
1381 pie
1382 piece
1383 pieces
1384 pig
1385 pigs
1386 pile
1387 piles
1388 pink
1389 pity
1390 place
1391 planned
1392 plant
1393 plants
1394 plaque
1395 plate
1396 play
1397 played
1398 playground
1399 playing
1400 plays
1401 please
1402 pleased
1403 plenty
1404 plesses
1405 pocket
1406 point
1407 pointed
1408 points
1409 polar
1410 pole
1411 poles
1412 police
1413 polish
1414 pond
1415 poor
1416 popped
1417 poppy
1418 pops
1419 pork
1420 postman
1421 pot
1422 potato
1423 pounds
1424 pour
1425 poured
1426 pouring
1427 powders
1428 power
1429 practice
1430 practiced
1431 preople
1432 prepared
1433 present
1434 presents
1435 pressed
1436 pressing
1437 pretend
1438 price
1439 pride
1440 principal
1441 print
1442 probably
1443 problem
1444 project
1445 promised
1446 property
1447 protect
1448 pround
1449 pudding
1450 puddle
1451 puffs
1452 pulled
1453 pulling
1454 pumped
1455 pumpernickel
1456 pumpkin
1457 purple
1458 push
1459 pushed
1460 put
1461 puts
1462 putting
1463 pverripe
1464 quake
1465 quarrel
1466 quarters
1467 queen
1468 question
1469 questions
1470 quickly
1471 quiet
1472 quiets
1473 rabbit
1474 raccoon
1475 raccoons
1476 raced
1477 radio
1478 raided
1479 rain
1480 rainbow
1481 raised
1482 raises
1483 raked
1484 ran
1485 rang
1486 ranger
1487 rangers
1488 rattled
1489 raw
1490 reach
1491 reached
1492 read
1493 reads
1494 ready
1495 real
1496 really
1497 reason
1498 recess
1499 recipe
1500 recolds
1501 recovered
1502 red
1503 red-orange
1504 regular
1505 relatives
1506 released
1507 remainded
1508 remember
1509 remembered
1510 rememmbered
1511 replied
1512 replies
1513 reporter
1514 rest
1515 restaurant
1516 rested
1517 resting
1518 retraced
1519 rhinos
1520 ribbons
1521 ride
1522 riding
1523 right
1524 rinds
1525 ring
1526 ringing
1527 rings
1528 rinse
1529 rise
1530 risen
1531 river
1532 rivers
1533 roared
1534 roaring
1535 roasted
1536 rocks
1537 roll
1538 rolled
1539 rolls
1540 roof
1541 room
1542 roots
1543 rope
1544 rose
1545 row
1546 rubber
1547 rubbing
1548 ruin
1549 rules
1550 rumbled
1551 runners
1552 running
1553 rush
1554 rushed
1555 sack
1556 sad-looking
1557 safe
1558 safely
1559 said
1560 salmon
1561 same
1562 samovar
1563 sandbox
1564 sandwich
1565 sandy
1566 sang
1567 sank
1568 sappy
1569 sat
1570 Saturday
1571 saw
1572 sawdust
1573 say
1574 saying
1575 says
1576 scared
1577 scares
1578 scarf
1579 scary
1580 scene
1581 scenes
1582 school
1583 schools
1584 scolds
1585 scoops
1586 score
1587 scramble
1588 scrambled
1589 scratched
1590 scratchy
1591 screamed
1592 screams
1593 scurried
1594 seafood
1595 searches
1596 season

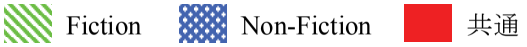
1597 seats
1598 second
1599 seconds
1600 secret
1601 secrets
1602 see
1603 seeds
1604 seem
1605 seemed
1606 seen
1607 sees
1608 sent
1609 seriously
1610 sesame
1611 sesame-seed
1612 set
1613 sets
1614 settled
1615 seven
1616 seventy
1617 sews
1618 shadow
1619 shadows
1620 shake
1621 shallow
1622 shape
1623 shapes
1624 share
1625 shared
1626 sharing
1627 sharply
1628 she
1629 shed
1630 sheet
1631 sheets
1632 shelf
1633 shell
1634 shells
1635 she's
1636 shining
1637 shiny
1638 shirt
1639 shivered
1640 shocked
1641 shoe
1642 shoelace
1643 shoes
1644 shook
1645 shooked
1646 shop
1647 shopper
1648 shopping
1649 short
1650 shortcut
1651 should
1652 shouldn't
1653 shout
1654 shouted
1655 show
1656 showed
1657 showers
1658 shows
1659 side
1660 sides
1661 sidewalk
1662 sidewalks
1663 sighed
1664 sight
1665 sign
1666 signs
1667 silent
1668 silently
1669 silk
1670 silver
1671 since
1672 single
1673 sink
1674 siren
1675 sister
1676 sisters
1677 sit
1678 sitting
1679 six
1680 sixteen
1681 sixty-four
1682 sizzles
1683 skerches
1684 skin
1685 sky
1686 sleep
1687 sleepy
1688 sleepyhead
1689 slept
1690 slice
1691 slid
1692 slides
1693 sliding
1694 slinny
1695 slipped
1696 slippers
1697 slipper-socks
1698 slippery
1699 slips
1700 slit
1701 slotted
1702 slow
1703 slowed
1704 slowly
1705 slurped
1706 smack
1707 small
1708 smear
1709 smeared
1710 smell
1711 smelled
1712 smelling
1713 smells
1714 smelly
1715 smile
1716 smiled
1717 smiles
1718 smiling
1719 smock
1720 smorked
1721 snack
1722 snail
1723 snake
1724 snap
1725 snapping
1726 snare
1727 sneak
1728 sneaked
1729 sneakers
1730 snoring
1731 snow
1732 snuggled
1733 so
1734 soap
1735 socks
1736 soft
1737 softly
1738 soldier
1739 soldiers
1740 solve
1741 sombrero
1742 some
1743 someday
1744 someone
1745 something
1746 sometime
1747 sometimes
1748 son
1749 song
1750 soon
1751 sorry
1752 sound
1753 sounds
1754 soup
1755 south
1756 southern
1757 sparkle
1758 speaking
1759 speaks
1760 special
1761 speech
1762 speeches
1763 spend
1764 sphagnum
1765 spills
1766 spin
1767 splattered
1768 spoke
1769 spoken
1770 spooing
1771 spoon
1772 sports
1773 spot
1774 spread
1775 sprinkle
1776 squashed
1777 squeezed
1778 squinted
1779 squish
1780 squishy
1781 stabbed
1782 stage
1783 stained
1784 stairs
1785 stalks
1786 stammered
1787 stand
1788 stands
1789 star
1790 stared
1791 stars
1792 start
1793 started
1794 starting
1795 state
1796 station
1797 stations
1798 statues
1799 stay
1800 stayed
1801 steady
1802 steaming
1803 steep
1804 steering
1805 steps
1806 stick
1807 sticking
1808 sticky
1809 stiff
1810 still
1811 stocking
1812 stole
1813 stood
1814 stop
1815 stopped
1816 stopping
1817 store
1818 stored
1819 stores
1820 stories
1821 storm
1822 storms
1823 story
1824 straight

1825 strangers
1826 straw
1827 strawberries
1828 strawberry
1829 stream
1830 street
1831 streets
1832 strength
1833 stretching
1834 stretchy
1835 strikes
1836 striking
1837 strings
1838 strips
1839 strode
1840 strong
1841 stuck
1842 student
1843 students
1844 studied
1845 stuffed
1846 stumbled
1847 subway
1848 subways
1849 such
1850 sudden
1851 suddenly
1852 sugar
1853 suggests
1854 summer
1855 sun
1856 Sunday
1857 sunfish
1858 sunlight
1859 sunny
1860 sunscreen
1861 sunshades
1862 supper
1863 supposed
1864 sure
1865 surely
1866 surprise
1867 surprised
1868 surveyed
1869 swamp
1870 swan
1871 sweater
1872 sweet
1873 swept
1874 swift
1875 swifter
1876 swim
1877 swimmers
1878 swimming
1879 swing
1880 swinging
1881 swings
1882 swirling
1883 switchboards
1884 swivel
1885 swoosh
1886 sword
1887 table
1888 tablecloth
1889 tail
1890 take
1891 taken
1892 takes
1893 taking
1894 talk
1895 talked
1896 talking
1897 talks
1898 tall
1899 tank
1900 taped
1901 tasks
1902 tasted
1903 tastes
1904 tastier
1905 taught
1906 taxi
1907 taxicab
1908 tea
1909 teach
1910 teacher
1911 teachers
1912 teaches
1913 team
1914 teams
1915 teamwork
1916 teenage
1917 teeth
1918 telephon
1919 telephoned
1920 television
1921 tell
1922 telling
1923 tells
1924 ten
1925 tent
1926 terms
1927 terrapin
1928 terrible
1929 terrier
1930 tested
1931 than
1932 thank
1933 thanked
1934 thanks
1935 that
1936 that's
1937 the
1938 their
1939 them
1940 themselves
1941 then
1942 there
1943 there's
1944 these
1945 thet
1946 they
1947 they'll
1948 they're
1949 they've
1950 thick
1951 thing
1952 things
1953 think
1954 thinks
1955 third
1956 thirteen
1957 thirty
1958 this
1959 thoroughly
1960 those
1961 though
1962 thought
1963 thread
1964 threading
1965 three
1966 threw
1967 throat
1968 through
1969 throw
1970 thumbtack
1971 thumbtacked
1972 thumbtacking
1973 thumping
1974 thumps
1975 thunder
1976 tickled
1977 tie
1978 tied
1979 tile
1980 time
1981 times
1982 tiny
1983 tip
1984 tips
1985 tiptoed
1986 tired
1987 tissues
1988 to
1989 today
1990 together
1991 toilet
1992 token
1993 told
1994 tom
1995 tomatoes
1996 tomorrow
1997 tom-toms
1998 too
1999 took
2000 top
2001 tore
2002 tossed
2003 tosses
2004 touch
2005 touched
2006 tough
2007 tours
2008 toward
2009 towel
2010 towels
2011 town
2012 train
2013 tray
2014 trays
2015 treat
2016 tree
2017 trees
2018 trellis
2019 triangle
2020 trick
2021 tried
2022 trip
2023 tropical
2024 trot
2025 trouble
2026 truck
2027 trucks
2028 try
2029 trying
2030 tubes
2031 tubular
2032 tugged
2033 tugging
2034 tumbling
2035 tunnels
2036 turkey
2037 turn
2038 turned
2039 turning
2040 turnovers
2041 turns
2042 turquoise
2043 turtles
2044 tutu
2045 twent-fifth
2046 twenty
2047 twice
2048 twin
2049 twins
2050 twisted
2051 two
2052 uncle

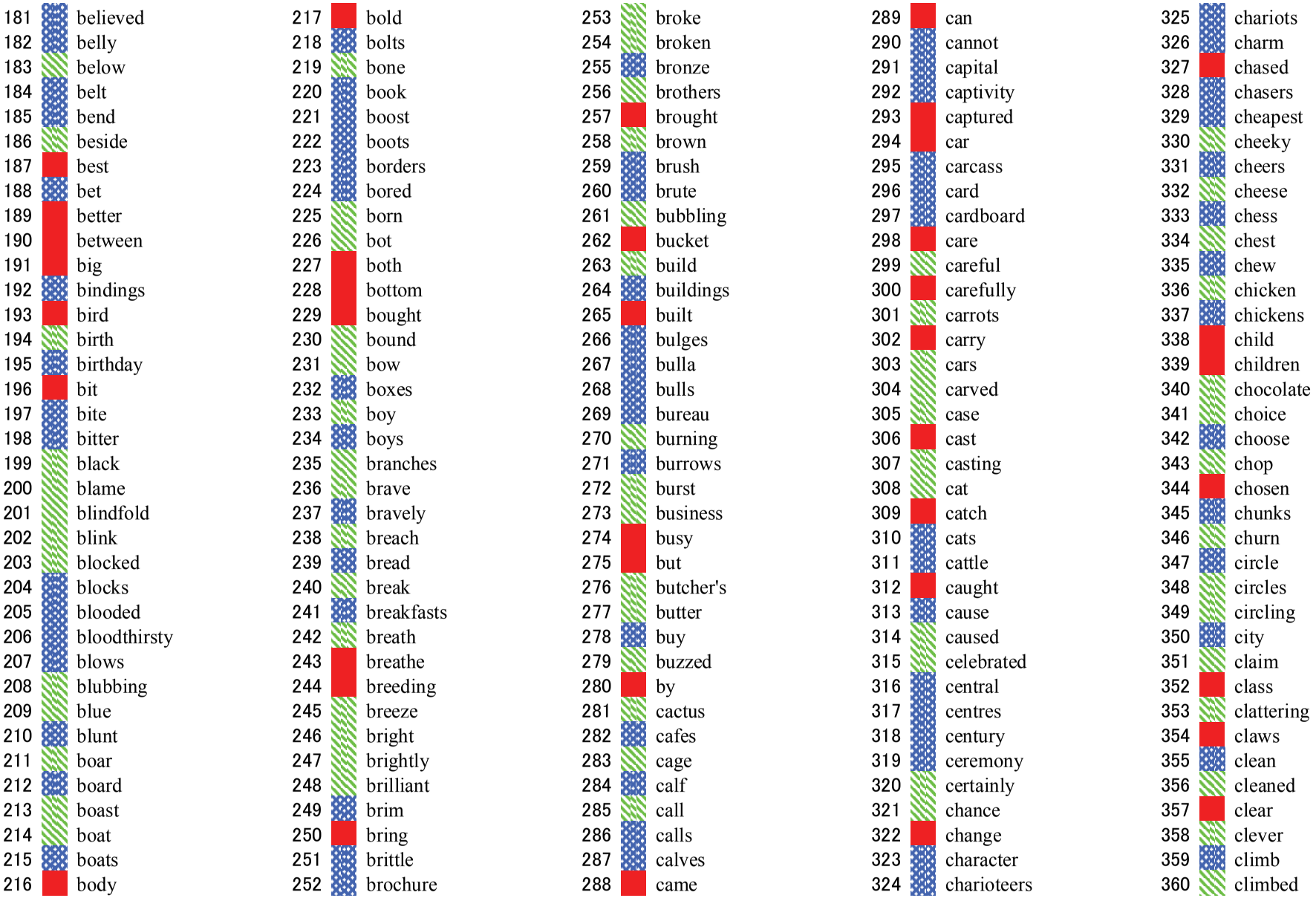
2053 under
2054 underneath
2055 understand
2056 understands
2057 underwear
2058 undo
2059 unfinished
2060 unit
2061 unless
2062 unmoved
2063 unpacked
2064 until
2065 unwrapped
2066 up
2067 upside
2068 upstairs
2069 us
2070 use
2071 used
2072 uses
2073 using
2074 usual
2075 valves
2076 vegetables
2077 very
2078 vibration
2079 vibrations
2080 victory
2081 videotaped
2082 violet
2083 visit
2084 visiting
2085 visitors
2086 visits
2087 voice
2088 vote
2089 voted
2090 wades
2091 wading
2092 wait
2093 waited
2094 waiting
2095 wake
2096 wakes
2097 waking
2098 walk
2099 walked
2100 walking
2101 walks
2102 wall
2103 walls
2104 wallthis
2105 want
2106 wanted
2107 wants
2108 war
2109 warm
2110 warned
2111 warns
2112 was
2113 wash
2114 washing
2115 wasn't
2116 watch
2117 watched
2118 watches
2119 watching
2120 water
2121 waterfalls
2122 water's
2123 wave
2124 waved
2125 waving
2126 way
2127 ways
2128 we
2129 wear
2130 wearing
2131 weather
2132 weaver
2133 wedding
2134 wedge
2135 Wednesday
2136 week
2137 weeks
2138 weigh
2139 welcome
2140 well
2141 we'll
2142 went
2143 were
2144 we're
2145 weren't
2146 wet
2147 we've
2148 what
2149 whatever
2150 what's
2151 when
2152 whenever
2153 where
2154 where's
2155 wherever
2156 which
2157 while
2158 whisked
2159 whiskers
2160 whisper
2161 whispered
2162 white
2163 whiter
2164 who
2165 whole
2166 who's
2167 why
2168 wicked
2169 wide
2170 wiggle
2171 will
2172 win
2173 window
2174 windows
2175 winds
2176 windy
2177 wings
2178 winked
2179 winter
2180 wintered
2181 wipe
2182 wiped
2183 wise
2184 with
2185 with the
2186 without
2187 wobby
2188 woke
2189 woman
2190 won
2191 wonder
2192 wonderful
2193 wonders
2194 won't
2195 wood
2196 wooden
2197 woods
2198 woodstove
2199 word
2200 words
2201 wore
2202 work
2203 worked
2204 worker
2205 workers
2206 working
2207 works
2208 world
2209 worm
2210 worms
2211 worry
2212 worrying
2213 worst
2214 would
2215 wouldn't
2216 wrinky
2217 write
2218 written
2219 yak
2220 yanked
2221 yawn
2222 yawned
2223 year
2224 years
2225 yellow
2226 yes
2227 yesterday
2228 yet
2229 yook
2230 you
2231 you
2232 you'd
2233 you'll
2234 young
2235 younger
2236 your
2237 you're
2238 yours
2239 yourself
2240 you've
2241 zebra

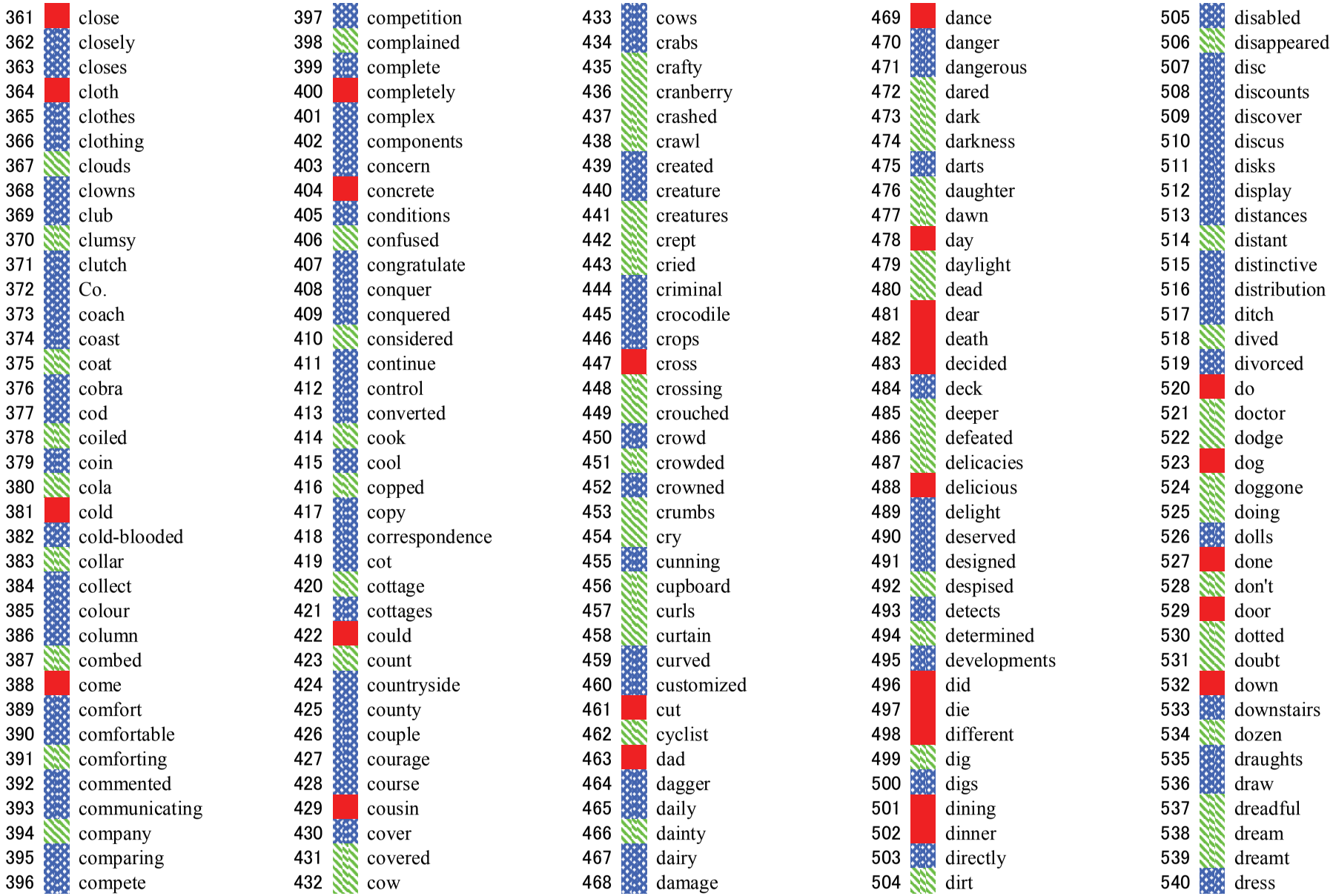
（二宮　皓）

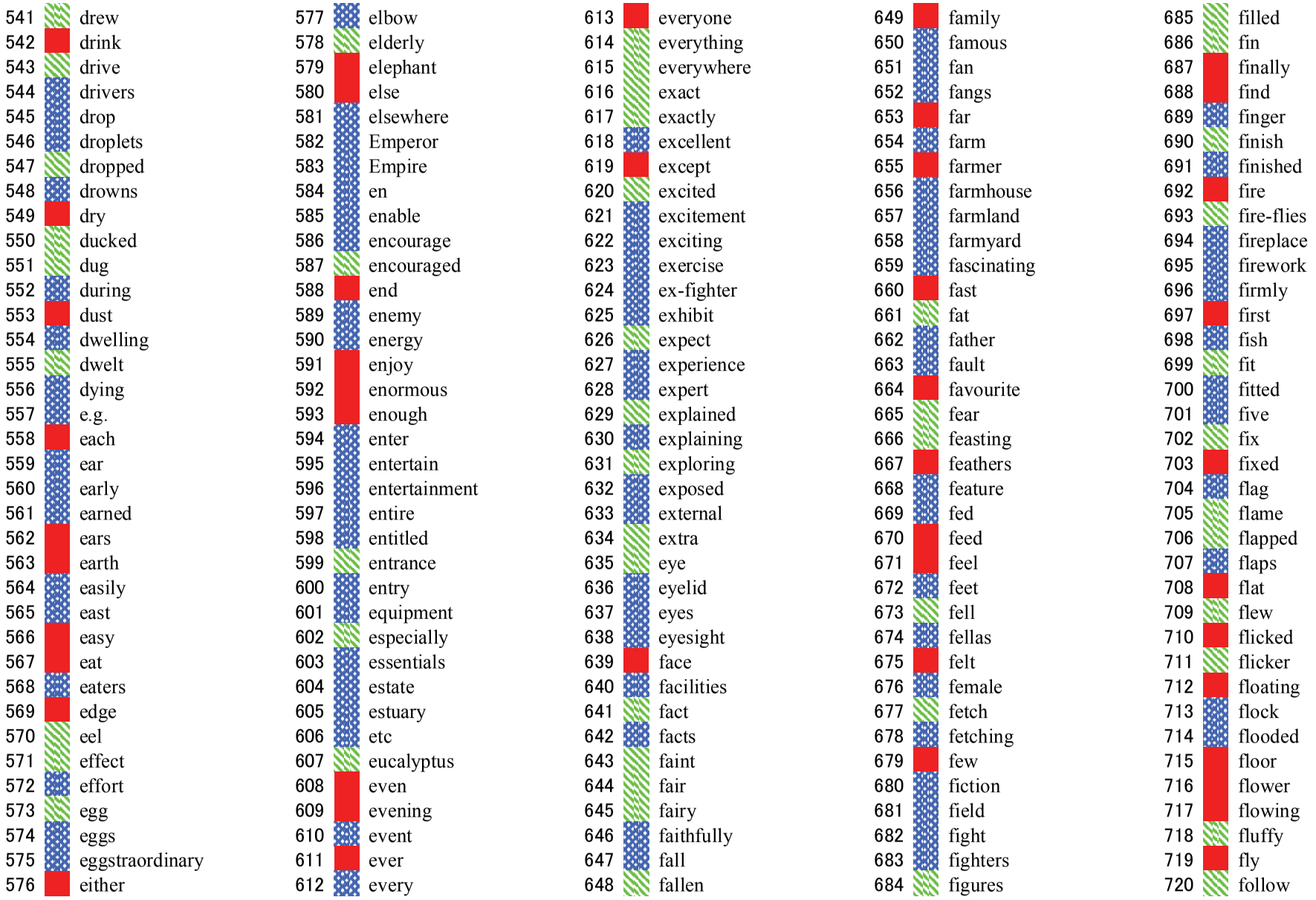
２．イギリス

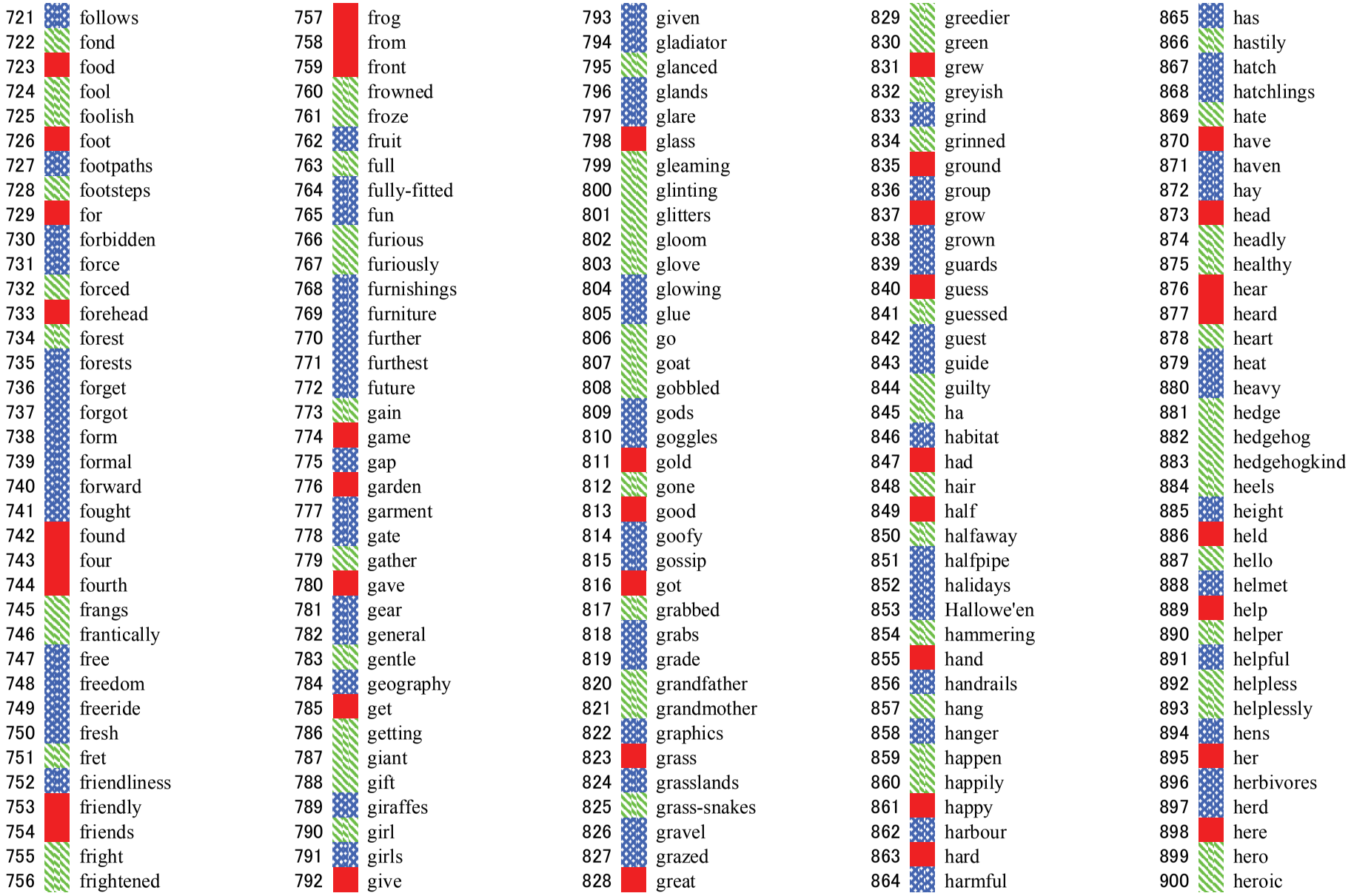


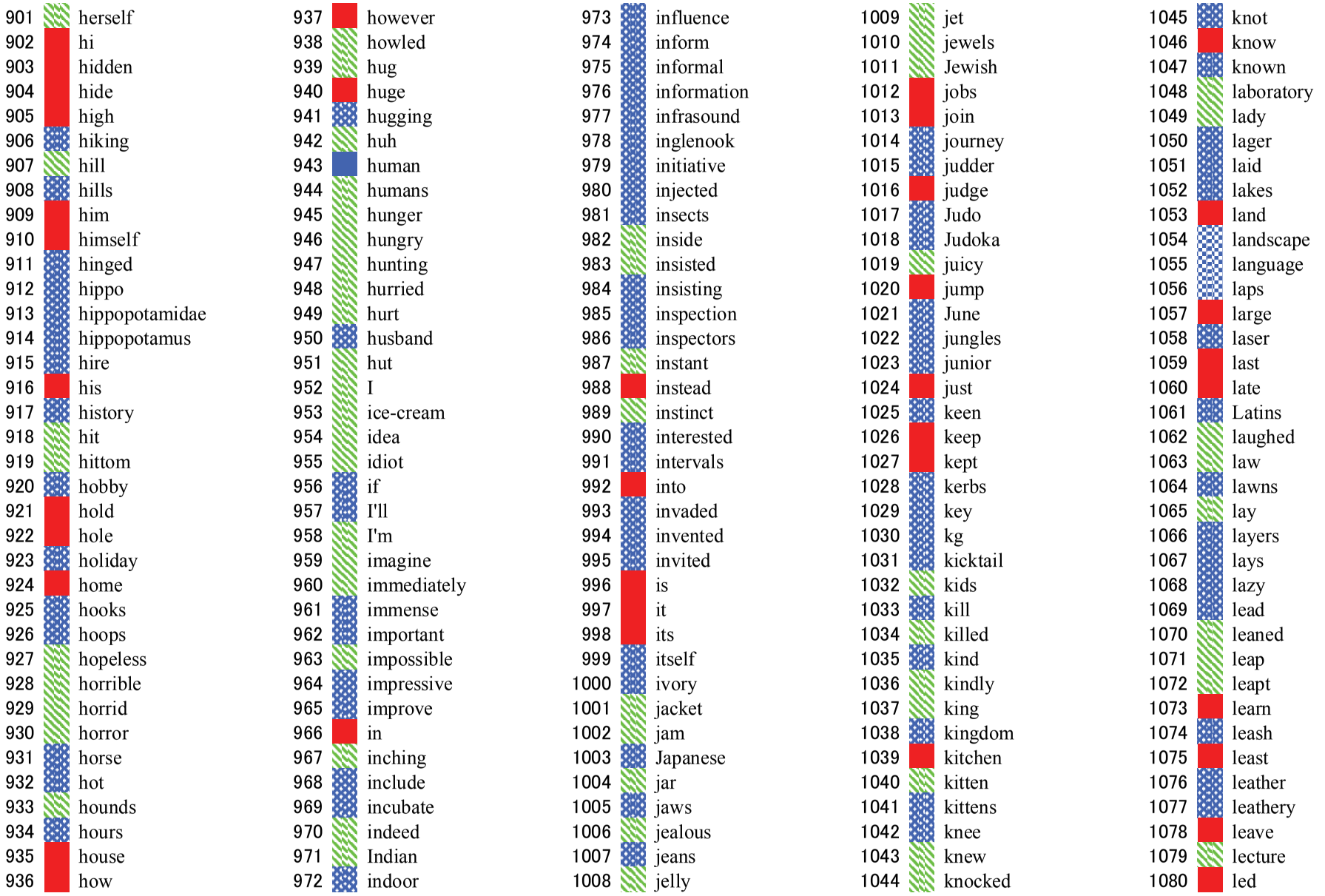
1	a	37	all	73	appearance	109	August	145	base
2	able	38	allowed	74	appeared	110	auntie	146	baseplate
3	about	39	almost	75	appreciate	111	available	147	basic
4	above	40	alone	76	approaching	112	avoid	148	basis
5	absolutely	41	along	77	April	113	awaits	149	bask
6	accident	42	already	78	arable	114	awake	150	bathe
7	accommodation	43	also	79	are	115	award	151	bathed
8	account	44	although	80	area	116	away	152	bathrooms
9	accused	45	altogether	81	arena	117	axe	153	baths
10	ache	46	always	82	arithmetic	118	baby	154	batteries
11	achieved	47	amazement	83	arm	119	bachelor	155	battles
12	achievement	48	amazing	84	armed	120	back	156	baying
13	acres	49	among	85	armour	121	backdrop	157	be
14	acrobats	50	amphibious	86	army	122	backs	158	beach
15	across	51	an	87	around	123	backwards	159	beachcaster
16	act	52	ancient	88	arranged	124	bad	160	beak
17	active	53	and	89	arrive	125	badly	161	beams
18	activities	54	anger	90	art	126	baggy	162	bear
19	actually	55	angler	91	article	127	bags	163	bears
20	address	56	angrily	92	artists	128	bait	164	beasts
21	adorable	57	angry	93	as	129	balance	165	beat
22	adult	58	animal	94	Asian	130	balancing	166	beautiful
23	advice	59	animals	95	ask	131	balcony	167	became
24	advised	60	anoraks	96	assembled	132	bales	168	because
25	afraid	61	another	97	assistance	133	ball	169	become
26	African	62	answered	98	at	134	banana	170	bed
27	after	63	answering	99	ate	135	bandstand	171	bedspread
28	afternoon	64	antlers	100	athletic	136	bang	172	been
29	afterwards	65	any	101	attached	137	banned	173	before
30	again	66	anyone	102	attaching	138	banquets	174	began
31	against	67	anything	103	attack	139	barbecue	175	begged
32	age	68	anyway	104	attacking	140	bare	176	begin
33	ago	69	anywhere	105	attention	141	barely	177	beginner
34	agreed	70	apart	106	attractions	142	barks	178	behaviour
35	ahead	71	apartment	107	attractiveness	143	barn	179	behind
36	air	72	appalling	108	audience	144	barrel	180	being

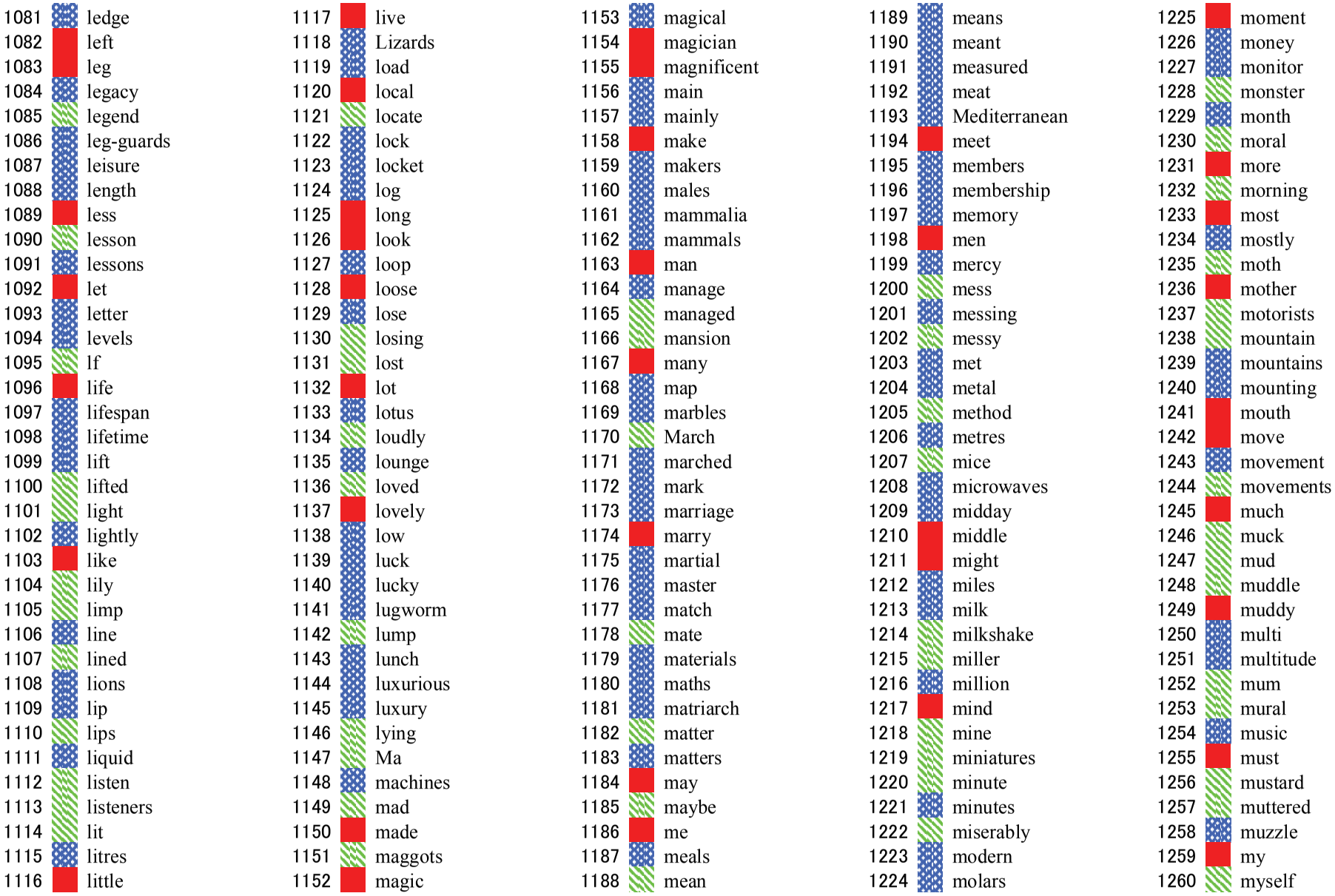

181 believed
182 belly
183 below
184 belt
185 bend
186 beside
187 best
188 bet
189 better
190 between
191 big
192 bindings
193 bird
194 birth
195 birthday
196 bit
197 bite
198 bitter
199 black
200 blame
201 blindfold
202 blink
203 blocked
204 blocks
205 blooded
206 bloodthirsty
207 blows
208 blubbing
209 blue
210 blunt
211 boar
212 board
213 boast
214 boat
215 boats
216 body
217 bold
218 bolts
219 bone
220 book
221 boost
222 boots
223 borders
224 bored
225 born
226 bot
227 both
228 bottom
229 bought
230 bound
231 bow
232 boxes
233 boy
234 boys
235 branches
236 brave
237 bravely
238 breach
239 bread
240 break
241 breakfasts
242 breath
243 breathe
244 breeding
245 breeze
246 bright
247 brightly
248 brilliant
249 brim
250 bring
251 brittle
252 brochure
253 broke
254 broken
255 bronze
256 brothers
257 brought
258 brown
259 brush
260 brute
261 bubbling
262 bucket
263 build
264 buildings
265 built
266 bulges
267 bulla
268 bulls
269 bureau
270 burning
271 burrows
272 burst
273 business
274 busy
275 but
276 butcher's
277 butter
278 buy
279 buzzed
280 by
281 cactus
282 cafes
283 cage
284 calf
285 call
286 calls
287 calves
288 came
289 can
290 cannot
291 capital
292 captivity
293 captured
294 car
295 carcass
296 card
297 cardboard
298 care
299 careful
300 carefully
301 carrots
302 carry
303 cars
304 carved
305 case
306 cast
307 casting
308 cat
309 catch
310 cats
311 cattle
312 caught
313 cause
314 caused
315 celebrated
316 central
317 centres
318 century
319 ceremony
320 certainly
321 chance
322 change
323 character
324 charioteers
325 chariots
326 charm
327 chased
328 chasers
329 cheapest
330 cheeky
331 cheers
332 cheese
333 chess
334 chest
335 chew
336 chicken
337 chickens
338 child
339 children
340 chocolate
341 choice
342 choose
343 chop
344 chosen
345 chunks
346 churn
347 circle
348 circles
349 circling
350 city
351 claim
352 class
353 clattering
354 claws
355 clean
356 cleaned
357 clear
358 clever
359 climb
360 climbed

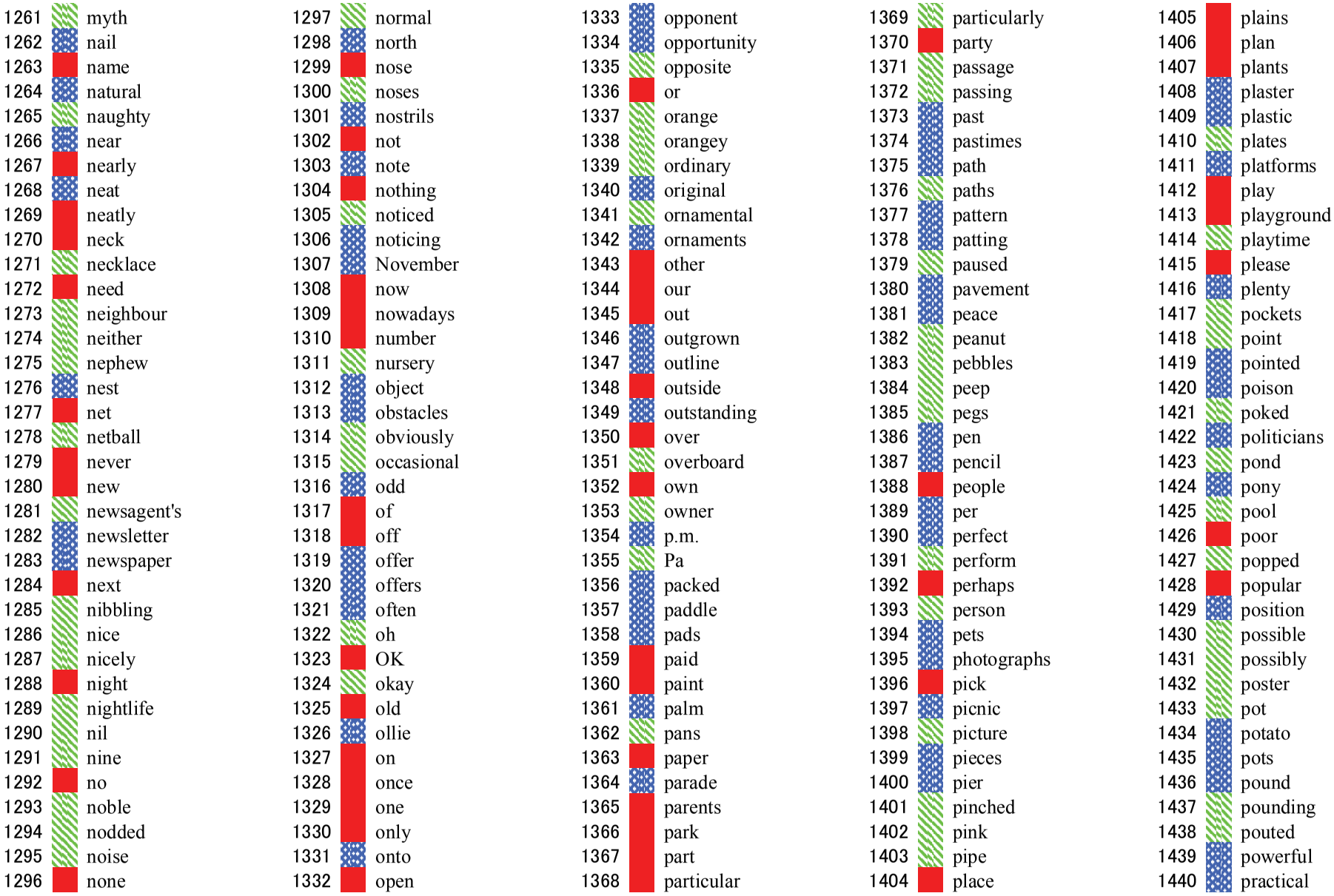

361 close
362 closely
363 closes
364 cloth
365 clothes
366 clothing
367 clouds
368 clowns
369 club
370 clumsy
371 clutch
372 Co.
373 coach
374 coast
375 coat
376 cobra
377 cod
378 coiled
379 coin
380 cola
381 cold
382 cold-blooded
383 collar
384 collect
385 colour
386 column
387 combed
388 come
389 comfort
390 comfortable
391 comforting
392 commented
393 communicating
394 company
395 comparing
396 compete
397 competition
398 complained
399 complete
400 completely
401 complex
402 components
403 concern
404 concrete
405 conditions
406 confused
407 congratulate
408 conquer
409 conquered
410 considered
411 continue
412 control
413 converted
414 cook
415 cool
416 copped
417 copy
418 correspondence
419 cot
420 cottage
421 cottages
422 could
423 count
424 countryside
425 county
426 couple
427 courage
428 course
429 cousin
430 cover
431 covered
432 cow
433 cows
434 crabs
435 crafty
436 cranberry
437 crashed
438 crawl
439 created
440 creature
441 creatures
442 crept
443 cried
444 criminal
445 crocodile
446 crops
447 cross
448 crossing
449 crouched
450 crowd
451 crowded
452 crowned
453 crumbs
454 cry
455 cunning
456 cupboard
457 curls
458 curtain
459 curved
460 customized
461 cut
462 cyclist
463 dad
464 dagger
465 daily
466 dainty
467 dairy
468 damage
469 dance
470 danger
471 dangerous
472 dared
473 dark
474 darkness
475 darts
476 daughter
477 dawn
478 day
479 daylight
480 dead
481 dear
482 death
483 decided
484 deck
485 deeper
486 defeated
487 delicacies
488 delicious
489 delight
490 deserved
491 designed
492 despised
493 detects
494 determined
495 developments
496 did
497 die
498 different
499 dig
500 digs
501 dining
502 dinner
503 directly
504 dirt
505 disabled
506 disappeared
507 disc
508 discounts
509 discover
510 discus
511 disks
512 display
513 distances
514 distant
515 distinctive
516 distribution
517 ditch
518 dived
519 divorced
520 do
521 doctor
522 dodge
523 dog
524 doggone
525 doing
526 dolls
527 done
528 don't
529 door
530 dotted
531 doubt
532 down
533 downstairs
534 dozen
535 draughts
536 draw
537 dreadful
538 dream
539 dreamt
540 dress

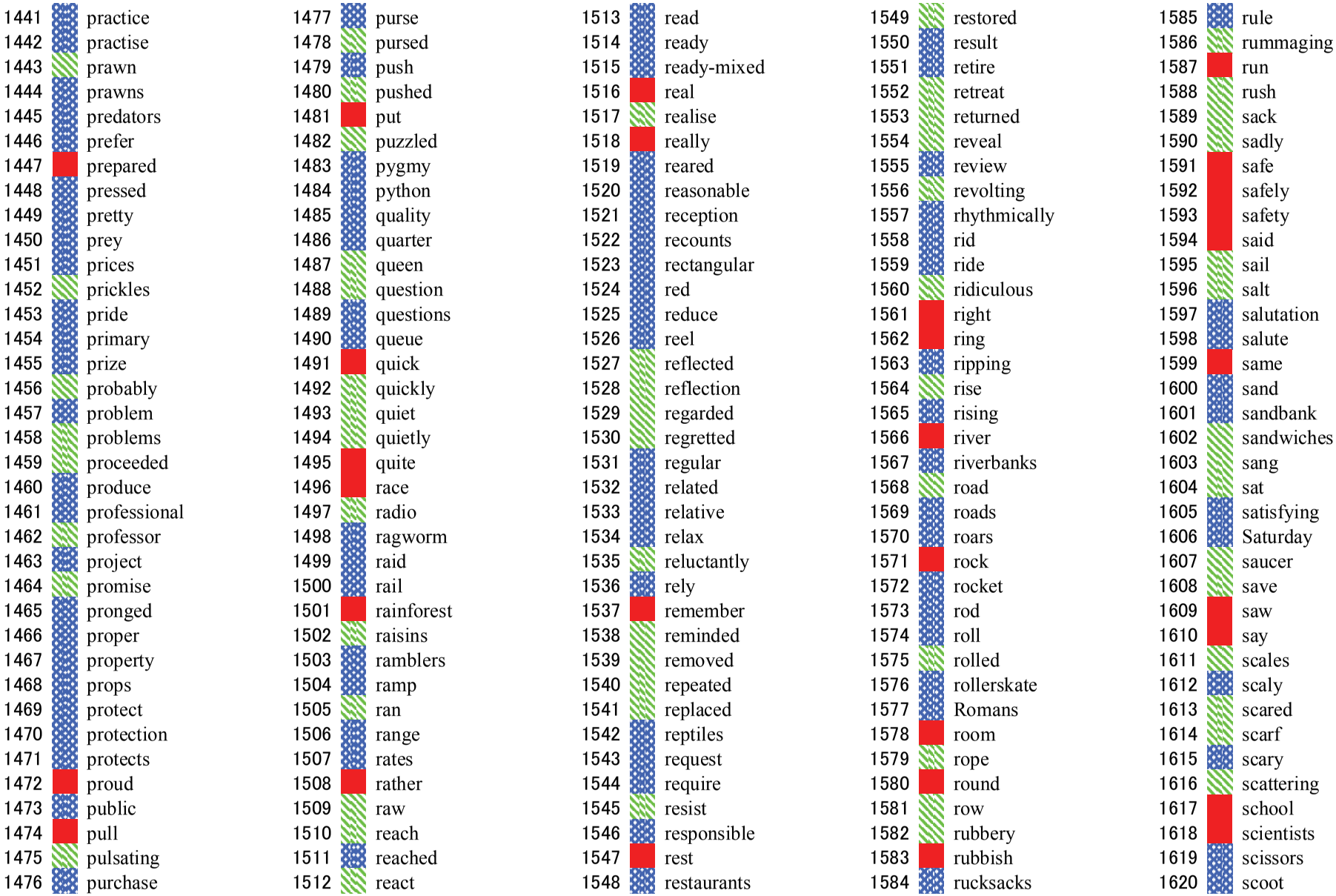

541 drew
542 drink
543 drive
544 drivers
545 drop
546 droplets
547 dropped
548 drowns
549 dry
550 ducked
551 dug
552 during
553 dust
554 dwelling
555 dwelt
556 dying
557 e.g.
558 each
559 ear
560 early
561 earned
562 ears
563 earth
564 easily
565 east
566 easy
567 eat
568 eaters
569 edge
570 eel
571 effect
572 effort
573 egg
574 eggs
575 eggstraordinary
576 either
577 elbow
578 elderly
579 elephant
580 else
581 elsewhere
582 Emperor
583 Empire
584 en
585 enable
586 encourage
587 encouraged
588 end
589 enemy
590 energy
591 enjoy
592 enormous
593 enough
594 enter
595 entertain
596 entertainment
597 entire
598 entitled
599 entrance
600 entry
601 equipment
602 especially
603 essentials
604 estate
605 estuary
606 etc
607 eucalyptus
608 even
609 evening
610 event
611 ever
612 every
613 everyone
614 everything
615 everywhere
616 exact
617 exactly
618 excellent
619 except
620 excited
621 excitement
622 exciting
623 exercise
624 ex-fighter
625 exhibit
626 expect
627 experience
628 expert
629 explained
630 explaining
631 exploring
632 exposed
633 external
634 extra
635 eye
636 eyelid
637 eyes
638 eyesight
639 face
640 facilities
641 fact
642 facts
643 faint
644 fair
645 fairy
646 faithfully
647 fall
648 fallen
649 family
650 famous
651 fan
652 fangs
653 far
654 farm
655 farmer
656 farmhouse
657 farmland
658 farmyard
659 fascinating
660 fast
661 fat
662 father
663 fault
664 favourite
665 fear
666 feasting
667 feathers
668 feature
669 fed
670 feed
671 feel
672 feet
673 fell
674 fellas
675 felt
676 female
677 fetch
678 fetching
679 few
680 fiction
681 field
682 fight
683 fighters
684 figures
685 filled
686 fin
687 finally
688 find
689 finger
690 finish
691 finished
692 fire
693 fire-flies
694 fireplace
695 firework
696 firmly
697 first
698 fish
699 fit
700 fitted
701 five
702 fix
703 fixed
704 flag
705 flame
706 flapped
707 flaps
708 flat
709 flew
710 flicked
711 flicker
712 floating
713 flock
714 flooded
715 floor
716 flower
717 flowing
718 fluffy
719 fly
720 follow

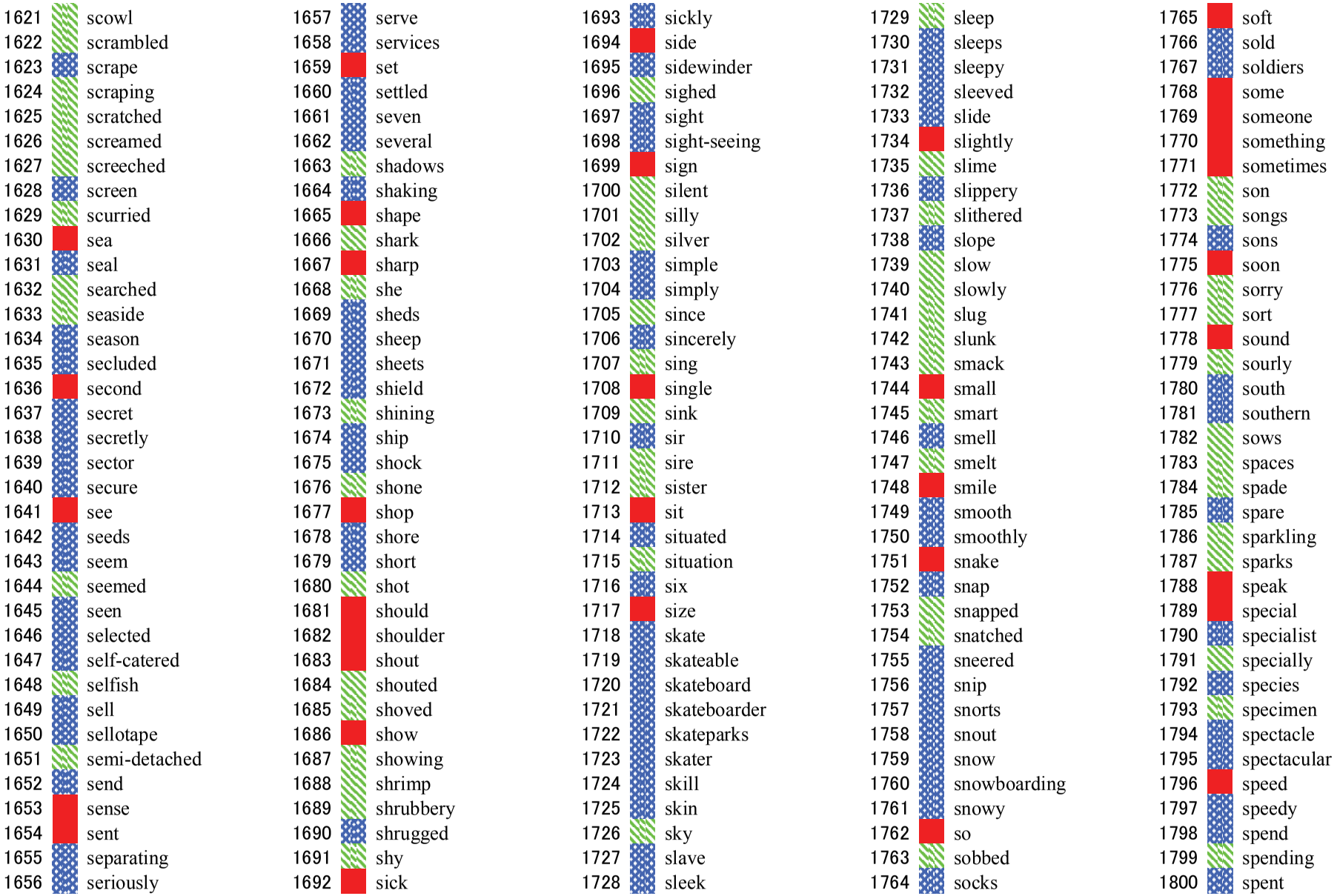

721 follows
722 fond
723 food
724 fool
725 foolish
726 foot
727 footpaths
728 footsteps
729 for
730 forbidden
731 force
732 forced
733 forehead
734 forest
735 forests
736 forget
737 forgot
738 form
739 formal
740 forward
741 fought
742 found
743 four
744 fourth
745 frangs
746 frantically
747 free
748 freedom
749 freeride
750 fresh
751 fret
752 friendliness
753 friendly
754 friends
755 fright
756 frightened
757 frog
758 from
759 front
760 frowned
761 froze
762 fruit
763 full
764 fully-fitted
765 fun
766 furious
767 furiously
768 furnishings
769 furniture
770 further
771 furthest
772 future
773 gain
774 game
775 gap
776 garden
777 garment
778 gate
779 gather
780 gave
781 gear
782 general
783 gentle
784 geography
785 get
786 getting
787 giant
788 gift
789 giraffes
790 girl
791 girls
792 give
793 given
794 gladiator
795 glanced
796 glands
797 glare
798 glass
799 gleaming
800 glinting
801 glitters
802 gloom
803 glove
804 glowing
805 glue
806 go
807 goat
808 gobbled
809 gods
810 goggles
811 gold
812 gone
813 good
814 goofy
815 gossip
816 got
817 grabbed
818 grabs
819 grade
820 grandfather
821 grandmother
822 graphics
823 grass
824 grasslands
825 grass-snakes
826 gravel
827 grazed
828 great
829 greedier
830 green
831 grew
832 greyish
833 grind
834 grinned
835 ground
836 group
837 grow
838 grown
839 guards
840 guess
841 guessed
842 guest
843 guide
844 guilty
845 ha
846 habitat
847 had
848 hair
849 half
850 halfaway
851 halfpipe
852 halidays
853 Hallowe'en
854 hammering
855 hand
856 handrails
857 hang
858 hanger
859 happen
860 happily
861 happy
862 harbour
863 hard
864 harmful
865 has
866 hastily
867 hatch
868 hatchlings
869 hate
870 have
871 haven
872 hay
873 head
874 headly
875 healthy
876 hear
877 heard
878 heart
879 heat
880 heavy
881 hedge
882 hedgehog
883 hedgehogkind
884 heels
885 height
886 held
887 hello
888 helmet
889 help
890 helper
891 helpful
892 helpless
893 helplessly
894 hens
895 her
896 herbivores
897 herd
898 here
899 hero
900 heroic

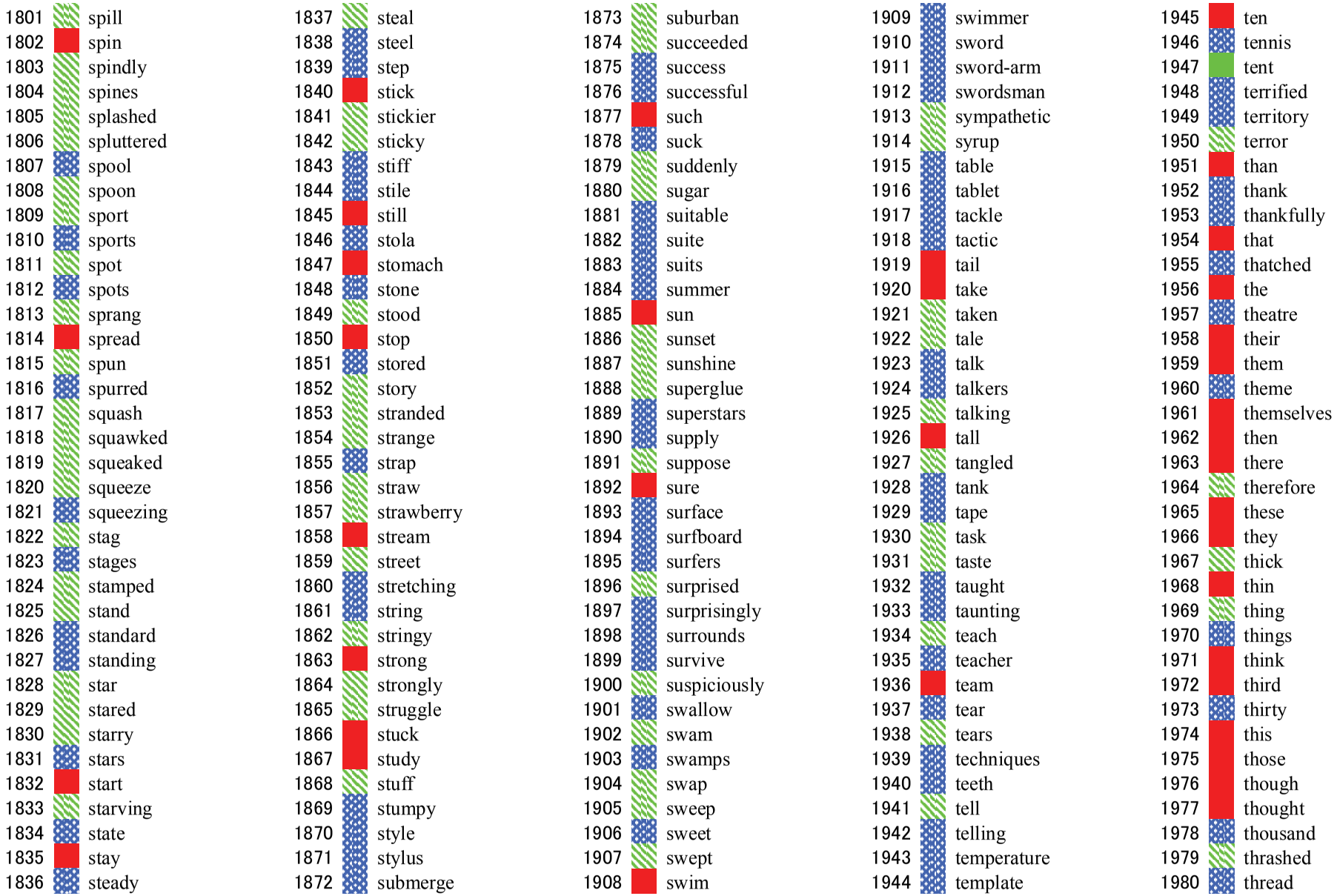

901 herself
902 hi
903 hidden
904 hide
905 high
906 hiking
907 hill
908 hills
909 him
910 himself
911 hinged
912 hippo
913 hippopotamidae
914 hippopotamus
915 hire
916 his
917 history
918 hit
919 hittom
920 hobby
921 hold
922 hole
923 holiday
924 home
925 hooks
926 hoops
927 hopeless
928 horrible
929 horrid
930 horror
931 horse
932 hot
933 hounds
934 hours
935 house
936 how
937 however
938 howled
939 hug
940 huge
941 hugging
942 huh
943 human
944 humans
945 hunger
946 hungry
947 hunting
948 hurried
949 hurt
950 husband
951 hut
952 I
953 ice-cream
954 idea
955 idiot
956 if
957 I'll
958 I'm
959 imagine
960 immediately
961 immense
962 important
963 impossible
964 impressive
965 improve
966 in
967 inching
968 include
969 incubate
970 indeed
971 Indian
972 indoor
973 influence
974 inform
975 informal
976 information
977 infrasound
978 inglenook
979 initiative
980 injected
981 insects
982 inside
983 insisted
984 insisting
985 inspection
986 inspectors
987 instant
988 instead
989 instinct
990 interested
991 intervals
992 into
993 invaded
994 invented
995 invited
996 is
997 it
998 its
999 itself
1000 ivory
1001 jacket
1002 jam
1003 Japanese
1004 jar
1005 jaws
1006 jealous
1007 jeans
1008 jelly
1009 jet
1010 jewels
1011 Jewish
1012 jobs
1013 join
1014 journey
1015 judder
1016 judge
1017 Judo
1018 Judoka
1019 juicy
1020 jump
1021 June
1022 jungles
1023 junior
1024 just
1025 keen
1026 keep
1027 kept
1028 kerbs
1029 key
1030 kg
1031 kicktail
1032 kids
1033 kill
1034 killed
1035 kind
1036 kindly
1037 king
1038 kingdom
1039 kitchen
1040 kitten
1041 kittens
1042 knee
1043 knew
1044 knocked
1045 knot
1046 know
1047 known
1048 laboratory
1049 lady
1050 lager
1051 laid
1052 lakes
1053 land
1054 landscape
1055 language
1056 laps
1057 large
1058 laser
1059 last
1060 late
1061 Latins
1062 laughed
1063 law
1064 lawns
1065 lay
1066 layers
1067 lays
1068 lazy
1069 lead
1070 leaned
1071 leap
1072 leapt
1073 learn
1074 leash
1075 least
1076 leather
1077 leathery
1078 leave
1079 lecture
1080 led

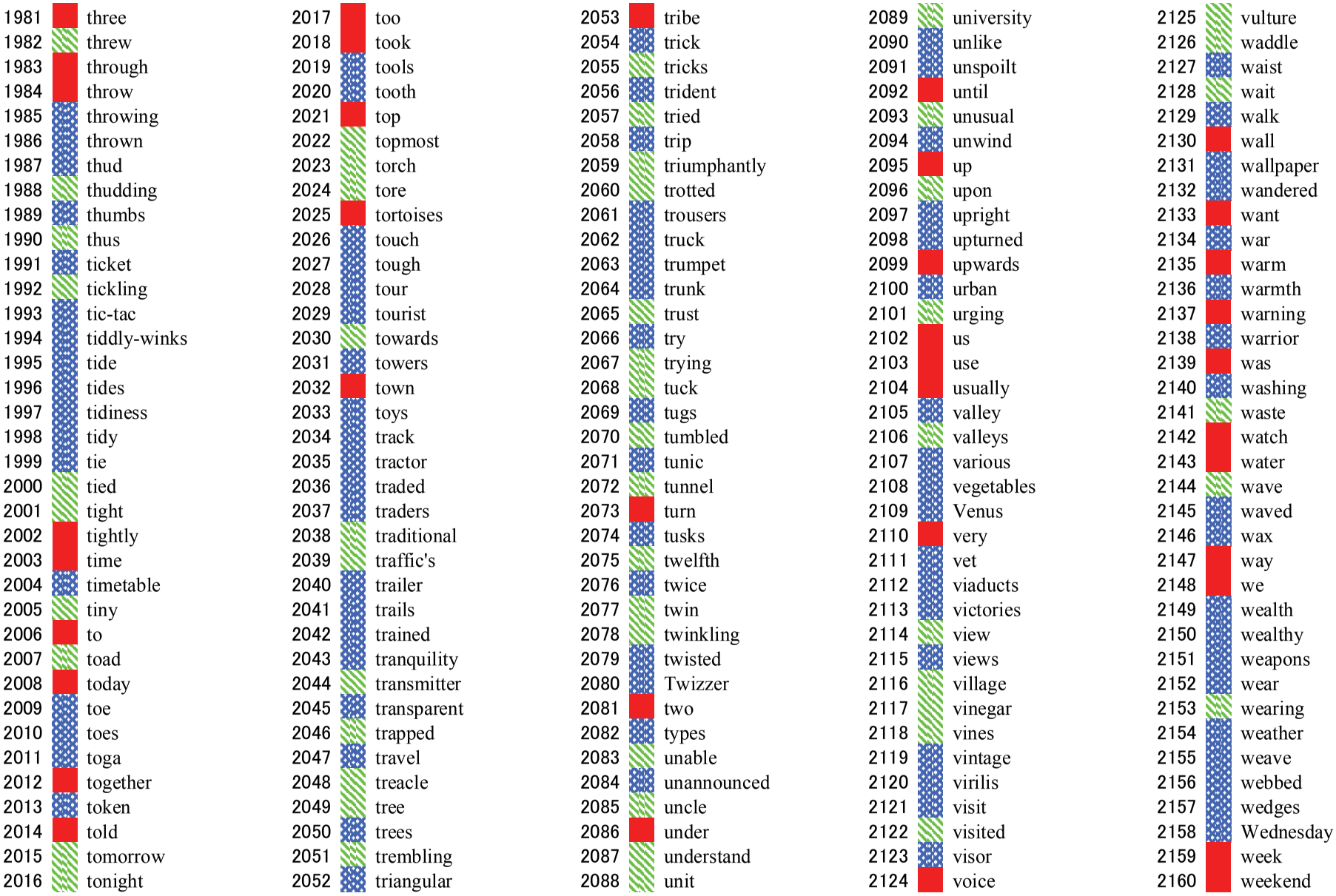

1081 ledge
1082 left
1083 leg
1084 legacy
1085 legend
1086 leg-guards
1087 leisure
1088 length
1089 less
1090 lesson
1091 lessons
1092 let
1093 letter
1094 levels
1095 lf
1096 life
1097 lifespan
1098 lifetime
1099 lift
1100 lifted
1101 light
1102 lightly
1103 like
1104 lily
1105 limp
1106 line
1107 lined
1108 lions
1109 lip
1110 lips
1111 liquid
1112 listen
1113 listeners
1114 lit
1115 litres
1116 little
1117 live
1118 Lizards
1119 load
1120 local
1121 locate
1122 lock
1123 locket
1124 log
1125 long
1126 look
1127 loop
1128 loose
1129 lose
1130 losing
1131 lost
1132 lot
1133 lotus
1134 loudly
1135 lounge
1136 loved
1137 lovely
1138 low
1139 luck
1140 lucky
1141 lugworm
1142 lump
1143 lunch
1144 luxurious
1145 luxury
1146 lying
1147 Ma
1148 machines
1149 mad
1150 made
1151 maggots
1152 magic
1153 magical
1154 magician
1155 magnificent
1156 main
1157 mainly
1158 make
1159 makers
1160 males
1161 mammalia
1162 mammals
1163 man
1164 manage
1165 managed
1166 mansion
1167 many
1168 map
1169 marbles
1170 March
1171 marched
1172 mark
1173 marriage
1174 marry
1175 martial
1176 master
1177 match
1178 mate
1179 materials
1180 maths
1181 matriarch
1182 matter
1183 matters
1184 may
1185 maybe
1186 me
1187 meals
1188 mean
1189 means
1190 meant
1191 measured
1192 meat
1193 Mediterranean
1194 meet
1195 members
1196 membership
1197 memory
1198 men
1199 mercy
1200 mess
1201 messing
1202 messy
1203 met
1204 metal
1205 method
1206 metres
1207 mice
1208 microwaves
1209 midday
1210 middle
1211 might
1212 miles
1213 milk
1214 milkshake
1215 miller
1216 million
1217 mind
1218 mine
1219 miniatures
1220 minute
1221 minutes
1222 miserably
1223 modern
1224 molars
1225 moment
1226 money
1227 monitor
1228 monster
1229 month
1230 moral
1231 more
1232 morning
1233 most
1234 mostly
1235 moth
1236 mother
1237 motorists
1238 mountain
1239 mountains
1240 mounting
1241 mouth
1242 move
1243 movement
1244 movements
1245 much
1246 muck
1247 mud
1248 muddle
1249 muddy
1250 multi
1251 multitude
1252 mum
1253 mural
1254 music
1255 must
1256 mustard
1257 muttered
1258 muzzle
1259 my
1260 myself


1261 myth
1262 nail
1263 name
1264 natural
1265 naughty
1266 near
1267 nearly
1268 neat
1269 neatly
1270 neck
1271 necklace
1272 need
1273 neighbour
1274 neither
1275 nephew
1276 nest
1277 net
1278 netball
1279 never
1280 new
1281 newsagent's
1282 newsletter
1283 newspaper
1284 next
1285 nibbling
1286 nice
1287 nicely
1288 night
1289 nightlife
1290 nil
1291 nine
1292 no
1293 noble
1294 nodded
1295 noise
1296 none
1297 normal
1298 north
1299 nose
1300 noses
1301 nostrils
1302 not
1303 note
1304 nothing
1305 noticed
1306 noticing
1307 November
1308 now
1309 nowadays
1310 number
1311 nursery
1312 object
1313 obstacles
1314 obviously
1315 occasional
1316 odd
1317 of
1318 off
1319 offer
1320 offers
1321 often
1322 oh
1323 OK
1324 okay
1325 old
1326 ollie
1327 on
1328 once
1329 one
1330 only
1331 onto
1332 open
1333 opponent
1334 opportunity
1335 opposite
1336 or
1337 orange
1338 orangey
1339 ordinary
1340 original
1341 ornamental
1342 ornaments
1343 other
1344 our
1345 out
1346 outgrown
1347 outline
1348 outside
1349 outstanding
1350 over
1351 overboard
1352 own
1353 owner
1354 p.m.
1355 Pa
1356 packed
1357 paddle
1358 pads
1359 paid
1360 paint
1361 palm
1362 pans
1363 paper
1364 parade
1365 parents
1366 park
1367 part
1368 particular
1369 particularly
1370 party
1371 passage
1372 passing
1373 past
1374 pastimes
1375 path
1376 paths
1377 pattern
1378 patting
1379 paused
1380 pavement
1381 peace
1382 peanut
1383 pebbles
1384 peep
1385 pegs
1386 pen
1387 pencil
1388 people
1389 per
1390 perfect
1391 perform
1392 perhaps
1393 person
1394 pets
1395 photographs
1396 pick
1397 picnic
1398 picture
1399 pieces
1400 pier
1401 pinched
1402 pink
1403 pipe
1404 place
1405 plains
1406 plan
1407 plants
1408 plaster
1409 plastic
1410 plates
1411 platforms
1412 play
1413 playground
1414 playtime
1415 please
1416 plenty
1417 pockets
1418 point
1419 pointed
1420 poison
1421 poked
1422 politicians
1423 pond
1424 pony
1425 pool
1426 poor
1427 popped
1428 popular
1429 position
1430 possible
1431 possibly
1432 poster
1433 pot
1434 potato
1435 pots
1436 pound
1437 pounding
1438 pouted
1439 powerful
1440 practical


1441 practice
1442 practise
1443 prawn
1444 prawns
1445 predators
1446 prefer
1447 prepared
1448 pressed
1449 pretty
1450 prey
1451 prices
1452 prickles
1453 pride
1454 primary
1455 prize
1456 probably
1457 problem
1458 problems
1459 proceeded
1460 produce
1461 professional
1462 professor
1463 project
1464 promise
1465 pronged
1466 proper
1467 property
1468 props
1469 protect
1470 protection
1471 protects
1472 proud
1473 public
1474 pull
1475 pulsating
1476 purchase
1477 purse
1478 pursed
1479 push
1480 pushed
1481 put
1482 puzzled
1483 pygmy
1484 python
1485 quality
1486 quarter
1487 queen
1488 question
1489 questions
1490 queue
1491 quick
1492 quickly
1493 quiet
1494 quietly
1495 quite
1496 race
1497 radio
1498 ragworm
1499 raid
1500 rail
1501 rainforest
1502 raisins
1503 ramblers
1504 ramp
1505 ran
1506 range
1507 rates
1508 rather
1509 raw
1510 reach
1511 reached
1512 react
1513 read
1514 ready
1515 ready-mixed
1516 real
1517 realise
1518 really
1519 reared
1520 reasonable
1521 reception
1522 recounts
1523 rectangular
1524 red
1525 reduce
1526 reel
1527 reflected
1528 reflection
1529 regarded
1530 regretted
1531 regular
1532 related
1533 relative
1534 relax
1535 reluctantly
1536 rely
1537 remember
1538 reminded
1539 removed
1540 repeated
1541 replaced
1542 reptiles
1543 request
1544 require
1545 resist
1546 responsible
1547 rest
1548 restaurants
1549 restored
1550 result
1551 retire
1552 retreat
1553 returned
1554 reveal
1555 review
1556 revolting
1557 rhythmically
1558 rid
1559 ride
1560 ridiculous
1561 right
1562 ring
1563 ripping
1564 rise
1565 rising
1566 river
1567 riverbanks
1568 road
1569 roads
1570 roars
1571 rock
1572 rocket
1573 rod
1574 roll
1575 rolled
1576 rollerskate
1577 Romans
1578 room
1579 rope
1580 round
1581 row
1582 rubbery
1583 rubbish
1584 rucksacks
1585 rule
1586 rummaging
1587 run
1588 rush
1589 sack
1590 sadly
1591 safe
1592 safely
1593 safety
1594 said
1595 sail
1596 salt
1597 salutation
1598 salute
1599 same
1600 sand
1601 sandbank
1602 sandwiches
1603 sang
1604 sat
1605 satisfying
1606 Saturday
1607 saucer
1608 save
1609 saw
1610 say
1611 scales
1612 scaly
1613 scared
1614 scarf
1615 scary
1616 scattering
1617 school
1618 scientists
1619 scissors
1620 scoot


1621 scowl
1622 scrambled
1623 scrape
1624 scraping
1625 scratched
1626 screamed
1627 screeched
1628 screen
1629 scurried
1630 sea
1631 seal
1632 searched
1633 seaside
1634 season
1635 secluded
1636 second
1637 secret
1638 secretly
1639 sector
1640 secure
1641 see
1642 seeds
1643 seem
1644 seemed
1645 seen
1646 selected
1647 self-catered
1648 selfish
1649 sell
1650 sellotape
1651 semi-detached
1652 send
1653 sense
1654 sent
1655 separating
1656 seriously
1657 serve
1658 services
1659 set
1660 settled
1661 seven
1662 several
1663 shadows
1664 shaking
1665 shape
1666 shark
1667 sharp
1668 she
1669 sheds
1670 sheep
1671 sheets
1672 shield
1673 shining
1674 ship
1675 shock
1676 shone
1677 shop
1678 shore
1679 short
1680 shot
1681 should
1682 shoulder
1683 shout
1684 shouted
1685 shoved
1686 show
1687 showing
1688 shrimp
1689 shrubbery
1690 shrugged
1691 shy
1692 sick
1693 sickly
1694 side
1695 sidewinder
1696 sighed
1697 sight
1698 sight-seeing
1699 sign
1700 silent
1701 silly
1702 silver
1703 simple
1704 simply
1705 since
1706 sincerely
1707 sing
1708 single
1709 sink
1710 sir
1711 sire
1712 sister
1713 sit
1714 situated
1715 situation
1716 six
1717 size
1718 skate
1719 skateable
1720 skateboard
1721 skateboarder
1722 skateparks
1723 skater
1724 skill
1725 skin
1726 sky
1727 slave
1728 sleek
1729 sleep
1730 sleeps
1731 sleepy
1732 sleeved
1733 slide
1734 slightly
1735 slime
1736 slippery
1737 slithered
1738 slope
1739 slow
1740 slowly
1741 slug
1742 slunk
1743 smack
1744 small
1745 smart
1746 smell
1747 smelt
1748 smile
1749 smooth
1750 smoothly
1751 snake
1752 snap
1753 snapped
1754 snatched
1755 sneered
1756 snip
1757 snorts
1758 snout
1759 snow
1760 snowboarding
1761 snowy
1762 so
1763 sobbed
1764 socks
1765 soft
1766 sold
1767 soldiers
1768 some
1769 someone
1770 something
1771 sometimes
1772 son
1773 songs
1774 sons
1775 soon
1776 sorry
1777 sort
1778 sound
1779 sourly
1780 south
1781 southern
1782 sows
1783 spaces
1784 spade
1785 spare
1786 sparkling
1787 sparks
1788 speak
1789 special
1790 specialist
1791 specially
1792 species
1793 specimen
1794 spectacle
1795 spectacular
1796 speed
1797 speedy
1798 spend
1799 spending
1800 spent


1801 spill
1802 spin
1803 spindly
1804 spines
1805 splashed
1806 spluttered
1807 spool
1808 spoon
1809 sport
1810 sports
1811 spot
1812 spots
1813 sprang
1814 spread
1815 spun
1816 spurred
1817 squash
1818 squawked
1819 squeaked
1820 squeeze
1821 squeezing
1822 stag
1823 stages
1824 stamped
1825 stand
1826 standard
1827 standing
1828 star
1829 stared
1830 starry
1831 stars
1832 start
1833 starving
1834 state
1835 stay
1836 steady
1837 steal
1838 steel
1839 step
1840 stick
1841 stickier
1842 sticky
1843 stiff
1844 stile
1845 still
1846 stola
1847 stomach
1848 stone
1849 stood
1850 stop
1851 stored
1852 story
1853 stranded
1854 strange
1855 strap
1856 straw
1857 strawberry
1858 stream
1859 street
1860 stretching
1861 string
1862 stringy
1863 strong
1864 strongly
1865 struggle
1866 stuck
1867 study
1868 stuff
1869 stumpy
1870 style
1871 stylus
1872 submerge
1873 suburban
1874 succeeded
1875 success
1876 successful
1877 such
1878 suck
1879 suddenly
1880 sugar
1881 suitable
1882 suite
1883 suits
1884 summer
1885 sun
1886 sunset
1887 sunshine
1888 superglue
1889 superstars
1890 supply
1891 suppose
1892 sure
1893 surface
1894 surfboard
1895 surfers
1896 surprised
1897 surprisingly
1898 surrounds
1899 survive
1900 suspiciously
1901 swallow
1902 swam
1903 swamps
1904 swap
1905 sweep
1906 sweet
1907 swept
1908 swim
1909 swimmer
1910 sword
1911 sword-arm
1912 swordsman
1913 sympathetic
1914 syrup
1915 table
1916 tablet
1917 tackle
1918 tactic
1919 tail
1920 take
1921 taken
1922 tale
1923 talk
1924 talkers
1925 talking
1926 tall
1927 tangled
1928 tank
1929 tape
1930 task
1931 taste
1932 taught
1933 taunting
1934 teach
1935 teacher
1936 team
1937 tear
1938 tears
1939 techniques
1940 teeth
1941 tell
1942 telling
1943 temperature
1944 template
1945 ten
1946 tennis
1947 tent
1948 terrified
1949 territory
1950 terror
1951 than
1952 thank
1953 thankfully
1954 that
1955 thatched
1956 the
1957 theatre
1958 their
1959 them
1960 theme
1961 themselves
1962 then
1963 there
1964 therefore
1965 these
1966 they
1967 thick
1968 thin
1969 thing
1970 things
1971 think
1972 third
1973 thirty
1974 this
1975 those
1976 though
1977 thought
1978 thousand
1979 thrashed
1980 thread


1981 three
1982 threw
1983 through
1984 throw
1985 throwing
1986 thrown
1987 thud
1988 thudding
1989 thumbs
1990 thus
1991 ticket
1992 tickling
1993 tic-tac
1994 tiddly-winks
1995 tide
1996 tides
1997 tidiness
1998 tidy
1999 tie
2000 tied
2001 tight
2002 tightly
2003 time
2004 timetable
2005 tiny
2006 to
2007 toad
2008 today
2009 toe
2010 toes
2011 toga
2012 together
2013 token
2014 told
2015 tomorrow
2016 tonight
2017 too
2018 took
2019 tools
2020 tooth
2021 top
2022 topmost
2023 torch
2024 tore
2025 tortoises
2026 touch
2027 tough
2028 tour
2029 tourist
2030 towards
2031 towers
2032 town
2033 toys
2034 track
2035 tractor
2036 traded
2037 traders
2038 traditional
2039 traffic's
2040 trailer
2041 trails
2042 trained
2043 tranquility
2044 transmitter
2045 transparent
2046 trapped
2047 travel
2048 treacle
2049 tree
2050 trees
2051 trembling
2052 triangular
2053 tribe
2054 trick
2055 tricks
2056 trident
2057 tried
2058 trip
2059 triumphantly
2060 trotted
2061 trousers
2062 truck
2063 trumpet
2064 trunk
2065 trust
2066 try
2067 trying
2068 tuck
2069 tugs
2070 tumbled
2071 tunic
2072 tunnel
2073 turn
2074 tusks
2075 twelfth
2076 twice
2077 twin
2078 twinkling
2079 twisted
2080 Twizzer
2081 two
2082 types
2083 unable
2084 unannounced
2085 uncle
2086 under
2087 understand
2088 unit
2089 university
2090 unlike
2091 unspoilt
2092 until
2093 unusual
2094 unwind
2095 up
2096 upon
2097 upright
2098 upturned
2099 upwards
2100 urban
2101 urging
2102 us
2103 use
2104 usually
2105 valley
2106 valleys
2107 various
2108 vegetables
2109 Venus
2110 very
2111 vet
2112 viaducts
2113 victories
2114 view
2115 views
2116 village
2117 vinegar
2118 vines
2119 vintage
2120 virilis
2121 visit
2122 visited
2123 visor
2124 voice
2125 vulture
2126 waddle
2127 waist
2128 wait
2129 walk
2130 wall
2131 wallpaper
2132 wandered
2133 want
2134 war
2135 warm
2136 warmth
2137 warning
2138 warrior
2139 was
2140 washing
2141 waste
2142 watch
2143 water
2144 wave
2145 waved
2146 wax
2147 way
2148 we
2149 wealth
2150 wealthy
2151 weapons
2152 wear
2153 wearing
2154 weather
2155 weave
2156 webbed
2157 wedges
2158 Wednesday
2159 week
2160 weekend

2161 weigh
2162 weight
2163 welcome
2164 well
2165 went
2166 were
2167 west
2168 wet
2169 whale
2170 what
2171 wheel
2172 wheelchair
2173 when
2174 where
2175 whether
2176 which
2177 whichever
2178 while
2179 whiskers
2180 whisper
2181 white
2182 who
2183 whole
2184 whoops
2185 why
2186 wide
2187 wife
2188 wild
2189 wildly
2190 will
2191 wimp
2192 win
2193 wind
2194 wings
2195 winking
2196 winner
2197 wins
2198 wire
2199 wisdom
2200 wise
2201 wish
2202 wishing
2203 with
2204 without
2205 wits
2206 wizard
2207 wobble
2208 woken
2209 wolves
2210 women
2211 won
2212 wonder
2213 wonderful
2214 won't
2215 wood
2216 wooden
2217 word
2218 words
2219 wore
2220 work
2221 workshop
2222 world
2223 worm
2224 worry
2225 worse
2226 worst
2227 worth
2228 would
2229 wrapped
2230 wrist
2231 write
2232 written
2233 wrong
2234 wryly
2235 yapping
2236 yard
2237 yawning
2238 yeah
2239 year
2240 yelled
2241 yelped
2242 yes
2243 yet
2244 yoga
2245 you
2246 young
2247 younger
2248 youngster
2249 youngsters
2250 your
2251 yours
2252 yourself
2253 zebra
2254 zoo

分析教科書は以下のとおり。

- Brian Moses 編 ”Literacy World Essential Fiction Stage1”, Heinemann, 2004
- Diana Bentley & DeeReid 編 ”Literacy World Essential Non-fiction Stage1”, Heinemann, 2004

（新井浅浩）

３．フランス

1	à	43	arrêté	85	bava	127	brouter
2	abandonner	44	arrive	86	bavera	128	bruit
3	absence	45	arrivé	87	beau	129	brusquement
4	Acheta	46	arrivée	88	beaucoup	130	ça
5	Achètera	47	arrivés	89	bébé	131	cabas
6	acrobatie	48	assez	90	bébés	132	cacha
7	acrobaties	49	atelier	91	belle	133	cache
8	adopter	50	atroces	92	berça	134	caché
9	adorable	51	attendrie	93	bercés	135	cadeaux
10	affaire	52	attention	94	besoin	136	cafards
11	affamé	53	atterrira	95	bête	137	caillé
12	affreuses	54	au	96	biberon	138	camarades
13	affreux	55	aucun	97	bien	139	camembert
14	africain	56	aujourd'hui	98	bientôt	140	cameroun
15	agacé	57	aura	99	bienvenue	141	car
16	agacés	58	aurait	100	bigleux	142	cas
17	ai	59	auras	101	bisous	143	casse
18	aiguë	60	aussi	102	blague	144	cassé
19	aiguille	61	aussitôt	103	blanche	145	casser
20	aimait	62	autour	104	blanches	146	cause
21	aiment	63	autres	105	blessé	147	ce
22	aimer	64	aux	106	boira	148	celui
23	ainsi	65	avais	107	boire	149	ces
24	aïoli	66	avait	108	bois	150	cessa
25	air	67	avaler	109	boisson	151	c'est
26	allaient	68	avant	110	boissons	152	c'était
27	allé	69	avec	111	bon	153	cette
28	aller	70	avez	112	bonheur	154	ceux
29	allez	71	avoir	113	bonne	155	chahuter
30	alors	72	avoue	114	bord	156	chambre
31	animaux	73	ayant	115	bouboule	157	changement
32	ans	74	baguette	116	bouche	158	chansons
33	aperçurent	75	baigner	117	bouchée	159	chantonnant
34	aperçut	76	baignera	118	boucler	160	chants
35	appareil	77	bâillement	119	boulanger	161	chaque
36	appela	78	bâillent	120	braillard	162	chatouiller
37	appelé	79	balai	121	branches	163	chatouilleront
38	apprendront	80	bananes	122	bras	164	chaud
39	appris	81	bande	123	brave	165	chemin
40	après	82	bascula	124	bricola	166	cherche
41	arbres	83	basse	125	brillante	167	cherché
42	arrête	84	battre	126	broutait	168	chercher

169 chérie
170 chers
171 chevaliers
172 cheveaux
173 cheveux
174 chèvre
175 chez
176 chimpanzés
177 chipie
178 choc
179 chœur
180 choisira
181 choisis
182 chose
183 chuchote
184 chuchoter
185 ciel
186 ciseaux
187 claqueront
188 classe
189 club
190 coco
191 cœur
192 cogné
193 coin
194 colère
195 comme
196 commencent
197 commencer
198 comment
199 communiquer
200 compote
201 concours
202 confiais
203 confiance
204 confiture
205 congo
206 construira
207 construire
208 consulter
209 contenant
210 content
211 contente
212 copain
213 copains
214 copains
215 coquin
216 corbeille
217 costaud
218 costauds
219 côté
220 couche
221 couette
222 couler
223 couleur
224 coup
225 coups
226 courageux
227 courant
228 courses
229 courut
230 cousine
231 cousins
232 coutures
233 couturière
234 couvrant
235 couvrir
236 craie
237 crapaud
238 craquer
239 crémeux
240 cri
241 crie
242 crier
243 crièrent
244 crocodiles
245 crois
246 croise
247 cuisinés
248 culotte
249 d’aller
250 d’apprécier
251 d’arriver
252 d’elle
253 d’empêcher
254 d’enfant
255 d’épouvantables
256 d’être
257 d’idées
258 d’importance
259 d’olive
260 d’un
261 d’une
262 d’y
263 d'accord
264 d'adresse
265 d'animaux
266 dans
267 d'arbres
268 de
269 débarras
270 décida
271 décidément
272 découpa
273 découvrir
274 décrire
275 déforme
276 déguiser
277 dehors
278 déjà
279 déjeuner
280 demain
281 demande
282 demi
283 dents
284 départ
285 depuis
286 d'équilibre
287 des
288 désagréable
289 désaltérer
290 désaltérera
291 descendre
292 descente
293 désespoir
294 désormais
295 dessus
296 détaché
297 déteste
298 détester
299 deux
300 devant
301 devenir
302 dévorait
303 dire
304 dis
305 disant
306 distraire
307 dit
308 dix
309 dizaine
310 docteur
311 dodo
312 donc
313 donnaient
314 donner
315 dont
316 d'ordre
317 dormait
318 dormir
319 dormira
320 dos
321 douce
322 douleur
323 doute
324 dragon
325 drôle
326 drôles
327 du
328 dû
329 éclate
330 éclaté
331 écoute
332 éléphants
333 elle
334 elles
335 embête
336 embêter
337 embrasses
338 émilie
339 emportera
340 en
341 enchantée
342 encombrants
343 encore
344 endormi

345 endormirons
346 endormis
347 endroit
348 enduire
349 enduis
350 énervé
351 énerver
352 enfant
353 enfants
354 enfin
355 ennuyée
356 énorme
357 énormes
358 enquiquiner
359 enroué
360 ensemble
361 ensuite
362 entendirent
363 entendit
364 entre
365 envie
366 épais
367 erreur
368 es
369 escaladera
370 essayé
371 essayer
372 est
373 estomac
374 et
375 étagères
376 étaient
377 était
378 etc
379 été
380 éteignant
381 étincelles
382 étouffe
383 étouffer
384 être
385 eût
386 exactement
387 examina
388 exemple
389 exercice
390 expérimentée
391 expliquer
392 fabrique
393 fabriquer
394 facile
395 facilité
396 faim
397 fainéant
398 fainéants
399 faire
400 fais
401 faisant
402 fait
403 faites
404 fallu
405 familier
406 famille
407 farine
408 fatigué
409 faut
410 fenêtre
411 fer
412 fera
413 feras
414 ferme
415 fermer
416 fesses
417 fiche
418 ficher
419 fier
420 figure
421 fil
422 file
423 fille
424 fils
425 fin
426 fine
427 finit
428 fiston
429 fit
430 fois
431 fondent
432 forcer
433 forêt
434 forêts
435 formule
436 fort
437 forts
438 fouilla
439 fourmis
440 fourrage
441 frais
442 frappa
443 frapper
444 frère
445 frisés
446 frotte
447 frottera
448 fuir
449 furieux
450 fut
451 gagnera
452 galettes
453 galoper
454 garde
455 garderie
456 gardes
457 gêner
458 genres
459 gens
460 gentil
461 glapir
462 glapit
463 glisser
464 gorilles
465 goulûment
466 goût
467 goûter
468 grand
469 grandes
470 grands
471 gratuite
472 grimace
473 grimaces
474 grimepera
475 grondés
476 gros
477 grosse
478 grotte
479 ha
480 habitait
481 habite
482 haut
483 hautes
484 hésité
485 heureusement
486 hippopotames
487 histoire
488 histoires
489 honte
490 horribles
491 hurlait
492 ici
493 idée
494 il
495 illustré
496 ils
497 imagination
498 imiter
499 impossible
500 impression
501 indifférent
502 initiation
503 inonder
504 inscrivirent
505 instant
506 insupportable
507 inutile
508 j'ai
509 j'aille
510 jaillit
511 j'aimerais
512 jamais
513 jambon
514 japonaise
515 j'aurai
516 j'avais
517 je
518 j'en
519 jeter
520 jeune

521 jeux
522 j'imagine
523 j'imite
524 joli
525 jolis
526 jouer
527 jour
528 journée
529 jusqu'au
530 juste
531 kenya
532 la
533 l'a
534 là
535 l'Afrique
536 l'ai
537 l'aiguille
538 l'ail
539 l'aime
540 l'air
541 laissera
542 lait
543 l'alphabet
544 l'âme
545 l'an
546 langage
547 lange
548 l'appelle
549 larmes
550 l'as
551 l'atroce
552 l'autre
553 l'avait
554 l'avion
555 l'avoir
556 le
557 l'eau
558 l'école
559 légendaire
560 l'embêterai
561 l'endormir
562 l'énerve
563 l'enfant
564 l'énorme
565 l'enquiquiner
566 l'épicier
567 les
568 leur
569 leurs
570 leva
571 l'heure
572 l'horloge
573 l'huile
574 ligne
575 l'impression
576 l'infirmière
577 lions
578 liquide
579 lire
580 lit
581 loin
582 lolo
583 l'ombre
584 l'on
585 long
586 longuement
587 l'oreille
588 lors
589 lorsque
590 losqu'elle
591 loup
592 lourd
593 lu
594 lui
595 lumière
596 l'un
597 lundi
598 lunettes
599 matin
600 maugréant
601 maugréer
602 mayonnaise
603 me
604 méchancetés
605 méchant
606 méchants
607 médicale
608 méfiance
609 m'embête
610 m'embêter
611 même
612 m'en
613 m'énerver
614 mensonge
615 menton
616 méprise
617 mère
618 mérite
619 merveille
620 mes
621 met
622 m'étais
623 métal
624 métier
625 mettre
626 meunier
627 mexicain
628 midi
629 mil
630 mille
631 mis
632 mit
633 moche
634 moi
635 moindre
636 moins
637 mon
638 monde
639 monsieur
640 montagnes
641 monter
642 montera
643 montrer
644 moque
645 moqué
646 moquer
647 moqueurs
648 morceau
649 morceaux
650 mort
651 mot
652 mouvement
653 murmurant
654 n'a
655 n'aime
656 n'arrête
657 n'arrive
658 n'as
659 n'attache
660 ne
661 né
662 n'écoute
663 neiges
664 n'est
665 n'était
666 nez
667 n'hésitera
668 n'ira
669 noires
670 noirs
671 nombre
672 nomma
673 noms
674 non
675 n'ont
676 n'osait
677 n'ose
678 n'oseront
679 notre
680 nourrissent
681 nourrit
682 nourriture
683 nous
684 nouveau
685 n'ouvrir
686 n'ouvrirent
687 noya
688 nuages
689 nuit
690 n'y
691 objets
692 on
693 oranges
694 ordonna
695 oreilles
696 organisé

697 osier
698 ou
699 oui
700 ouvert
701 ouverte
702 ouvrez
703 ouvrir
704 pain
705 panier
706 paniers
707 panneau
708 papa
709 par
710 parachute
711 parce-que
712 pardonner
713 parente
714 parents
715 paresseux
716 parfaitement
717 parlaient
718 parlent
719 parler
720 parles
721 particule
722 partie
723 partir
724 partira
725 partit
726 pas
727 passé
728 passer
729 passera
730 patait
731 patata
732 patates
733 patati
734 patte
735 pattes
736 pauvre
737 peau
738 penchant
739 pendant
740 pendule
741 pénombre
742 pensais
743 penser
744 pensèrent
745 penses
746 pentes
747 perdit
748 père
749 personnage
750 personne
751 petit
752 petites
753 petits
754 peu
755 peur
756 peureux
757 peut
758 pieds
759 pierres
760 pipi
761 pis
762 plaça
763 plaines
764 planter
765 plantes
766 plats
767 plein
768 pleine
769 pleurant
770 pleurer
771 plissant
772 plisser
773 plus
774 point
775 pointe
776 pointu
777 porte
778 porté
779 posé
780 possible
781 pots
782 poudre
783 pour
784 pourquoi
785 pourra
786 pourrais
787 pourras
788 pourront
789 pourtant
790 poussa
791 pouvait
792 p'pa
793 prairie
794 pré
795 précipita
796 préfère
797 premier
798 prend
799 prendra
800 prendre
801 prenez
802 prépara
803 préparations
804 près
805 presque
806 pressées
807 presser
808 pressés
809 prévu
810 prier
811 princesse
812 prison
813 prit
814 problème
815 prochaine
816 profitait
817 profité
818 promirent
819 provision
820 puis
821 puits
822 punis
823 purée
824 qu'elle
825 qu'une
826 redevient
827 redresser
828 réfléchi
829 refusa
830 refuses
831 regardaient
832 regarde
833 région
834 regret
835 relevant
836 remarqué
837 remets
838 remonte
839 remplit
840 remuait
841 rendra
842 rentra
843 répété
844 répète
845 répondit
846 répondre
847 réponds
848 répondu
849 reposer
850 repu
851 réserves
852 ressemble
853 ressembles
854 reste
855 resté
856 retournera
857 retrouvé
858 rettrouvait
859 réunit
860 réveillé
861 réveiller
862 réveilleront
863 revient
864 revint
865 revoir
866 ribambelle
867 rien
868 rigoler
869 rigolera
870 rire
871 rivière
872 robe

873 rond
874 ronde
875 ronds
876 rouge
877 roulera
878 route
879 rusé
880 rusés
881 sa
882 s'abritera
883 sac
884 sacré
885 s'adoucir
886 s'adresser
887 s'agitait
888 sain
889 sains
890 sais
891 s'allongea
892 salut
893 samedi
894 s'amuser
895 s'amusera
896 sang
897 sans
898 santé
899 s'appelle
900 s'approcha
901 s'approcher
902 s'arrêter
903 s'assoit
904 sauf
905 saufs
906 saule
907 saupoudre
908 saupoudrer
909 saute
910 sautera
911 sauvages
912 savane
913 s'aviser
914 savoir
915 se
916 seau
917 s'échapper
918 s'écria
919 s'écriat
920 s'écrièrent
921 semaine
922 s'en
923 s'endormit
924 sens
925 sentait
926 sentir
927 sentit
928 s'envoler
929 séparer
930 sept
931 sera
932 serai
933 seras
934 sérieux
935 seront
936 serpent
937 serrer
938 ses
939 s'est
940 s'était
941 s'être
942 seul
943 seule
944 seulement
945 s'éveilla
946 si
947 sinon
948 sitôt
949 six
950 soif
951 soir
952 soit
953 soleil
954 solide
955 somment
956 son
957 songea
958 sont
959 sorcière
960 sorcières
961 sort
962 sortir
963 sortiront
964 sortit
965 souffre
966 souhait
967 souhaiter
968 soupir
969 soupire
970 souri
971 souriant
972 sourire
973 sourit
974 sous
975 souvenais
976 succès
977 suis
978 suivie
979 sur
980 sûr
981 surnomme
982 surprise
983 sursaut
984 surtout
985 ta
986 table
987 tant
988 tapota
989 tapoter
990 tard
991 t'arranger
992 t'avise
993 telle
994 temps
995 tendrement
996 tendu
997 terre
998 tes
999 t'es
1000 têtard
1001 tête
1002 téter
1003 tiède
1004 timide
1005 tira
1006 tirera
1007 tirèrent
1008 toboggans
1009 toi
1010 toit
1011 ton
1012 tordant
1013 tordue
1014 toucher
1015 toujours
1016 tourna
1017 tournait
1018 tourne
1019 tous
1020 tout
1021 toute
1022 toutes
1023 train
1024 traîna
1025 traité
1026 traitée
1027 traiter
1028 tranquillement
1029 transforma
1030 transformer
1031 transmettre
1032 travail
1033 tremper
1034 trempera
1035 très
1036 triste
1037 tristesse
1038 trois
1039 troisième
1040 tromper
1041 trop
1042 trou
1043 trous
1044 trouva
1045 trouvait
1046 trouve
1047 trouver
1048 tu

1049 un
1050 une
1051 utilisée
1052 va
1053 vacances
1054 vache
1055 vais
1056 valises
1057 vampire
1058 vas
1059 veilleuse
1060 venaient
1061 venait
1062 vent
1063 ventre
1064 venu
1065 venus
1066 véritable
1067 verras
1068 verrou
1069 vers
1070 versa
1071 verser
1072 vert
1073 verts
1074 veux
1075 vexé
1076 victimes
1077 vie
1078 vieille
1079 viendra
1080 viens
1081 vigilant
1082 vigilants
1083 village
1084 villes
1085 visage
1086 visite
1087 vit
1088 vite
1089 vitesse
1090 vitrine
1091 voilà
1092 voir
1093 vois
1094 voit
1095 voix
1096 vont
1097 votre
1098 voulais
1099 voulurent
1100 vous
1101 voyager
1102 voyait
1103 voyant
1104 voyons
1105 vrai
1106 vraiment
1107 vu
1108 y
1109 yeux

分析教科書：“Le bibliobus CP/CE1 14, Hachette, 2006

（藤井穂高）

４．ドイツ

総語彙数　　3385

A
ab
abbiegen
Abc
abdecken
abend
Abends
abenerdigen
Abenteuer
aber
abfahren
abfall'n
abgebildet
abgeschieden
abgewoehnt
Abgrund
abgucken
abhauen
abhoere
abholen
Abkuerzung
absagte
Abschied
absegelten
absichtlich
absteigen
abstotzen
abtobt
abwechselnd
ach
acht
achten
Achtung
ade
Adler
Adlers
Adresse
Advent
Adventszeit
aechzte
aehnlich
Aehnlichen
aelter
Aeltere
aendert
aengstlich
Aepfel
aergerlich
aergern
Aermel
Aeste
aeusserst
Affe
Aha
Ahmet
Akademie
Aktiv Musik
Alexander
Alfred
Algen
ALICE IN WUNDERLAND
all
allein
allerdings
allerfrei
allerhand
allerkeinstens
allerliebst
alles
allesamt
Alltags
Almosen
Aloahoahee
alphabetisch
Als
also
alt
Alte
am
Ameise
Ampeln
Amsel
an
anbauen
anbraeunen
and
ander
anders
anduensten
Anfang
anfangen
Anfangsbuchstaben
anfassen
anfing
angeblich
angefallen
Angeklagten
angekommen
angeschaut
angestarrt
angewidert
angiessen
angrinste
Angst
angucken
anhaett
anhalten
Anhalten
anhatte
anhoere
Anja
ankamen
Anke
anklopfen
ankommen
anmalt
Anna
Anne
annehmen
Annika
anraet
anrasen
anraste
anregt
ans
ansah
anschauen
anschliessend
ansehen
Ansehen
Ansicht
anstarrten

anstatt
anstellen
antreibt
Antworten
antwortete
Antwortspiel
anzeichen
anzeigen
anzicken
anziehen
Anziehen
Anzuegen
Apfel
Apfelbaeumchen
Apfelbaum
Apfelsinen
Appetit
Aprikosen
April
Aquarellfarben
arauf
Arbeit
arbeiten
arg
Arm
arrivederci
Art
Arzt
assen
Ast
Astrid Lindgren
Astronauten
Atelier
atmeten
au revoir
auch
audgetauscht
audwendig
auf
Auf wiedersehen
aufazahlen
aufblasen
aufeinander
auffallen
auffaltete
auffordern
auffressen
Aufgabe
aufgeregte
aufgeschrieben
aufgewacht
aufhaben
aufheben
aufhoeren
aufknoepfte
aufkochen
aufkrempeln
aufmachen
aufmerksam
aufpassen
aufpasste
Aufquellende
aufregt
aufreissen
aufs
aufschauten
aufschlagen
aufschlug
aufschreiben
aufsetzen
aufsprangen
aufteilen
Aufwachen
aufwischen
aufziehen
aufzuperren
aufzuregen
aufzwacken
Auge
Augenblick
Augenbrauen
Augendeckeln
aus
ausbeugte
ausbreitete
ausbrueten
Ausdauer
ausdenken
Ausdruck
ausdruecken
Ausflug
ausgedacht
ausgehen
ausgelatschten
ausgerechnet
ausgestrckt
ausgewandert
ausging
auskalendert
Auskunft
ausleihen
ausmachen
ausprobieren
ausrief
Aussagen
aussah
Ausschau
aussehen
ausser
aussieht
aussteigen
ausstellen
Ausstellung
Ausstieg
ausstiess
ausstreckte
aussuchen
auswandere
auswendig
auszeichnen
ausziehen
auszogen
auszuhalten
auszuprobieren
auszusetzen
Auto
Autobahn
Autobahnbruecken
Autogramm
Autor
Autos
Awel
Axel
Ayşe
Baby
Babyhueten
Babytreffen
Bach
Bachblch
Backblech
backen
Backen
Backofen
Bad
Badenwanne
Baecker
Baer
Baerenasse
Baerenkinder
Baeuchen

Baeuerin
Baeume
Baeumen
Bagger
Bahnhof
bald
Balkon
Ball
ballen
Bammel
Banane
Bank
Bart
bastelt
Bastian
Bauch
Bauchweh
bauen
Bauer
Bauernhoefe
Bauernschuhen
Bauerntruhen
Baum
Baustein
baute
beachten
beantworten
Bearbeiten
Beatrice
bedauern
bedecken
bedeuten
bedienen
bedrucktes
beeilen
Beet
befindet
befreunden
begann
begeistert
Beginn
beginnen
begreiffen
Begriff
Behauptungen
Behausung
bei
beide
beigrebracht
beim
Bein
beinahe
Beinchen
Beine
Beispiel
beissen
Beiwoertern
bekam
bekannt
bekommen
belasten
beliebtesten
bellis perennis
bellt
bemalte
bemerkte
benutzen
Bequemlichkeit
berannte
bereit
Berg
Bergbilder
Bergsteiger
berichten
Bernhardiner
beruehmte
Beruf
beruhigt
besass
bescheiden
beschenken
beschreiben
beschwert
Besenkammer
besitzen
besonder
besonders
besser
bestand
bestehen
Bestellnummer
besten
bestimmt
bestreuen
Besuch
besuchte
beteiligt
Bethlehem
Bett
Bettelmann
betteln
beugte
bevor
bewegen
Bewegung
Beweis
bewundern
Biber
Bibliothek
biegsam
Biene
Bienengesumm
Bier
Bild
Bilderbuch
Bildstreifen
Bimsemkoerbchen
bin
binnen
Binsenkoerbchen
Birnbaum
Birne
bis
Bisenkoerbchen
bisschen
bist
bitten
blaest
Blaetter
Blaeuling
Blampe
blank
blasen
blass
Blatt
blattwaechs
blau
bleiben
Bleistift
Bleistiftspitze
Blick
blies
Bliesen
blinder
blindings
blink
blitzen
blitzschnell
block
bloed

Bloede
Bloedmann
bloende
bloss
Bluegeln
bluehen
Bluete
Bluetenblaetter
Bluetensonnen
Blume
Blumen
Blumenbeet
Blumenduft
Blumenstoeckchen
Blumentopf
Blumenvasen
Bobbi
boese
Bogen
Bohne
Bohnen-Jim
Bohrer
BOM
Bon jour
Boot
Bord
boxen
brach
Brauch
brauchen
brauchte
brauen
braun
Brauselimonade
brave
breit
breitkrempigen
brennenden
bringen
Broetchenholen
Bronzepferd
Brot
Brotwuerfeln
Brown
Bruder
Bruecke
Brueder
Bruehe
bruellen
Brummbas
brummen
Brunnen
Brust
Bub
Buch
Buchdeckeln
Bucherei
Buches
Buchhandlungen
Buchreihe
Buchstabe
Buchstaben-Kekse
Buchstaben-Teig
buchstabieren
Bude
Buecher
Buecherbus
Buecherei
Buecherfabriken
Buechern
Buehne
Buenos dias
Buepf
Buero
Bulowatzki
bums
bunt
Buon giorno
Burgenland
Bus
Busch
Busfahrer
Busfahrertraining
Bushaltestelle
Butter
Buttermesser
butzen
Carlo Collodi
CDs
Christbaum
Christbaumkerzen
Christian
Christine Noestlinger
Cocker
Comic
comic strip
Comic-Niko
Computer
Computerlisten
CRAC
Croissants
da
dabei
Dach
dachte
dadurch
Daecher
daernd
dafuer
dagegen
daheim
daher
dahin
dahinrannte
daisy
Dalmatiner
damit
dan
daneben
Dank
dankbar
danken
dann
daran
daraud
darauf
daraus
darf
darin
darueber
darum
darunter
das
Gespenst
dasi
dass
Datei
dauern
dauernd
Daumen
davon
davor
dazu
Deck
Decke
Deckel
deckt
dein
deinem
deinen

Deka
dem
den
denen
Denkblasen
denken
denn
Depp
der
Findefuchs
Der Raeuder Hotzenplotz
derartiger
dereinst
derselben
des
deshalb
dessen
desto
Deteinger
Detektiv
deuten
Deutsch
Deutschland
Dezember
Dialog
dich
dicht
dick
dicken
die
Diener
dies
diese
Dieter
Dietl
Ding
dir
direkt
doch
Document
Doebel
doll
doppelt
Dorf
dort
Drache
Drachenkinder
Drachenland
Draehtchen
draengen
draussen
Dreckspatz
drehen
drei
dreimal
dreistoeckigen
dreizehn
drin
drinnen
dritt
droehnende
Dromedar
Drossel
drueben
drum
dtv
du
duerfen
duerren
Duft
duftenden
dumm
dunkel
dunkeln
dunkelrote
durch
durchbeisst
durchblaettert
durcheinander
durchs
durchsprang
durchstroemt
durftete
Dusche
Dynamo
eben
ebenfalls
ebenso
Eberhard
echt
Ecke
Efafant
Egal
eh'
ehe
Eichen
Eier
Eifenbein
eigen
Eigenes
Eigenschaft
eigentlich
eignen
eilig
ein
einamal
einander
einbilden
einfach
einfaellt
Einfall
einfallen
einfallslos
einfiel
Eingang
eingeschlafen
eingeschmiert
eingewickelte
einholen
einhuellte
einig
einkaufen
einkleiden
einladen
Einlass
einmal
eins
einsam
Einschalten
einschmieren
einsteigen
eintreten
Einzelsocken
einziehen
einzig
einzog
Eis
Eisenstaender
eisig
Eislaufschule
Eiswuerfelstimme
Eiszapfen
Elefant
elektrische
Elektroherd
elfte
Elstern
Eltern
Elvira
empor

Ende
enden
endlich
Endstation
energisch
eng
Engel
enger
England
englisch
Englischen
entdecken
Ente
Entenfedern
Ententeich
entgegnete
enthaelt
entnommen
entspannt
entstanden
entsteht
enttaeuscht
entwurzeln
entzweigeschlagen
er
erawehlt
erbau'n
erblickte
erbosen
Erdbeeren
Erde
ereignen
erfahren
erfinden
erfolgreiche
erfuellen
erfunden
ergaenzen
Ergebnis
ergriff
Erhard
Dietl
erhitzen
Erholung
erinnern
Erinnerung
erkannt
erkennen
erklaeren
erlauben
erleben
Erlebnis
erlebt
erlernen
erleuchtet
ernaehrt
ernten
erraten
erreichen
erscheinen
Erscheinung
erschienen
erschnueffelt
erschrecht
erschrecken
erschrickt
Erst
erstaunen
erstaunt
erste
Lesealter
ertragen
Ertrinken
erwachen
Erwachsen
Erwachsene
erwaermen
erwarteten
erzaehlbilder
erzaehlen
Erzaehlung
erzahlen
erzeugt
es
Esel
Esseloeffel
essen
etwa
etwas
euch
euer
Eulenkinder
Europa
Explorer
extra
Extras
Fabel
Faehnchen
Faelle
faellt
faengst
faerbste
Faerbung
Faeustchen
Fahnenstange
fahren
fahrende
Fahrer
Fahrerin
Fahrermuetze
Fahrersitz
Fahrrad
Fahrradstand
Fahrstuhl
Fall
fallen
fallenden
falln
falsch
Falter
Familie
fand
Fang-den-Hut
fangen
Farbe
Farben
Farbenschatz
fartige
fassen
fast
fauchen
Faust
Favoriten
Feder
Federmappe
Feen
fegen
fehlen
Fehler
Feierabend
feierliche
feiern
fein
feinen
feit
Feld
Feldern
Feldmaus
Fell
Felsen

felsenfest
Fenster
Fensterbank
Fensterscheiben
Ferien
fern
Fernab
Ferne
Fernsehen
Fernseh-Kritik
Fernsehmaessig
Fernsehmuffel
Fernseh-Muffel
Fernsehserien
fertig
fesseln
fest
fest-auf-dem-Boden-stehen
fester
festgelegt
festhalten
Feuer
Feuerfest
feuerrote
Feuerwehr
Fichten
Fieber
fiel
Figur
Figuren
Film
finden
fing
Finger
Fingerchen
Fink
finster
Finsterstes
Fische
Fischefangen
Fladarupfki
flattern
flatzen
flauen
flauschigen
fleissig
fletschen
Fliederbusch
flieg
fliegen
fliegend
fliegt
flirrt
flitzt
flog
Flucht
Fluegel
fluesternd
fluesterte
Fluft
Flug
Flugplaetzen
Flugzeug
Flur
Fluss
Foehren
Foerster
folgen
Form
formen
fort
fortgehen
Foto
fragen
Fragen
Fragespiel
fragte
Frang-den-Hut
Frankreich
Franz
franzoesisch
Fratze
Frau
Frauchen
Frauen
frech
Fredrik Vahle
frei
Freie
freigeben
freilich
fremd
fressen
Freude
freuen
Freund
Freundin
Frieden
Friederike
friert
frisch
frischen
Fritzchen
froehlich
froh
froher
Frucht
fruchtbar
fruechterlich
frueh
frueher
Fruehling
Fruehlingsabend
Fruehlingsgedichten
Fruehstueck
fruehstuecken
Fuchs
fuchsteufelswild
fuehlen
Fuehler
fuehren
fuellen
fuenf
fuenfte
fuenfzig
fuer
fuerchterlich
Fuesse
fuettern
fuhren
funkeln
funktionieren
furchtbar
Fuss
Fussboden
Fussbondensand
Fusstritt
Fusweg
futtern
gab
Gabel
Gaben
Gabi
Gabriela
gaehnen
Gaehnen
gaehnt
Gaense
Gaensebluemchen
Gaensebluemchenbluete

Gaensebluemchen-Fest
Gaensebluemchen-Gedicht
Gaensebluemchen-Rand
Gaensebluemchen-Seerosen
Gaensebluemchen-Suppe
Gaenseliesel
Gaenserich
Gaenseschnabel
Gaenseweiden
Gang
ganz
gar
Garten
Gartenund
Gas
Gasse
gebaut
geben
Gebirge
geblasen
geblieben
geboren
gebraucht
Gebruedern
Geburt
Geburtsort
Geburtstag
Geburtstagslied
gedacht
Gedicht
Gedichtblatt
gedruckt
Geduld
gefaelligst
gefaellt
Gefaengnis
gefallen
gefalteten
gefragt
Gefuehl
gefuellt
gefunden
gegen
gegenseitig
gehabt
gehackt
gehaengt
geheimnisvoll
geheiratet
gehen
gehn
gehoeren
Geige
geit
gekommen
gekrochen
gelangen
gelassen
Gelb
gelbe
gelben
Gelegentlich
gelegt
gelernt
gelten
gemacht
gemaechlich
gemalt
gemein
gemeint
gemerkt
Gemuese
Gemuesebruehe
Gemunkel
genannt
genau
genauer
genauso
genug
geordnet
Gepaecktraeger
Geppetto
gerade
geradeaus
Geraeusch
geraten
geredet
gereist
gereiztem
gerieten
gern
gerne
gesagt
gesapannt
geschaffen
geschehen
Geschenk
Geschichte
Geschirr
Geschirrabtrocken
geschlichen
geschlossen
Geschmetter
Geschrei
geschrieben
geschwind
gesehen
gesessen
Gesicht
Gesichtern
Gesichtsstoss
gespielt
Gespraech
gestalltest
Gestalten
Gestank
gesteckt
Gestern
gestiegen
Gestoehn
gestuertzt
gesund
Getraenken
Getraenkestand
getragen
Getreidekoerner
getupft
Gevatter
Gewand
gewebt
geweht
Gewicht
gewinnen
gewisser
Gewitterfall
gewoehnlicher
geworden
gewuenscht
Gewuerze
gezeichnet
gezogen
gezwickt
gibt
Gina Ruck-Pauque't
ging
gingen
Gipfel
Giraffe
glaenzen
glaenzend

glaesern
Glas
Glaspalast
glatt
glauben
gleich
gleichen
gleichzeitig
Globus
Glockenblume
Glotzaugen
glotzen
Glueck
gluecklich
Glueckwunsch
gluehen
Gold
goldnen
Gott
Graben
Grad
Graeser
Gramm
Gras
grasgruen
Grassmen
gratis
grau
Graus
greifen
Greta
Gretel
Griechenland
Griechschen
griff
Grimasse
Grimm
grinsen
grinste
grob
gross
Grossbuchstaben
Grosse
Grosseltern
Grossmutter
Grossvater
gruen
Gruenzeug
gruessen
Grunde
Gruppe
gucken
Guertel
gülle
Gummistiefel
gut
Gute
Guten Tag
Gymnasialjahren
Haar
Haare
Haarem
Haarspangen
haben
Hacken
Haeberlinstrasse
haelt
Haensel
Haertling
Haesel
haesslich
haette
haettelt
Haeuschen
Haeuser
Hageltag
Hahnenfuss
Haken
halb
Halbdunkel
halbe-halbe
halboffenem
Hall
Hallo
Hals
Halskratzen
Halsumdratski
halten
Haltestelle
Haltestellentafel
Hamburg
han
Hand
handeln
HANDGEPAECK
handlich
Handschuh
handvoll
hangen
Hanno
Hans
hart
Hasch
Hase
Haselhuehner
Hasennase
hast
hasta la vista
hastig
hatte
Haufen
Hauptbahnhof
Hauptrolle
Haus
Hausaufgabe
Hausflur
Haustuere
he
heb'
heben
Hecke
Heft
heftige
heikel
Heiligabend
Heiligen
heim
Heimat
heimlich
Heinrich
heiss
heisst
Helden
helfen
hell
hellgruen
hellroten
Helme Heine
Hemd
Henker
Hennen
Henry
her
heraus
herauskommen
herauslugen
herausstrecken
herauswagt
herbeigeschwommen
Herbst

Herbstgedichte
Herde
herein
hereingekommen
hereinrufen
herfig
hergeben
herkomme
Herr
Herrchen
herrlich
Herrn
herum
herumdrehen
herumkramen
herumlaufen
herumsausen
herumzutanzen
herunter
hervor
hervorholen
hervorragend
Herzen
herzlichen
hetzen
Heu
heulen
Heulen
heulte
heut
heute
Hexe
hielt
hier
hierher
hiess
Higgelti Piggelti Pop!
Hilfe
hilflos
Himbeereis
Himmel
himmeln
Himmelreich
Himmen
hin
hinabgehen
hinauf
hinaus
hinauszufahren
hinein
hineingehen
hineinglitten
hineinscheinen
hingehen
hingen
hinmotzen
hinsagte
hinsehen
hinten
hinter
hintereinander
hinterher
hintern
hinunter
hinunterrutschen
hinzufuegte
hiten
Hm
hob
hoch
hochbeinige
hochgeschlagen
hochspritzt
Hochzeit
Hocke
hoechstens
Hoehe
Hoehle
hoellsch
hoelzernen
Hoer-CD
hoeren
Hoeren
Hoerkassetten
Hoerspiel
Hoerspiel-CDs
Hoespiel
Hoespiel-Kassetten
Hof
hoffentlich
Hofleben
hoher
hohle
holen
holterdipoltern
Holunderbusch
Holz
Holzaugen
Holzfuessen
Holzhuette
Holzkiste
Holzpuppe
hoppeln
Hose
Hosenbein
huebsch
Huegel
Huehner
huepfen
hueten
Hund
Hundele
Hunden
hundert
hunert
Hunke-munke-mops
hupten
hurra
Hut
Hutkrempe
ich
Idee
Ideebuch
Ideen
Idiot
Igel
ihm
ihn
ihnen
ihr
Illustration
Illustratoren
im
immer
Immerbluemchen
in
indes
ineinander
Informationen
Inhalt
Inhaltverzeichnis
innen
ins
Insekten
Insel
Instrumenten
Interessant
interessieren
Internet
Interview

inzwischen
irgendein
irgendwas
irgendwo
Irina
Irina Korschunow
Irrtum
ist
ist's
Italien
italienisch
ja
Jacke
jaeger
Jahr
jammert
jassu
je
Jean
jede
jemand
Jenny
jetzt
Jim
Josef
jucken
Judy
Jugendliche
Juhuu
Julchen
Julia
jung
Junge
junior
Kabel
Kabelanschluss
Kabel-Anschluss
Kabel-Fernsehen
Kaefer
Kaelte
Kaempfe
Kaese
Kaetzchen
Kaetzele
Kalender
Kalenderblaetter
Kalimera
kalt
kalten
kam
Kamel
Kamele
Kamelen
Kamille
Kamin
Kaninchen
Kaninchenbau
kann
Kapital
Kapitel
Kaptal
kaputt
karieren
Karoline
Karte
Kartoffelkisten
Karton
Kartonrand
Kassette
Kastanie
Katane
Kater
Katherlieschen
Katja
Katz
Katze
Katzefrau
Katzengeschichten
Katzenkinder
kauen
kaufen
kaum
kein
Kekse
Kekspackung
Keller
kennen
Kerl
Kerne
Kies
Kilo
Kind
Kinderbuch
Kinderbuch-Figur
Kinderbuchpreis
Kinderfiguren
Kindergaertenerin
Kindergarten
Kindersprache
Kinderzeitschrift
Kinderzimmer
Kinn
Kino
Kipfe
kippen
Kirche
Kirschbaum
Kirschokenski
Kissen
Kiste
kitzeln
klabbeln
klack
Klaeger
klagen
Klala
klammerte
klang
klappen
Klappentext
klappern
klapperte
klar
Klasse
Klassenzimmer
klatschen
klaulen
klebe
Klecks
kleckst
Kleider
klein
KLEINEN PRINZEN
kletterte
klick
kliegen
klimpern
klingeln
klingen
klingt
klink
klipokleini
klirren
Klo
klopfen
klug
Klumpen
knacken
Knacker
Knall

knallen
knallrote
knapp
knappern
knattern
kneifen
kneten
knickt
Knieschlotterig
Knieschlottern
knisterte
knitz
knurrte
knuspringen
kochen
Koenig
koennen
Koepfchen
Koepfe
Koerper
Koerperteil
Koffer
Koffer-Raum
Kohlekraftwerke
Kohlen
komisch
kommen
konnt
Kopf
Kopfkissen
Korb
Korn
Korschunow
kostete
krabbeln
Krach
krachen
Kraefte
Kraehen
Kraft
Kraftwerke
Kraftwerken
Kragen
krah
Kralle
krank
kratzen
Krawatte
Kreis
Kreuz
Kreuzung
kriegen
Kriese
Krippe
Kroegers
Kruemelmonster
kruemmte
Krug
Kueche
Kueh
Kuehlschrank
kuemmern
kuerzer
kuerzte
Kuessen
Kugel
kugeln
Kultusminister
Kummerklumpen
Kunstakademie
Kunterbunt
Kunterbunt-Lesebuch
kurz
kuscheln
Kuss
Lache
lachen
lachend
lacht
lachte
lachten
laecheln
Laecheln
Laechelte
Laeden
laender
Laendern
laenger
Laerm
laermen
laesst
laeufst
Laeusele
Laeuslein
lag
Lampe
Land
landet
lang
lange
langen
langsam
langweilig
Lappland
lass
lassen
lateinisch
Laterne
Laub
Laufe
laufen
Laune
laut
lauter
leben
Leben-Neben
Lebenslauf
Lebertran
Leberwurst
lecken
Leder
leer
legen
Lehmann
lehnen
Lehrer
Lehrerin
leicht
Leid
leiden
leider
Leini
Leinwand
Leinwandbilder
leise
leisten
Leistungen
Leiter
Lenkrad
lenkt
Leporello
lernen
Lesebuch
Lesedetektiv
lesen
Lesen
lesenswert
Leser
Leseratte
lesetipps

Lesezsit
Lesungen
Leutchen
Leute
Lexikon
Libelle
Licht
lieb
Liebe
lieben
lieber
Liebesgeschichte
liebevoll
Lieblingsbuch
Lieblingskekse
Lieblingsseite
Lieblingsspeise
liebsten
liebt
Lied
Liedern
lief
liegen
lies
liess
liest
lila
link
links
Lippe
Liter
loben
loch
Loecher
Loeffel
Loeschblaettern
loesen
Loewe
Loewenzahn
log
London
Londoner
los
lose
losziehen
loszusausen
Lucy
Ludwig
luemmeln
Luft
Luftballons
Lukas
Luke
lusige-Streiche-erfinden
Lust
lustig
mach
machen
maechige
maechtig
Maedchen
Maennchen
Maennlein
Maerchen
Maerchenfiguren
Maerzensonnenschein
maeuschenstill
Maeuse
Maeusekinder
Maeusele
Maeuslein
mag
mahnte
Mai
Maiblume
Maikaefer
Mairoeserl
mal
male
Malefiz
malen
Malerin
Malkasten
malt
Mama
man
manch
manchmal
Manfred Mai
Mann
Mantel
Mantelkragen
Marderhaaren
Margarine
Margerite
margherita
Marianne
Mariechen
Marinella
Marktplatz
Markus
Marrianne
Martin
Martina
Maschine
Massliebchen
Masten
Matratze
Matrosen
Mauer
Maulwurf
Maurice Sendak
Maus
Mausi
mauzen
Max
Medien
Meer
Meeresstuerme
Mehl
mehr
mehrmals
Meilenstein
mein
meinen
meinetwegen
Meis
meist
Meistens
Meister
Melodie
Menge
Mensch
Menschenkinder
Merhaba
merken
merkwuerdig
Messer
Metall
Meter
Metterschling
miaute
mich
Michael Bond
Michi
mickrige
Microsoft
Mikrofon
Millionen
Minni

Minni-Geschichten
Minusaufgaben
Minuszeihen
Minuten
mir
Mirko
mischen
misst
mit
mitbrachte
mitbringen
mitbringt
miteinander
mitfahren
mithalten
mithoerte
mitkommen
mitnehmen
mitreden
mitsprich
Mittag
mitte
Mittelmaessig
mitten
Mitternacht
mitzaehlten
mitziehen
mochte
moechte
moechtig
moegen
moeglich
Moeglichkeit
Moepse
Moertel
Monat
Mond
Mondenschein
Moosen
Mops
Morgen
morgens
Morgenzeit
Morning bells are ringing
Most
Motorrad
Mr
Mrs
muede
Muehe
Muehlenweihers
muehsam
muehte
muemmeln
Muenchen
muessen
Muetter
Muetze
Mumpitz
Mund
Munkel
munkeln
munter
murmeln
Muschelhaus
Musik
Muskel
muss
Mut
Mutter
Mutterbluemchen
Mutterlieb
mutterseelenallein
Myrrhe
Na
Nabelschnur
nach
nachaschlagen
Nachbar
Nachbarn
nachbartheater
Nachbar-Theater
nachdenk
nachdenklich
nachfragen
nachher
nachrannte
nachschauen
nachschlagen
nachsehen
nachsieh
Nacht
Nachtgall
nachts
nackte
naechste
Naechte
naehmlich
naemlich
naeser
nagen
Nah
nahm
Name
Nanane
nannte
Nase
Nasenspitz
Nasi
nass
Natuerlich
Nebel
neben
nehmen
nein
Nelken
nen
nennen
Nerv
nerven
Nest
neu
neue
neugier
neugierig
neunte
nicht
nichts
nicken
nickte
nie
nieder
niedrig
niemand
Niko-Comic
Nikolaus
nikos
NILS HOLGERSSON
Nilsson
nimm
no
noch
noe
Nonsens
Nonsens-Gedicht
normal
Nordrhein-Westfalen
notierte
November
Novemberregen

Nu
nun
nur
O Pippi
ob
oben
obwohl
Ochs
oder
Oechsele
oeffnen
oeffnete
oefter
Oel
Oesterreich
offenbar
oft
oftmal
ohne
Ohr
Okay
Oktober
Olchis
Olivenbaum
Olli
Oma
Omnibus
on
Opa
Orangefarben
ordentlich
Ordnung
Orkan
Ort
Osterblume
Otfried Preusser
Otto
Pa
paar
paarmal
packen
Paddelboot
paddeln
Paddington
Paeckchen
Pakete
Pam
Panne
Pantoffel
Papa
Papier
Pappe
paquerette
Paradies
Park
Parkhotel
Partner
Passagier
passen
passende
passieren
Patsch
Paule
Pausenbutterbrot
Pausenspile
PC
Pedal
Pedro
peitscht
Pelz
Pelzbaer
pelziges
Pelzmantel
pensionierte
Person
Peru
Peruecke
Peter
Pfauenauge
pfeifen
Pferd
pfiff
pfiffen
pfiffig
Pflanze
pflegte
Pforte
Pfote
Pia
Pias
Piepsen
piepsig
piepst
pikt
ping
Pinka
pinkelte
Pinocchi
Pinocchia
Pinocchio
Pinsel
pinselt
Pippi
Pippi Långstrump
Pippi Langstrumpf
Pippis
Pit
Plaetschern
Plaetzen
Plakat
planen
Planeten
planschen
platschen
platt
Platz
platzen
ploetzlich
Plus
Po
Polizei
Polizist
Postamt
Posthorn
praechtige
prallen
prasselte
presse
prima
Prinz
Probe
probiren
Problem
Programme
Projektor
Propeller
Pu
pudelnass
Puhmann
Pulli
Pullover
Punkt
Puppe
Purzelbaum
putzen
Quaquaquak
Quark
Quatsch
quer
querfeldein

Quiz
Raben
Rad
Radfahr-Buch
Radfahr-Geschichte
Radiergummi
Raedchen
Raender
Raetsel
Rakete
rasch
rascheln
rasen
Rasen
rast
raten
Rathausplatz
Ratten
rattern
Rauch
Rauf
Raumschiff
Raureif
Raus
Ravensburger
Rechenarbeit
Rechenaufgabe
rechnen
Recht
rechts
rechtzeitig
reden
Reden
Redensarten
Redewendung
Regeln
Regen
Regenblume
Regenbogen-suchen-gehen
Regenbogentag
Regendach
Regenmantel
Regenschirm
Regentag
Regenwurm
regnet
reiben
reichen
reif
Reifen
Reihe
Reihenfolge
reimen
rein
reinpinkeln
Reise
reisen
reissen
reisst
Reiter
reizen
rennen
Reserve-Rad
restlichen
retten
Rezept
Richter
richtig
rieb
riechen
rief
Riesen
Riesenshow
riesig
Ring
ritten
Rock
Roeckchen
Roggenbrot
Roll
rollen
Rollern
Rollstuhl
rosa
Rose
rot
rot
ruderten
ruecken
Ruecken
Rueckseite
Rueckspiegel
ruehrte
ruempfen
ruetteln
rufen
ruhe
Ruhe
ruhen
ruhig
rumpeln
Rumpelstilzchen
Rund
Runde
runter
runzeln
Russischbrot
rutschen
Sachbuecher
Sache
sacht
sagen
sah
Salat
Salz
sammeln
Samt
Sand
sanft
sang
Sarahs Zimmer
sass
Satelliten-Schuessel
Sat-sechs
Sattel
Satz
sauber
sauer
Sauerklee
schaden
Schaeferhund
schaengt
Schaf
schaffen
Schaffner
Schal
schallte
schalten
Schatten
schattendunkel
Schattenspiel
Schatzki
schauen
schaukelt
schaurig-schoenen
Scheibe
scheinen
Schelm
schelten
schenken

scheu
scheusslichen
schicken
schieben
schiebt
schief
schielen
schien
schiessen
Schiff
Schild
schilfgruenen
Schilfhalmen
Schilfwaende
schimpfen
Schirm
Schkolade
schlaeft
Schlaf
schlafen
Schlafstube
schlagen
Schlamm
Schlang
schlanke
schlecht
schleichen
schleppen
schlich
schlief
schliessen
Schlild
schlimm
Schlingpflanzen
Schloss
Schlucht
schluepfen
schluepfrig
schluepfte
Schluessel
schlug
schlummert
Schlund
Schluss
Schlusssatz
schmal
Schmartzen
Schmarz
schmecken
schmelzen
Schmetterling
Schmetterlingsfluegel
schmieren
Schmiroschmatzki
schmuecken
schmutzig
schmutzig-braun
Schnabel
schnalzen
schnappen
Schnaps
schnarchen
schnattern
Schnaufen
Schnecke
Schneckengang
Schnee
Schneeflocke
Schneetag
Schneeweiss
Schneewittchen
schneiden
schneit
schnell
schneller
Schnellsprechen
schnellsten
schniesen
schnitzen
schnueffelnde
schnuppe
Schnur
schnurren
schob
schoen
schon
Schopf
Schornstein
Schoss
Schrank
Schrauben
Schrauben-Schluessel
Schreck
schrecklich
schreiben
Schreibheft
Schreibtisch
schreien
schreiend
schrie
Schrift
Schriftsteller
Schritt
Schublade
schuchzen
schuemckt
Schuerze
schuetteln
schuetzenden
Schuh
Schul-Abc
Schulbeste
Schule
Schulen
Schulfest
schulfrei
Schulittschuhe
Schulter
schupsen
Schutzumschlag
schwach
Schwanz
schwarz
schwarzweisse
schweben
Schweden
Schwedin
schwedisch
schwer
Schwester
Schwierige
schwimmen
Schwimmhaeute
schwirren
schwupf
Schwupp
sechs
sechste
See
Seerose
Segelfliegen
segeln
Segelschiffe
sehen
sehr
seht
sei
Seidentuch
seigte
Seil

sein
sein
seitdem
Seite
Sekunden
selbst
selten
seltsam
seltsamen
Sender
senkte
Serie
setzen
Sevta
S-Fehler
Shampoo
Shampootube
sich
sicher
sicherlich
Sicht
sie
Sie
sieben
siebte
Sieger
sieh
siestewoll
Silberfrost
Silberpapier
silbrig
sind
singen
Singen
Sinn
sinnvoll
Situation
sitzen
Ski
Snoopy
so
Socken
Sofie
Sofie-Geschichten
Sofort
sogar
sogleich
Sohle
solange
solche
sollen
Sommer
Sommertag
sommerwarm
sonderbar
sondern
Sonne
Sonnenblumenoel
Sonnencreme
Sonnenschein
Sonnentag
Sonnentuerchen
Sonnenuhr
Sonntag
sonst
sooft
spaet
spaetchen
Spaetzele
Spanien
spannende
sparsam
Spass
Spaten
Spatz
Spatzenhirn
Spatzenkinder
Spatzenmahlzeit
Spatzensalat
Spatzki
spazierengehen
Speicher
Speisekammer
sperrig
Spiegel
Spiel
spielen
Spielplatz
Spielzeug
Spielzeugente
Spinnen
spitzen
Spitzen
Spitzmaeuse
Spitzmaus
sportlich
Sprache
sprang
Sprechblasen
sprechen
spring
spring'
springen
springt
spuckt
spueren
Stadt
Stadttor
Staedtele
Staengel
Staerken
Staffelei
Stall
Stamm
stammt
stand
Stange
Star
Stare
stark
starkem
starker
starren
Station
statt
Stau
Staub
stecken
Stefan
Steffi
stehen
stehenlassen
stehn
steife
steigen
Stein
steinern
Steinnelken
stellen
sterben
Stern
Sternenkinder
Sterns
Sterntaler
steuern
sticht's
Stiefel
stielen
Stiffe
still

stillen
Stimme
Stimmung
Stimmungslagen
stinken
stinksauer
Stirn
stoehnte
stoersen
Stoessen
stolpern
stolz
stolzgeschwellter
Storm
stossen
stottern
Straeuchern
strahlen
strammen
strampeln
Strand
Strasse
Strassen
Strassenbahn
Strassenbahnhaltestelle
Strassenpflaster
Strassenschauer
Strassenstaub
Strauch
Strauss
Streiche
streicht
Streifel
Streiff
Streit
streiten
stricke
stritt
Stroh
Strohstern
Strophe
Stube
stubenrein
Stueck
Stueckchen
stuende
Stufe
stumm
Stunde
Sturm
Sturmtag
suchen
Suedamerika
suedamerikanischen
Suedsee
suess
suf
summen
Supermarkt
superschnellen
Suppe
Suppeneinlage
Suppentassen
surfen
Szene
tack
taeglich
Tafel
Tag
Taka-Tuka-Insel
Taka-Tuka-Land
take-aus
take-pff
taketa-pff
taketa-taka
Takt-
Tal
Talent
Tanne
Tante
Tanz
tanzen
tapfen
tapsen
Tasche
Taschenuhr
tat
Taten
Taube
tauchen
tauschen
Tauschen
tausend
Tausendschoen
Taxis
technische
Tee
Teig
Teigstuecken
Teil
teilen
Teller
Tempo
Tennisschlaeger
teuer
Text
Theater
Theaterstueck
Thomas
Thomas'
tick
ticken
tief
Tiefe
Tier
Tierbuch
Till
Tilli
Tim
Tina
Tino
Tintenfische
Tipp
Tiroteufelsbratzki
Tisch
Titel
Titelseite
Tja
Tobler
Tochter
Toilettenspuelkasten
toll
Tom
Tomanis
Tomate
Topf
Tor
torkeln
tot
total
traechtig
Traenen
Traeume
traeumt
tragen
Traktor
Traktorfahrer
Traktorgedicht
Traktor-Geknatter
Trara

trat
Traube
trauen
Traum
Traurig
trauriges
Trecker
treffen
Treppe
treten
Trillerpfeife
trinken
trippeln
Trippeln
Tritt
Trittbrett
trockenen
Trommel
Tropf
tropfen
trotzdem
trug
Tschimi
tu'
Tube
tue
tuechtig
Tuer
Tuerkei
Tuerkische
Tuerksch
tummelt
tun
Tupfen
Turm
Turnuebung
Tusche
tut
TUUUUUT
TV-Serie
U-Boot
Uebe
Uebel
ueben
ueber
Ueberall
uebereinandertuermen
ueberhaupt
ueberholen
ueberigen
ueberkam
Ueberlege
ueberlegen
Ueberlegt
ueberraschen
ueberreichten
uebers
Ueberschrift
ueberschuettet
Ueberschwemmung
uebersetzt
uebertoente
uebertragen
uebertreffen
Uebrigens
Uebung
Uhr
um
umblicken
umgedreht
umhaengte
umher
umkippen
ums
Umschlag
Umwelt
umziehen
unbedingt
unbemerket
und
Unfug
ungeheuer
ungemuetlich
ungewoehnlichen
Unglaublich
ungluecklich
unheimlich
unmusikalisch
unnoetig
unpuenktlich
uns
Unsinn
Unsinngedicht
unsterblich
unten
unter
untereinander
unterhalten
unterhaltsam
unterlegen
Unterlippe
unterm
Unterricht
unterscheiden
unterschiedlich
Untertasse
Unterwegs
Untitled
unverwandt
unzufrieden
uralt
Urgrossmutter
Urgrossvater
Urlaub
Urwald
Ute Andersen
Vanileeis
Vater
veraendern
veranstaltet
verantwortlich
verbauen
Verbaut
verbeult
verbrauchen
Verbrechen
verdient
verdoppelt
verdrehen
verfilmt
Verflixt
verformen
vergangen
vergehen
vergessen
Vergiessmeinnicht
vergleich
vergnuegt
verhalten
Verhalten
Verkaeuferinnen
Verkehr
Verkehrsschild
verkehrt
Verlag
Verlagswerbung
verlasst
verliegen
verlieren
verliessen

verloren
vermitteln
vermutlich
verpackte
verputzt
verraet
verreisen
verrueckte
Vers
verschiedenen
Verschiedenen
verschlafen
verschliefe
verschlucken
verschwinden
Versen
versetzte
versprechen
verspueren
verstand
Verstand
verstauben
Versteck
verstecken
verstehen
versuchen
verteidigen
verteilen
Vertrauen
vertrieben
vertrocken
verwandelt
verziehen
verziert
verzweifeltes
Vetter
Vettersbruder
Video
viel
vielleicht
vielmehr
vier
vierte
Vierteljahr
Villa
Voegel
Volker
voll
vom
von
vor
vorbei
vorbindet
vorgesagt
Vorgestern
Vorhaenge
vorhast
vorher
vorhin
vorkommen
vorlesen
vorlies
vorm
vormachen
vorn
vorschlug
vorsichtig
vorspielen
vorstellen
vorstreckt
vortragen
vorueber
Vorwaerts
vorwagte
Vorwuerfe
VTRROM
Vulkan
wa
wach
wachsen
Wachskerzen
wachte
wackeln
Wackelschwanz
Waeche
waehrend
waere
waermen
Waesche
Wagen
Wagen-Heber
Wagentuer
wahr
wahrhaftig
wahrscheinlich
Wal
Wald
Waldarbeiter
Walderdbeeren
Walross
Wand
Wanderschuhen
wann
Wanne
war
warf
warm
war'n
warnung
war's
Warte
warten
warum
was
waschen
Wasili
Wasser
wasserdicht
Wasserfarben
Wasserkraftwerke
Wassermann
Wassermannaugen
Wassermannfrau
Wassermannhaus
Wassermannjungen
Wassermannvater
watscheln
Watte
wau
wechseln
Wecken
Wecker
wedele
Weg
wegbleibst
wegen
Weggefaehrten
wegnehmen
weh
wehen
Wehr
weich
weichen
Weichkaese
Weihnachten
Weihnachtskrippe
Weihnachtsmann
Weihrauch
weil
Weile

weinen
Weinen
weinend
Weise
weisse
weit
weiter
weitergehen
weiterhin
Weiterlesen
weitesten
weither
welche
welken
Welt
Weltall
wem
wen
wenig
wenn
werden
werfen
Werkzeug
Wesen
weste
Weste
wette
Wetter
Wetteramt
Wetterfahne
wichtig
Wickwack
wie
wiedele
wieder
wiederkommt
wiegen
wiegt
Wien
wie's
wiese
Wiese
Wiesen
Wiesentiere
wieso
wieviele
wild
Willi
wimmeln
Wimmern
Wimpern
Wind
Windbruch
Winderhundrennen
Windhund
windige
Windjammer
Windkraftwerk
Windkraftwerke
Windmesser
Windmuehlen
Windrichtung
Windsack
Windstaerke
Windstille
Windtag
Wind-Wand
Winkel
winken
Winter
Wintergedichte
Winterszeit
wir
Wirbel
wirbeln
wird
wirft
wirken
wirklich
Wirklichkeit
Wirowenski
wir's
wirst
wischst
wissen
wo
Woche
Wochenende
wochenlang
woelbte
Woelkchen
wofuer
woher
wohin
wohl
wohnen
Wohnorten
Wohnstube
Wohnung
Wohnzimmer
Wohnzimmerschraenken
Wolf
Wolfgang
Wolke
Wolkenbergen
Wolkenbilder
Wolkentag
Wolkenwatte
Wolkenwetter
wollen
womit
worden
Wort
Wortspiele
Worueber
wozu
wuchs
wuenschen
wuerden
Wuerfel
wuetend
wuetendes
Wunden
Wunder
wunderbar
Wunderland
wunderschoen
wundert
wunderte
Wunsch
wunschen
wurde
Wut
www.erhard-dietl.de
www.knister.de
www.pippilangstrumpf.de
Xylofon
yes
Z
z.B.
zaehlen
zaehmen
zaertlich
Zahn
Zahnradbahn
Zapfen
Zauberblumenbeet
Zauberei
Zauberer
Zauberpinsel

Zauberspruch
Zaubertrick
Zaum
Zeh
zehen
Zehen
Zehenspitzen
zehn
zehnte
Zeichenblock
Zeichentisch
zeichne
Zeichnen
Zeichnung
Zeichnungen
zeigen
Zeiger
Zeile
Zeilen
Zeilenende
Zeisig
Zeit
Zeitung
zerbrechen
zerfliessen
zerstreuten
Zeuge
Zibelle
Zickzack
ziehen
zieht
ziemlich
Zimmer
Zipfelmuetze
Zitronenfalter
zittern
zog
Zoo
Zorn
zornig
zu
zubeissen
Zubereitung
zubinden
zuckeln
Zucker
zufaellig
zufrieden
Zug
zugegenben
Zuhause
zuhoeren
zuklappen
zuknallen
zukneifen
zum
Zunge
Zungenbrecher
zur
zurecht
zurechtstutzte
zurueck
zurueckblicken
zurueckblieb
zurueckerinnern
zurueckgib
zurueckkehrte
zurueckkommen
zuruecklassen
zurueckrufen
zurueckschlagen
zuruecksegeln
zurueckzog
zurueckzugeben
zusammen
zusammenheften
zusammenklappte
zusammenkleben
Zusammenleben
zusammenmachen
zusammenpressen
zusammenstellen
zusammenziehen
zustieg
Zutat
Zutaten
zuwarten
zuwinken
zwanzig
zwar
zwei
zweifelte
Zweige
zweit
zweitausendachthundertsiebenund sechzig
zweite
Zwerg
Zwieback
zwinkern
zwischen
zwischendurch
zwoelf
zwoelfmal

分析教科書：　ドイツ語 読み方 第２学年　KUNTERBUNT（クレット社）
バーデン・ヴュルテンベルク州版
KUNTERBUNT　LESEBUCH 2
Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-270114-6
全冊（2 頁～197 頁，目次・助言・付録の部分を含む）

（長島啓記）

５．ロシア

ロシアの文学的読み方教科書　サンプル教材分析
プロスヴェシェニエ社『ロドナヤ・レーチ』2006 年版　第 2 学年用第 2 巻　全 223 ページ
単元＜私と私の友だち＞
　　ワレンチナ・アレクサンドロヴナ・オセーエワ作『まほうの言葉』　pp. 87～92

１．文章　　全 106 文　　うち単文：78,　重文：15,　複文：8,　重・複文：5

２．語数　　全 566 語（331 種）　　うち抽象的語彙は 25

＜固有名詞＞

Волшебник	2	固有名詞　単数主格	まほう使い
Лена	3	固有名詞　単数主格	レーナ
Ленки	1	固有名詞　単数生格	レーンカ（レーナの指小形）の
Павлик	15	固有名詞　男性	パーヴリク
Павлика	1	固有名詞　男性　単数生格	パーヴリクの
Павликовой	1	固有名詞の形容詞形	パーヴリクの
固有名詞	23		

＜名詞＞

бабушка	3	名詞　単数主格	おばあさん
бабушке	1	名詞　бабушка の単数与格	おばあさんに
борода	1	名詞　単数主格	あごひげ
бородой	1	名詞　борода の単数造格	あごひげでもって
бороду	1	名詞　борода の単数与格	あごひげに
брат	5	名詞　単数主格	兄弟
брата	1	名詞　брат の単数生格	兄弟の
брови	1	名詞　бровь の複数主格	眉
вёсла	1	名詞　весло の複数形主格	オール
внук	1	名詞　単数主格	孫
волосы	1	名詞　複数形主格	髪
все	1	定代名詞　весь の複数主格	あらゆる
всё	3	定代名詞 весь の単数主格・中性	いつも，なんでも
глаза	4	名詞　複数主格	目
глазах	1	名詞　複数前置格	目
голосом	2	名詞　голос の単数造格	声で
голубчик	1	名詞　単数主格	あんた（親しい人への呼びかけ）
дверь	1	名詞　単数主格	ドア
дому	1	名詞　単数与格	家に
досадой	1	名詞　単数造格	くやしさで
знаки	1	名詞　複数主格	記号
зонтиком	2	名詞　単数造格	傘で
комнате	1	名詞　単数与格	部屋
край	1	名詞　単数主格	端
краска	1	名詞　単数主格	クレヨン
краски	2	名詞　複数主格	クレヨン

краску	2	名詞　単数与格	クレヨン
кулаки	1	名詞　複数形主格	こぶし
кулаком	1	名詞　単数形造格	こぶしで
кусочек	1	名詞　単数主格	かけら
кухни	1	名詞　単数生格	台所
кухню	1	名詞　単数与格	台所
кучу	1	名詞　単数対格	堆積，山
лицо	2	名詞　単数主格	顔
лодке	2	名詞　単数前置格	船
лодку	1	名詞　単数与格	船
мальчик	3	名詞　単数主格	少年
мальчика	3	名詞　単数生格	少年
морковку	1	名詞　単数対格	ニンジン
морщинике	1	名詞　単数前置詞	しわ
обедом	1	名詞　単数造格	食事
обиды	1	名詞　単数生格	くやしさの
пальцы	1	名詞　複数主格	手足の指
песке	2	名詞　単数前置格	砂
пирожка	1	名詞　単数主格	ピロシキ
пирожки	1	名詞　複数主格	ピロシキ
пирожок	1	名詞　複数生格	ピロシキ
плечо	1	名詞　単数主格	肩
плечу	1	名詞　単数与格	肩
противня	1	名詞　単数生格	焼き板の
пустяки	1	名詞　複数形主格	つまらぬこと
путешестве－нник	1	名詞　単数主格	旅人
радости	1	名詞　単数前置格	喜び
раз	1	名詞　単数主格	一度
рот	1	名詞　単数主格	唇
рукав	1	名詞　単数主格	袖
руками	1	名詞　複数造格	両手で
руках	2	名詞　複数前置格	両手
рукой	1	名詞　単数造格	手で
руку	2	名詞　単数対格	手
сестра	2	名詞　単数主格	姉妹
сестре	2	名詞　単数与格	姉妹へ
скамейка	1	名詞　単数主格	ベンチ
скамейке	2	名詞　単数前置格	ベンチ（の上に）
сквере	1	名詞　単数前置格	辻公園
слове	1	名詞　単数前置格	言葉
слово	5	名詞　単数主格	言葉
слову	1	名詞　単数与格	言葉
старик	5	名詞　単数主格	老人
старика	2	名詞　単数生格	老人の
старичок	1	名詞　単数主格	おじいさん
старушка	1	名詞　単数主格	老婆
стола	2	名詞　単数生格	テーブル
столом	2	名詞　単数造格	テーブルに
тряпкой	2	名詞　単数造格	ぞうきん

улицу	1	名詞　単数・対格	街路
улыбке	1	名詞　単数・前置格	微笑み
уху	1	名詞　単数与格	耳
щёки	2	名詞　複数主格	頬
名詞計	119		

（うち抽象名詞　4）

＜代名詞＞

вам－то	1	人称代名詞　三人称複数形与格	あなたへ
вы	1	代名詞　複数形主格	あなた
его	5	代名詞　単数・男性・生格	彼の
её	5	代名詞　単数・女性・生格	彼女の
ей	2	代名詞　単数・女性・与格	彼女に
ему	4	代名詞　単数・男性・与格	彼に
их	1	代名詞　複数生格	彼らの
какое	1	代名詞　単数・中性・主格	どのような
какую	1	代名詞　　単数・男性・与格	どのように
кем	1	人称代名詞　造格	誰によって
кем－то	1	不定代名詞　造格	誰かによって
меня	4	代名詞　一人称単数生格	私の
мне	4	代名詞　一人称単数与格	私に
мой	1	物主代名詞　一人称単数・男性	私の
него	1	代名詞　三人称単数・男性・生格	彼の
ней	2	代名詞　三人称単数・女性・前置格	彼女に
нею	1	代名詞　三人称単数・女性・造格	彼女によって
никто	1	否定代名詞　主格	だれも～ない
ничего	1	否定代名詞　生格	なにもない
он	5	代名詞　男性・単数主格	彼
она	4	代名詞　女性・単数主格	彼女
сам	1	定代名詞　単数・男性・主格	ひとりで
самой	1	定代名詞　単数・女性・生格	ひとりの
самому	1	定代名詞　単数・男性・与格	ひとりに
самый	1	指定代名詞　単数・男性・主格	もっとも～
себе	1	再帰代名詞　与格	自分に
себя	1	再帰代名詞　生格	自分の
такая	1	指示代名詞　女性・主格	そのような
такое	1	指示代名詞　中性・主格	そのような
тебе	4	代名詞　二人称単数・与格	君へ
тебя	2	代名詞　二人称単数・生格	君の
тобой	1	代名詞　二人称単数・造格	君によって
тому	1	指示代名詞　男性・中性　与格	その
ты	2	代名詞　二人称単数・主格	君
это	2	指示代名詞　単数・中性・主格	これ
этого	2	指示代名詞　単数・男性・生格	この
я	8	代名詞　一人称単数	私，ぼく
代名詞計	77		

＜形容詞＞

волшебное	4	形容詞　中性・主格	まほうの
волшебном	1	形容詞　中性・前置格	まほうの

горяченького	2	形容詞　単数・生格	熱い
горячие	1	形容詞　複数・主格	熱い
длинной	1	形容詞　単数・生格	長い
длинную	1	形容詞　単数・与格	長い
другой	1	形容詞　単数・男性・主格	長い
зелёные	1	形容詞　複数主格	緑の
каждой	1	形容詞　単数・男性・生格	それぞれの
каждому	1	形容詞　単数・男性・与格	それぞれに
красное	2	形容詞　単数・中性・主格	赤い
красные	1	形容詞・複数・主格	赤い
лучший	1	形容詞　単数・男性・主格	もっともよい
маленький	1	形容詞　単数・男性・主格	小さい
морщинистое	1	形容詞　単数・中性・主格	しわくちゃの
мягкая	1	形容詞　単数・女性・主格	やわらかい
начерченные	1	被動形容詞　複数・主格	描かれた
непонятные	1	形容詞　複数・主格	わからない
нужна	1	形容詞　単数・女性・主格	必要な
нужно	1	形容詞　単数・中性・主格	必要な
притихший	1	形容詞　単数・男性形	押し黙って
пуста	1	形容詞　女性形	空っぽ
румяный	1	形容詞　単数・男性・主格	こんがりキツネ色の
седой	1	形容詞　単数・男性主格	白い
сердитое	1	形容詞　単数・中性主格	怒ったような
синие	1	形容詞　複数・主格	青い
синюю	1	形容詞　単数・女性・対格	青い
тихим	2	形容詞　男性・造格	静かな
形容詞計	34		

＜副詞＞

боком	1	副詞	横向きで，半身になって
вдруг	2	副詞	突然
громко	2	副詞	大きな声で
домой	1	副詞	家へ
ещё	1	副詞	まだ
как	4	副詞	いかに
когда	1	副詞	いつ
ладно	2	副詞	けっこう
лучше	1	副詞	よりよい
опять	1	副詞	再び
отчего	1	副詞	なぜ
прямо	2	副詞	すぐに
равно	1	副詞	均等に
робко	1	副詞	こわごわと
сейчас	3	副詞	今
сердито	1	副詞	怒って
сколько	1	副詞	いくつか
скоро	1	副詞	すぐに
смущённо	1	副詞	びっくりして，当惑して
совсем	1	副詞	まったく
сразу	1	副詞	すぐに

так	1	副詞	このように
теперь	1	副詞	今度は
тихо	1	副詞	静かに
тогда	1	副詞	それなら
только	3	副詞	～だけ
уже	1	副詞	すでに
хорошенько	1	副詞	よい
чуть	1	副詞	ちょうど
широко	1	副詞	広く
副詞計	41		

＜動詞＞

берёт	2	動詞　брать の三人称単数形現在	つれていく
буркнул	1	動詞　буркнуть の三人称単数・男性・過去	つぶやく
была	2	存在動詞　есть の三人称単数・女性・過去	いた・あった
было	1	存在動詞　есть の三人称単数・中性・過去	いた・あった
взъерошил	1	動詞　взъерошить の三人称単数･男性・過去	(毛を)逆立てた
взял	1	動詞　взять の三人称単数・男性・過去	つかんだ
взять	1	動詞　不定形	つかむ
возьми	4	動詞　単数命令形	もっていけ
вскочил	1	動詞　вскочить 三人称単数・男性・過去	とびあがった
выпрямилась	1	動詞　выпрямиться 三人称単数・女性・過去	背筋をのばした
выскочил	1	動詞　выскочить 三人称単数・男性・過去	とびあがった
говорить	2	動詞　不定形	話す
говоришь	1	動詞　говорить の二人称単数現在	（あなたが）話す
говорю	1	動詞　говорить の一人称単数現在	（私が）話す
даёт	2	動詞　三人称単数現在	くれる，あげる
дай	2	動詞　命令形	ください
добавил	1	動詞　単数・男性・過去	追加した
думал	1	動詞　単数・男性・過去	考えた
едет	1	動詞　三人称単数・現在	行く
есть	1	動詞　不定形	ある，いる
жалеет	1	動詞　三人称単数現在	かわいそうに思う
забудь	1	動詞　不定形	忘れる
заглянул	1	動詞　単数・男性・過去	にらみつけた
залезу	1	動詞　一人称単数現在	入り込む
замолчал	1	動詞　単数・男性・過去	沈黙した
замолчали	1	動詞　三人称複数・過去	沈黙した
засияло	1	動詞　単数・中性・過去	輝いた
засмеялся	1	動詞　単数・中性・過去	にやにやした
засопел	1	動詞　単数・男性・過去	鼻息が荒くなった
захотел	1	動詞　単数・男性・過去	～したかった
кататься	2	動詞　不定形	すべった
коснулась	1	動詞　単数・女性・過去	さわった

крикнул	1	動詞　単数・男性・過去	さけんだ
кричал	1	動詞　単数・男性・過去	さけんだ
лежали	1	動詞　三人称複数・過去	横になった
наклонился	1	動詞　単数・男性・過去	身を傾けた
накрыла	1	動詞　三人称・女性・過去	覆った
обманул	1	動詞　単数・男性・過去	だました
оглянулась	1	動詞　単数・女性・過去	じっとみつめた
остались	1	動詞　三人称複数・過去	残った
отворил	1	動詞　単数・男性・過去	そのままでいた
отдал	1	動詞　単数・男性・過去	あげた
отстану	1	動詞　一人称現在	置いていく
плакал	1	動詞　単数・男性・過去	泣いた
побежал	2	動詞　単数・男性・過去	走った
повернул	1	動詞　単数・男性・過去	戻った
повторил	1	動詞　単数・男性・過去	くり返した
повторял	1	動詞　単数・男性・過去	くり返した
подбежал	1	動詞　単数・男性・過去	走った
подвинулся	1	動詞　単数・男性・過去	動いた
подвиньтесь	1	動詞　複数命令形	どいてください
поддал	1	動詞　単数・男性・過去	渡す
подержал	2	動詞　単数・男性・過去	支えた
поднял	1	動詞　単数・男性・過去	立ち上がった
подошёл	1	動詞　単数・男性・過去	近づいた
подпрыгнул	1	動詞　単数・男性・過去	ぴょんと跳ねた
подумал	1	動詞　単数・男性・過去	少し考えた
поедет	1	動詞　三人称単数現在	(乗り物で)行く
пожалеет	1	動詞　三人称単数現在	少し気の毒に思う
пойду	1	動詞　一人称単数現在	（歩いて）行く
поймёт	1	動詞　三人称単数現在	つかまえる
покосился	1	動詞　単数・男性・過去	横目で見た
положил	1	動詞　単数・男性・過去	置いた
помни	1	動詞　単数命令形	覚えておきなさい
помогло	2	動詞　単数・中性・過去	助けになった
помочь	1	動詞　不定形	助ける
попробую	1	動詞　一人称単数現在	試す
попросил	1	動詞　単数・男性・過去	頼む
поругает	1	動詞　三人称単数現在	非難する
потрепал	1	動詞　単数・男性・過去	優しくたたいた
потянул	1	動詞　単数・男性・過去	ひっぱる
походил	2	動詞　単数・男性・過去	歩いて行った
приговаривала	1	動詞　単数・女性・過去	（何かしながら）言った
присел	1	動詞　単数・男性・過去	ちょっと腰をおろした
прислушивался	1	動詞　単数・男性・過去	耳を傾けた
пробормотала	1	動詞　単数・女性・過去	ぶつぶつ言う
прогнала	1	動詞　単数・女性・過去	追い出した
прогонит	1	動詞　三人称単数現在	追い出す
прошептал	2	動詞　単数・男性・過去	ささやく
разгладил	1	動詞　単数・男性・過去	なでた
раскрыл	1	動詞　単数・男性・過去	開けた

раскрыла	1	動詞　単数・女性・過去	開けた
расцеловал	1	動詞　単数・男性・過去	何度もキスした
рисовала	1	動詞　単数・女性・過去	描いた
сгребла	1	動詞　単数・女性・過去	掻き集めた
сжал	1	動詞　単数・男性・過去	にぎりしめた
сидел	2	動詞　単数・男性・過去	座った
сидела	1	動詞　単数・女性・過去	座った
скажу	1	動詞　一人称単数現在	言う
сказал	6	動詞　単数・男性・過去	言った
сказала	1	動詞　単数・女性・過去	言った
случилось	1	動詞　単数・中性・過去	起こった
снимала	1	動詞　単数・女性・過去	つかんだ
собирайся	1	動詞　単数命令形	準備しなさい
спрашиваете	1	動詞　複数命令形	聞いてご覧なさい
ссорился	1	動詞　単数・男性・過去	けんかした
стоит	2	動詞　三人称現在	立っている
стряпает	1	動詞　三人称現在	料理する
стукнул	1	動詞　単数・男性・過去	たたいた
убегать	1	動詞　不定形	逃げる
убегу	3	動詞　一人称単数現在	（私は）逃げる
убежишь	1	動詞　二人称単数現在	(君は)逃げる
увидев	1	動詞　副動詞・過去	見ると
улыбнулась	1	動詞　単数・女性・過去	微笑んだ
усмехнулся	1	動詞　単数・男性・過去	にやりとした
утащу	1	動詞　一人称単数現在	運び去る
хочу	1	動詞　一人称単数現在	ほしい
чертил	1	動詞　単数・男性・過去	描く
動詞計	131		

＜副動詞＞

взглянув	1	副動詞　過去形	ながめながら
вспоминая	1	副動詞	思い出しながら
выбирая	1	副動詞	選びながら
глядя	2	副動詞	見つめながら
снимая	1	副動詞	つかみながら
副動詞計	6		

＜数詞＞

обе	1	集合数詞　女性・主格	二人の
обеими	1	集合数詞　女性・造格	二つとも
один	1	数詞　男性・単数主格	一つ
одной	2	数詞　女性・単数生格	一つの
одну	2	数詞　女性・単数対格	一つに
数詞計	7		

＜助詞＞

бы	1	助詞	～であれば
вот	1	助詞	ほら
же	4	助詞	あれ
надо	1	助詞	必要ではない

не	13	助詞	～でない
нет	1	助詞	～がない
ни	1	助詞	何一つ（ない）
пожалуйста	4	助詞	どういたしまして
разве	1	助詞	いったい
助詞計	27		

＜接続詞＞

а	6	接続詞	だが
и	20	接続詞	および
и л и	1	接続詞	もしくは
н о	3	接続詞	しかし
接続詞計	30		

＜前置詞＞

в	13	前置詞	～において
за	5	前置詞	～の向こうに
из	2	前置詞	～から
из－за	3	前置詞	～から
к	6	前置詞	～へ
на	10	前置詞	～の上に
о	1	前置詞	～について
от	3	前置詞	～から
перед	1	前置詞	～の前に
по	3	前置詞	～に即して
про	1	前置詞	～について
с	7	前置詞	～から
со	1	前置詞	～から
у	1	前置詞	～は持っている
前置詞計	57		

＜間投詞＞

ну	4	間投詞	さあ
эх	1	間投詞	えへん
間投詞計	5		

＜挿入語＞

конечно	1	挿入語	もちろん
挿入語計	1		

＜疑問詞＞

почему	1	疑問詞	なぜ
что	4	疑問詞	何
что－то	3	疑問詞	何か
疑問詞計	8		

（澤野由紀子）

６．フィンランド

『国語読本第１　上下巻』（Läseboken Ia och Ib, Söderström, 2004, 2005）

＊フィンランドの国語教科書は，母語としてフィンランド語，スウェーデン語，サーミ語と３種のものがあり，ここで使用するのは，PISA調査でも全く同格に取扱われているスウェーデン語系基礎学校（６％）の第１学年生（７歳）使用のものである。2004 年改訂学習指導要領に準拠し，2006 年８月から使用されている代表的な出版社 Söderström 社の『国語読本第１　上下巻』である。

＊この資料は巻末の単語集（本教科書で使用されている単語）の全訳

単語集　　（　）は参考のため訳者が加えた。

（p. 122）

A

anteckna（書きとめる）　書く
applådera（称賛する）　拍手する
aptit（食欲がある）　食欲
arrest（拘置）　自由のそくばく，逮捕する
aqua（水）　水（ラテン語）
art（種類）　種，種類
artig（礼儀正しい）　礼儀正しい
avbryta（中断する）　止める，中断
avsky（憎む）　悪い事を考える，嫌う
avsluta（仕上げる）　終り，止める
avundsjuk（しっと）　人々が他人のもっている何かを持ちたいと願う

B

bedrövad（うちひしがれる）　不幸，悲しみ
belöna（報いる）　励ます，つぐなう，金子を与える
bestraffa（罰する）　処罰する
bete（釣のエサ）　例えば魚のカギ（ワーム）につけるもの
betesig（自身で行動する）　自身で身を処する
blid（ソフトな）　マイルド，親切な
blunda（目を閉じる）　目を閉じる
blöt（雪どけ）　しめり気がある，春
bortglömd（忘れ去る）　人々が思い起さないもの
badskap（通信）　ニュース，メッセージ
bullra（騒音）　うるさく聞える
bulta（たたく）　たたく，ハンマー
bums（直ちに）　すぐさま

bunke（鉢）　ボウル
buskig（やぶの茂った）　毛の多い，もつれた，茂みでおおわれた
byggsats（建築オモチャ）　建築される小部分からなるオモチャ
byka（洗う）　衣類を洗う
böla（ほえる）　ほえる

（p. 123）

C

café（喫茶店）　コーヒーバー，サービス
campa（キャンプ）　テントに住む
charad（ことば遊び）　つづり字遊び
cello（チェロ）　絃の道具

D

deckare, detektiv（刑事，尋問）　間違ったことをしたかについて尋ねているお巡りさん
dekorera（飾る）　飾りつける，飾る
destillera（蒸留する）　蒸留する，液体から特別な種類のものへ
dille（たわごと）　馬鹿げたこと，激しい欲求
dofta（香水）　臭う
duga（適切な）　合格，適切である
dundra（いなづま）　いなづま，いなびかり

E

endast（ただ…のみ）　ただ単に
enligt（…に従って）　あとに，…に従って
enorm（巨大な）　途方もない，巨大な

F

fabel（寓話）　動物の童話
fasan（キジ）　鳥の種類
favorit（お気に入り）　人が最も好きなもの
filur（ペテン師）　冗談を言う人
fixa（うまく処理する）　準備し，まとめ，仕上げる
fjol, fjor（昨年，去年）　昨年
fler, flera（より多くの，多数の）　相当多数の
flitig（勤勉な）　働く状態
Ford（フォード）　自動車の商標
fundera（考える）　考える，熟考する

（p. 124）

fynd（発見）　発見，宝物
fägring（美）　美
färd（旅行）　旅
färdras（旅行する）　旅，自分で往き来する
författare（執筆者）　（本）を書き編さんする人
försvara（防衛）　保護
förtjust（歓喜）　大変歓ぶ，恋に陥入る
förtjäna（かせぐ）　自身の収入を得る，価値がある
förvtan（…なしで）　なしに
förvandla（変える）　変える

G

galoppera（馬のかけ足）　馬に乗る，かけ足ではねる
generad（気がねする）　羞恥，当惑
gritta（意欲がある）　…する力がある，自身で悩む
gnistra（微かに輝く）　光を放つ，きらきら光る
gnugga（こする）　こすり込む
griljera（串焼きにする）　ステーキにする，あぶる，焼く
gripa（握る）　握る，つかまえる
grubbla（沈思）　発見，深く考える
grunda（基礎を作る）　基礎をしく，基礎
grus（砂利砕石）　あらけずりの鉄入りの砂
gry（夜明け）　夜が明ける，明るくなる
grymta（不平をいう）　不作法にものを言う，ぶつぶつ言う，文句をいう
gryn（穀物の粒）　粉砕された粒
gröda（牧獲）　成長した穀物
gupp（道路上の穴）　道の不規則，とびはねる
gåva（贈物）　贈物

（p. 125）

H

ha（持つ）　を装備している，持っている
hane（オス）　オス種の動物
harkla sig（咳払いをする）　のどで咳をする
himlakropp（天体）　太陽，星，宇宙，月，すい星
hjälte（英雄）　勇気ある人，アイドル
hobby（趣味）　余暇の仕事
hona（メス）　メス種の動物
hula-hularing（フーラフーラ）　体育（フーラフーラハワイアンダンス）
hyra（家賃）　借りていることに対する支払い

hålla till, höll till（留め置く）　留る，滞在する
hägen（保護）　保護
häpen（びっくりした）　驚かす

I

ila（飛ぶように走る）　急ぐ，激しい痛み
initial（頭文字）　開拓してゆく文字（最初の文字）
innehåll（目次）　そこにあるあるものについて，題目
inplacera（席をとる）　座らせる
interessant（面白い）　考慮に値する，魅惑的な
ivrig（熱心な）　関心をもつ，熱がある

J

jobba（仕事）　働く
jo-jo（ヨーヨー）　遊び道具
jonglera（玉の曲芸）　ボール

K

kanot（カヌー）　漕ぐための小さなボート
kartong（固い紙）　固い紙，紙製品
kavla（めん棒）　小麦粉を平にする（延ばす）一つの道具，ローラー

（p. 126）
kika（のぞき見する）　見付ける，スパイする
kikna（息を切らす）　例えば笑い声，せきばらいの息を止めるに近いもの
klistra（糊ではる）　にかわをぬる
klurig（ずるい）　こうかつな，ずるい
knapra（かじる）　小さくかむ
knubbig（丸々とした）　丸々とした，短くて厚い
kretsa（円を描く）　円を描く
krimskrams（がらくた）　安物，価値のない小さな物
kul（快適な）　良い，快適な
kulle（丘）　丘
kulting（礼拝）　礼拝
kuslig（気味の悪い）　気味の悪い，怖ろしい

L

lapa（なめる）　舌なめずりをする
lektion（授業）　授業時間
len（柔かな）　柔かい

loft（屋根裏部屋） 屋根裏部屋

M

mal（シミ） 昆虫
mantel（外套） マントの一種
marin（海軍） 海軍，海の防衛，水兵
marmor（大理石） 岩石
mask（仮面） 解き見通す，顔の保護
matos（臭い） 食物の臭い
meladi（メロディー） 歌
Mercedes（メルセデス） 自動車の商標
mobba（群衆） 苦しめる，迫害する
munk（ドーナツ） 修道院に住む人が焼いたもの
museum（博物館） 充実した内容が集っている館
muskot（ミクズク） 一つの香辛料

（p. 127）

N

nalkas（近づく） 自身で近づく
nämna（述べる） 話題にする

O

oväsen（騒ぎ） 喧騒，騒ぎ

P

paj（パイ） 食べ物
papp（ボール紙） 厚い紙
parfymera（香水をつける） 香水をふりかける
party（パーティー） 祝宴，パーティー
passera（裏ごしにする） 抜き去る，フィルターを通してしぼる
planet（惑星） 天体
port（玄関） ドアー
promenera（散歩する） 散歩する，散歩する
protestera（抗議する） 反対して言う
präktig（豪華な） 壮麗な，卓越した
påstå（主張する） 宣言する，言う

Q

quintus（名前） 一つの名前

R

rabbla（棒読みする）　感情抜きで読む
redo（すぐに…できる）　用意が出来る，用意する
refräng（歌の折返し）　歌詩の規則的な再びのくり返し
reparera（修理する）　修理する
revier（山林，管理区）　狩猟区，森林地帯
risotto（リゾット）　食べ物

（p. 128）
rista（彫る）　削る
rova（しりもちをつく）　しりもちをつく＝倒れる
rysa（ふるえる）　ふるえ，ふるえる
rätt（料理）　食事のコース，適切
ruin（遺跡）　建物の残された跡
ruva（卵を抱く）　卵を横たえる

S

scen（舞台）　劇曲が奏でられている劇場の一部
sjuda（沸とうする）　わかす，沸とうする
sjusovare（朝寝坊の男）　朝長く寝ている人
skandinav（スカンジナビア人）　スカンジナビア（スウェーデン，デンマーク，ノルウェー）からの人
skarv（つぎ目）　つぎ目
skava（こする）　こする，使いへらす
skrin（小箱）　小さな箱，小箱
skråma（かすり傷）　かき傷
skulptur（彫刻）　彫像
skymning（黄昏）　夕刻の明り
skymta（ちらっと見る）　かすかに目に映る
sluka（のみこむ）　のみこむ
slätt（平地）　平らで木のない土地
snok（ヤマカガシ）　蛇
snoppen（失望した）　失望した
snubbla（よろめく）　つまづく
sorry（ごめんなさい）　ごめんなさい（英語）
speciellt（特別な）　特別な
spillning（ふん）　動物から排泄されたもの
spola（水で洗う）　洗う
staffli（画架）　画を描くための置台
stilig（上品な）　壮麗な，エレガントな
stoja（騒ぎ立てる）　騒動

strax（直ちに）　すぐに
streta emot（反抗する）　抵抗する
sugga（雌豚）　雌豚

（p. 129）
syssla（仕事）　働く，労働
såll（ふるい）　ふるいをかける道具
sålla（ふるいにかける）　こす，ふるい落す，より分ける

T

ta（とる）　握る
talesätt（話す方法）　言葉遣い，言い回し
tambur（玄関）　玄関口，クローク
tjänare（世話人）　給仕
trivas（うまく行く）　うまく行く
trumpen（不機謙な）　不機嫌な
tu（２つ）　２つ
tub（チューブ）　管
tät（目のつまった）　その間にゆるみのない
täta（圧縮する）　きつくする

U

upprepa（繰返す）　何度もする
urmakare（時計製造業者）　時計を造る人
utdöd（絶滅した）　消滅した

V

vada（水の中を歩く）　浅瀬をゆく
varelse (skogs-)（生き物（森林の））　生物，人間
verkstad（工場）　仕事場（手工芸のための）
vikarie（代理者）　代理人
vina, ven（わめく，わめいた）　わめく，わめいた
virus（ヴィールス）　人が病気にかかる病原体
vips（あっという間に）　直ちに，突然の
välbekand（良く知られた）　かなり知られた有名な人
väta（湿気）　ヒューミディティー

（p. 130）

W

wienerbröd（ウィーン風パン）　コーヒーパンの一種

wienerschnitzel（ウィーン風カツレツ）	カツレツ

X

xylitol（キシリトール）	甘味料
xylofon（シロフォン）	楽器

Y

yra（渦巻き）	渦巻き，回転してころぶ

Z

zink（亜鉛）	基礎素材
zoo（動物園）	動物園

Å

åma（気どる）	自身みせる
ånga（蒸気）	ガス
ångra（悔やむ）	していないことを望む
åten（もどる）	もどる，再び
åtskild（離れた）	別に分れた

Ä

även, ävenledes（また，もまた）	また

Ö

ömtålig（デリケート）	障害をもっており，弱く，優しく

（中嶋　博）

〈資料２〉国別抽象語彙一覧

１．日本　　4 語

だいひょう　　世界一　　ゆうき　　せいこう

２．アメリカ　　20 語

accident	偶然	emergencies	緊急の
advantage	優位，有利	expression	表現
argument	議論	grade	等級
business	ビジネス，職業	hope	希望
case	場合，状況	idea	案，思いつき
center	中心	information	情報
commotion	興奮，騒動	joke	冗談
condition	状況，状態	notice	気がつく，注目する
culture	文化	pride	誇り，自尊心
dusk	暗い色，黄昏	problem	問題，疑問

３．イギリス　　28 語

achievement	達成，業績	pride	自尊心
attractions	魅力	safety	安全，無事
character	個性，特性	sense	感覚，認識力，観念
charm	魅力	services	奉仕
comfort	快適さ，慰め	situation	位置，立場，情勢
courage	勇気	skill	熟練
effort	努力	standard	基準
freedom	自由	style	様式，文体
friendliness	友情，好意，親善	success	成功
luck	運	tidiness	きちんとしていること
luxury	豪華さ，快適な状態	warmth	暖かさ，思いやり
mercy	慈悲	wealth	富
muddle	混乱	wisdom	賢明さ，知恵，分別
opportunity	機会	wits	知力，機知，正気

４．フランス　　15 語

atroces	むごい
cœur	心
d’équilibre	均衡
désespoir	絶望
gratuite	無償の
l’impression	印象
liquide	液体
méchancetés	意地悪
méfiance	不信
méprise	軽蔑
mort	死
pénombre	薄明かり
réfléchi	反省した
s’abritera	身を守る
santé	健康

５．ドイツ　　24 語

Angst	不安
Ausdauer	がんばり
Ausdruck	表現，表情
Begriff	考え，概念
Behauptungen	主張
Bequemlichkeit	快適，便利
Beweis	証拠，証明
Eigenschaft	性質，特性
Erinnerung	思い出，記憶
Erlebnis	体験，経験
Erscheinung	出現，現象
Frieden	平和
Geduld	がまん，忍耐
Gefühl	気持，感情
Glück	幸せ，幸福
Heimat	ふるさと，故郷
Idee	考え，理念
Nonsens	ナンセンス，無意味
Ordnung	整理，秩序
Paradies	パラダイス
Sinn	感覚，考え，意味
Stimmung	気分，雰囲気
Vertrauen	信用，信頼
Wunsch	望み，希望

６．ロシア　　25 語

Досадой	くやしさで
обиды	くやしさの
пустяки	つまらぬこと
радости	喜び
волшебное	まほうの
волшебном	まほうの
непонятные	わからない
нужна	必要な
нужно	必要な
сердитое	怒ったような
сердито	怒って
смущённо	びっくりして，当惑して
думал	考えた
жалеет	かわいそうに思う
забудь	忘れる
обманул	だました
пожалеет	少し気の毒に思う
помогло	助けになった
помочь	助ける
попробую	試す

попросил	頼む	собирайся	準備しなさい
поругает	非難する	хочу	ほしい
случилось	起こった		

７．フィンランド　35 語

aptit	食欲がある	gritta	意欲がある
artig	礼儀正しい	grymta	不平をいう
avsky	憎む	ivrig	熱心な
avundsjuk	しっと	klurig	ずるい
bedrövad	うちひしがれる	kuslig	気味の悪い
belöna	報いる	matos	臭い
bestraffa	罰する	protestera	抗議する
betesig	自身で行動する	präktig	豪華な
blid	ソフトな	snoppen	失望した
bortglömd	忘れ去る	stilig	上品な
bums	直ちに	streta emot	反抗する
dille	たわごと	sålla	ふるいにかける
duga	適切な	trivas	うまく行く
favorit	お気に入り	trumpen	不機嫌な
fixa	うまく処理する	välbekand	良く知られた
flitig	勤勉な	åma	気どる
försvara	防衛	ångra	悔やむ
generad	気がねする		

翻訳・分析に使用した国語教科書リスト

１．日本（平成 17 年度版）

東京書籍㈱　『新編 新しい国語 二上』
『新編 新しい国語 二下』
大阪書籍㈱　『小学こくご ２上』
『小学こくご ２下』
学校図書㈱　『みんなと学ぶ 小学校こくご 二年上』
『みんなと学ぶ 小学校こくご 二年下』
教育出版㈱　『ひろがることば 小学国語 ２上』
『ひろがることば 小学国語 ２下』
光村図書出版㈱　『こくご二上 たんぽぽ』
『こくご二下 赤とんぼ』

２．アメリカ

“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.1: Here We Go!”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.2: Let’s Be Friends”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.3: Supurise”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.4: Treasures”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade1, Level 1.5: Wonders”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade2, Level 2.1: Adventures”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade2, Level 2.2: Delights”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade3, Level 3.1: Rewards”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade3, Level 3.2: Horizons”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade4, Level 4: Traditions”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade5, Level 5: Expeditions”, 2005
“Houghton Mifflin Reading　Grade6, Level 6: Triumphs”, 2005

３．イギリス

フィクション

Brian Moses 編 “Literacy World　Essential Fiction　Stage1”, Heinemann, 2004
Brian Moses 編 “Literacy World　Essential Fiction　Stage2”, Heinemann, 2004
Brian Moses 編 “Literacy World　Essential Fiction　Stage3”, Heinemann, 2004
Brian Moses 編 “Literacy World　Essential Fiction　Stage4”, Heinemann, 2004

ノンフィクション

Diana Bentley & Dee Reid 編 “Literacy World　Essential Non-fiction　Stage1”, Heinemann, 2004

Philip Bowditch 編 “Literacy World　Essential Non-fiction　Stage2”, Heinemann, 2004

Sylvia Karavis & Gill Matthews 編 “Literacy World　Essential Non-fiction　Stage3”, Heinemann, 2004

Michael Lockwood & Kate Lockwood 編 “Literacy World　Essential Non-fiction　Stage4”,　Heinemann, 2004

４．フランス

語彙分析

“Pas à page”, Nathan, 1998　（小学校第１学年　フランス語の読み方の教科書）

“Tout le français en CE1”, Nathan, 1999　（小学校第２学年　フランス語教科書）

“Tout le français en CE2”, Nathan, 1999　（小学校第３学年　フランス語教科書）

“Tout le français en CM1”, Nathan, 1999　（小学校第４学年　フランス語教科書）

“Tout le français en CM2”, Nathan, 1999　（小学校第５学年　フランス語教科書）

文章分析

“Le bibliobus”, CP/CE1 14, Hachette, 2006　（基礎学習期（小学校１・２学年）　フランス語教科書）

５．ドイツ

“KUNTERBUNT　Fibel”, Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-251030-5

ドイツ語（第１学年）　初級読本　バーデン・ヴュルテンベルク州版

“KUNTERBUNT　LESEBUCH 2”, Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-270114-6

ドイツ語　読み方　第２学年　バーデン・ヴュルテンベルク州版

“KUNTERBUNT　LESEBUCH 3” Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-270124-3

ドイツ語　読み方　第３学年　バーデン・ヴュルテンベルク州版

“KUNTERBUNT　LESEBUCH 4” Ernst Klett Grundschulverlag　ISBN 3-12-270131-6

ドイツ語　読み方　第４学年　バーデン・ヴュルテンベルク州版

６．ロシア

読み物教材の題目一覧

ゴロヴァノワ，ゴレツキー，クリマノワ著『ロドナヤ・レーチ』（文学的読み方）2003 年版

第１巻第１冊

第１巻第２冊

第２巻第１冊（初等学校３年生用）

第２巻第２冊（初等学校３年生用）

第３巻第１冊（初等学校第４学年用教科書）

第３巻第２冊（初等学校第４学年用）

特色ある単元

Климанова, Л.Ф., Горецкий, В. Г., Голованова, М. В., Родная речь, Учебник для 2 класса начальной школы, Часть 1 и 2, 3-ое издание, Москва, Просвещение, 2005

『ロドナヤ・レーチ』（文学的読み方）2005 年版，プロスヴェシェーニエ社

第２学年　第１巻

第２学年　第２巻

語彙分析，文章分析

『ロドナヤ・レーチ』（文学的読み方）2006 年版，プロスヴェシェーニエ社

第２学年用第２巻

７．フィンランド

“Läseboken Ia och Ib”, Söderström 社, 2004, 2005（国語読本第１　上下巻）

＊フィンランドの国語教科書は，母語としてフィンランド語，スウェーデン語，サーミ語と３種のものがある。この教科書は，PISA調査でも全く同格に取扱われているスウェーデン語系基礎学校（６％）の第１学年生（７歳）使用のもの。2004 年改訂学習指導要領に準拠し，2006 年８月から使用されている代表的な出版社である。

初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究
平成 18～19 年度科学研究費補助金（基盤研究（Ｂ））

研究組織

総括

研究代表者	藤　村　和　男	(財)教科書研究センター研究部長（総括）
研究協力者	新　井　郁　男	上越教育大学名誉教授（総括）＊平成 18 年度は研究分担者

国内部会

研究分担者	松　本　　修	上越教育大学大学院学校教育研究科准教授 （国内部会主査，国語）
研究分担者	石　塚　　修	筑波大学大学院人文社会科学研究科准教授
研究分担者	小　林　一　貴	岐阜大学教育学部准教授
研究分担者	藤　森　裕　治	信州大学教育学部教授
研究分担者	吉　田　裕　久	広島大学大学院教育学研究科教授

外国部会

研究分担者	二　宮　　皓	広島大学副学長・大学院教育学研究科教授 （外国部会主査，アメリカ）
研究分担者	川野辺　　敏	星槎大学副学長（外国部会副主査）
研究分担者	新　井　浅　浩	西武文理大学サービス経営学部教授（イギリス）
研究分担者	澤　野　由紀子	聖心女子大学文学部准教授（ロシア）
研究分担者	長　島　啓　記	早稲田大学教育・総合科学学術院教授（ドイツ）
研究分担者	藤　井　穂　高	東京学芸大学教育学部准教授（フランス）
研究協力者	中　嶋　　博	早稲田大学名誉教授（フィンランド）

初等中等教育の国語科の教科書及び補助教材の内容構成に関する総合的，比較教育的研究
―学力の基礎をなす言語能力の形成を中心として―
課題番号 18330196
平成18年度～平成19年度科学研究費補助金（基盤研究（B））
研究成果報告書資料編Ⅱ　各国の国語教科書
アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・フィンランド

平成 20（2008）年 3 月 31 日

研究代表者　藤　村　和　男
財団法人教科書研究センター研究部長

東京都江東区千石 1 丁目 9 番 28 号
〒135-0015 電話 03-5606-4311